

Pioneer *sound.vision.soul*

ビデオカード

VIDEO CARD

CARTE VIDEO

VIDEOKARTE

PDA-5002

取扱説明書

Operating Instructions

Mode d'emploi

Bedienungsanleitung

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

図記号について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな図記号を使用しています。その記号と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

図記号の意味



△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容です。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は、やってはいけない（禁止）内容です。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、必ず行っていただく（強制）内容です。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

使用環境

本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

注意

設置

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。



禁止

使用方法

本機の上に花瓶、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

本機の端子などに金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



禁止

使用環境

周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。



注意

本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合はよく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。



注意

本機の特長

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。

なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

本機はパイオニア製プラズマディスプレイPDP-503CMXおよびPDP-433CMX専用の拡張カードです。PDP-503CMXおよびPDP-433CMXはパソコン用モニターとして設計されていますが、本機を取り付けることにより、次のような機能が得られます。

1. S-ビデオ、コンポジットビデオ、DVI信号(TMDS)に対応した入力端子が追加されます。(INPUT 3、4、5)
2. パソコン以外の多くのAV機器との接続が可能となります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

もくじ

安全上のご注意	i
はじめに	2
本書の使いかた	2
付属品	3
各部の名称と機能	4
接続パネル	4
設置と接続	6
プラズマディスプレイへの取り付け	6
本機の入力端子について	7
INPUT1とINPUT2への接続	7
INPUT3への接続	10
INPUT4への接続	10
INPUT5への接続	10
ハイビジョン用MUSEデコーダおよび デジタル放送チューナーの接続について	11
オーディオ機器との接続	12
接続ケーブルの処理	13
システムの設定	14
接続後の設定	14
操 作	16
入力ソースを選ぶ	16
画面サイズの切り換え	18
画面を部分的に拡大する(POINT ZOOM)	19
電源を自動的に切る	20
画面の調整	21
画質を調整する	21
画面の位置やクロックを調整する<自動調整>	22
画面の位置やクロックを調整する<手動調整>	23
その他の機能	24
入力表示を書き換える(INPUT LABEL)	24
色温度を変更する(COLOR TEMP)	25
映像のノイズ感を軽減する(DIGITAL NR)	25
ピュアシネマの設定をする	26
カラーシステムを設定する	26
動きの早い映像を見る(3D Y/C MODE)	27
明るい場所に設置するときは (HIGH CONTRAST)	28
自動で入力を切り換える(AUTO FUNCTION)	29
オーディオ出力について(AUDIO OUT)	30
その他	31
仕様	31
付録1	32
付録2	32
付録3	34
用語解説	34
保証とアフターサービスについて	35

本書の使いかた

本書は、本機をプラズマディスプレイに取り付けて使用される方にわかりやすいよう作業と操作の順で説明しています。

ビデオカードを外箱から出し、付属品をすべて確認したあとは、本書およびプラズマディスプレイの取扱説明書4ページの「各部の名称と機能」の章をご覧ください。本書の説明文ではボタンの名称が多く使われますので、事前にプラズマディスプレイの取扱説明書を参照し、プラズマディスプレイ本体とリモコンについて概略をご確認ください。

6ページの「設置と接続」の章では、ビデオカードの取り付け方法やプラズマディスプレイとさまざまな機器との接続方法について、必要な情報が書かれています。

14ページの「システムの設定」の章では、接続した機器に合わせてプラズマディスプレイが正しく動作するために必要な設定を、画面上で行います。機器の接続方法によっては、この章は不要になる場合があります。

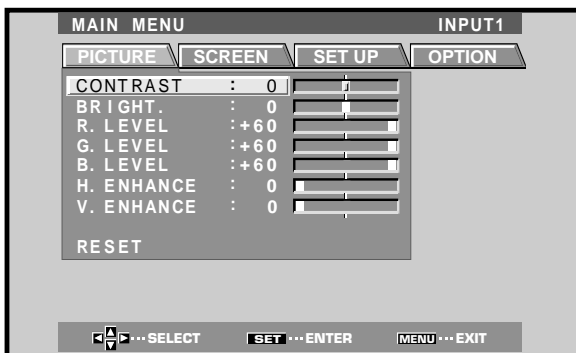
16ページからは、入力選択のような基本的な動作から、特定の機器や好みに合わせた映像の調整方法などの踏み込んだ手順まで、さまざまな操作方法を説明します。

各項目のOSD表示に関して

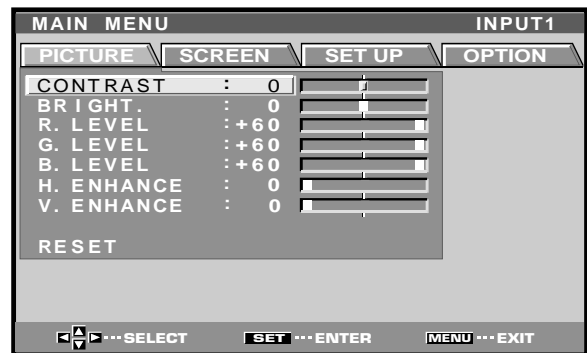
本書に記載されているOSD表示例は、全てPDP-503CMXの場合の表示例です。PDP-433CMXのOSD表示例は下記例のようになります。

- PDP-503CMX :
OSD表示時、画面の両サイドにOSD非表示部があります。
- PDP-433CMX :
OSD表示は、横方向は画面いっぱいに表示されます。なお、PDP-503CMXとPDP-433CMXでOSD表示される内容は同じです。

PDP-503CMXの場合のOSD表示例



PDP-433CMXの場合のOSD表示例



本書の操作について

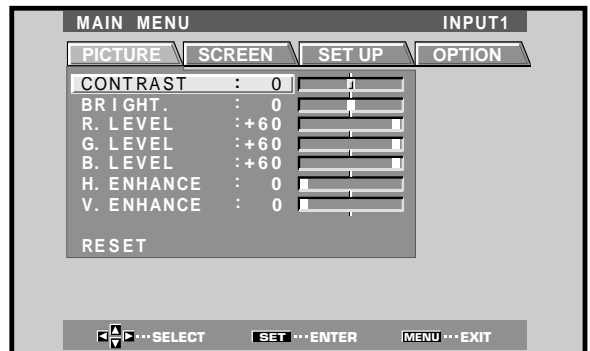
各操作は、番号順に手順が説明されています。文中では、本体側にしかないものを除きすべてリモコンのボタンを使用しています。本体側にリモコンと同じかまたは類似の名称のボタンがあれば、同じように操作ができます。

以下は、「画面の水平・垂直方向の位置を調整する場合」の、実際の操作説明です。各手順の画面の例で、正しく操作したか確認できるようになっています。本書を読み進める前に慣れておいてください。

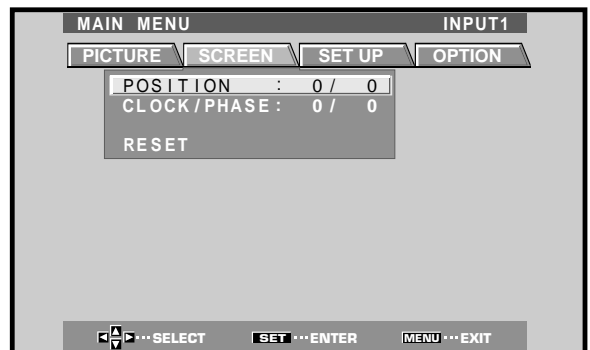
ご注意

本書に記載されている画面は、基本的な表示例です。画面の表示項目や表示内容は、入力ソースや各種の設定状態により変わります。

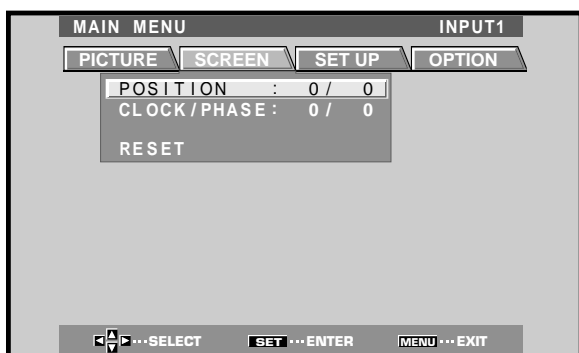
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「▶」ボタンを押して「SCREEN」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、調整する項目を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、選んだ項目の調整画面にする



5 「▲/▼/◀/▶」ボタンで、調整する

付属品

以下の付属品をお確かめください。

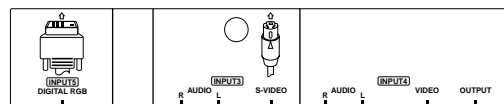
① リモコンラベル

S-VIDEO VIDEO DIGITAL RGB

② BNC/ピン変換アダプター

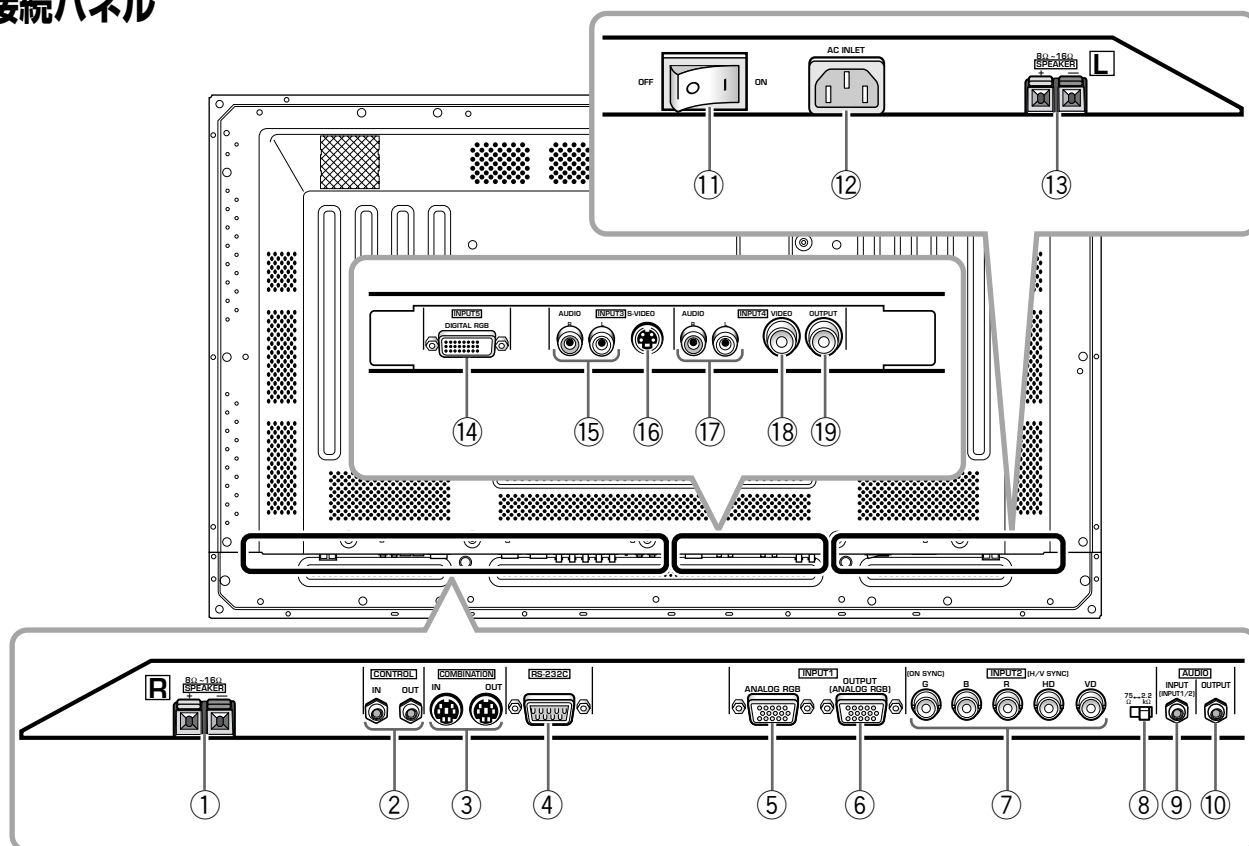


③ 端子表示ラベル

④ ネジ×2
(ビデオカード取付用予備ネジ)

- 取扱説明書
- 保証書

接続パネル



プラズマディスプレイ部

プラズマディスプレイには2つの映像入力端子と1つの映像出力端子があります。

また、音声入出力端子やスピーカー出力端子や **SR** マークのついたパイオニア製の機器との接続用にCONTROL端子も備えています。

本機を取り付けると、映像入力端子が3つ増えて5つになり、映像出力端子が1つ増えて2つになります。それぞれの接続方法は、()内のページまたはプラズマディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

① SPEAKER (R)

右側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが8~16Ωのスピーカーを接続します。

② CONTROL IN/OUT (モノラルミニジャック)

SR マークのついたパイオニア製品との接続用です。
CONTROL接続を行うと、プラズマディスプレイのシステムコントロールが可能になります。

③ COMBINATION IN/OUT

これらの端子には何も接続しないでください。
工場調整用の端子です。

④ RS-232C端子

この端子には何も接続しないでください。
工場調整用の端子です。

⑤ INPUT1 (ミニD-sub 15ピン)

パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDプレーヤーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。(7~9ページ)

⑥ OUTPUT (INPUT 1) (ミニD-sub 15ピン)

外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、OUTPUT (INPUT 1)端子から映像信号は出力されません。(9ページ)

⑦ INPUT2 (BNC端子)

パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDプレーヤーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。(7~9ページ)

- ⑧ **同期信号インピーダンス切り換えスイッチ**
 INPUT2への接続方法によっては、接続した機器の同期信号の出力インピーダンスに合わせて、このスイッチを切り換える必要があります。
 接続した機器の同期信号の出力インピーダンスが75Ω以下のときは、このスイッチを75Ωに設定してください。(8、9ページ)
- ⑨ **AUDIO INPUT (ステレオミニジャック)**
 入力(映像)がINPUT1、INPUT2またはINPUT5のときの音声入力です。
 プラズマディスプレイのINPUT1、INPUT2または本機のINPUT5に接続した機器の音声出力端子と接続します。(12ページ)
- ⑩ **AUDIO OUTPUT (ステレオミニジャック)**
 プラズマディスプレイに接続した機器の音声をAVアンプなどの機器に出力するときに使います。(12ページ)
- ⑪ **MAIN POWER スイッチ**
 プラズマディスプレイの主電源の入/切をします。
- ⑫ **AC INLET**
 プラズマディスプレイに付属の電源コードを使用して、AC電源に接続します。
- ⑬ **SPEAKER (L)**
 左側用外部スピーカー出力端子です。
 インピーダンスが8~16Ωのスピーカーを接続します。

本機 (ビデオカード<PDA-5002>) 部

ビデオカードには3つの映像入力端子と、1つの映像出力端子、2つの音声入力端子があります。
 それぞれの接続方法は()内のページをご覧ください。

- ⑭ **INPUT5 (DVI-D端子)**
 パソコン(PC)などの機器を接続します。
注：コピーガード信号が重畳されている映像信号には対応していません。(10ページ)
- ⑮ **AUDIO INPUT3 (RCAピンジャック)**
 入力(映像)がINPUT3のときの音声入力です。
 本機のINPUT3に接続した機器の音声出力端子と接続します。(12ページ)
注：Lモノには対応していません。
- ⑯ **INPUT3 (Sビデオ端子)**
 ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの、S映像出力を持つ機器を接続します。(10ページ)
- ⑰ **AUDIO INPUT4 (RCAピンジャック)**
 入力(映像)がINPUT4のときの音声入力です。
 本機のINPUT4に接続した機器の音声出力端子と接続します。(12ページ)
注：Lモノには対応していません。
- ⑱ **INPUT4 (BNC端子)**
 ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのコンポジット映像出力を持つ機器と接続します。(10ページ)
- ⑲ **OUTPUT (INPUT4) (BNC端子)**
 外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、OUTPUT (INPUT4)端子から映像信号は出力されません。(10ページ)

プラズマディスプレイへの取り付け

お客様へ

この製品は十分な技術・技能を有する専門業者が取り付けを行うことを前提に販売されているものです。

販売店様へ

取り付けの手順は下記をご覧ください。

取り付けの際、万一ネジ等をプラズマディスプレイ内部に落とした場合は、すぐに最寄りのパイオニアサービスセンターまでご連絡ください。そのまま作業を続けると故障の原因になることがあります。

本機はパイオニア製プラズマディスプレイPDP-503CMXおよびPDP-433CMXに取り付けて使用します。プラズマディスプレイへの取り付けは以下の手順に従ってください。

取り付けの前に次のことを確認してください。

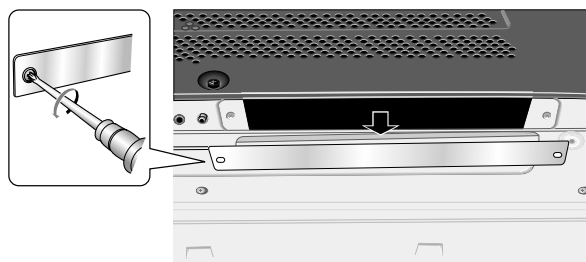
- プラズマディスプレイに接続したパソコンまたはその他の機器をはずしてください。
- プラズマディスプレイの電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り付けの際の注意

- 取り付け部のカバーを開ける際は、開口部にネジ等を落とさないように注意してください。ディスプレイ内部にネジを落とすと故障の原因となることがあります。
- 取り付けの際、プラズマディスプレイの画面側を下にして寝かせておく場合は、水平な安定した場所に梱包用のマットや毛布などの柔らかいものを敷いておいてください。本体に傷つかないように、異物には十分注意してください。また前面パネル部のみに荷重をかけるような置き方は、決してしないでください。
- 本機はプラズマディスプレイPDP-503CMXおよびPDP-433CMX専用設計されたビデオカードです。本機を改造したり、加工したりしないでください。誤動作する恐れがあります。
- 内部のユニット類を傷つけたり、加工したりしないでください。
- 取り付けの際には静電気対策を十分に行ってください。また部品や回路パターンには触らないように注意してください。
- 本機は再度、取り付けや取り外しができるように設計されていませんので、一度プラズマディスプレイに取り付けを行ったら取り外さないようにしてください。再度、取り付けや取り外しを行うと破損する恐れがあります。

取り付け方

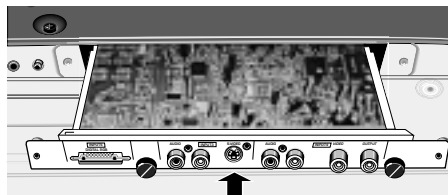
- 1 プラズマディスプレイの端子部にあるビデオカード挿入口の保護カバーをはずします。



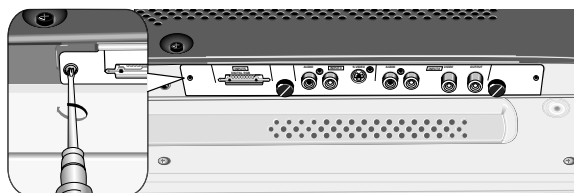
- 2 開口部から見える両側のレールに沿って、ビデオカードを静かに、まっすぐ挿入します。

ご注意

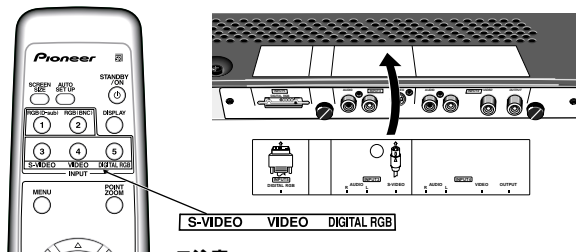
本機の挿入には十分注意してください。必ずまっすぐ挿入してください。斜めに挿入したり、無理に挿入したりすると本機を破損したり、ディスプレイ本体側に傷をつけたりする場合があります。



- 3 最後までしっかりとビデオカードが挿入されていることを確認してから、手順1ではずしたネジを使ってしっかりと固定します。



- 4 付属の端子表示ラベルをプラズマディスプレイに貼り付けます。また付属のリモコンラベルをプラズマディスプレイに付属のリモコンに貼り付けます。

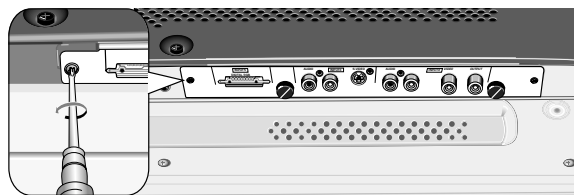


ご注意

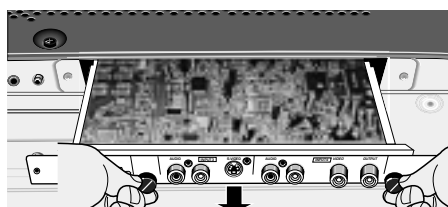
ラベル取付面は柔らかい布等できれいに拭きとってください。

外し方(基本的には行わないでください)

- 1 ビデオカードを固定している両側のネジを外してください。



- 2 内側のツマミを持ってまっすぐ引いてビデオカードを抜いてください。



本機の入力端子について

下の表にしたがって機器の出力端子をプラズマディスプレイと本機の入力端子に接続します。
(7～12ページ)

本機の入力端子		INPUT 1 ^{*1}	INPUT 2 ^{*1}	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5
接続する機器と信号						
AV機器	アナログRGB	○	○			
	コンポーネント映像	○	○			
	S映像			○		
	コンポジット映像				○	
パソコン	アナログRGB	○ ^{*2}	○			
	S映像			○ ^{*3}		
	コンポジット映像				○ ^{*3}	
	デジタルRGB					○ ^{*4}

*1 INPUT 1/2は様々な種類の信号に対応していますが、接続した後は、それぞれの機器に合わせて画面上の設定(14～15ページ)を行ってください。

*2 INPUT 1はマイクロソフト社のPlug & Play (VESA DDC 1/2B)に対応しています。

*3 お使いのモニター出力ボードの種類によっては、出力できないことがあります。

*4 INPUT 5はマイクロソフト社のPlug & Play (VESA DDC 2B)に対応しています。

INPUT 1とINPUT 2への接続

INPUT 1とINPUT 2は様々な機器が接続できます。接続の後には、それぞれの機器に合わせて画面上の設定を行ってください。接続後の設定については14～15ページをご覧ください。

出力する機器	INPUT 2 端子	[ON SYNC] G	B	R	[H/V SYNC] HD	VD
	RGB出力を持つビデオ機器 パソコン(PC)	G ON SYNC	○	○	○	×
G		○	○	○	○	×
G		○	○	○	○	○
コンポーネント映像出力を持つ映像機器	Y	○	○	○	×	×
			Cb/Pb	Cr/Pr		

×：何も接続しないでください。○：ここに接続してください。

お知らせ

INPUT 1およびINPUT 2で対応している機器は同一です。INPUT 1に接続の際は、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

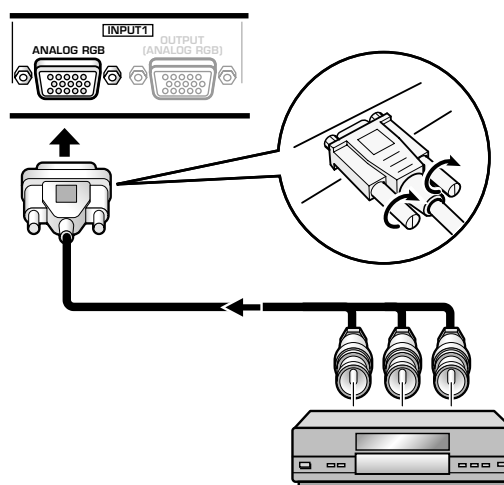
INPUT 1、2で対応している信号および表示画面サイズについてはプラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

AV機器との接続

コンポーネント映像端子を持つAV機器の接続

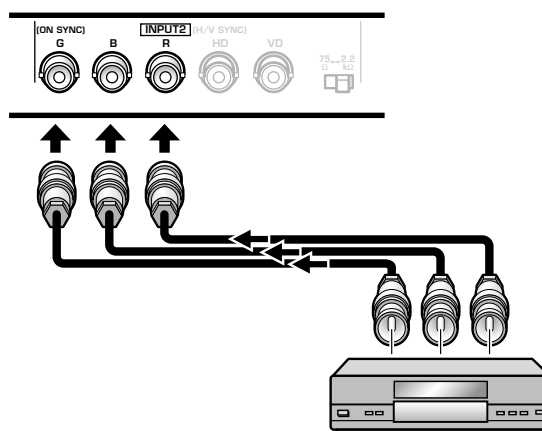
コンポーネント映像出力を持つAV機器を、コンポーネント映像接続します。

INPUT 1へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。
14ページをご覧ください。

INPUT 2へ接続する場合



Y信号をG端子、Cb/PbをB端子、Cr/Pr信号をR端子に接続してください。

接続の後は、画面上の設定が必要です。
14ページをご覧ください。

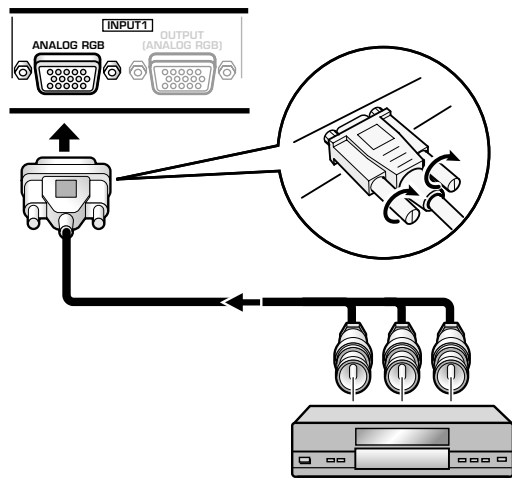
INPUT 2はすべてBNC端子です。

接続の際は、必要に応じて、BNC/ピン変換アダプターをお使いください。

G ON SYNCアナログRGB機器の接続

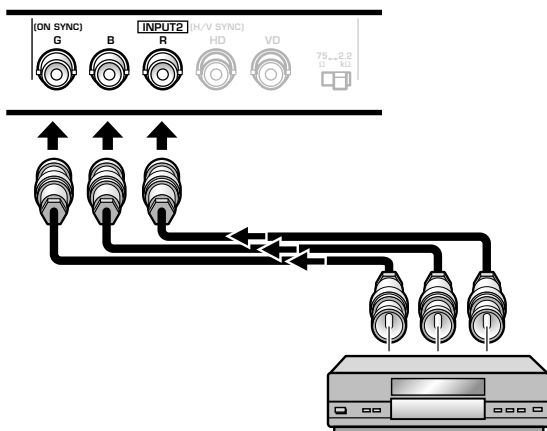
緑信号に同期信号が組み合わされた出力を持つ機器を、G ON SYNC接続します。

INPUT1へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。
14～15ページをご覧ください。

INPUT2へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。
14～15ページをご覧ください。

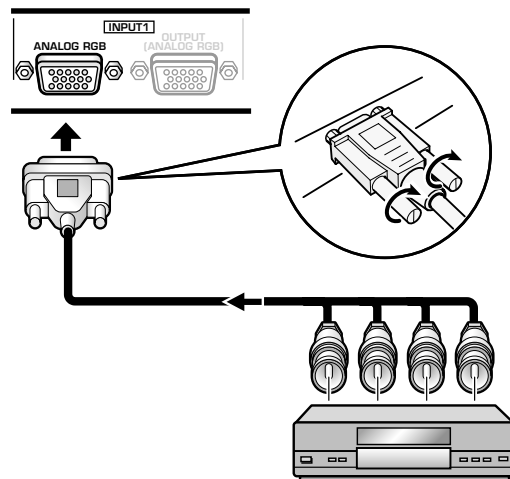
ご注意

G ON SYNC接続を行った場合は、VD端子やHD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されない場合があります。

コンポジットSYNCアナログRGB機器の接続

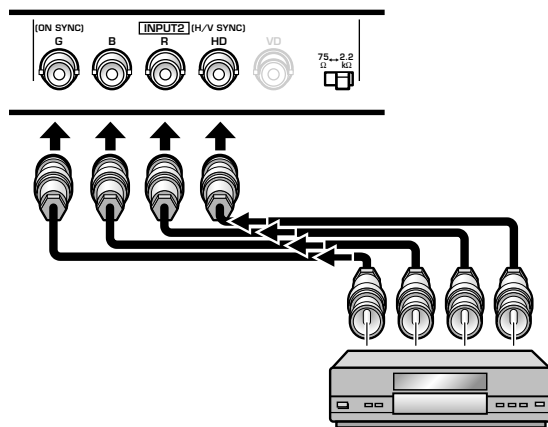
水平同期信号と垂直同期信号が組み合わされた出力を持つ機器を、コンポジットSYNC接続します。

INPUT1へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。
14～15ページをご覧ください。

INPUT2へ接続する場合



INPUT2入力を使うときは、接続した機器の同期信号の出力インピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。

接続した機器の同期信号の出力インピーダンスが75Ω以下のときは、切り換えスイッチを75Ωに設定してください。

接続の後は、画面上の設定が必要です。
14～15ページをご覧ください。

ご注意

- コンポジットSYNC接続を行った場合は、VD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されなくなる場合があります。
- Apple Computer社の一部の機種では、G ON SYNCとコンポジットSYNCの両方の出力を持つものがあります。これらの機種についてはG ON SYNC接続(左記)を行ってください。

パソコンとの接続

パソコンの種類によって接続方法が異なります。接続の際は、お使いのパソコンの取扱説明書をよくお読みください。

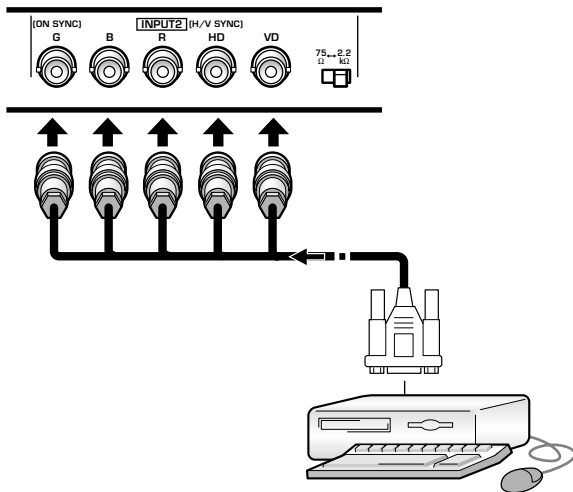
接続する前に、パソコンとプラズマディスプレイの主電源が切れていることを確認してください。

本機で対応しているパソコン信号および表示画面サイズは、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

セパレートSYNCアナログ RGB機器の接続

赤、緑、青、水平同期、垂直同期の5つの信号に分離したRGB出力を持つパソコンを、セパレートSYNC接続します。

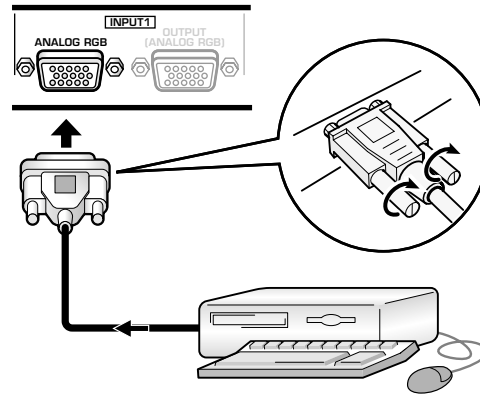
INPUT2へ接続する場合



INPUT2入力を使うときは、接続したパソコンの同期信号の出カインピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。接続したパソコンの同期信号の出カインピーダンスが75Ω以下のときは、切り換えスイッチを75Ωに設定してください。

接続の後は、画面上の設定が必要です。14～15ページをご覧ください。

INPUT1へ接続する場合



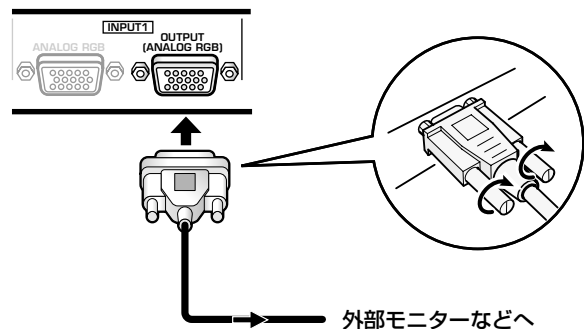
プラズマディスプレイの入力端子とパソコンの出力端子の形状に合ったケーブルをお使いください。またねじでしっかりとそれぞれの端子に固定してください。

接続の後は、画面上の設定が必要です。14～15ページをご覧ください。

ご注意

接続するパソコンの種類によっては、パソコンに付属または別売の変換コネクタやアダプターが必要になる場合があります。詳しくはお使いのパソコンに付属の取扱説明書をお読みになるか、パソコンの製造元または取扱店にお尋ねください。

OUTPUT (INPUT 1) へ接続する場合



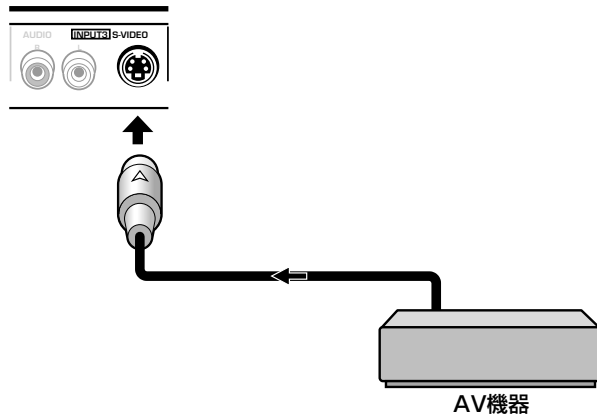
OUTPUT (INPUT 1) 端子は、モニターなど映像入力可能な機器との接続に使います。

ご注意

主電源 (MAIN POWER) 「OFF」時またはスタンバイ時は、OUTPUT (INPUT 1) 端子から映像信号は出力されません。

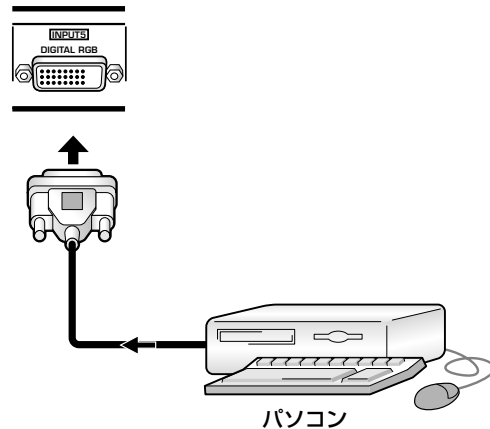
INPUT3への接続

S映像出力を持つAV機器を、本機のS-VIDEO端子に接続します。



INPUT5への接続

DVI出力(デジタルRGB信号)を持つパソコンを、本機のDVI端子に接続します。

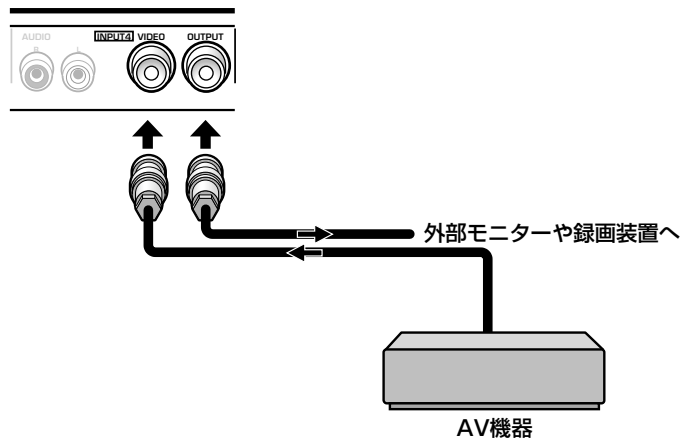


INPUT4への接続

映像出力を持つAV機器を、本機のINPUT4に接続します。OUTPUT(INPUT4)端子は、モニターや録画装置など映像入力が可能な機器との接続に使用します。

ご注意

主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、OUTPUT(INPUT4)端子から映像信号は出力されません。



接続の後は画面上の設定が必要です。14ページをご覧ください。

ご注意

- 接続にはDVI-D24ピン(Digitalのみ)のケーブルを使用してください。
- コピーガード信号が重畳されている映像信号には対応していません。

お知らせ

- INPUT5はマイクロソフト社のPlug & Play (VESA DDC 2B)に対応しています。INPUT5に接続の際は33ページ付録3を参照してください。
- INPUT5で対応している信号および表示画面サイズについては32ページ付録2を参照してください。

INPUT3、4ではNTSC、PAL、SECAM、4.43NTSCのテレビ方式に対応しています。詳しくは26～27ページの「カラーシステムを設定する」を参照してください。

ハイビジョン用MUSEデコーダおよび デジタル放送*チューナーの接続について

正しく接続するために、ハイビジョン用MUSEデコーダ、BS/CSデジタルチューナーに付属の取扱説明書を十分にお読みください。

プラズマディスプレイが対応している映像信号は下の表のとおりです。

* 2001年7月現在、地上波のデジタル放送は行われておりません。

映像信号の種類	映像信号フォーマット	映像信号方式	接続可能な端子				
			INPUT1	INPUT2	INPUT3	INPUT4	
(アナログ) ハイビジョン	水平：33.75kHz 垂直：60Hz	コンポーネント	◎	◎			
		RGB	◎	◎			
デジタル放送	HDTV	1125i (1080i) 1125p (1080p) 1125i (1035i) 750p (720p)	コンポーネント	◎	◎		
		RGB	◎	◎			
	SDTV	525i (480i) 625i (575i)	コンポジット				◎
			S映像			◎	
			コンポーネント	◎	◎		
			RGB	◎	◎		
	525p (480p) 625p (575p)	コンポーネント	◎	◎			
		RGB	◎	◎			

オーディオ機器との接続

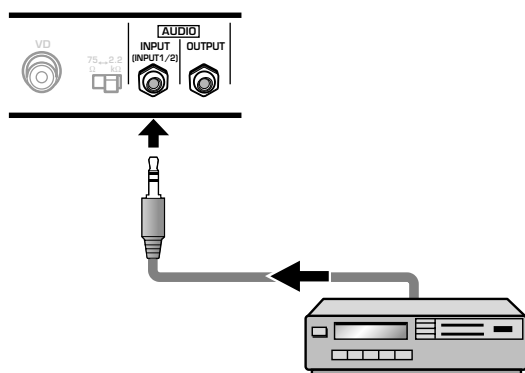
接続する前に、電源が切れていることを確認してください。

オーディオ機器をプラズマディスプレイと本機の音声入力端子に接続する

プラズマディスプレイと本機には3つの音声入力端子と1つの音声出力端子があります。下の表は映像入力に対するそれぞれの音声入力接続を示しています。

映像入力	音声入力	音声出力
INPUT1	ステレオミニジャック(L/R)	選択した入力の音が ・スピーカー端子 ・ステレオミニジャック(L/R) から得られます。
INPUT2		
INPUT5		
INPUT3	ピンジャック(L/R)	
INPUT4	ピンジャック(L/R)	

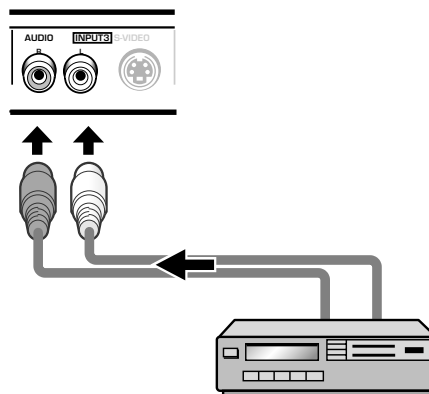
AV機器をINPUT1、INPUT2またはINPUT5に接続した場合の音声接続



INPUT1、INPUT2とINPUT5につなぐ機器の音声は、どれか一つをAUDIO INPUT端子のステレオミニジャック(L/R)タイプにつなぐことができます。

音声出力は選んだ入力にしたがって、AUDIO OUTPUT端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子から得られます。

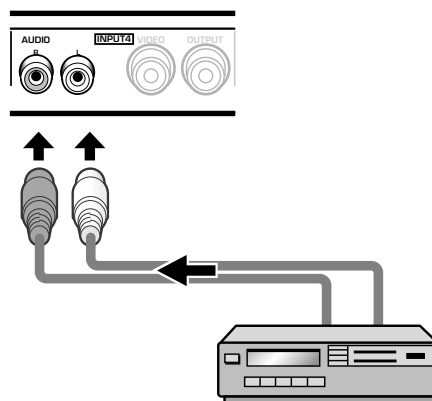
AV機器をINPUT3に接続した場合の音声接続



INPUT3につなぐ機器の音声は、AUDIO INPUT3端子のピンジャック(L/R)タイプにつなぐことができます。

音声出力は選んだ入力にしたがって、AUDIO OUTPUT端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子から得られます。

AV機器をINPUT4に接続した場合の音声接続



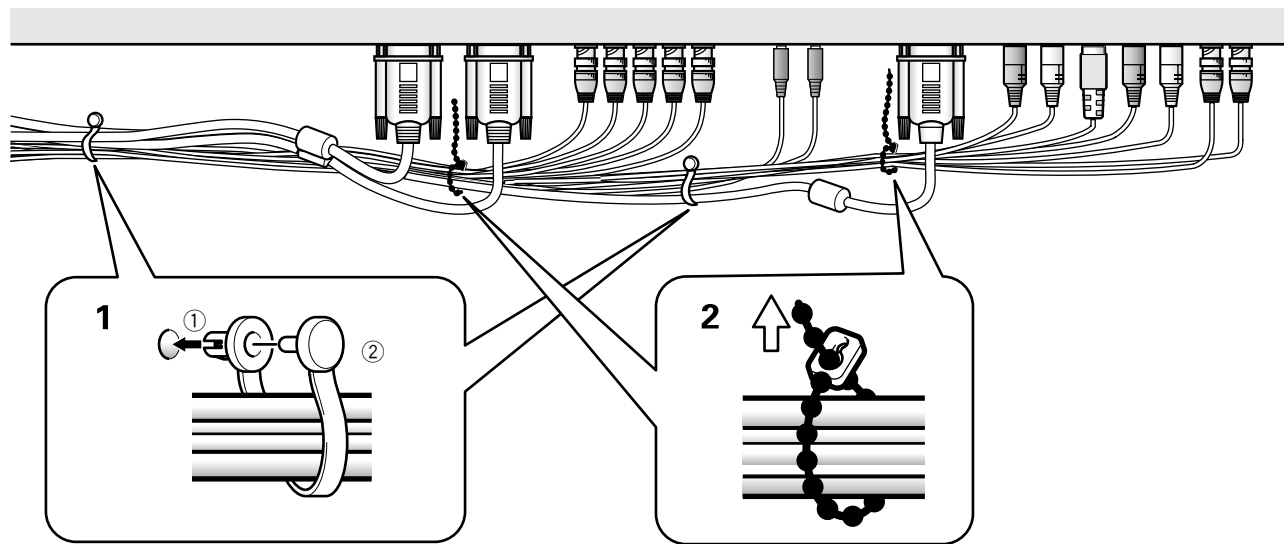
INPUT4につなぐ機器の音声は、AUDIO INPUT4端子のピンジャック(L/R)タイプにつなぐことができます。

音声出力は選んだ入力にしたがって、AUDIO OUTPUT端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子から得られます。

接続ケーブルの処理

プラズマディスプレイには、ケーブルをまとめるためのスピードクランプ、ビーズバンドが付属しています。
すべての接続が終わったら、以下の手順でケーブルをまとめます。

* 本体を背面から見た図



1 スピードクランプを使ってケーブルを止める

① をリアケースの穴へ差し込んだ後、② を差し込みます。

スピードクランプは、一度留めると外れにくいいため注意して取り付けてください。

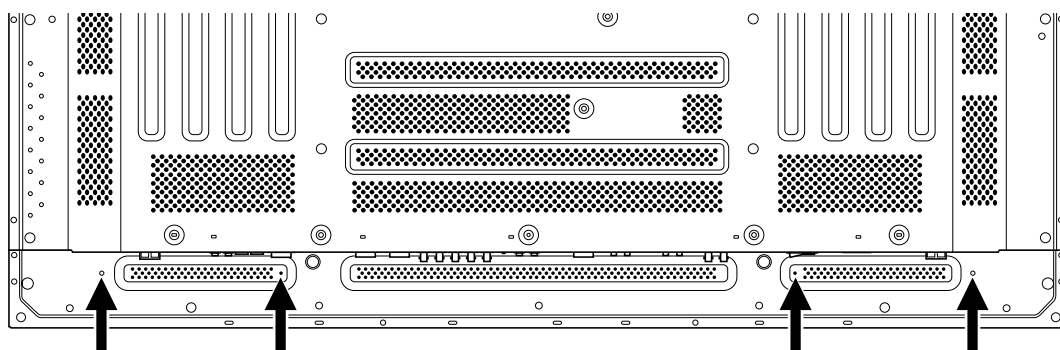
2 付属のビーズバンドでケーブルを束ねる

お知らせ

束ねたケーブルは左右どちらにもまとめられます。

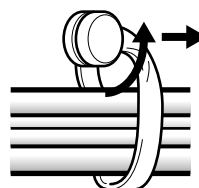
スピードクランプをプラズマディスプレイに取り付けるには

●印の4つの穴を状況に応じて使ってください。



スピードクランプを外すには

ペンチでクランプを90度ねじり、外側へ引きます。
くり返しによって傷んでくると外すときに破損することがあります。



システムの設定

接続後の設定

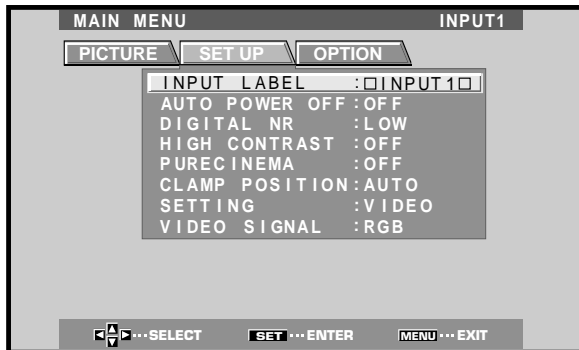
INPUT1、INPUT2またはINPUT5の接続を行った後は、画面上での設定が必要です。
以下の手順にしたがって、接続した機器に合わせて設定を行ってください。

画面表示モード/入力信号方式の設定

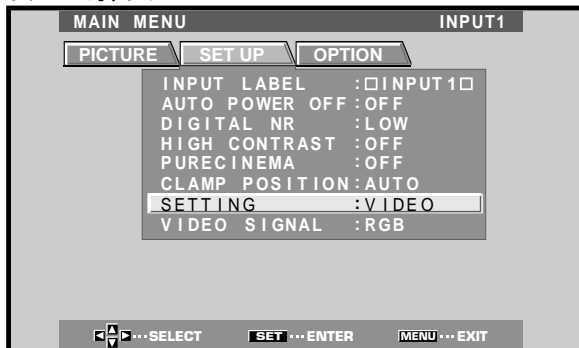
- 1 接続パネルの「MAIN POWER」スイッチを押して、本機の電源を入れる
STANDBY/ONインジケーターが赤に点灯します。
- 2 「STANDBY/ON」ボタンを押して、本機を動作状態にする
STANDBY/ONインジケーターが緑に変わります。
- 3 INPUT1、INPUT2またはINPUT5を選ぶ
- 4 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする
メニュー画面が表示されます。



- 5 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



- 6 「▲/▼」ボタンを押して、「SETTING」を選び、「SET」ボタンを押す。

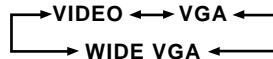


- 7 「◀/▶」ボタンを押して、表示モードを選ぶ

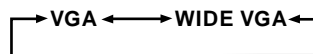


パソコン以外の機器を接続しているときは「VIDEO」を選びます。

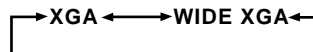
- ①入力信号が水平31.5kHz/垂直60Hzのときは「◀/▶」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。
INPUT1またはINPUT2のとき



INPUT5のとき



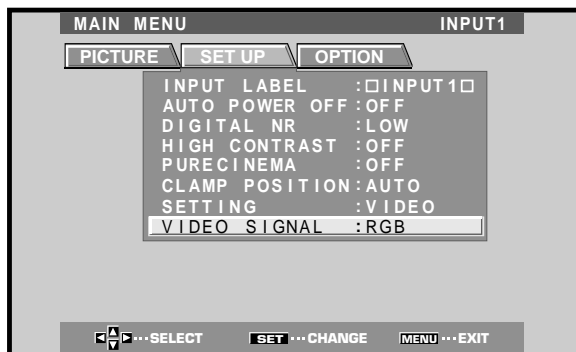
- ②入力信号が水平48.4kHz/垂直60Hzまたは水平56.5kHz/垂直70Hzのときは「◀/▶」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



ご注意

操作6～7は、①水平31.5kHz/垂直60Hzの信号入力時、②水平48.4kHz/垂直60Hzまたは水平56.5kHz/垂直70Hzの信号入力時のみ設定が必要です。その他の周波数の信号入力時は、自動設定のため設定する必要がありません。（「SETTING」の項目は表示されません。）

- 8 パソコン以外の機器を接続しているとき（「VIDEO」を選んだとき）は、「▲/▼」ボタンを押して「VIDEO SIGNAL」を選ぶ



- 9 「SET」ボタンをくり返し押して、入力する信号方式を選ぶ

「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



以下の表で、接続に合った設定を確認してください。

「SETTING」、「VIDEO SIGNAL」の設定は以下のように行ってください。

接続した機器	SETTING	VIDEO SIGNAL
DVDプレーヤーなどのコンポーネント映像出力	VIDEO	COMPONENT
RGB出力端子付きのビデオデッキなどのRGB映像出力	VIDEO	RGB
パソコンのRGB映像出力	VGA WIDE VGA XGA WIDE XGA	設定できません

10 設定が終わったら、「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

- 接続後の設定は、各入力(INPUT1またはINPUT2)ごとに行ってください。
- パソコン信号を入力しているとき、または「SETTING」で「VIDEO」以外を選んだときは、「VIDEO SIGNAL」の設定はできません。

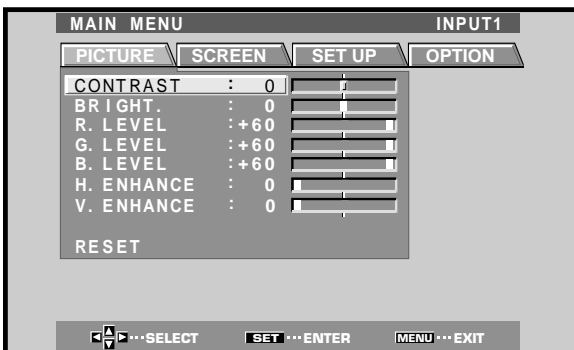
CLAMP POSITIONの設定

アナログRGB信号を入力する場合、信号によっては画面が白っぽくなったり、緑がかかることがあります。このような場合は、「CLAMP POSITION」を「LOCKED」に設定してください。

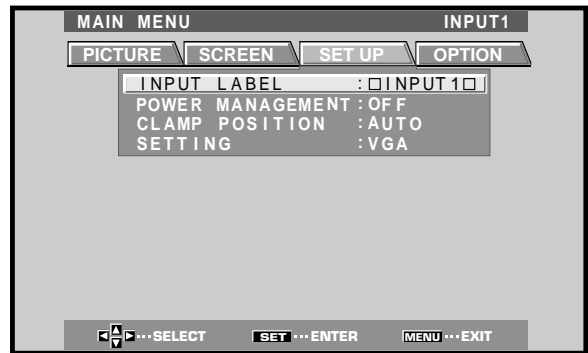
- 通常は「AUTO」に設定しておきます。

CLAMP POSITIONの設定をする

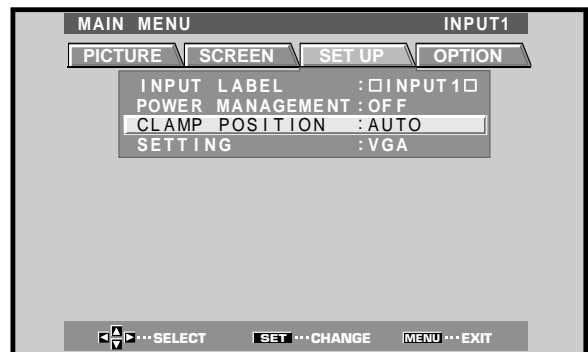
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする
メニュー画面が表示されます。



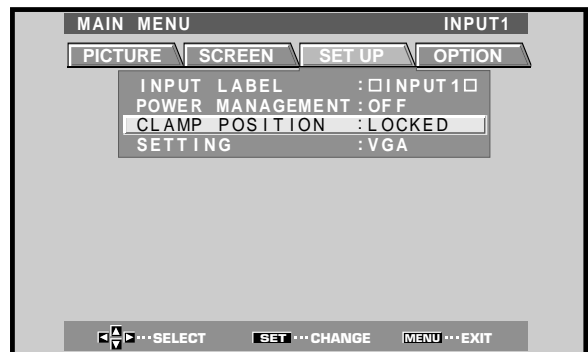
2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、「CLAMP POSITION」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して「LOCKED」を選ぶ



「SET」ボタンを押すたびに次のようになります。



5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

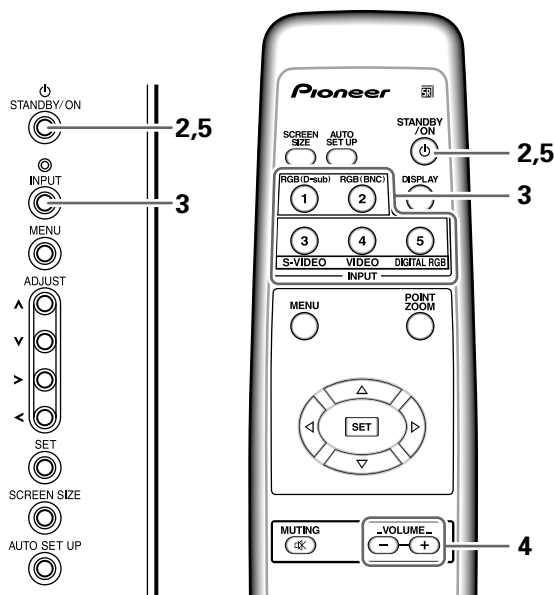
- 「CLAMP POSITION」の設定は、各入力(INPUT1またはINPUT2)ごとに行ってください。
- この設定をする場合、お使いの機器の信号出力を十分に確認してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をよくお読みください。

入力ソースを選ぶ

ここではプラズマディスプレイの基本的な操作方法を説明します。電源の入/切、動作状態とスタンバイ状態の切り換え、接続した機器の入力選択について記しています。

最初に確認してください

- 6ページからの「設置と接続」にしたがって、プラズマディスプレイとAV機器またはパソコンとが正しく接続されていること。
- 14ページからの「システムの設定」にしたがって、INPUT1、INPUT2またはINPUT5に接続した機器の入力信号に合わせて、画面上の設定が済ませてあること。これらの端子に何も接続していないときは画面上の設定は不要です。

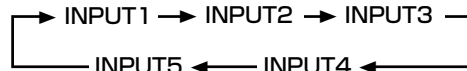


プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

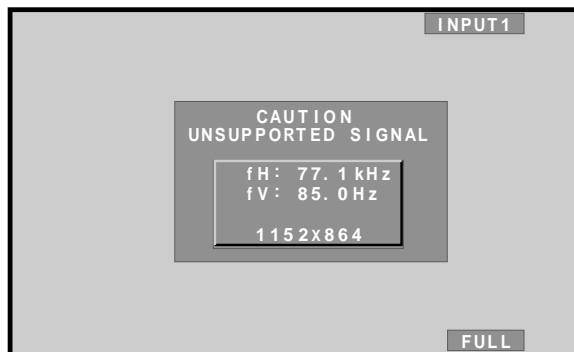
リモコン

- 1 プラズマディスプレイの後面の「MAIN POWER」スイッチを押して、主電源を入れる
STANDBY/ONインジケータが赤に点灯します。
- 2 「STANDBY/ON」ボタンを押して、プラズマディスプレイを動作状態にする
STANDBY/ONインジケータが緑に変わります。

- 3 リモコンの「INPUT」ボタン、またはプラズマディスプレイ本体の「INPUT」ボタンを押して、入力を選ぶ
プラズマディスプレイ本体側の操作の場合、「INPUT」ボタンを押すたびに次のように入力が切り換わります。



- メニュー画面の表示中、入力の切り換え動作を行うとメニュー画面はオフされます。
- プラズマディスプレイの対応外のパソコン信号が入力されたときは以下の表示が画面に出ます。

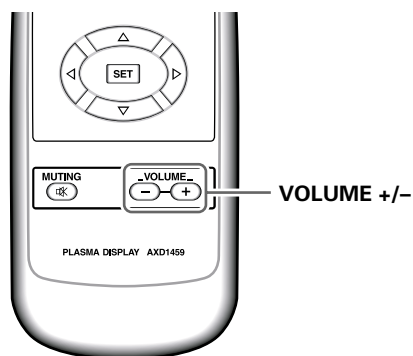


- 4 リモコンの「VOLUME (+/-)」ボタンで音量を調節する
音声を入力していないときは、この手順は不要です。
- 5 終了時は「STANDBY/ON」ボタンを押して、スタンバイ状態にする
STANDBY/ONインジケータが点滅(赤)し、スタンバイ状態になると点灯(赤)に変わります。
STANDBY/ONインジケータが点滅中(赤)は、操作できません。
- 6 プラズマディスプレイの「MAIN POWER」スイッチを押して、主電源を切る
主電源を切ってもSTANDBY/ONインジケータが点灯していることがありますが、これは回路に充電された電荷が若干残っているためでしばらくすれば消えます。

ご注意

同じ映像を長い間表示しないでください。
画面にゴーストや残像などが現れる「焼き付き」という現象の原因となります。

音量を調整する

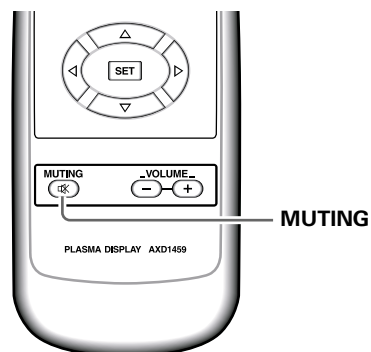


リモコンの「VOLUME」ボタンを押す

「VOLUME+」ボタンまたは「VOLUME-」ボタンを押して、スピーカーから出る音量を調整します。



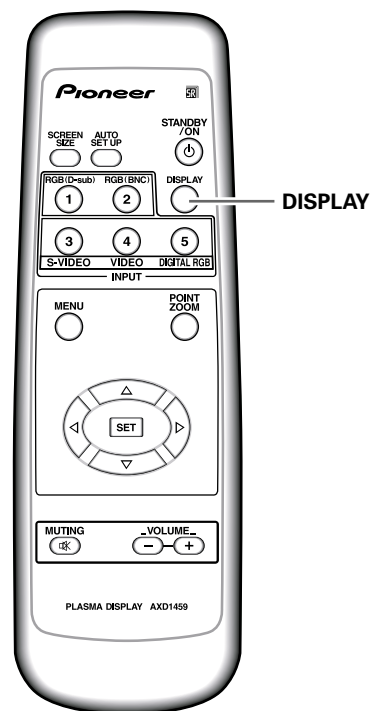
一時的に音を消したいとき



リモコンの「MUTING」ボタンを押す

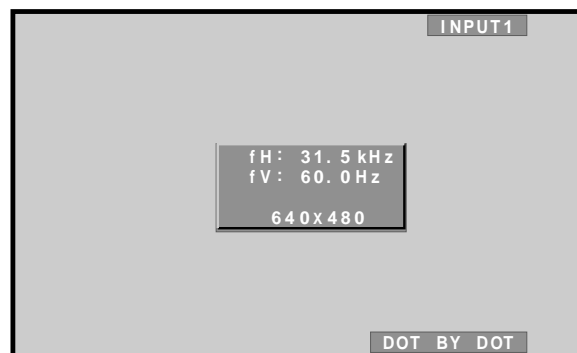
もう一度「MUTING」ボタンを押すと音が出ます。「MUTING」ボタンを押して約8分経つと、消音状態は自動的に解除されます。このとき、音量を最小の状態にして解除します。「VOLUME+」ボタンまたは「VOLUME-」ボタンを押して、好みの音量にしてください。

現在の状態を確認したいとき



リモコンの「DISPLAY」ボタンを押す

現在選択されている入力、画面サイズ、水平／垂直周波数が約3秒間表示されます。



ご注意

周波数表示は実際と異なることがあります。

画面サイズの切り換え

プラズマディスプレイは、様々な縦横比の画面モードに対応しています。見ている映像に合った正しい画面モードでご覧になることをお勧めします。これらの機能は、映像をワイドな画面いっぱいに映すものですが、ご使用にあたっては、制作者の意図を十分に尊重してお楽しみいただくことをお勧めいたします。

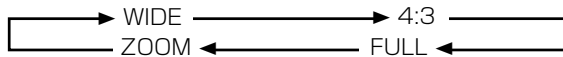
画面サイズを切り換えるには

ビデオ信号入力時

画面に映る映像の大きさや写し出す映像の範囲を、4種類の画面サイズに切り換えることができます。

「SCREEN SIZE」ボタンを押して、画面サイズを選ぶ

「SCREEN SIZE」ボタンを押すたびに画面モードが次のように切り換わります。



ご注意

- WIDE、ZOOMまたはFULLの画面モードを使って、4：3映像を画面いっぱいに引き伸ばすと、映像の一部に欠けやゆがみが生じることがあります。
- プラズマディスプレイを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、WIDE、ZOOMまたはFULLの画面モードを利用して、画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法により保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ビデオ信号入力時

画像の見え方	
<p>WIDE</p>	<p>ニュースやスポーツ番組などを見るときに適しています。映画やスポーツ番組などでは、広がり感のある迫力の映像が楽しめます。</p>
<p>4:3</p>	<p>ニュースやドラマ番組などを見るときに適しています。映像ソフト本来の画面枠で見ることができます。(プラズマディスプレイは画面の焼き付きを防ぐため、電源を入れるたびに画面枠の表示の位置を少しずつ変えています。)</p>
<p>FULL</p>	<p>ワイド画面用の映像(スクイーズ)に適しています。</p>
<p>ZOOM</p>	<p>劇場サイズの映像のうち、主に「シネスコ(シネマスコープ)サイズ」の映像を見るときなどに適しています。より広がり感のある迫力の映像が楽しめます。</p>

パソコン信号入力時の画面サイズについてはプラズマディスプレイ本体の取扱説明書をご覧ください。

画面の位置を上下に動かすには

ビスタサイズの映画などを、ZOOMの画面サイズで見ると、映像が画面の中央からはずれたり、はみ出す場合があります。このようなときは、「▲/▼」ボタンで見やすい画面位置に調整してください。

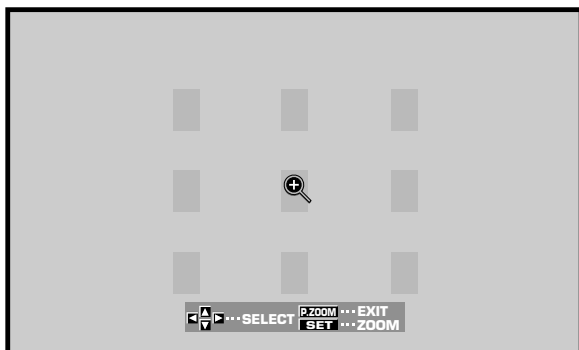
入力信号に応じて画面サイズを自動的に切り換える

ハイビジョン映像信号またはHDTV映像信号(1125i、750p、1125p)を検出すると、自動的に画面サイズが「FULL」に切り換わります。

画面を部分的に拡大する (POINT ZOOM)

プラズマディスプレイは画面の9カ所(AREA 1~AREA 9)のうちの1カ所を選び、1.5倍、2倍、3倍、4倍の拡大表示することができます。拡大表示時に「▲/▼/◀/▶」ボタンで表示場所を上下左右に移動できます。

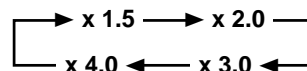
1 リモコンの「POINT ZOOM」ボタンを押す



2 「▲/▼/◀/▶」ボタンを押して、AREA 1~AREA 9を選ぶ

3 「SET」ボタンを押して拡大率を選ぶ

「SET」ボタンを押すたびに次のように拡大率が切り換わります。



- 拡大率を変えると、画面センターを中心に拡大します。
- 「▲/▼/◀/▶」ボタンで表示場所を上下左右に移動できます。
- 3秒間何も操作しないと、操作表示画面が消えます。再度「SET」「▲/▼/◀/▶」ボタンを押すと拡大率の変更、表示位置の変更ができます。

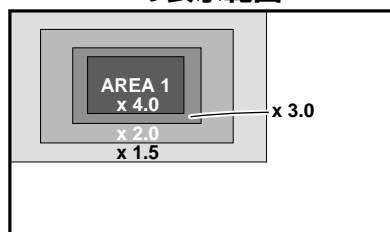
4 再びリモコンの「POINT ZOOM」ボタンを押すと、部分拡大(POINT ZOOM)は終了する

信号が変わったとき、メニューを開いたとき、INPUTが切り換わったときも部分拡大(POINT ZOOM)が終了します。

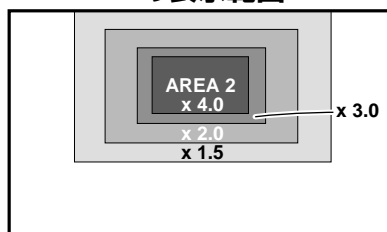
ご注意

- POINT ZOOMをオンすると画面サイズは「FULL」に切り換わります。
- POINT ZOOMはパソコン信号入力時のみ可能です。

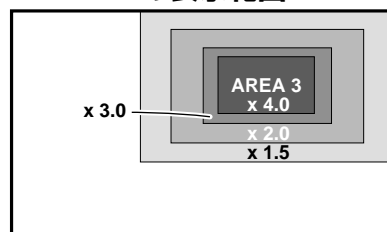
AREA 1の表示範囲



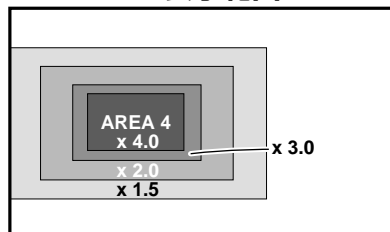
AREA 2の表示範囲



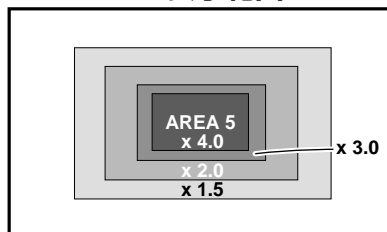
AREA 3の表示範囲



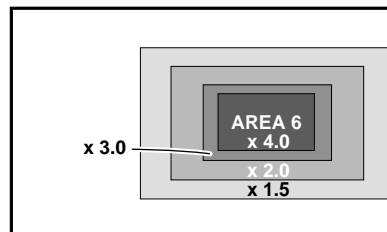
AREA 4の表示範囲



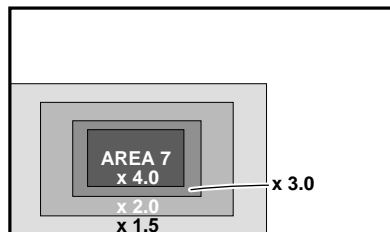
AREA 5の表示範囲



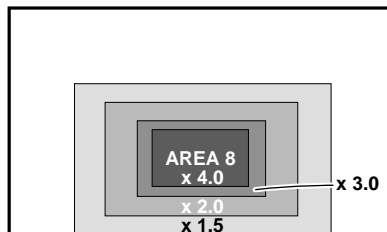
AREA 6の表示範囲



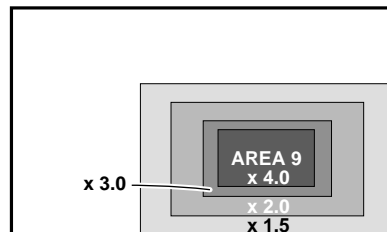
AREA 7の表示範囲



AREA 8の表示範囲



AREA 9の表示範囲



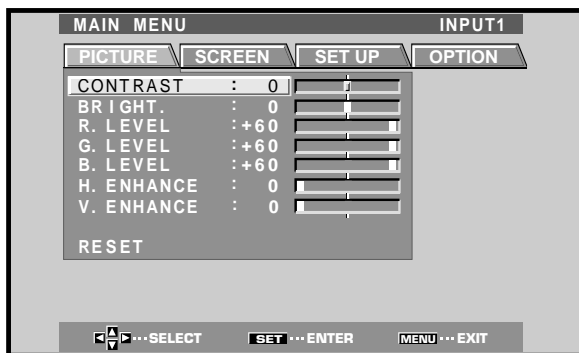
電源を自動的に切る

プラズマディスプレイはパワーマネジメント機能とオートパワーオフ機能により、同期信号を検知しない場合、自動的に省電力状態にすることができます。(これらの機能が働く前に、画面にお知らせの表示が出ます。)

ご注意

- パワーマネジメント機能の設定はINPUT 1 にパソコン信号が入力されているとき、またはINPUT 5 を選んでいるときのみ可能です。
- オートパワーオフ機能の設定はそのほかの場合のみ可能です。
- 長時間使用しない場合は必ずプラズマディスプレイの主電源を切ってください。

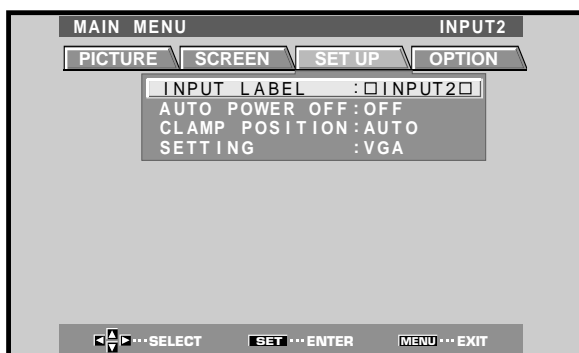
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



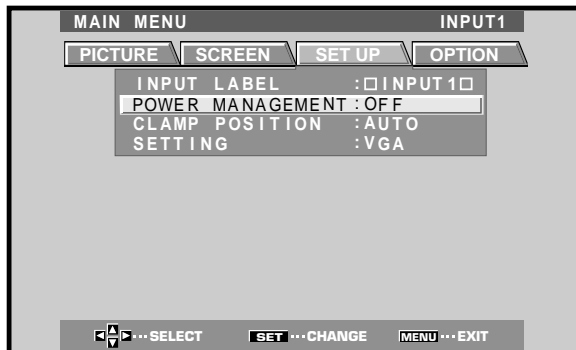
2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ 「INPUT 1」にパソコン信号が入力されているとき、またはINPUT 5 のとき



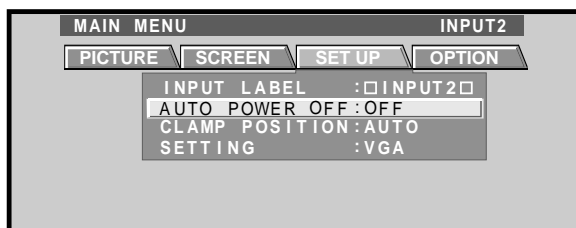
「上記以外の場合」



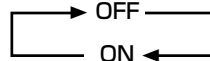
3 「▲/▼」ボタンを押して、「POWER MANAGEMENT」または「AUTO POWER OFF」を選ぶ 「INPUT 1」にパソコン信号が入力されているとき、またはINPUT 5 のとき



「上記以外の場合」



4 「SET」ボタンを押して、「POWER MANAGEMENT」または「AUTO POWER OFF」の設定を選ぶ



- 「OFF」を選ぶと、同期信号の有無にかかわらずプラズマディスプレイは動作状態が続きます。
- 「POWER MANAGEMENT: ON」を選ぶと、同期信号を検知しないと、約8秒間お知らせを表示した後プラズマディスプレイの電源が省電力状態(* 1)になり、STANDBY/ON インジケータが点滅(緑)します。その後同期信号の入力が再開されると、プラズマディスプレイは動作状態に戻ります>(* 2)
* 1 INPUT 1 のときは約1W、INPUT 5 のときは約50W消費します。
* 2 G ON SYNCまたはコンポジットSYNC入力時を除きます。
- 「AUTO POWER OFF: ON」を選ぶと、8分以上同期信号を検知しないと30秒間画面にお知らせの表示をした後、プラズマディスプレイの電源がスタンバイ状態になります。

5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

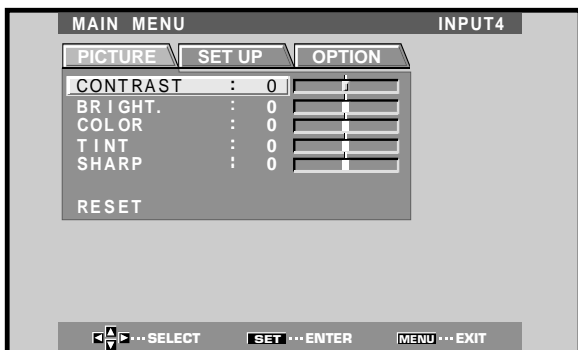
「POWER MANAGEMENT」「AUTO POWER OFF」の設定は、各入力(INPUT 1～INPUT 5)ごとに行ってください。

動作状態に戻すには

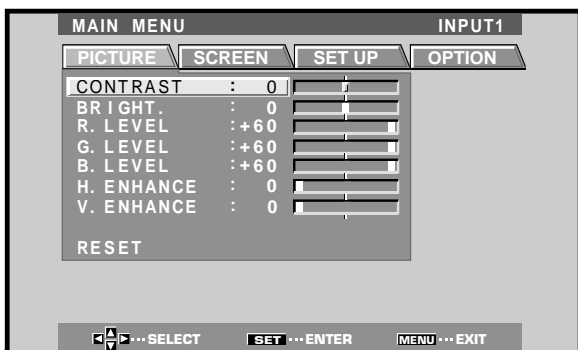
- 「POWER MANAGEMENT: ON」(省電力状態)から動作状態に戻すには
パソコンを動作させるか、プラズマディスプレイ本体またはリモコンの「INPUT」ボタンを押します。
- 「AUTO POWER OFF: ON」(電源スタンバイ状態)から動作状態に戻すには
プラズマディスプレイ本体またはリモコンの「STANDBY/ON」ボタンを押します。

画質を調整する

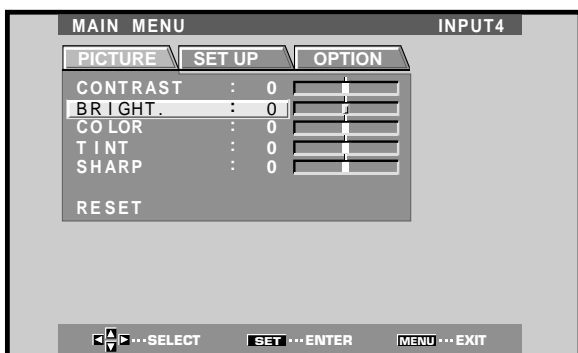
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



INPUT1、INPUT2またはINPUT5からパソコン信号を入力しているときは次のような画面が表示されます。



2 「▲/▼」ボタンを押して、調整する項目を選び、「SET」ボタンを押す



3 「◀/▶」ボタンを押して、好みの画質に調整する



4 「SET」ボタンを押す

調整値がメモリーされ、手順2の画面に戻ります。

5 調整が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

この調整は、各入力(INPUT1～INPUT5)、および各信号ごとに行ってください。

「PICTURE」の調整項目

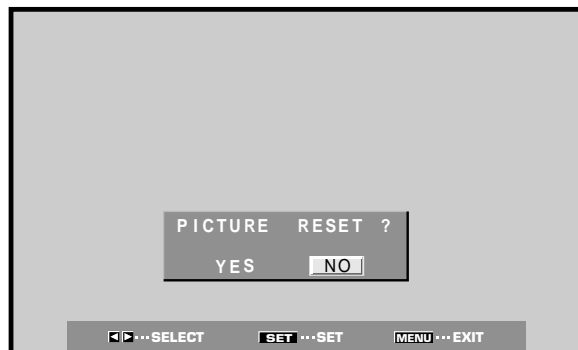
「PICTURE」から以下の項目を選択し調整します。

- CONTRAST …… 周囲の明るさに合わせて、見やすくなるようにする
- BRIGHT. …… 画面の暗い部分が見やすくなるようにする
- COLOR …… 好みの濃さにする(やや濃いめに設定すると自然に見えます)
- TINT …… 肌色がきれいに見えるようにする
- SHARP …… 通常はセンターでご使用ください。柔らかい感じを出したいときはセンターより左側に、シャープな感じにしたいときは右側に設定してください。

「PICTURE」の調整内容を元の状態に戻すには

調整をしすぎたり映像が不自然になってしまったときは、調整を続けるよりも「PICTURE」の調整内容をいったん元の状態に戻した方がかえってうまくいく場合があります。

1 左の手順2で、「▲/▼」ボタンを押して、「RESET」を選び、「SET」ボタンを押す



2 「◀/▶」ボタンを押して、「YES」を選び、「SET」ボタンを押す

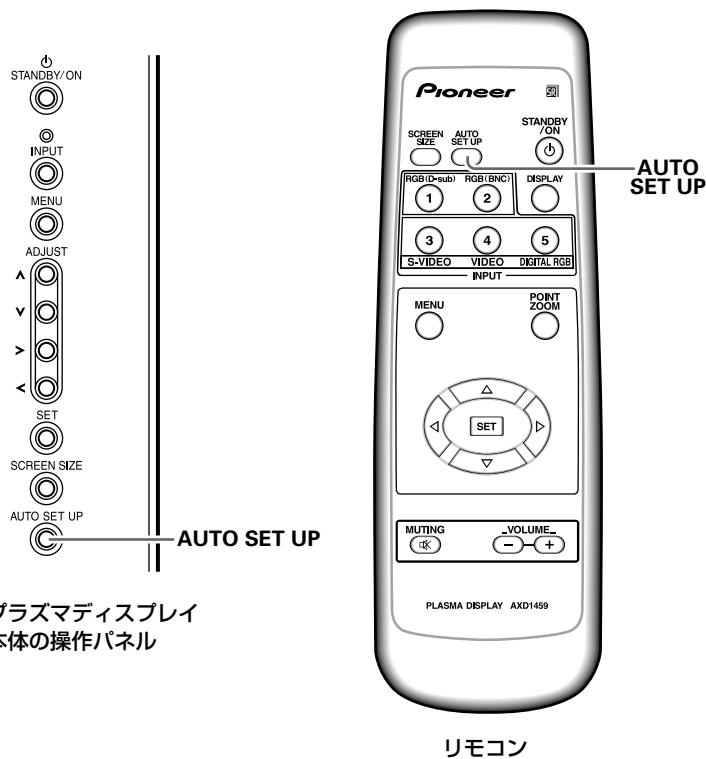
「PICTURE」の調整値はすべて工場出荷時の値に戻ります。

画面の位置やクロックを調整する<自動調整>

リモコンまたはプラズマディスプレイ本体の「AUTO SET UP」ボタンを押すことにより、自動的に映像に合った画面の位置やクロックに調整することができます。

ご注意

- この調整はINPUT1またはINPUT2にパソコン信号入力時のみ可能です。
- この調整は、各入力(INPUT1またはINPUT2)および各信号ごとに行ってください。



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

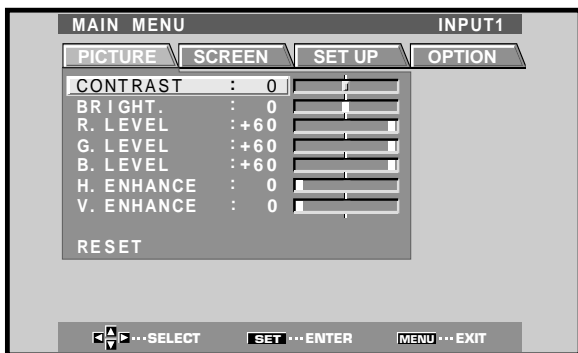
リモコンまたはプラズマディスプレイ本体の「AUTO SET UP」ボタンを押す

- 輝度が低い信号など入力されている信号によってはうまく調整できない場合があります。そのような場合は次項の「画面位置やクロックを調整する<手動調整>」を参照の上、調整してください。

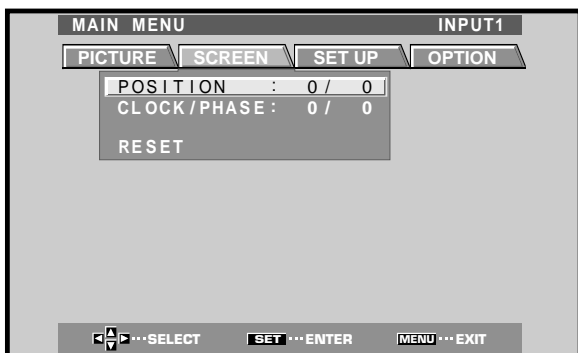
画面の位置やクロックを調整する<手動調整>

INPUT1、INPUT2またはINPUT5にパソコン信号を入力しているときに調整します。(INPUT3またはINPUT4を選んでいるときやビデオ信号を入力しているときは、このページの調整はできません。)

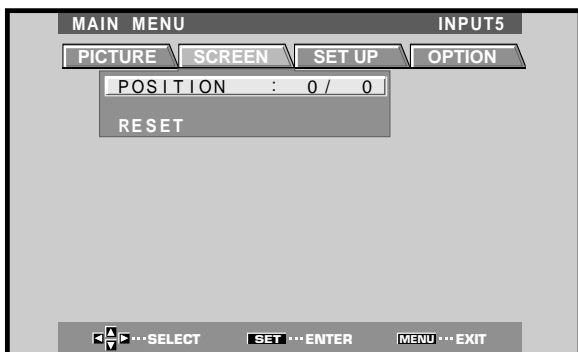
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



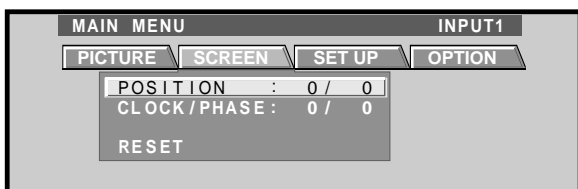
2 「◀/▶」ボタンを押して、「SCREEN」を選ぶ



INPUT5を選択しているときは次のような画面が表示され、「POSITION」の調整のみ可能です。



3 「▲/▼」ボタンを押して、調整する項目を選び、「SET」ボタンを押す



4 「◀/▶」ボタンを押して、調整する



- 「V.POSITION」「PHASE」は、「▲/▼」ボタンを押して調整します。

5 「SET」ボタンを押す

調整値がメモリーされ、手順3の画面に戻ります。

6 調整が終わったら「MENU」ボタンを押して通常画面に戻す

ご注意

この調整は、各入力(INPUT1、INPUT2またはINPUT5)および各信号ごとに行ってください。

「SCREEN」の調整項目

「SCREEN」から以下の項目を選択し調整します。

POSITION

H.POSITION …… 映像の位置を左右に移動する

V.POSITION …… 映像の位置を上下に移動する

CLOCK/PHASE

CLOCK …… 文字のつぶれやノイズがあるとき調整する。この調整を行うと、入力中の映像信号に対応するプラズマディスプレイ内のクロック周波数が調整されます。

PHASE …… 文字のちらつきや色ずれがあるとき調整する。この調整を行うと、「CLOCK」で調整したクロックの位相が調整されます。

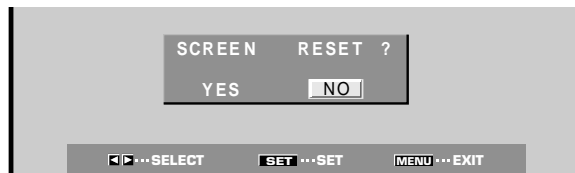
ご注意

- 「CLOCK」の調整を行うと、「H. POSITION」の再調整が必要になることがあります。
- 「SCREEN」の調整項目を過度に行くと、正常な画面にならなくなる場合があります。

「SCREEN」の調整内容を元の状態に戻すには

調整をしすぎたり映像が不自然になってしまったときは、調整を続けるよりも「SCREEN」の調整内容をいったん元の状態に戻した方がかえってうまくいく場合があります。

1 左の手順3で、「▲/▼」ボタンを押して、「RESET」を選び、「SET」ボタンを押す



2 「◀/▶」ボタンを押して、「YES」を選び、「SET」を押す

「SCREEN」の調整値はすべて工場出荷時の値に戻ります。

入力表示を書き換える(INPUT LABEL)

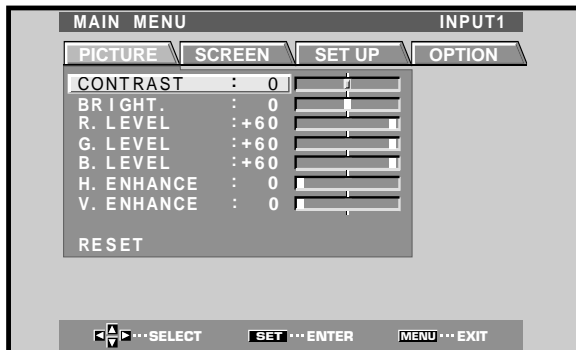
入力を切り換えた際に画面に表示される内容を書き換えることができます。

例えば、ふつうは「INPUT1」と表示されるところを、「COMPUTER」というように、接続している機器の名前で表示させることができます。(表示文字は最大8文字まで)

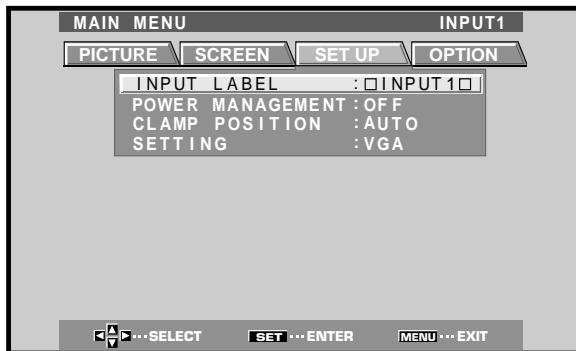
例：「INPUT1」という入力切換の表示を「COMPUTER」と書き換える場合

1 「INPUT」ボタンを押して、入力切換を「INPUT1」にする

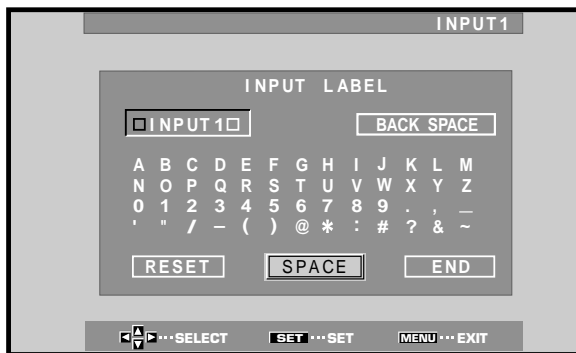
2 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



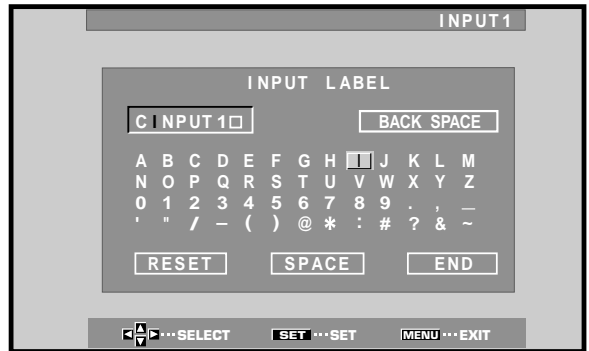
3 「←/→」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



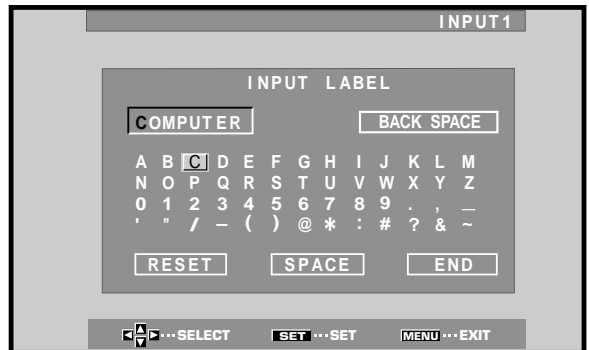
4 「SET」ボタンを押して、「INPUT LABEL」を選ぶ



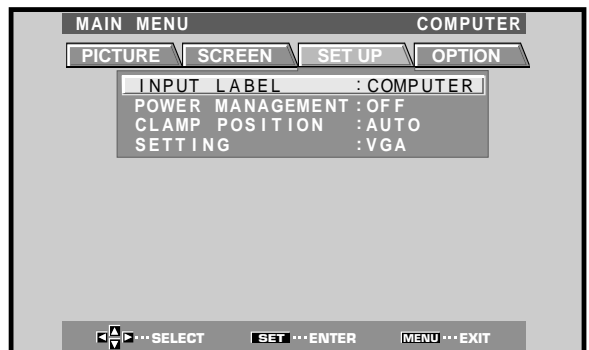
5 「←/→/▲/▼」ボタンを押して文字(例ではC)を選び、「SET」ボタンを押す(これをくり返して8文字を選ぶ)



- 使える文字はメニュー画面に表示される52種類です。
- 文字を選んで「SET」ボタンを押すと、入力ポイントが1文字進みます。
- 文字を間違えた場合は、「BACK SPACE」を選んで「SET」ボタンを押すと、入力ポイントが1文字戻ります。
- 表示を初期設定(例はINPUT1)に戻す場合は、「RESET」を選んで「SET」ボタンを押してください。



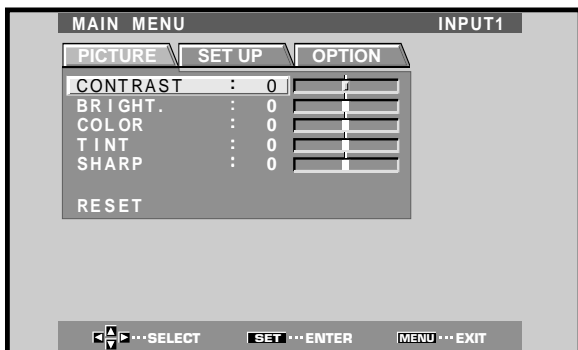
6 すべての入力が終わったら、「←/→/▲/▼」ボタンを押して「END」を選び、「SET」ボタンを押す



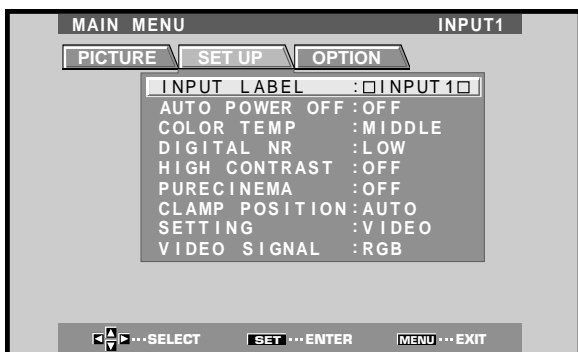
7 「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

色温度を変更する(COLOR TEMP)

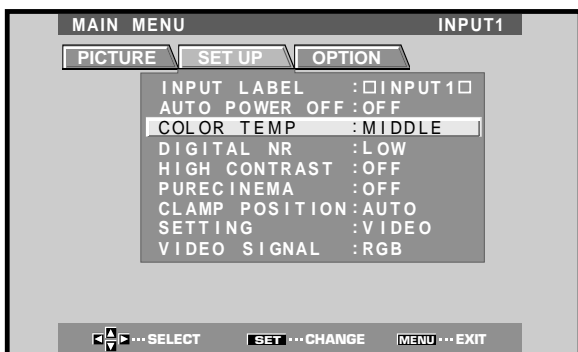
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ

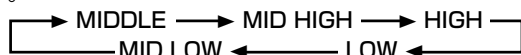


3 「▲▼」ボタンを押して、「COLOR TEMP」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、好みの色温度を選ぶ

工場出荷時は、「MIDDLE」に設定されています。「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

色温度の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力(INPUT1～INPUT4)ごとに行ってください。

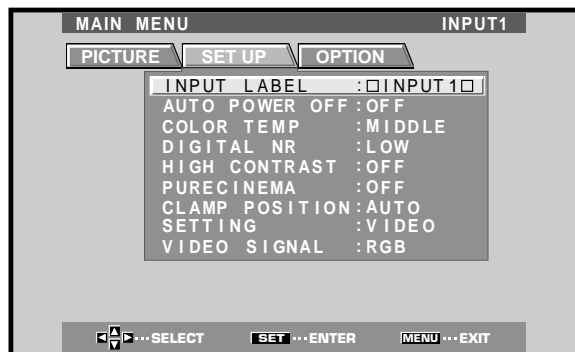
映像のノイズ感を軽減する(DIGITAL NR)

映像のノイズ感が気になるときに設定します。

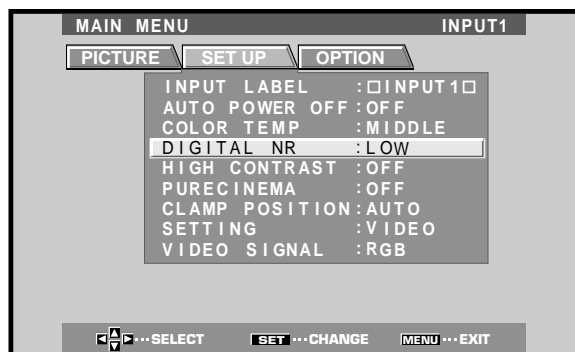
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ

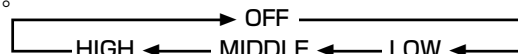


3 「▲▼」ボタンを押して、「DIGITAL NR」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、「DIGITAL NR」の設定を選ぶ

工場出荷時は、「LOW」に設定されています。「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



● 「LOW」→「MIDDLE」→「HIGH」の順に効果が大きくなります。

5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「DIGITAL NR」の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力(INPUT1～INPUT4)ごとに行ってください。

ピュアシネマの設定をする

ピュアシネマ機能は、映画フィルムなど毎秒24コマで撮影された映像信号を自動判別し、映画などをより高画質でお楽しみいただくために、プログレッシブの映像信号に変換する機能です。通常ピュアシネマ機能を使用するときは「HQ」に設定してください。

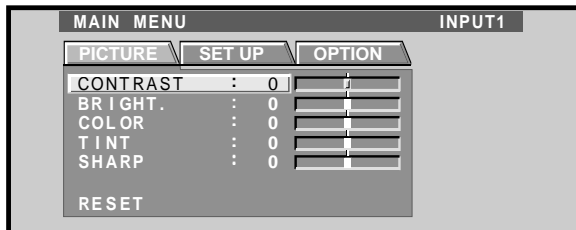
映像処理のため音声信号と時間差が発生しますので、気になるときは「STANDARD」にしてください。「OFF」(工場出荷状態)に設定しますと、通常のプログレッシブの変換のみを行います。

ご注意

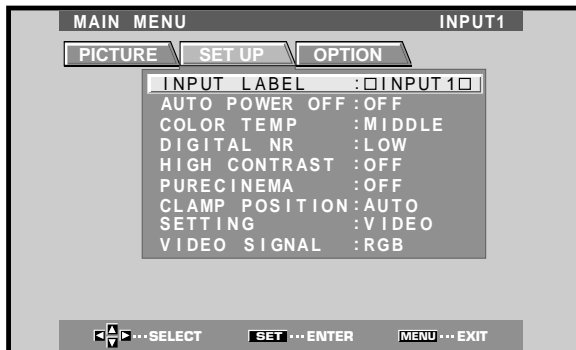
ピュアシネマの設定は525i(480i)またはNTSCの信号入力時のみ可能です。

また設定は各入力(INPUT1~INPUT4)ごとに行ってください。

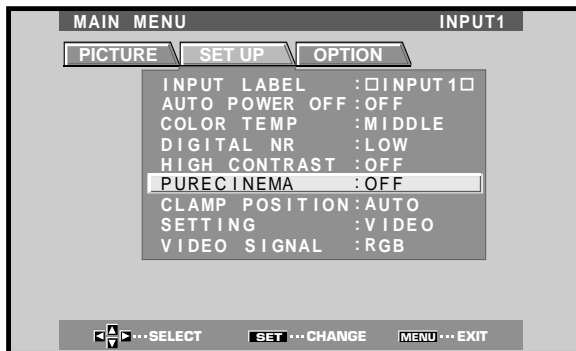
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ

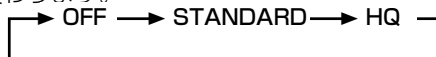


3 「▲/▼」ボタンを押して、「PURECINEMA」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、ピュアシネマの設定を選ぶ

「SET」ボタンを押すたびに画面モードが次のように切り換わります。



5 「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

カラーシステムを設定する

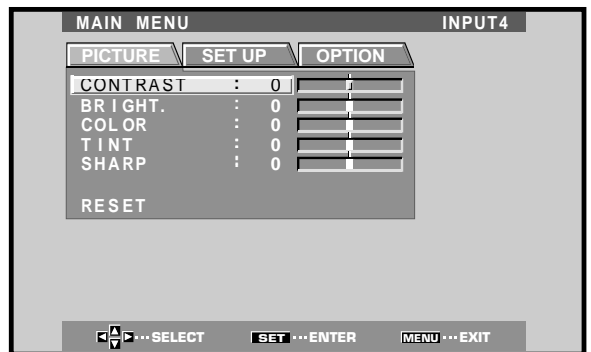
INPUT3またはINPUT4は、世界各国のさまざまなテレビ方式に対応し、自動的に判別しています。

通常は「COLOR SYSTEM:AUTO(自動判別)」に設定しますが、ダビングを繰り返したVTR信号などの場合、きちんと再生できない(色が付かないなど)ことがあります。このような場合は、入力する信号にあわせて設定を行います。

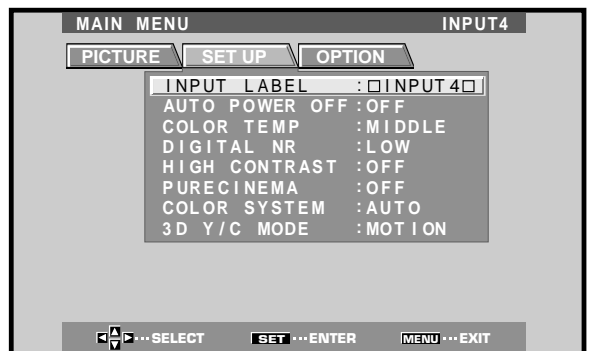
ご注意

設定はINPUT3またはINPUT4のおののについて行ってください。また、あらかじめ入力する信号が判っている場合は、設定を固定しておくことでスムーズな信号処理が可能となり、入力切り換え時間の短縮や信号の誤判別を防ぐことができます。

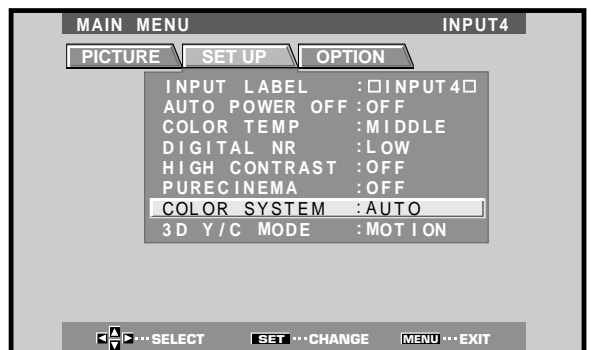
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



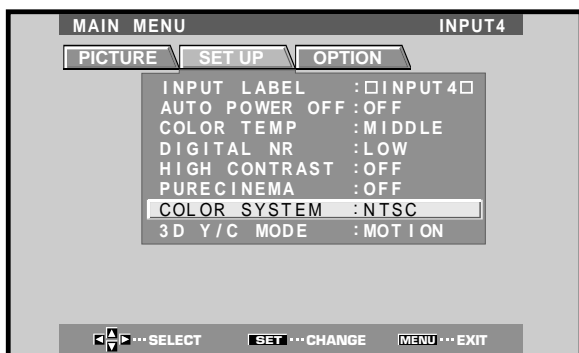
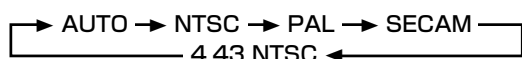
2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、「COLOR SYSTEM」を選ぶ



- 4 「SET」ボタンを押して適切なテレビ方式を選ぶ
「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

動きの早い映像を見る (3D Y/C MODE)

スポーツ番組など、動きの早い映像を見るときに「MOTION」に設定しておく、映像のぼけを軽減し、よりクリアな映像が楽しめます。

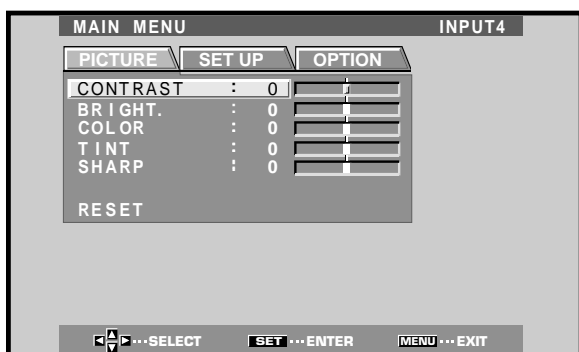
- 動きの早い映像を見るとき以外は「STILL」に設定してください。

ご注意

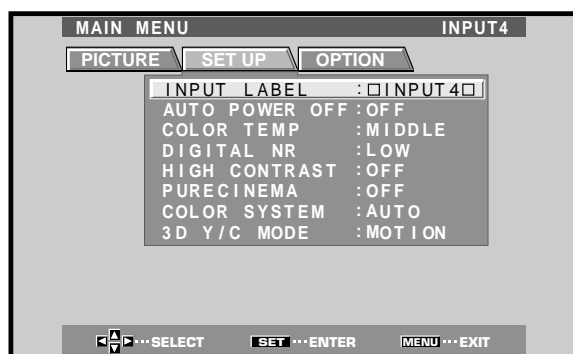
「3D Y/C MODE」の設定は、次の条件をすべて満たしているときに限り可能です。

- ・ INPUT4が選ばれているとき。
- ・ 「COLOR SYSTEM」が「AUTO」設定中に、NTSC信号が入力されたとき、または「COLOR SYSTEM」が「NTSC」に設定されているとき。

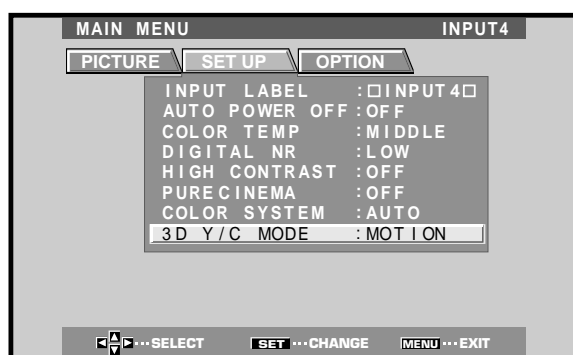
- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする
メニュー画面が表示されます。



- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



- 3 「▲/▼」ボタンを押して、「3D Y/C MODE」を選ぶ



- 4 「SET」ボタンを押して、「MOTION」を選ぶ
工場出荷時は「MOTION」に設定されています。
「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



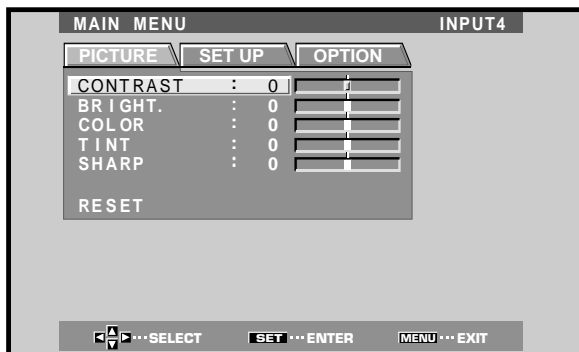
- 5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

明るい場所に設置するときは (HIGH CONTRAST)

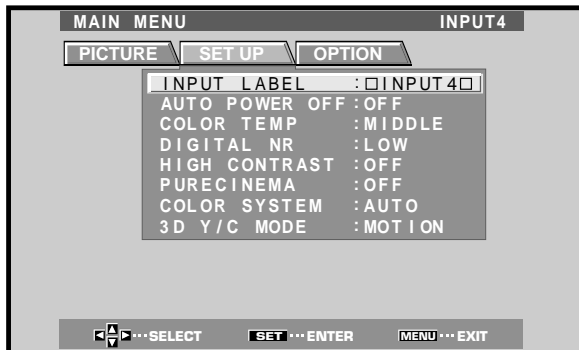
「ON」にしておくと、明るい場所でもくっきりとしたビデオ映像が楽しめます。

- 明るい場所に設置するとき以外は「OFF」に設定してください。

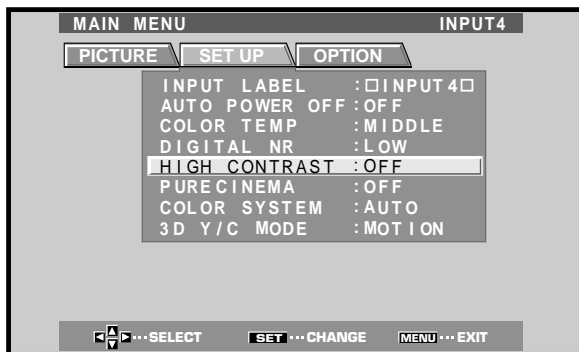
- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする
メニュー画面が表示されます。



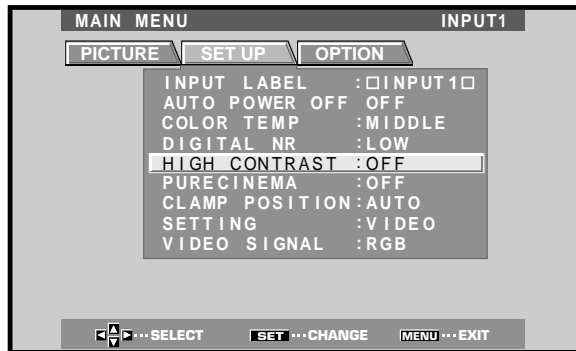
- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



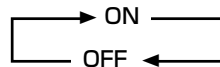
- 3 「▲/▼」ボタンを押して、「HIGH CONTRAST」を選ぶ



INPUT1またはINPUT2のときは、次のような画面が表示されます。



- 4 「SET」ボタンを押して、「ON」を選ぶ
工場出荷時は「OFF」に設定されています。
「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

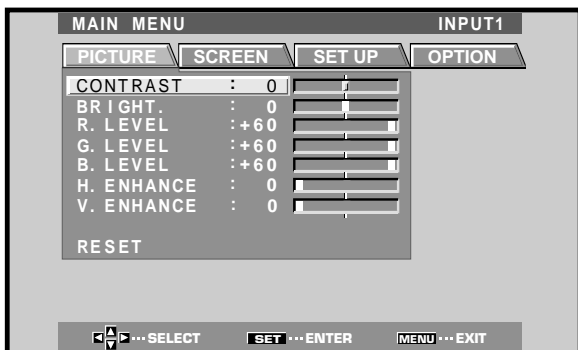
ご注意

「HIGH CONTRAST」の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は各入力(INPUT1～INPUT4)ごとに行ってください。

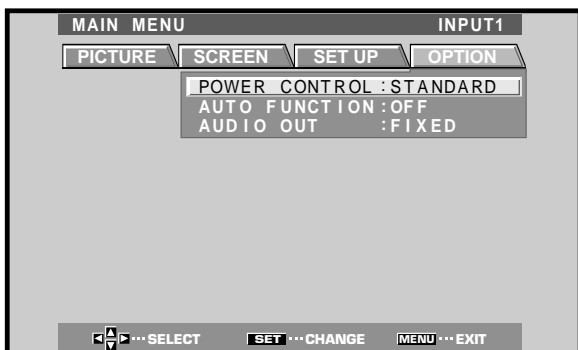
自動で入力を切り換える (AUTO FUNCTION)

プラズマディスプレイはオートファンクション機能により、設定した入力で信号が検出されたとき、自動的にその入力で切り換えることができます。

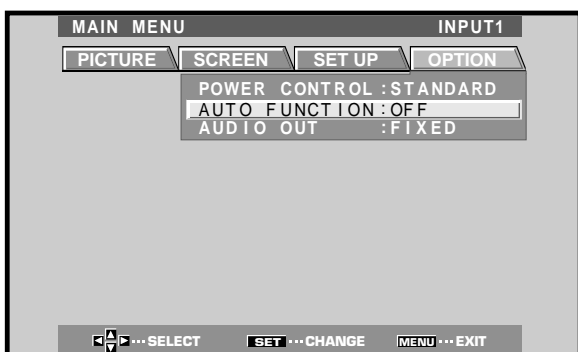
- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする
メニュー画面が表示されます。



- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「OPTION」を選ぶ

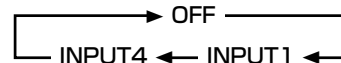


- 3 「▲/▼」ボタンを押して、「AUTO FUNCTION」を選ぶ



- 4 「SET」ボタンを押して、入力を選ぶ

工場出荷時は「OFF」に設定されています。
「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 「OFF」を選ぶとオートファンクション機能は働きません。
- 「INPUT1」または「INPUT4」を選ぶと、選んだ入力への信号を検出したとき、自動的にその入力で切り換えます。このあと、リモコンまたはプラズマディスプレイ本体の「INPUT」ボタンを押しても入力は切り換わりません。

また、オートファンクションで入力が切り換わった後、信号入力が無くなると、オートファンクション機能により切り換わる前の入力へ戻ります。

- 5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

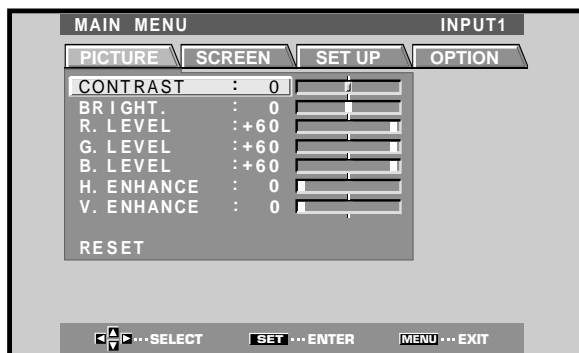
ご注意

「INPUT1」はセパレートSYNCまたはコンポジットSYNCアナログRGB信号が入力されたときのみオートファンクション機能が働きます。(G ON SYNCまたはコンポーネント映像信号入力時は働きません。)

オーディオ出力について(AUDIO OUT)

AUDIO OUTPUT端子から得られる音声出力の音量を、固定(FIXED)、ボリューム連動(VARIABLE)から選べます。

- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする
メニュー画面が表示されます。



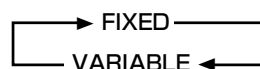
- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「OPTION」を選ぶ



- 3 「▲/▼」ボタンを押して、「AUDIO OUT」を選ぶ



- 4 「SET」ボタンを押して、オーディオ出力の設定を選ぶ
工場出荷時は「FIXED」に設定されています。
「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 「FIXED」を選ぶとプラズマディスプレイの「VOLUME」を調整してもオーディオ出力の音量は変化しません。
- 「VARIABLE」を選ぶと「VOLUME」の調整値に合わせてオーディオ出力の音量が変化します。

- 5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「AUDIO OUT」の設定は、全ての入力(INPUT1～INPUT5)に共通した設定項目です。

仕様

本体

外形寸法

..... 243.8 (幅) × 23.6 (高さ) × 144 (奥行) mm

質量 0.3 kg

動作条件温度 0~40°C

入出力端子

映像系

INPUT3

(入力)

S端子(ミニDIN4ピンコネクタ)

- Y/Cセパレート映像信号
Y... 1Vp-p/75Ω/同期負
C... 0.286Vp-p/75Ω (NTSC)
0.3Vp-p/75Ω (PAL)

INPUT4

(入力)

BNC端子

- コンポジット映像信号
1Vp-p/75Ω/同期負

(出力)

BNC端子

75Ω/バッファ内蔵

INPUT5

(入力)

DVI-D 24ピン端子

- デジタルRGB信号(DVI準拠 TMDS信号)
- ※ Micro soft社Plug & Play
(VESA DDC 2B)対応

音声系

(入力)

AUDIO INPUT (INPUT3用)

ピンジャック (x 2)

L/R...500mVrms/10kΩ以上

AUDIO INPUT (INPUT4用)

ピンジャック(x 2)

L/R...500mVrms/10kΩ以上

付属品

リモコンラベル 1

BNC/ピン変換アダプター 1

端子表示ラベル 1

取扱説明書 1

保証書 1

- 上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります

付録1

ビデオ信号対応一覧表 (INPUT1, INPUT2)

垂直周波数 fv (Hz)	水平周波数 fh (kHz)	信号方式	表示画面サイズ				備考
			4:3	FULL	ZOOM	WIDE	
50	15.625	コンポーネント RGB	○	○	○	○	625i (575i)/SDTV
	28.1	コンポーネント RGB	---	○	---	---	1125i (1080i)/HDTV
	31.25	コンポーネント RGB	○	○	○	○	625p (575p)/SDTV
60	15.734	コンポーネント RGB	○	○	○	○	525i (480i) /SDTV
	31.5	コンポーネント RGB	○	○	○	○	525p (480p) /SDTV
	33.75	コンポーネント	---	○	---	---	1125i (1080i) /HDTV
		RGB	---	○	---	---	1125i (1035i) /HDTV ハイビジョン映像信号
	45.0	コンポーネント RGB	---	○	---	---	750p (720p) /HDTV
67.5	コンポーネント RGB	---	○	---	---	1125p (1080p) /HDTV	

付録2

パソコン信号対応一覧表 (INPUT5) (PDP-503CMXと組み合わせた場合) で表示されている画面は選べません。

解像度 (ドットxライン)	垂直周波数	水平周波数	表示画面サイズ(ドットxライン)				備考
			DOT BY DOT	4:3	FULL	PARTIAL	
640x480	60Hz	31.5kHz	◎	○	○	---	
			640x480	1024x768	1280x768		
800x600	56Hz	35.1kHz	◎	○	○	---	
	800x600	1024x768	1280x768				
852x480	60Hz	37.9kHz	↑	↑	↑	---	
	60Hz	31.7kHz	◎	---	○	---	
852x480	60Hz	31.7kHz	852x480		1280x768		
1024x768	60Hz	48.4kHz	◎	---	○	---	
1024x768	60Hz	48.4kHz	1024x768		1280x768		
1152x864	60Hz	53.7kHz	---	△	△	---	
1152x864	60Hz	53.7kHz	---	1024x768	1280x768		
1280x768	56Hz	45.1kHz	◎	---	---	---	
	1280x768	45.1kHz	1280x768				
1280x768	60Hz	48.1kHz	↑	---	---	---	
	60Hz	48.1kHz	---	---	---	---	
1280x960	60Hz	60.0kHz	---	△	△	---	
1280x960	60Hz	60.0kHz	---	1024x768	1280x768		
1280x1024	60Hz	64.0kHz	---	△	△	◎	
1280x1024	60Hz	64.0kHz	---	960x768	1280x768	1280x768	

記号説明

◎：最適な映像が得られます。「SCREEN」(位置、周波数、位相)の調整が必要になる場合があります。

○：拡大映像のため、細かい情報が見にくくなります。

△：簡易表示です。細かい情報は再生されません。画面サイズは「～(TYPE)」と表示されます。

パソコン信号対応一覧表 (INPUT5) (PDP-433CMXと組み合わせた場合) で表示されている画面は選べません。

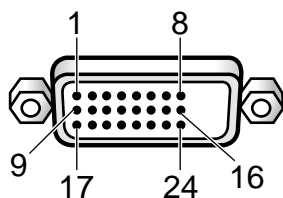
解像度 (ドットxライン)	垂直周波数	水平周波数	表示画面サイズ(ドットxライン)			備考
			DOT BY DOT	4:3	FULL	
640x480	60Hz	31.5kHz	◎ 640x480	○ 768x768	○ 1024x768	
800x600	56Hz	35.1kHz	◎ 800x600	△ 768x768	○ 1024x768	
	60Hz	37.9kHz	↑	↑	↑	
852x480	60Hz	31.7kHz	◎ 852x480		○ 1024x768	
1024x768	60Hz	48.4kHz	◎ 1024x768	△ 768x768		
1152x864	60Hz	53.7kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
1280x768	56Hz	45.1kHz			△ 1024x768	
	60Hz	48.1kHz			↑	
1280x960	60Hz	60.0kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
1280x1024	60Hz	64.0kHz		△ 720x768	△ 1024x768	

記号説明

- ◎ : 入力信号と画面のドット×ラインを1:1に対応させて再生します。
(注)PDP-433CMXは横長画素のため、実際の入力信号より横長に再生されます。
- : 拡大映像のため、細かい情報が見にくくなります。
- △ : 簡易表示です。細かい情報は再生されません。画面サイズは「～(TYPE)」と表示されます。

付録3

INPUT5(DVIコネクタ:メス)ピン配列



ピン No.	信号
1	T.M.D.S. Data2-
2	T.M.D.S. Data2+
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield
4	NC (未接続)
5	NC (未接続)
6	DDC Clock
7	DDC Data
8	NC (未接続)
9	T.M.D.S. Data1-
10	T.M.D.S. Data1+
11	T.M.D.S. Data1/3 Shield
12	NC (未接続)
13	NC (未接続)
14	+5V Power
15	GND
16	Hot Plug Detect
17	T.M.D.S. Data0-
18	T.M.D.S. Data0+
19	T.M.D.S. Data0/5 Shield
20	NC (未接続)
21	NC (未接続)
22	T.M.D.S. Clock Shield
23	T.M.D.S. Clock+
24	T.M.D.S. Clock-

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の幅と高さをアスペクト比と呼びます。通常のテレビでは4:3、ワイドテレビやハイビジョンテレビでは16:9です。

S端子(S VIDEO端子)

映像信号を輝度信号と色信号に分け、別々に伝送する端子のことです。コンポジット信号での入出力よりも再現性が優れています。

S映像信号

映像信号は、色を制御する色信号と明暗を制御する輝度信号の2種類で構成されています。これらの信号は、通常のビデオ機器では1つに組み合わせて「コンポジット信号」として扱われますが、S映像信号ではそれぞれが分離しており、混成による信号の品質の低下がありません。

コンポーネント映像信号

Y.CbCr、Y.PbPr、Y.B-Y.R-Yなど、輝度信号と色信号をそれぞれ単独の組み合わせで扱う映像信号の総称です。

単に「色差信号」と呼ぶこともあります。

G ON SYNC

R G B 信号のうち緑(G)信号に同期信号が組み合わさった形の映像信号です。

VGA

「Video Graphics Array」の略称です。通常は640×480の解像度を指します。

XGA

「Xtended Graphics Array」の略称です。通常は1024×768の解像度を指します。

DVI

「Digital Visual Interface」の略称です。

DDWG (Digital Display Working Group)が提唱したデジタルディスプレイ用のインターフェイス規格です。

Power ManagementはSun Microsystems Inc.の商標です。
 TMDsはSilicon Image Inc.の商標です。
 AppleおよびMacintoshは、Apple Computer Inc.の商標です。
 Microsoftは、Microsoft Corporationの商標です。
 VGAおよびXGAはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
 VESAおよびDDCはVideo Electronics Standards Associationの商標です。

保証とアフターサービスについて

保証書(別に添付してあります)について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

- **保証期間について**
保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。
- **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**
本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせで使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。
- **故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打切後8年間保有しています。

修理を依頼されるとき

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

お願い

故障内容によっては、製品全体を取り外すことが必要になります。その場合には、設置業者に依頼しなければサービスを行えない場合がありますので予めご了承ください。

● 保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理致します。

連絡していただきたい内容

- ご住所 ・ ご氏名 ・ 電話番号
- 製品名 ・ 型番 ・ ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

● 保証期間が過ぎているときは

アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービス連絡先

TEL _____

管理会社名 _____

担当者名 _____

所在地 _____

休日/夜間 PM _____ ~ AM _____

TEL _____

Safety Precautions

English

IMPORTANT



The lightning flash with arrowhead symbol, within an equilateral triangle, is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.

CAUTION

**RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN**

CAUTION:
TO PREVENT THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER (OR BACK). NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

H002 En

WARNING: THE APPARATUS IS NOT WATERPROOF, TO PREVENT FIRE OR SHOCK HAZARD, DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE AND DO NOT PUT ANY WATER SOURCE NEAR THIS APPARATUS, SUCH AS VASE, FLOWER POT, COSMETICS CONTAINER AND MEDICINE BOTTLE ETC.

H001AEn

This product complies with the EMC Directives (89/336/EEC, amended by 92/31/EEC and 93/68/EEC).

H016AEn

To ensure proper heat radiation, distance the unit slightly from other equipment, walls, etc. (normally more than 10 cm). Avoid the following installations which will block vents and cause heat to build up inside, resulting in fire hazards.

- Do not attempt to fit the unit inside narrow spaces where ventilation is poor
- If planning special installation such as fitting close to the wall, placing it horizontally, etc., be sure to consult your Pioneer dealer first.

[For Canadian model]

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

[Pour le modèle Canadien]

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

H009 2L

[For U.S. model]

IMPORTANT NOTICE

The serial number for this equipment is located on the rear panel. Please write this serial number on your enclosed warranty card and keep it in a secure area. This is for your security.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

H010 En

FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION DECLARATION OF CONFORMITY

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Product Name: Plasma Display with Video Card

Model Number: PDP-503CMX (Plasma Display)
PDA-5002 (Video Card)

Product Category: Class B Personal Computers & Peripherals

Responsible Party Name: PIONEER ELECTRONICS (USA) INC. Customer Support Division

Address: P.O. BOX 1760, LONG BEACH, CA., 90801-1760 U.S.A.

Phone: (800)421-1625

URL <http://Pioneerelectronics.com>



Information to User

Alteration or modifications carried out without appropriate authorization may invalidate the user's right to operate the equipment. H011 En

CAUTION:

This product satisfies FCC regulations when shielded cables and connectors are used to connect the unit to other equipment. To prevent electromagnetic interference with electric appliances such as radios and televisions, use shielded cables and connectors for connections. H012 En

The following symbols are found on labels attached to the product. They alert the operators and service personnel of this equipment to any potentially dangerous conditions.

WARNING

This symbol refers to a hazard or unsafe practice which can result in personal injury or property damage.

CAUTION

This symbol refers to a hazard or unsafe practice which can result in severe personal injury or death.

정격 라벨은 제품의 밑면에 있습니다.

사용자 안내문	
B 급기기	이 기기는 비업무용으로 전자파 장애 검정을 받은 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다. H036 Ko

Notes on Installation Work:

This product is marketed assuming that it is installed by qualified personnel with enough skill and competence. Always have an installation specialist or your dealer install and set up the product. PIONEER cannot assume liabilities for damage caused by mistake in installation or mounting, misuse, modification or a natural disaster.

Note for Dealers:

After installation, be sure to deliver this manual to the customer and explain to the customer how to handle the product.

Thank you very much for purchasing this PIONEER product. Before using this unit, please carefully read the "Safety Precautions" and these "Operating Instructions" so you will know how to operate the Plasma Display properly. Keep this manual in a safe place. You will find it useful in the future.

The PDA-5002 is a video card designed for exclusive use with the Pioneer Plasma Display PDP-503CMX/PDP-503MXE (or PDP-433CMX/PDP-433MXE). The PDP-503CMX/PDP-503MXE (or PDP-433CMX/PDP-433MXE) plasma display has been originally designed as a computer monitor, but by installing the optional PDA-5002 video card, the following supplementary features are produced:

1. Allows use of additional input jacks (INPUT 3, 4, 5) supporting S-Video, composite video, and DVI signal (TMDS).
2. Allows connection to a wide variety of optional video equipment.

Safety Precautions	i
Before Proceeding	2
How to Use This Manual	2
Checking Supplied Accessories	3
Part Names and Functions	4
Connection Panel	4
Installation and Connections	6
Installing the Video Card	6
Input Connectors on the Plasma Display with Video Card	7
Connection to INPUT1 and INPUT2	7
Connection to INPUT3	10
Connection to INPUT4	10
Connection to INPUT5	11
About DTV set Top Box Connection	11
Audio Connections	12
How to Route Cables.....	13
Setting Up the System	14
Setup after Connection	14
Operations	16
Selecting an Input Source	16
Screen Size Selection.....	18
Partial Image Enlargement (POINT ZOOM)	19
Automatic Power OFF	20
Display Panel Adjustments	21
Adjusting the Picture Quality	21
Adjusting the Image Position and Clock (Automatic Adjustment)	22
Manual Adjustment of Screen Position and Clock	22
Other Operations	24
Rewriting the Input Display (INPUT LABEL)	24
Changing the Color Temperature (COLOR TEMP)	25
Reducing Video Noise (DIGITAL NR)	25
Setting the PureCinema Mode	26
Setting the Regional TV System Format	26
Viewing a Fast Moving Picture (3D Y/C MODE)	27
Viewing in a Bright Location (HIGH CONTRAST)	28
AUTO FUNCTION	29
Audio Output (AUDIO OUT)	30
Additional Information	31
Specifications	31
Supplement 1	32
Supplement 2	32
Supplement 3	34
Explanation of Terms	34

How to Use This Manual

This manual has been written to allow easy understanding of setup and operating procedures when the video card PDA-5002 is installed in the plasma display.

Remove the video card from its packaging and confirm that all accessory parts are present. While installing and setting up the video card, consult the section "Part Names and Functions" on page 4 of this manual and in the plasma display's Operating Instructions to familiarize yourself with the parts of the respective devices. Since this manual makes frequent reference to the names of operating buttons on the plasma display, use the display's Operating Instructions to familiarize yourself with the controls on the display and the remote control unit.

The section "Installation and Connections" on page 6 includes information necessary for installing the video card on the plasma display, together with instructions regarding connections to various other components.

The section "Setting Up the System" starting on page 14 covers the necessary on-screen menu settings to establish correct linkage between the plasma display and connected components. Depending on the connections made, this section may or not be necessary.

The remainder of the sections in this manual is dedicated to the basic operations associated with selecting a source component up to the more complex operations associated with adjusting the plasma display picture to match the requirements of specific components and personal preferences.

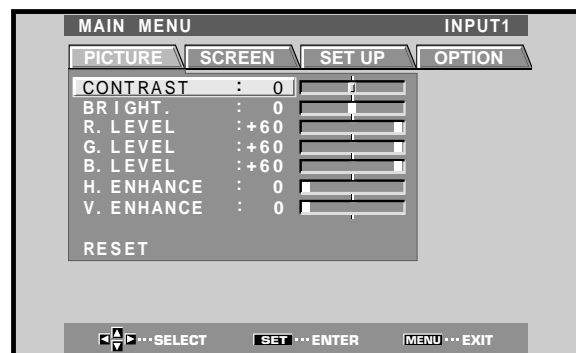
Screen Displays

The example screen displays provided in this manual are those for the PDP-503CMX/PDP-503MXE model. The PDP-433CMX/PDP-433MXE display differs as shown:

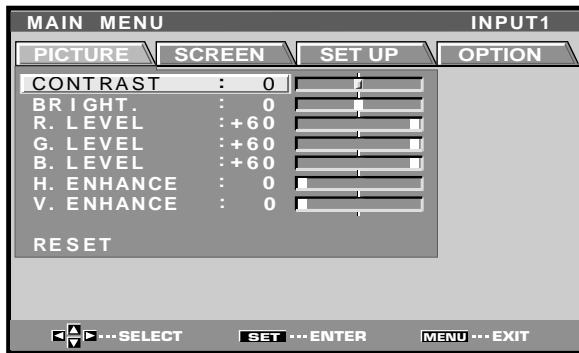
- The PDP-503CMX/PDP-503MXE screen display has a non-displaying border at each side of the display.
- The PDP-433CMX/PDP-433MXE screen display fills the display area in both horizontal directions.

Please note that the actual contents displayed are the same for both the PDP-503CMX/PDP-503MXE and PDP-433CMX/PDP-433MXE.

Example of PDP-503CMX/PDP-503MXE Screen Display:



Example of PDP-433CMX/PDP-433MXE Screen Display:



About operations in this manual

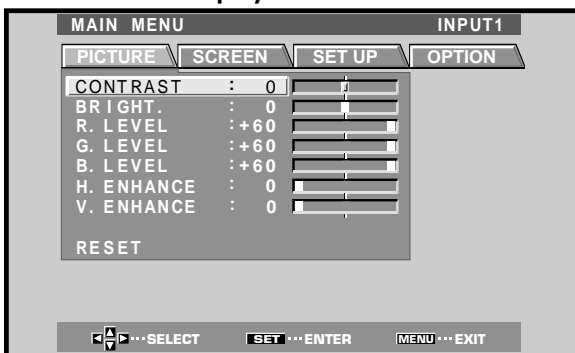
Operations in this manual are outlined in step by step numbered procedures. Most of the procedures are written in reference to the remote control unit unless the button or control is only present on the main unit. However, if a button or control on the main unit has the same or similar name as that on the remote control unit, that button can be used when performing operations.

The following example is an actual operation that shows how one might set the horizontal and vertical positions of the screen. The screens shown at each step are provided as a visual guide to confirm that the procedure is proceeding as it should. Please familiarize yourself with this process before continuing on with the rest of this manual.

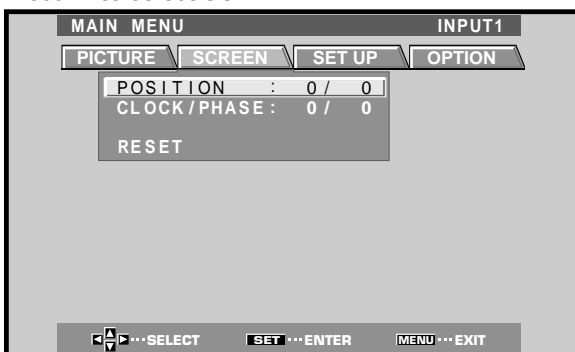
Note

The screen displays depicted in this manual represent typical display examples. The actual items and contents seen in screen displays may vary depending on input source and specific settings.

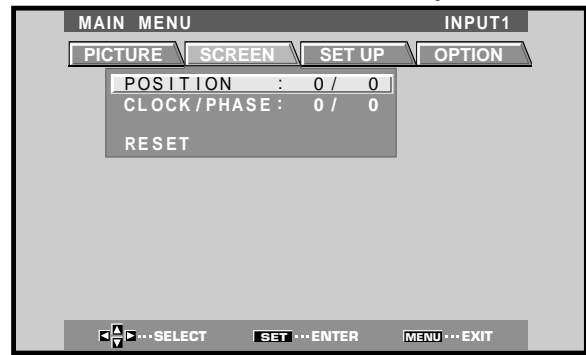
1 Press MENU to display the menu screen.



2 Press > to select SCREEN.



3 Press ▲/▼ to select the item to be adjusted.



4 Press SET to display the adjustment screen for the selected item.



5 Press ▲/▼/◀/▶ to adjust the value.

Checking Supplied Accessories

Check that the following accessories were supplied.

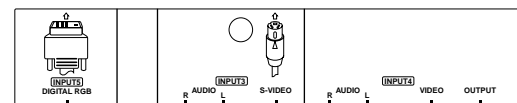
① Label for remote control unit



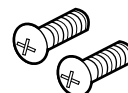
② BNC/Pin conversion adaptor



③ Connector indicator label

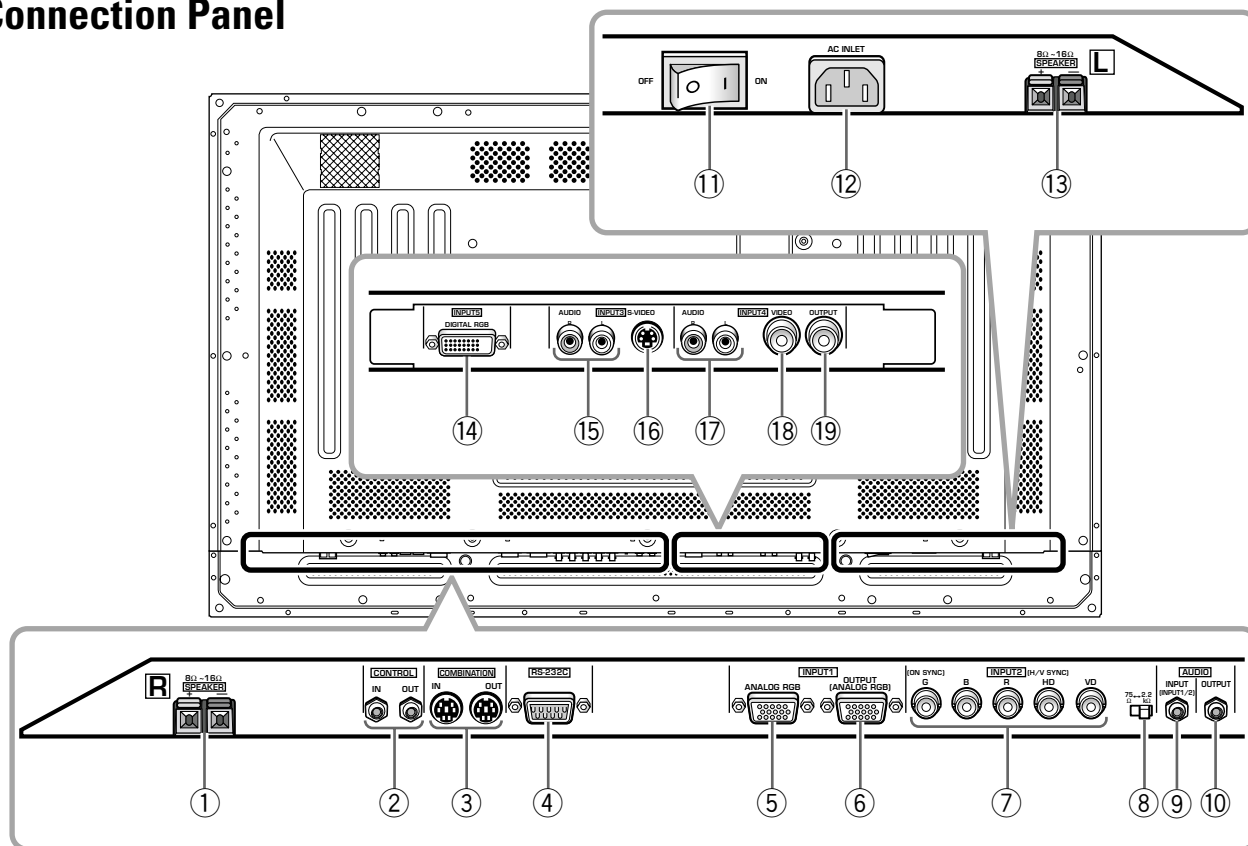


④ Screws (x2) (Accessory screws for installing video card)



- Operating Instructions
- Warranty

Connection Panel



Plasma Display Section

The plasma display is provided with 2 video input connectors, 1 video output connector, audio input/output jacks and speaker terminals.

There are also CONTROL IN/OUT jacks for connection of PIONEER components with the **SR** mark.

When this video card is installed on a plasma display, an additional three sets of video input connectors are provided (total five), together with one additional video output connector (total two). See the pages noted in parentheses () or the plasma display's Operating Instructions for details regarding connections to the various jacks and connectors.

① SPEAKER (R) terminal

For connection of an external right speaker.
Connect a speaker whose impedance is 8-16 Ω.

② CONTROL IN/OUT (monaural mini jacks)

For connection of PIONEER components that bear the **SR** mark. Making CONTROL connection enables control of the plasma display as a component in a system.

③ COMBINATION IN/OUT DO NOT MAKE ANY CONNECTIONS TO THESE TERMINALS.

These terminals are used in the factory setup.

④ RS-232C

DO NOT MAKE ANY CONNECTIONS TO THIS TERMINAL.

This terminal is used in the factory setup.

⑤ INPUT1 (mini D-sub 15 pin)

For connecting components equipped with RGB outputs jacks, such as a personal computer or external RGB decoder; or components equipped with component output jacks, such as a DVD player. Make sure that the connection made corresponds to the format of the signal output from the connected component (pages 7 to 10).

⑥ OUTPUT (INPUT1) (mini D-sub 15 pin)

Use the OUTPUT (INPUT1) connector to output the video signal to an external monitor or other component.

Note: The video signal will not be output from the OUTPUT (INPUT1) connector when the main power of this display is off or in standby mode. (page 10)

⑦ INPUT2 (BNC jacks)

For connecting components equipped with RGB outputs jacks, such as a personal computer or external RGB decoder; or components equipped with component output jacks, such as a DVD player. Make sure that the connection made corresponds to the format of the signal output from the connected component (pages 7 to 9).

⑧ Synchronizing signal impedance selector switch

Depending on the connections made at INPUT2, it may be necessary to set this switch to match the output impedance of the connected component's synchronization signal.

When the output impedance of the component's synchronization signal is below 75 Ω , set this switch to the 75 Ω position (page 9).

⑨ AUDIO INPUT (Stereo mini jack)

Use to obtain sound when INPUT1, INPUT2 or INPUT5 is selected.

Connect this jack to the audio output connector of the device connected to the plasma display's INPUT1 or INPUT2, or to the audio output connector of the device connected to the video card's INPUT5 (page 12).

⑩ AUDIO OUTPUT (Stereo mini jack)

Use to output the audio of the selected source component connected to the plasma display to an AV amplifier or similar component (page 12).

⑪ MAIN POWER switch

Use to switch the main power of the plasma display on and off.

⑫ AC INLET

A power cable is furnished with the plasma display; connect one end of the power cable to this connector, and the other end to a standard AC power source.

⑬ SPEAKER (L) terminal

For connection of an external left speaker. Connect a speaker that has an impedance of 8 -16 Ω .

Video Card <PDA-5002> Section

The video card is provided with 3 video input connectors, 1 video output connector, and 2 audio input connectors. Consult the pages noted in parentheses () for details regarding connections to the various jacks and connectors.

⑭ INPUT5 (DVI-D jack)

Use to connect a computer.

Note: This unit does not support the display of copyguard-protected video signals (page 11).

⑮ AUDIO INPUT3 (RCA Pin jacks)

Use to obtain sound when INPUT3 is selected.

Connect these jacks to the audio output connectors of components connected to the video card's INPUT3 (page 12).

Note: The left audio channel (L) jack is not compatible with monaural input sources.

⑯ INPUT3 (S-video jack)

For connection of components that have an S-video output jack such as a video deck, video camera, laser disc player, or DVD player. (page 10)

⑰ AUDIO INPUT4 (RCA Pin jacks)

Use to obtain sound when INPUT4 is selected.

Connect these jacks to the audio output connectors of components connected to the video card's INPUT4 (page 12).

Note: The left audio channel (L) jack is not compatible with monaural input sources.

⑱ INPUT4 (BNC jack)

For connection of components that have a composite video output jack such as a video deck, video camera, laser disc player, or DVD player (page 10).

⑲ OUTPUT (INPUT4) (BNC jack)

Use the OUTPUT (INPUT4) jack to output the video signal to an external monitor or other component.

Note: The video signal will not be output from the OUTPUT (INPUT4) jack when the main power of this display is off or in standby mode (page 10).

Installation and Connections

Installing the Video Card

TO USERS:

This component is sold with the understanding that it will be installed by a specialist possessing appropriate technical knowledge and ability.

TO SALES AGENTS:

Installation instructions are noted below. When installing the unit, if a screw or other object should drop inside the plasma display, immediately consult your nearest Pioneer Service Center. Continuing operation may result in malfunction.

This device has been designed for installation on the Pioneer Plasma Display PDP-503CMX/PDP-503MXE or PDP-433CMX/PDP-433MXE.

Installation procedures are as follows:

Confirm the following before installing this video card:

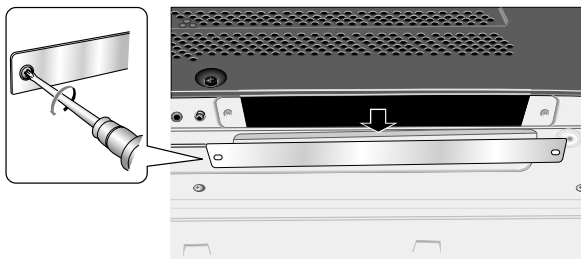
- Disconnect the plasma display from computer or other components.
- Disconnect the plasma display's power cord from its outlet.

Installation Notes:

- When opening the installation cover, take care not to drop screws or other objects in the opening. Objects dropped inside the display may cause damage or malfunction.
- When installing the video card, if the plasma display is laid with its screen side facing down, the work surface should be flat and level, and either the packing material, a blanket, or other soft material should be spread on the work surface first to protect the screen. Take care to prevent scratches or other damage to the unit from tools or other objects. Never rest the display on a surface in such a way that weight or pressure is placed only on the screen surface.
- This video card has been designed for exclusive use with the Pioneer Plasma Display PDP-503CMX/PDP-503MXE or PDP-433CMX/PDP-433MXE. Do not attempt unauthorized modifications or alterations since malfunction or damage may result.
- Take care not to modify or damage the card's internal devices in any way.
- Before installation, take precautions to eliminate static electricity on your body. Do not touch the card's circuitry or devices.
- This device has not been designed to allow reinstallation or removal; after the card has once been installed on the plasma display, do not attempt to remove it since damage may result.

Installation

- 1 Remove the protective cover over the video card slot on the plasma display's terminal panel.**



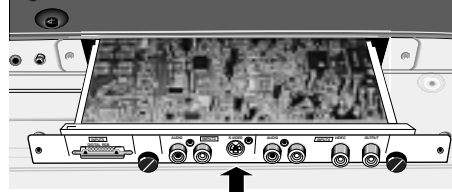
6

En

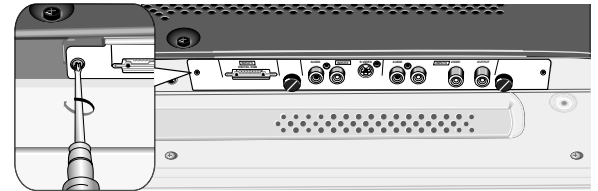
- 2 Insert the video card gently and evenly in alignment with the two rails visible inside the installation port.**

Note

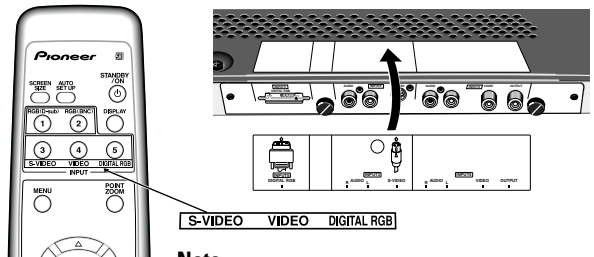
Be very careful when inserting the card. Insert straight! The card or display may be damaged if the card is inserted crooked or with excessive force.



- 3 After inserting the video card all the way into the slot, confirm that it is seated securely, then use the screws removed in step 1 to secure the card in place.**



- 4 Affix the accessory connector indicator label to the plasma display, and affix the remote control unit label to the remote control unit furnished with the plasma display.**

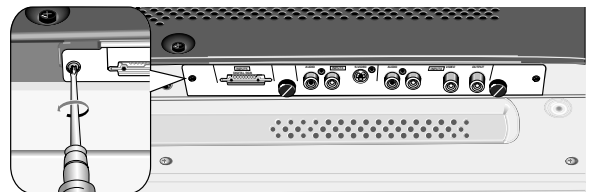


Note

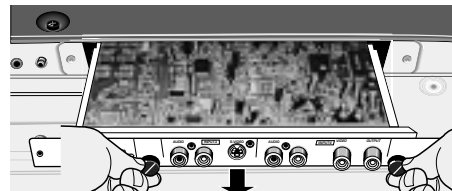
Use a soft cloth to gently wipe any dust from the surface before affixing the label.

Video Card Removal (In principle, removal of the video card should not be attempted).

- 1 Remove the two screws holding the video card.**



- 2 Holding the inside tabs, pull the video card out straight.**



Input Connectors on the Plasma Display with Video Card

Consult the following chart when making connections to a plasma display equipped with this video card (pages 7 to 12).

Connected component and signals \ Input Connector	INPUT 1*1	INPUT 2*1	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5
AV component					
Analog RGB	○	○			
Component video	○	○			
S video			○		
Composite video				○	
Personal computer (PC)					
Analog RGB	○*2	○			
S video			○*3		
Composite video				○*3	
Digital RGB					○*4

- *1 Although INPUT1/INPUT2 are compatible with various kinds of signals, setup using the on-screen menu is necessary after connections are made in order match the characteristics of the source component (pages 14 and 15).
- *2 INPUT1 is compatible with Microsoft's Plug & Play (VESA DDC 1/2B).
- *3 Depending on the video output board of the computer, this type of connection may not be possible.
- *4 INPUT5 is compatible with Microsoft's Plug & Play (VESA DDC 2B).

Connection to INPUT1 and INPUT2

Various components can be connected to the INPUT1 and INPUT2 jacks. After connections are made, on-screen setup is necessary to match the characteristics of the connected component. Please see pages 14 and 15 for on-screen setup after connection.

INPUT2 jack \ Output source	[ON SYNC] G	B	R	[H/V SYNC] HD	VD
Video component/ personal computer (PC) with RGB output	○ G ON SYNC	○ B	○ R	×	×
	○ G	○ B	○ R	○ H/V SYNC	×
	○ G	○ B	○ R	○ HD	○ VD
Video component with component video output	○ Y	○ Cb/Pb	○ Cr/Pr	×	×

× : Do not connect anything. ○ : Connect to this jack.

Note

Components compatible with INPUT1 are also compatible with INPUT2.

When making connections to INPUT1, please refer to the plasma display's Operating Instructions.

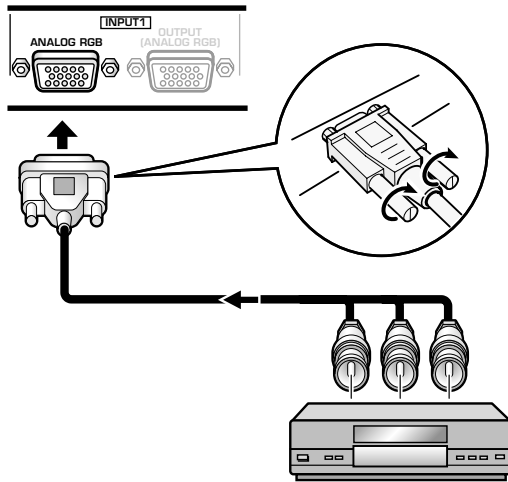
For the screen sizes and input signals that INPUT1 and INPUT2 are compatible with, please refer to the plasma display's Operating Instructions.

Connection to AV components

Connection to AV component that has component video jacks

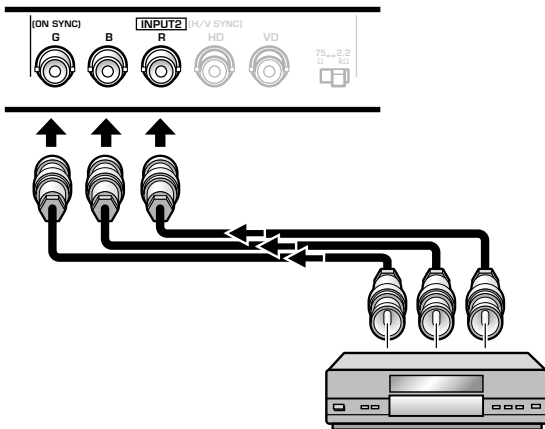
Make component video connections for AV components such as DVD and LD players or similar components with component video output capability.

When connecting to INPUT1



On-screen setup is necessary after connection. Please see page 14.

When connecting to INPUT2



Connect the Y signal to the G jack, the C_B/P_B signal to the B jack, and the C_R/P_R signal to the R jack.

On-screen setup is necessary after connection. Please see page 14.

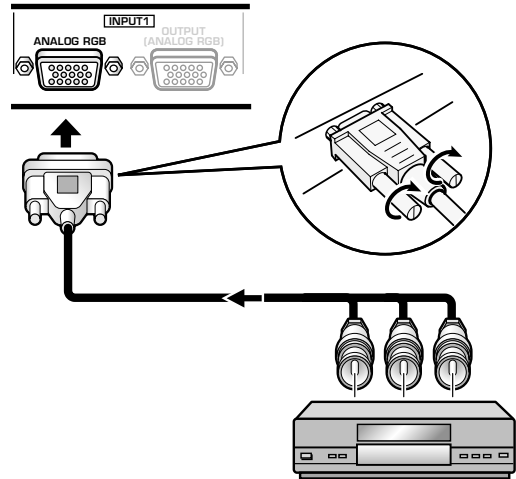
INPUT2 jacks are all BNC jacks.

If necessary, use BNC/pin conversion adapters (1 (one) included) to make connections.

Connection of G ON SYNC analog RGB source

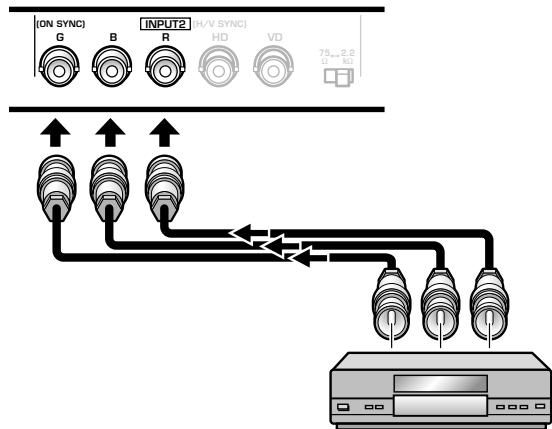
Make G ON SYNC connections for a component with output that has the synchronization signal layered on top of the green signal.

When connecting to INPUT1



On screen setup is necessary after connection. Please see pages 14 and 15.

When connecting to INPUT2



On screen setup is necessary after connection. Please see pages 14 and 15.

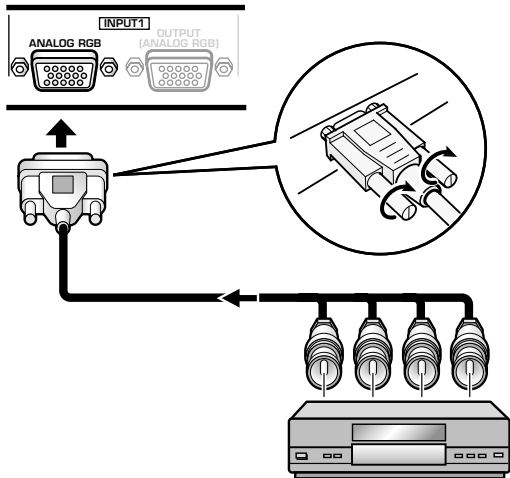
Note

When making G ON SYNC connections, do not make any connections to the VD or HD jacks. If connections are made, the picture may be not displayed normally.

Connection of composite SYNC analog RGB source

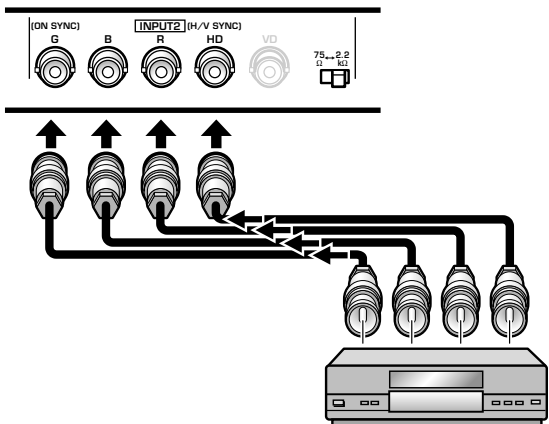
Make composite SYNC connections for a component with output that has the vertical synchronization signal layered on top of the horizontal synchronization signal.

When connecting to INPUT1



On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 14 and 15.

When connecting to INPUT2



When using INPUT2, set the impedance selector switch to match the output impedance of the connected component's synchronization signal.

When the output impedance of the computer's synchronization signal is below 75 Ω, set this switch to the 75 Ω position (page 9).

On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 14 and 15.

Notes

- When making composite SYNC connections, do not connect anything to the VD jack. If connected to, the picture may not be displayed properly.
- On some types of Macintosh® components, G ON SYNC and composite SYNC are both output. With this type of component, please connect using the G ON SYNC connection (as shown left).

Connection to a personal computer

Connection method differs depending on the computer type. When connecting, please thoroughly read the computer's instruction manual.

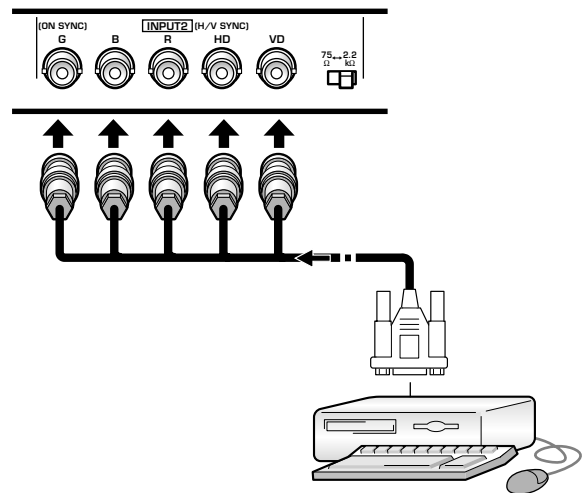
Before making connections, be sure to make sure that the personal computer's power and display's main power is off.

For the PC input signals and screen sizes that the display is compatible with, please refer to the plasma display's Operating Instructions.

Connection of separate SYNC analog RGB source

Make separate SYNC connections for a personal computer that has RGB output separated into 5 output signals: green, blue, red, horizontal synchronization signal, and vertical synchronization signal.

When connecting to INPUT2

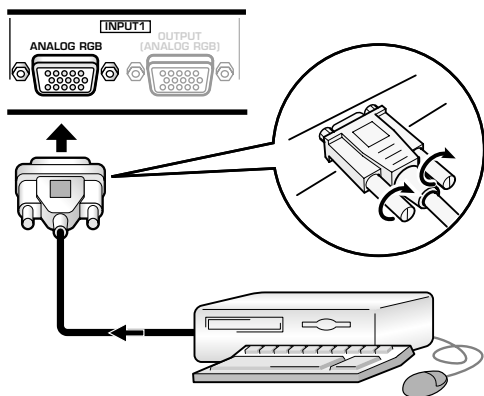


When using INPUT2, set the impedance selector switch to match the output impedance of the connected computer's synchronization signal.

When the output impedance of the computer's synchronization signal is below 75 Ω, set this switch to the 75 Ω position (page 9).

On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 14 and 15.

When connecting to INPUT1



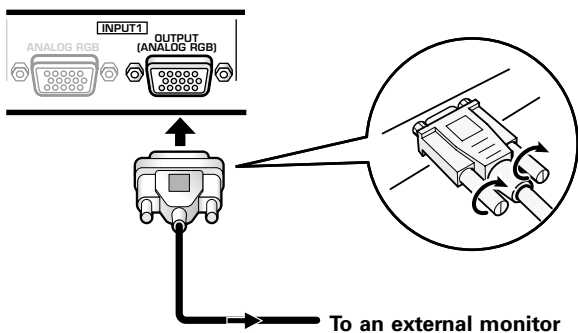
Connect the cable corresponding to the shape of the input terminal on the display and the personal computer's output terminal.
Secure by tightening the terminal screws on both units.

After connecting, on-screen setup is necessary.
Please see pages 14 and 15.

Note

Depending on the type of computer model being connected, a conversion connector or adapter etc. provided with the computer or sold separately may be necessary.
For details, please read your PC's instruction manual or consult the maker or nearest dealer of your computer.

When connecting to OUTPUT (INPUT1)



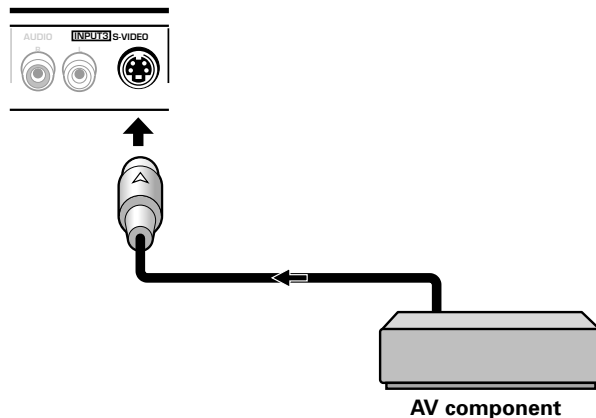
With the plasma display, it is possible to output the video signal to an external monitor or other component from the OUTPUT (INPUT1) terminal.

Note

A video signal will not be output from the OUTPUT (INPUT1) terminal when the main power of this unit is off or in standby.

Connection to INPUT3

Connect an AV component that has S-video output jack to the video card's S-VIDEO input jack.

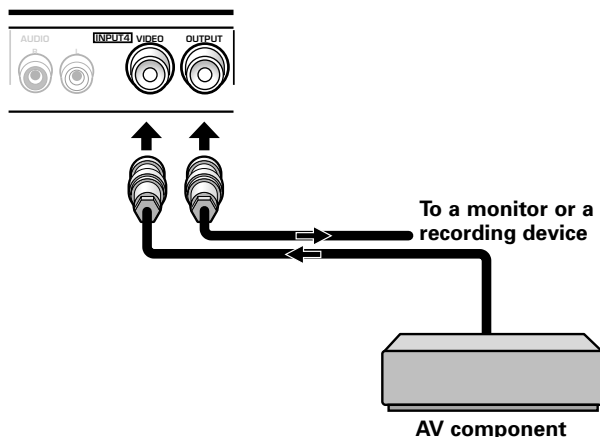


Connection to INPUT4

Connect an AV component that has a video output jack to the video card's INPUT4 jack. The OUTPUT [INPUT4] jack can be used to output the video signal to a separate monitor, recording device or other component with video input capability.

Note

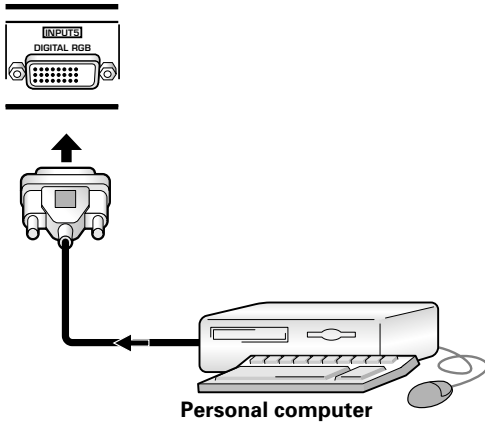
A video signal will not be output from the OUTPUT [INPUT4] jack when the main power of this display is off or in standby mode.



Signals to the INPUT3 and INPUT4 jacks are all compatible with the following TV systems: NTSC, PAL, SECAM and 4.43NTSC. For details, please refer to "Setting the regional TV system format" on pages 26-27.

Connection to INPUT5

A computer equipped with DVI output (digital RGB signal) can be connected to the video card's DVI connector.



NOTICE

- INPUT 5 supports Microsoft "Plug & Play" (VESA DDC 2B) components. See Supplement 3 (page 33) when making connections to INPUT 5.
- See Supplement 2 (page 32) for information regarding signals and display formats supported by INPUT 5.

Following completing connections, on-screen setup is necessary. See page 14 for details.

Notes

- Use a DVI-D 24-pin (digital only) cable for the connection.
- **This unit does not support the display of copyguard-protected video signals.**

About DTV Set Top Box Connection

To ensure proper connection, please carefully read the instruction manual supplied with the DTV set top box.

The set top box output signals that this display is compatible with are as follows.

Video signal type	Video signal	Video signal format	Jacks where connection is possible			
			INPUT1	INPUT2	INPUT3	INPUT4
HDTV	1125i (1080i) 1125p (1080p) 750p (720p)	Component	○	○		
		RGB	○	○		
SDTV	525i (480i) 625i (575i)	Composite				○
		S Video			○	
		Component	○	○		
		RGB	○	○		
	525p (480p) 625p (575p)	Component	○	○		
		RGB	○	○		

Audio Connections

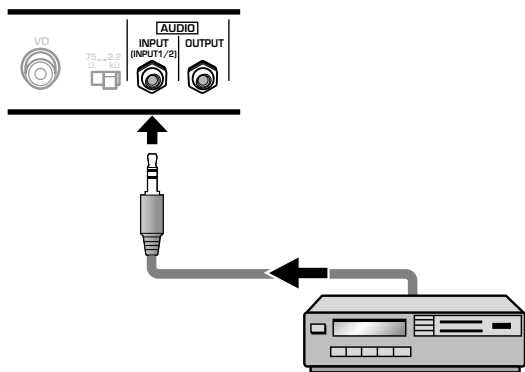
Before making connections, be sure to check that the audio component's power and the display's main power is off.

Connect an audio component to the audio input jack of the plasma display with installed video card.

When the video card is installed, the plasma display provides three audio input jacks and one audio output jack. Consult the following chart to choose the proper audio input for each video input.

Video input	Audio input jacks	Sound output
INPUT1	Stereo mini jack (L/R)	Sound of the selected video input is output from the • SPEAKER terminals • Stereo mini jacks (L/R).
INPUT2		
INPUT5		
INPUT3	Pin jacks (L/R)	
INPUT4	Pin jacks (L/R)	

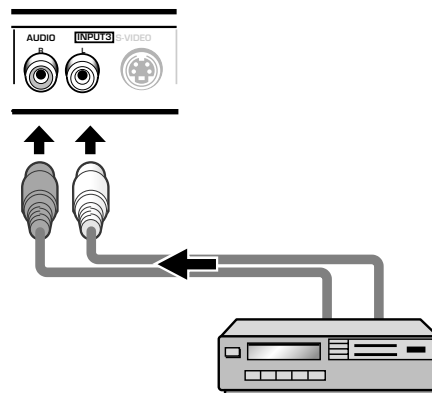
Audio connection for component connected to INPUT1, INPUT2 or INPUT5



Of the audio sources connected to INPUT1, INPUT2 and INPUT5, one can be used to connect a stereo mini-jack (L/R) type plug.

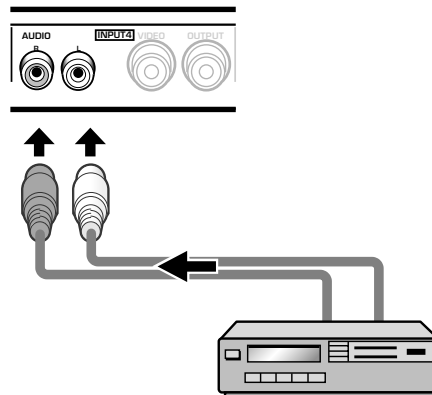
Sound is output from both the AUDIO OUTPUT jack (stereo mini jack (L/R)) and the SPEAKER terminals according to the video input selection.

Audio connection for component connected to INPUT3



Audio input to the AUDIO INPUT3 jacks (pin jacks (L/R)) is possible for a component connected to INPUT3. Sound is output from both the AUDIO OUTPUT jack (stereo mini jack (L/R)) and the SPEAKER terminals according to the video input selection.

Audio connection for component connected to INPUT4

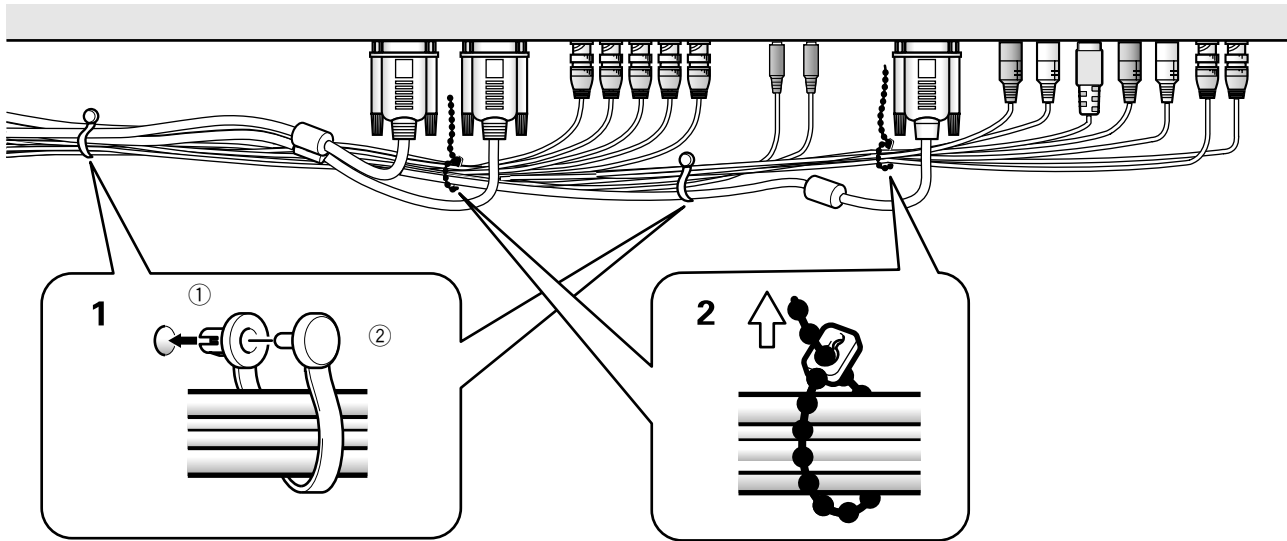


Audio input to the AUDIO INPUT4 jacks (pin jacks (L/R)) is possible for a component connected to INPUT4. Sound is output from both the AUDIO OUTPUT jack (stereo mini jack (L/R)) and the SPEAKER terminals according to the video input selection.

How to Route Cables

Speed clamps and bead bands are included with the plasma display for bunching cables together. Once components are connected, follow the following steps to route cables.

* As viewed from the rear of the display.



1 Organize cables together using the provided speed clamps.

Insert ① into an appropriate hole on the rear of the unit, then snap ② into the back of ① to fix the clamp.

Speed clamps are designed to be difficult to undo once in place. Please attach carefully.

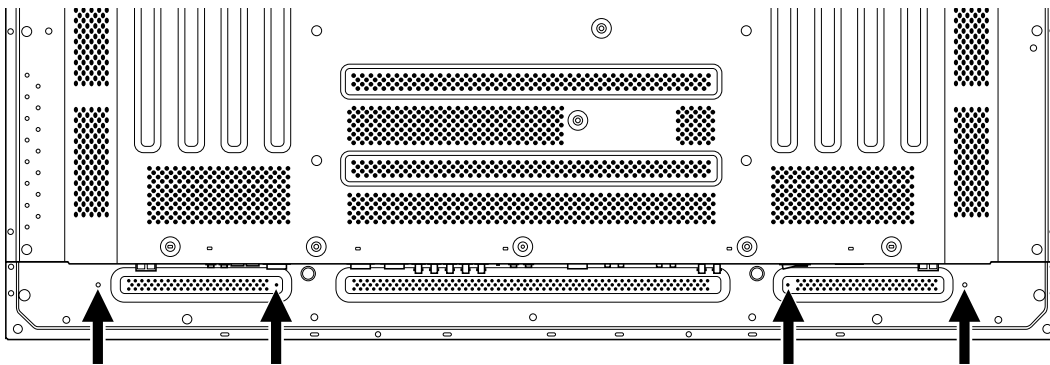
2 Bunch separated cables together and secure them with the provided bead bands.

Note

Cables can be routed to the right or left.

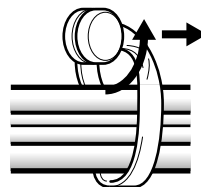
To attach the speed clamps to the display

Connect the speed clamps using the 4 holes marked with • below, depending on the situation.



To remove speed clamps

Using pliers, twist the clamp 90° and pull it outward. In some cases the clamp may have deteriorated over



Setup after Connection

After components have been connected to INPUT1, INPUT2 or INPUT5, on-screen setup is necessary. Follow the procedure described below and make settings as they apply to the type of components connected.

Setting the Screen Mode / Input Signal Format

- 1 Switch MAIN POWER on the connection panel to the on position to turn on the display's main power.

The STANDBY/ON indicator lights red.

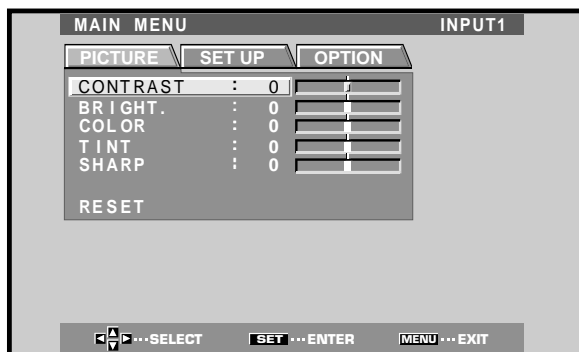
- 2 Press STANDBY/ON to put the display in the operation mode.

The STANDBY/ON indicator turns green.

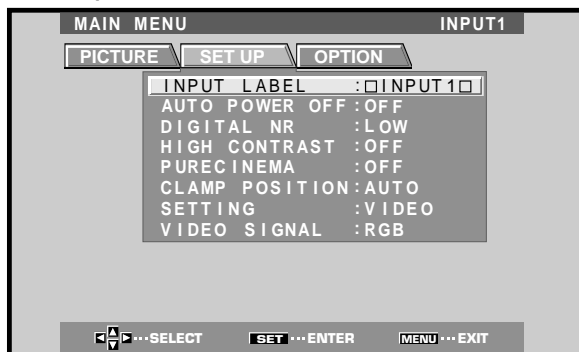
- 3 Select INPUT1, INPUT2 or INPUT5.

- 4 Press MENU to display the menu screen.

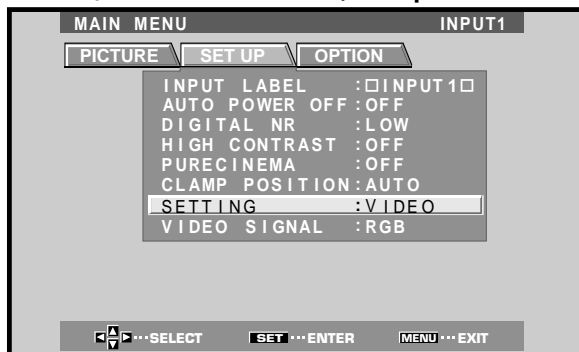
The menu screen appears.



- 5 Press ◀/▶ to select SET UP.



- 6 Press ▲/▼ to select SETTING, then press SET.

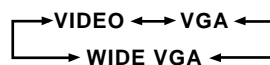


- 7 Press ◀/▶ to select the display mode.



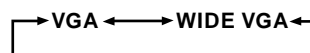
When a component other than a personal computer is connected, set to "VIDEO".

- ① When the input signal has a refresh rate of 31.5 kHz horizontal / 60 Hz vertical, pressing ◀/▶ will cause the display mode to change alternately as follows: When using INPUT1 or INPUT2:

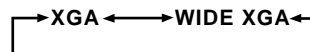


WIDE VGA

When using INPUT5:



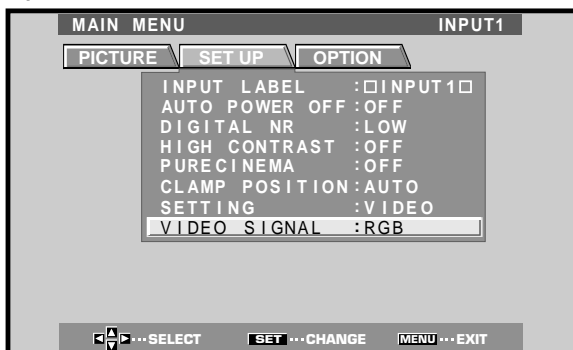
- ② When the input signal has a refresh rate of 48.4 kHz horizontal / 60 Hz vertical, or 56.5 kHz horizontal / 70 Hz vertical, pressing ◀/▶ will cause the display mode to change alternately as follows:



Note

Setup steps 6-7 are required only when using signals with the following refresh rates: ① 31.5 kHz horizontal / 60 Hz vertical; ② 48.4 kHz horizontal / 60 Hz vertical, or 56.5 kHz horizontal / 70 Hz vertical. No manual setup is necessary for signals with other refresh rates, since adjustments are performed automatically (the SETTING item will not be displayed).

- 8 When a component other than a computer is connected and VIDEO has been selected, press the ▲/▼ buttons to select VIDEO SIGNAL.



- 9 Press SET repeatedly to select the input signal format.

Selection will change as follows each time SET is pressed.



The table below shows what settings are appropriate and available for the type of connections made.

Set SETTING and VIDEO SIGNAL as follows.

Connected component	SET UP	SETTING	SIGNAL
Component video output of a DVD player, etc.	VIDEO	COMPONENT	
RGB video output of a video deck etc., with RGB output	VIDEO	RGB	
RGB video output of a PC	VGA WIDE VGA XGA WIDE XGA	Not supported	

10 When the setup is completed, press MENU to exit the menu screen.

Notes

- Make this setup for each input (INPUT1 and INPUT2).
- The VIDEO SIGNAL setting is not supported when inputting a computer signal, or when the SETTINGS function has been used to select a signal other than VIDEO.

CLAMP POSITION setup

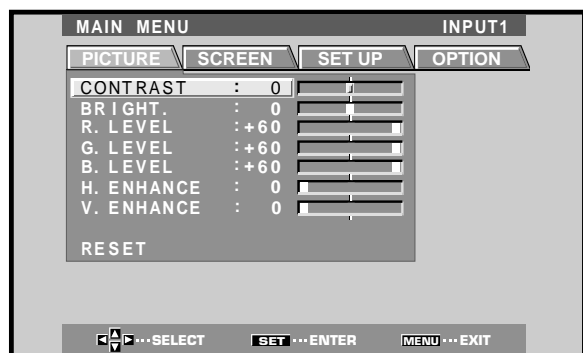
Depending on the signal, analog RGB signals may result in the screen image appearing with a whitish or greenish cast. In such cases, set "CLAMP POSITION" to LOCKED.

- Normally, leave this setting at AUTO.

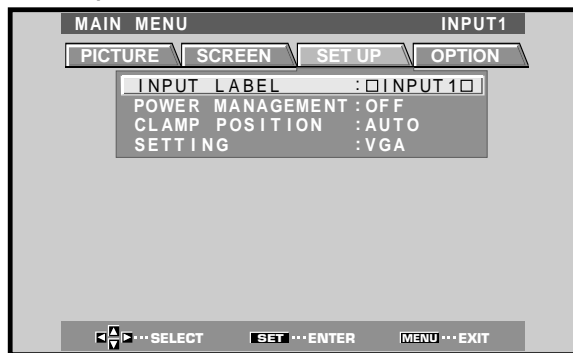
Setup of CLAMP POSITION

1 Press MENU to display the menu screen.

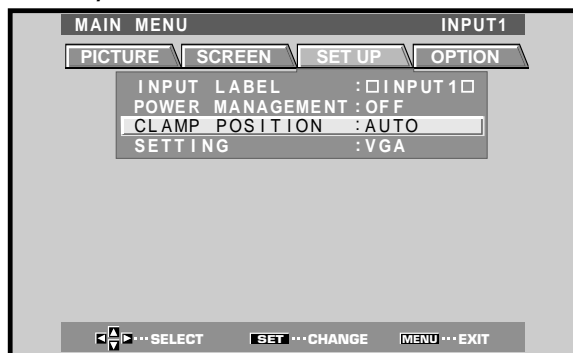
The menu screen appears.



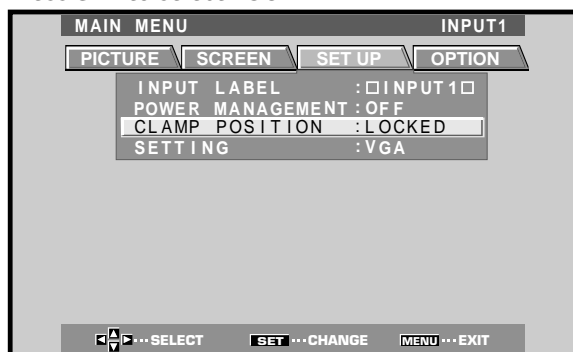
2 Press ◀/▶ to select SET UP.



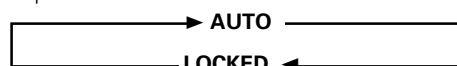
3 Press ▲/▼ to select CLAMP POSITION.



4 Press SET to select LOCKED.



Mode selection will change as follows each time SET is pressed.



5 When the setup is completed, press MENU to exit the menu screen.

Notes

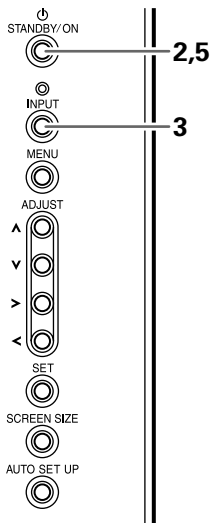
- Make this CLAMP POSITION setting for each applicable input (INPUT1 and INPUT2).
- When using this setup, be sure to carefully check the signal output of the component that you are using. For details, please refer to the instruction manual supplied with the component you are connecting.

Selecting an Input Source

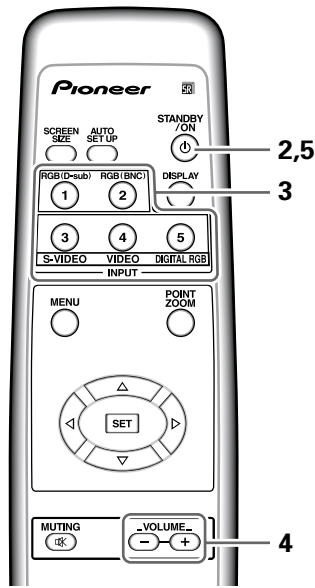
This section explains the basic operation of the plasma display. Outlined on the following pages is how to turn the main power on and off, put this display in the operation or standby mode and how to select connected components.

Before you begin, make sure you have:

- Made connections between the plasma display and AV components or personal computer as described in the section "Installation and Connections" starting on page 6.
 - Set up the on-screen menu to input signals from components connected to INPUT1, INPUT2 and INPUT5 as described in the section "Setting Up the System" on page 14.
- If no connections are made to these terminals, on-screen setup is not necessary.



Display Operating Panel

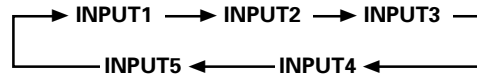


Remote Control Unit

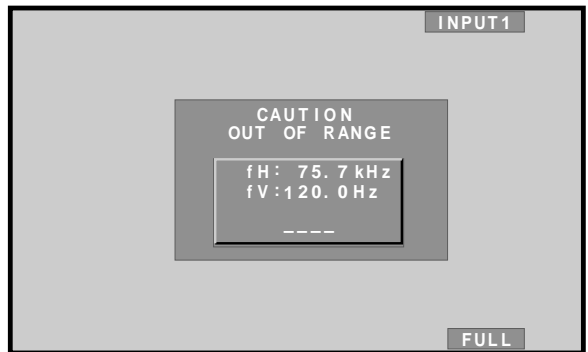
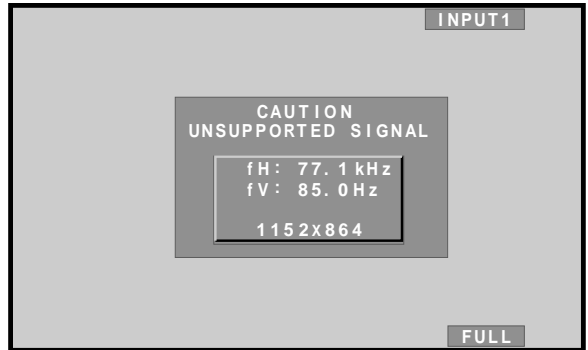
- 1 Switch MAIN POWER on the display to the on position to turn the main power on.**
The STANDBY/ON indicator lights red.
- 2 Press STANDBY/ON to put the plasma display in the operation mode.**
The STANDBY/ON indicator turns green.

3 Press INPUT on the remote control unit or the display to select the input.

Input changes each time the display's INPUT is pressed as follows.



- When the menu screen is displayed, changing the signal input will cause the menu screen to turn off.
- If the input computer signal is not supported by the display, the following message will be displayed:

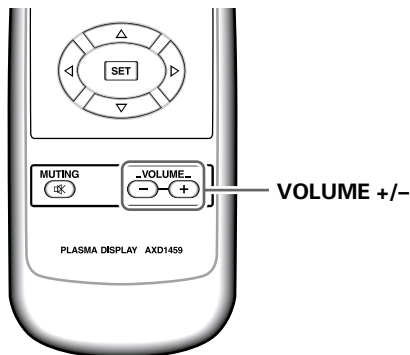


- 4 Use VOLUME +/- on the remote control unit to adjust the volume.**
If no audio connections are made to the plasma display, this step is not necessary.
- 5 When viewing is finished, press STANDBY/ON to put the display in standby mode.**
The STANDBY/ON indicator will blink and then remain lit (red) indicating that the standby mode is engaged. Operation is not possible while the STANDBY/ON indicator is blinking (red).
- 6 Switch MAIN POWER on the display to the off position to turn the main power off.**
The STANDBY/ON indicator may continue to light for a short while even after the main power is turned off. This is a result of residual electric load impressed on the circuitry, and the light will turn off presently.

CAUTION

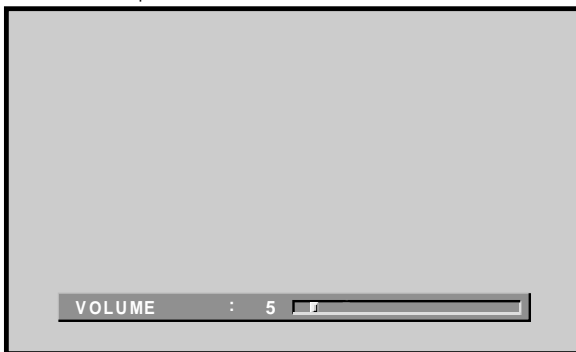
Please do not leave the same picture displayed on the screen for a long time. Doing so may cause a phenomenon known as "screen burn" which leaves a ghost, or residual, image of the picture on the screen.

To adjust the volume

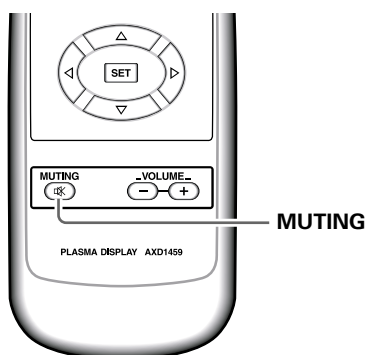


Press **VOLUME** on the remote control unit.

Use **VOLUME +** or **VOLUME -** to adjust the volume of the connected speakers.



To mute the sound



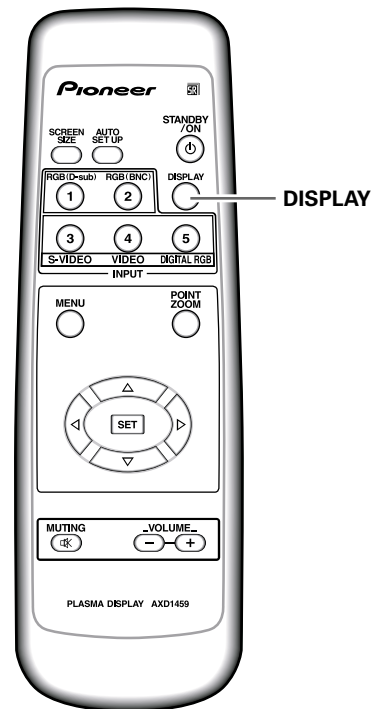
Press **MUTING** on the remote control unit.

Press **MUTING** again to restore the sound.

Muting is automatically canceled about 8 minutes after the button is pressed, and the volume level is adjusted to the minimum level.

Press **VOLUME +** or **VOLUME -** to adjust the volume at a desired level.

To confirm display settings



Press **DISPLAY** on the remote control unit.

The currently selected input, screen size and refresh rates will be displayed for about 3 seconds.



Note

The displayed refresh rates may be slightly different from the actual values.

Screen Size Selection

The plasma display incorporates screen modes of various height and width ratios. For optimal viewing, we recommend that you select the screen mode that best matches the video source that you are viewing. Although these modes are designed for full display of a picture on a wide screen, it is our hope that you make use of them with a full understanding of the manufacturer's intentions.

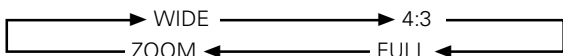
Changing the screen size

For video signals

The size of the picture or the picture's range projected on the screen can be changed between 4 screen sizes described in the table on this page.

Press SCREEN SIZE to select the size.

The screen size changes each time **SCREEN SIZE** is pressed as follows.



Notes

- When the WIDE, ZOOM, or FULL setting is used to display a non-wide screen 4:3 picture fully on a wide screen, a portion of the picture may be cut off or appear deformed.
- Be aware that when the display is used for commercial or public viewing purposes, selecting the WIDE, ZOOM or FULL mode settings may violate the rights of authors protected under copyright law.

Moving the screen position upward or downward

When a vista size movie etc., is viewed at the ZOOM setting, the image may not be centered on the screen, and may extend past the edge of the screen. In this case, adjust the screen to an clearly viewable position using ▲/▼.

Automatic screen size

When a High-Definition Television signal (1125i, 750p, 1125p) is detected, the screen size is automatically changed to FULL.

During video signal input

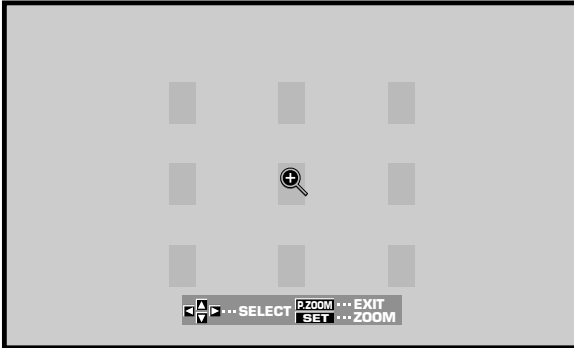
How the picture looks	
<p>WIDE</p>	Suitable for when viewing news or sports programs. Movies or sports programs can be viewed with an expansive powerful image.
<p>4:3</p>	Suitable for when viewing news or sit coms. The video software can be viewed in its original screen frame size. (To prevent screen burn on this display, the displayed position of the screen frame will be slightly different each time the power is turned on.)
<p>FULL</p>	Suitable for wide screen images (squeeze).
<p>ZOOM</p>	Mainly suitable for viewing Cinemascope size and other such movie images. Provides a more expansive, powerful image.

Consult the plasma display's Operating Instructions regarding the screen size during computer signal input.

Partial Image Enlargement (POINT ZOOM)

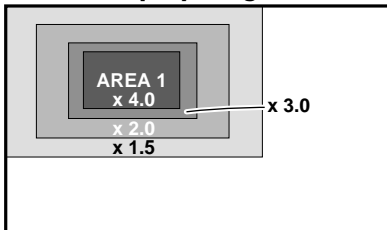
This display allows any one of nine screen areas (AREA 1 to AREA 9) to be selected and enlarged to 1.5x, 2x, 3x, or 4x. When performing point zoom enlargement, the direction buttons (▲/▼/◀/▶) can be used to move the enlarged portion up-down and right-left.

1 Press the remote control unit's POINT ZOOM.

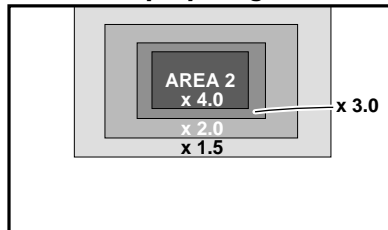


2 Press ▲/▼/◀/▶ as required to select the desired screen area (AREA 1 to AREA 9).

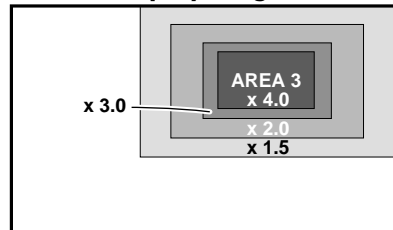
AREA 1 display range



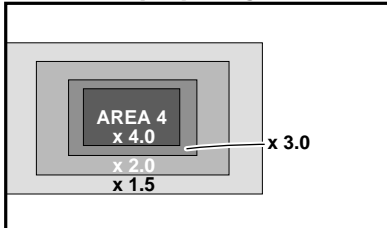
AREA 2 display range



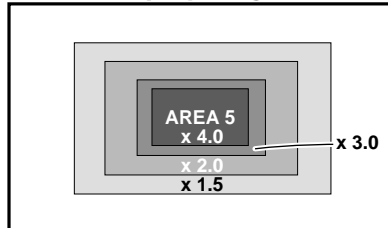
AREA 3 display range



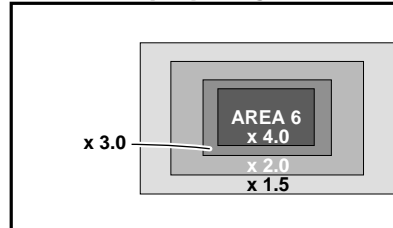
AREA 4 display range



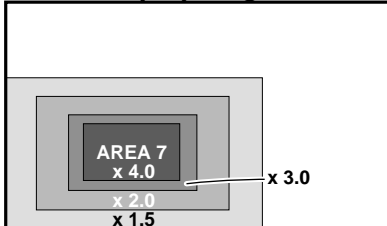
AREA 5 display range



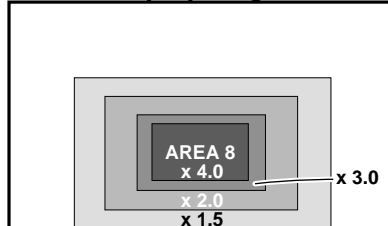
AREA 6 display range



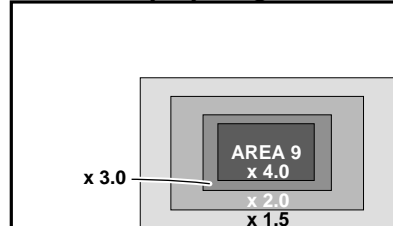
AREA 7 display range



AREA 8 display range

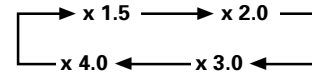


AREA 9 display range



3 Press SET to select the zoom ratio.

Pressing SET repeatedly changes the zoom ratio in the following order:



- When the zoom ratio is changed, the screen image is enlarged based on the screen center.
- ▲/▼/◀/▶ can be used to move the enlarged portion up-down and right-left.
- If no operation is undertaken for three seconds or more, the display screen will disappear. SET or ▲/▼/◀/▶ can be pressed again if desired to change the zoom ratio or display position.

4 Press the remote control unit's POINT ZOOM once again to cancel the point zoom operation.

The point zoom function will also be canceled whenever the input signal changes, the menu screen is displayed, or the INPUT changes.

Notes

- Whenever POINT ZOOM is selected, the screen size automatically changes to FULL.
- The POINT ZOOM function is supported only when the input signal is from a computer.

Automatic Power OFF

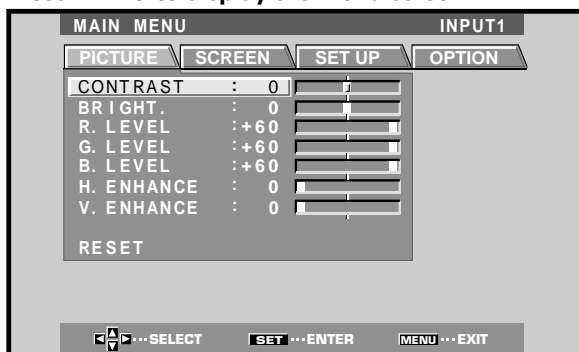
The plasma display is equipped with automatic power-management and auto-power-off functions, which allow the unit to automatically switch to power-saving mode when no sync signal is detected.

(A warning message appears on-screen before these functions operate.)

Notes

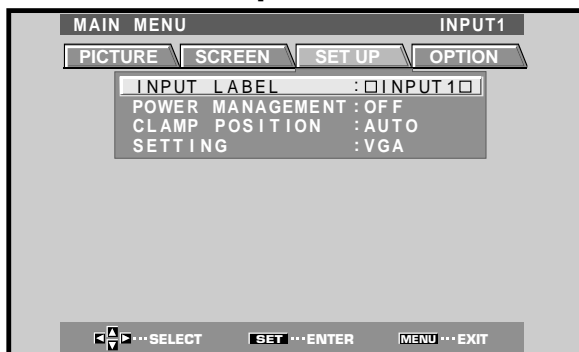
- Power management settings are supported only when a computer signal is input to INPUT 1, or when INPUT 5 is selected.
- The auto-power-off function can be used only in those cases other than the inputs used in the preceding item.
- Always turn off the plasma display's main power switch when not using the display for extended periods of time.

1 Press MENU to display the menu screen.

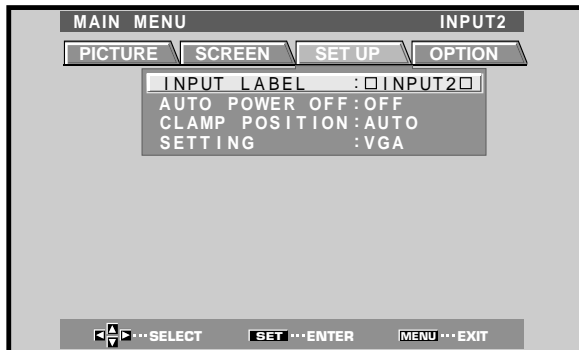


2 Press ◀/▶ to select SET UP.

[When computer signal is input to INPUT 1, or when INPUT 5 is used]



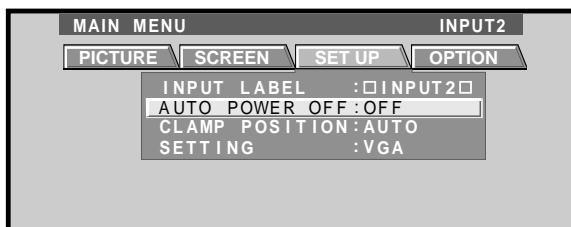
[In all other cases]



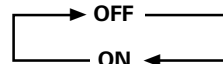
3 Press ▲/▼ to select either the POWER MANAGEMENT or AUTO POWER OFF mode. [When computer signal is input to INPUT 1, or when INPUT 5 is used]



[In all other cases]



4 Press SET to confirm selection of the POWER MANAGEMENT or AUTO POWER OFF.



- When OFF is selected, the display will continue in operating mode, regardless of the presence/absence of an input sync signal.
- When **POWER MANAGEMENT: ON** is selected, if a sync signal is not detected, a warning message is displayed for 8 seconds, after which the display automatically enters the power-saving mode (*1) and the STANDBY/ON indicator flashes green. If a sync signal (*2) is input again later, the plasma display automatically returns to normal operating mode.
 - *1. Power consumption is about 1 W when INPUT 1 is used, and about 50 W when INPUT 5 is used.
 - *2. Except when input signal is G on SYNC or composite SYNC
- When **AUTO POWER OFF: ON** is selected, if no sync signal is detected for 8 minutes or more, a warning message will be displayed for 30 seconds, after which the display's power will switch to STANDBY mode.

5 When the setup is finished, press MENU to exit the menu screen.

Note

The POWER MANAGEMENT and AUTO POWER OFF functions must be set individually for each input (INPUT1-5).

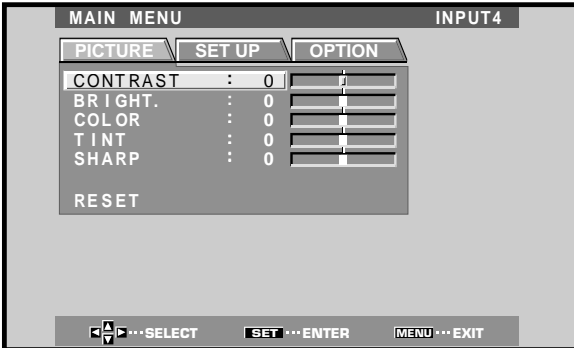
To return to operating mode:

- **To return to normal operation from POWER MANAGEMENT mode:** either operate the computer, or press INPUT on the display or remote control unit.
- **To return to normal operation from AUTO POWER OFF mode:** Press STANDBY/ON on the display or remote control unit.

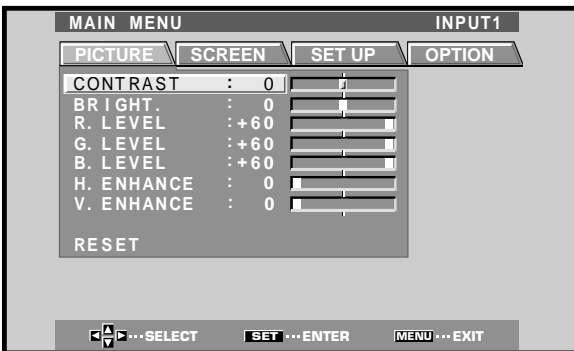
Display Panel Adjustments

Adjusting the Picture Quality

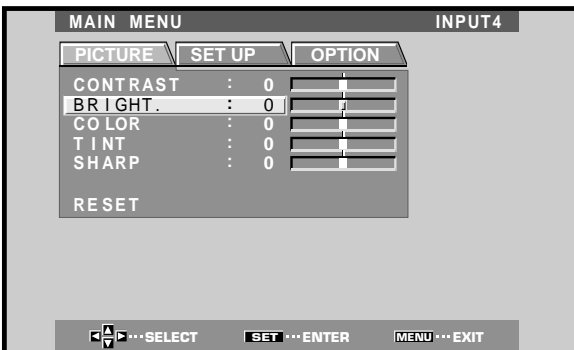
1 Press **MENU** to display the menu screen.



When viewing an image from a personal computer from INPUT1, INPUT2 or INPUT5, the following screen is displayed.



2 Press **▲/▼** to select the adjustment item, then press **SET**.



3 Press **◀/▶** to adjust the picture quality as desired.



4 Press **SET**.

Pressing **SET** writes the value into the memory and returns the display to the step 2 screen.

5 When the setup is finished, press **MENU** to exit the menu screen.

Note

Make these adjustments for each input (INPUT1 to INPUT5) and signals.

PICTURE mode adjustment items

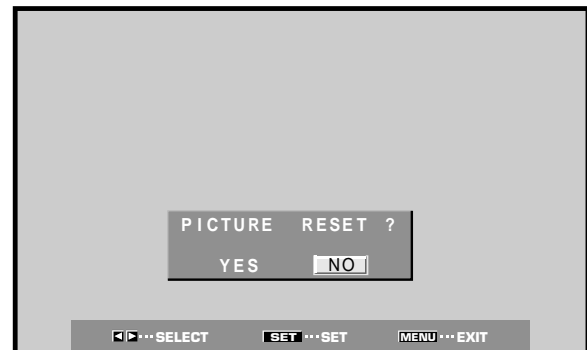
Below are brief descriptions of the options that can be set in the PICTURE mode.

- CONTRAST Adjust according to the surrounding brightness so that the picture can be seen clearly.
- BRIGHT. Adjust so that the dark parts of the picture can be seen clearly.
- COLOR Adjust to the desired depth. (Setting to a slightly deep color will create a natural looking picture.)
- TINT Adjust so that flesh tones look normal.
- SHARP Normally set to the center position. To create a softer picture, set to the left of center. To create a sharper picture, set to the right of center.

To reset PICTURE mode settings to the default

If settings have been adjusted excessively or the picture on the screen no longer appears natural, it may prove more beneficial to reset the PICTURE mode to default settings instead of trying to make adjustments under already adjusted conditions.

1 In step 2 in the previous procedure, press **▲/▼** to select **RESET**, then press **SET**.



2 Press **◀/▶** to select **YES**, and press **SET**.

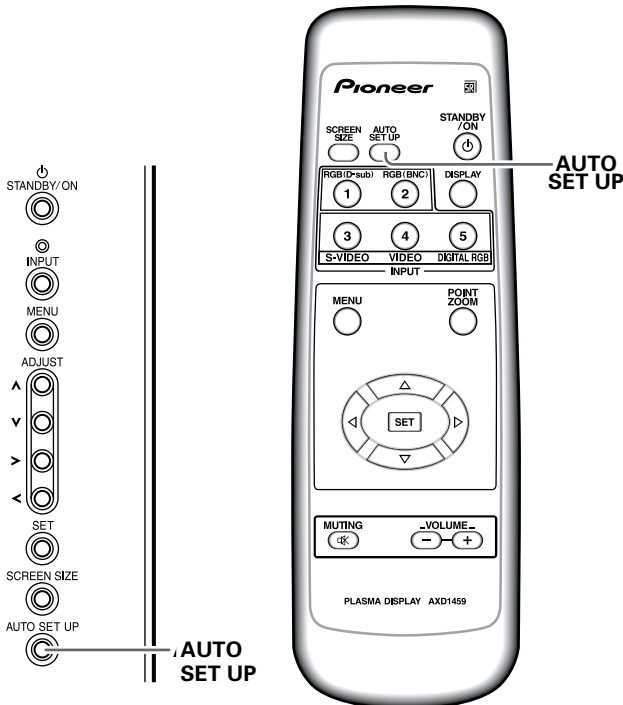
All PICTURE mode settings are returned to the factory set default.

Adjusting the Image Position and Clock (Automatic Adjustment)

Pressing AUTO SET UP on either the display or the remote control unit will adjust the screen position and clock to optimum values.

Notes

- This adjustment is supported only when a computer signal is connected to INPUT1 or INPUT2.
- Perform this adjustment individually for each input function (INPUT1 or INPUT2), and each signal type.



Display Operating Panel Remote Control Unit

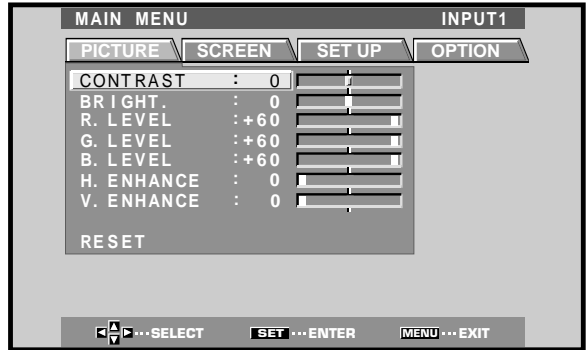
Press **AUTO SET UP** on either the display or remote control unit.

- Optimum settings may not be possible for low-luminance and certain other kinds of signals. In this case, following the instructions in the following section “**Manual Adjustment of Screen Position and Clock**” to make more precise adjustments.

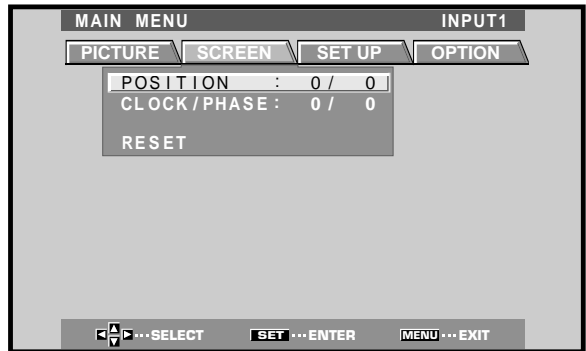
Manual Adjustment of Screen Position and Clock

This setting can be adjusted when a computer signal is connected to INPUT1, INPUT2, or INPUT5. (The settings on this page are not supported when INPUT3 or INPUT4 is selected, or when a video signal is input).

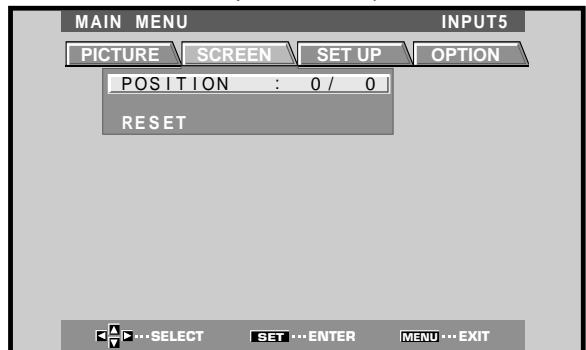
1 Press MENU to display the menu screen.



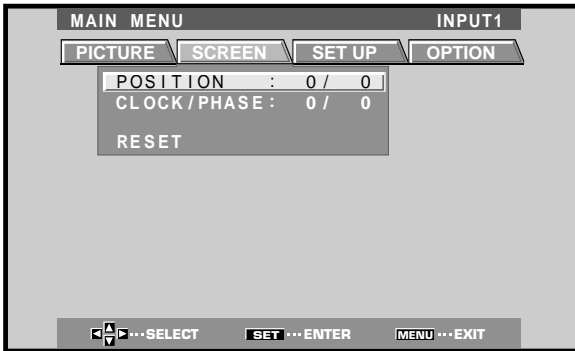
2 Press <left>/<right> to select SCREEN.



INPUT5 is selected, the following screen will appear and the POSITION adjustment only can be selected.



3 Press ▲/▼ to select the adjustment item, then press SET.



4 Press ◀/▶ to carry out the adjustment.



Use ▲/▼ for the adjustments of V.POSITION and PHASE.

5 Press SET.

Pressing **SET** writes the value into the memory and returns the display to the step 3 screen.

6 When adjustment is finished, press MENU to exit the menu screen.

Note

Make these adjustments for each input (INPUT1, INPUT2 or INPUT5) and signals.

SCREEN mode adjustment items

Below are brief descriptions of the options that can be set in the SCREEN mode.

POSITION

- H.POSITION Adjust the picture's position to the left or right.
- V.POSITION Adjust the picture's position upward or downward.

CLOCK/PHASE

- CLOCK Adjust letter breakup or noise on the screen. This setting adjusts the display's internal clock signal frequency that corresponds to the input video signal.
- PHASE Adjust so that there is minimum flicker of screen letters or color misalignment. This setting adjusts the phase of the internal clock signal adjusted by the CLOCK setting.

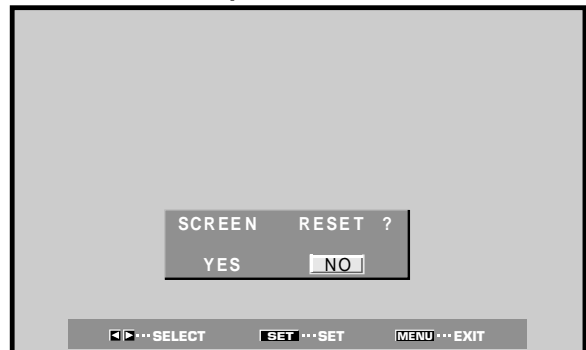
Notes

- When CLOCK adjustment is carried out, the H.POSITION setting may have to be re-adjusted.
- If the adjustment items in the SCREEN mode are adjusted excessively, the picture may not be displayed properly.

To reset SCREEN mode settings to the default

If settings have been adjusted excessively or the picture on the screen no longer appears natural, it may prove more beneficial to reset the SCREEN mode to default settings instead of trying to make adjustments under already adjusted conditions.

1 In step 3 in the previous procedure, press ▲/▼ to select RESET, then press SET.



2 Press ◀/▶ to select YES, and press SET.

All SCREEN mode settings are returned to the factory set default.

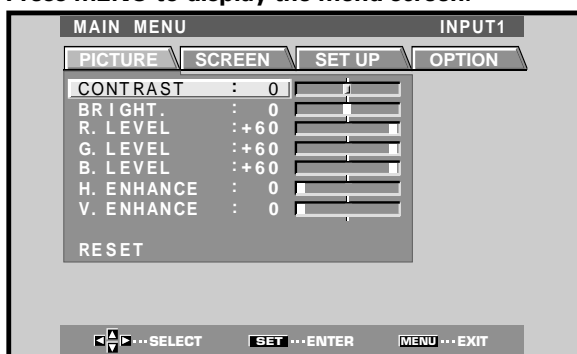
Rewriting the Input Display (INPUT LABEL)

This function allows rewriting of the screen contents displayed with differing inputs. For example, the default "INPUT1" can be changed to "COMPUTER" or other name describing the connected component (up to maximum of 8 characters).

Example: To rewrite the default "INPUT1" message to display "COMPUTER" instead.

1 Press INPUT and set input to INPUT1.

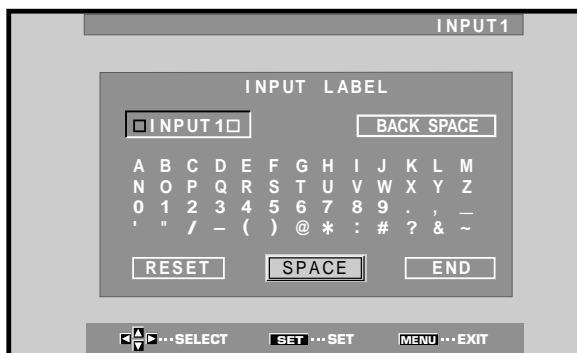
2 Press MENU to display the menu screen.



3 Press ◀/▶ to select SET UP.



4 Press SET to select INPUT LABEL.



5 Press ◀/▶/▲/▼ to select the first desired character (here, "C"), then press SET to confirm (repeat this step to input up to eight desired characters.)



- Usable characters include 52 types displayable on screen.
- When a character is selected and SET pressed, the input point (cursor position) advances by one.
- If you input a mistaken character, press **BACK SPACE** followed by SET to move the input point (cursor position) back by one.
- To return the display to its default value (INPUT1), press **RESET** followed by SET.



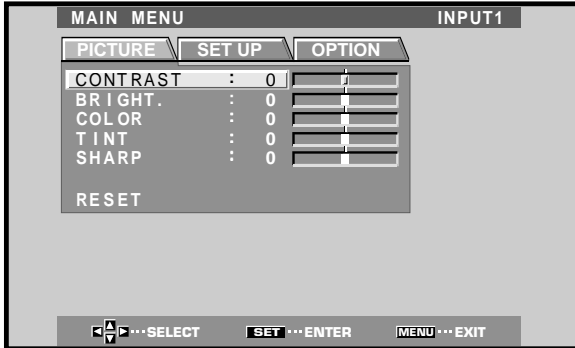
6 After setting all inputs as desired, press ◀/▶/▲/▼ to select **END, followed by SET.**



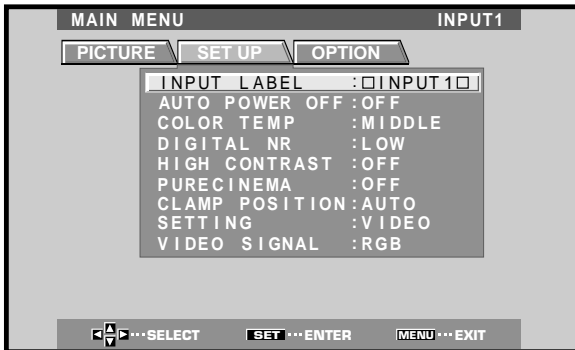
7 Press MENU to return to the normal display screen.

Changing the Color Temperature (COLOR TEMP)

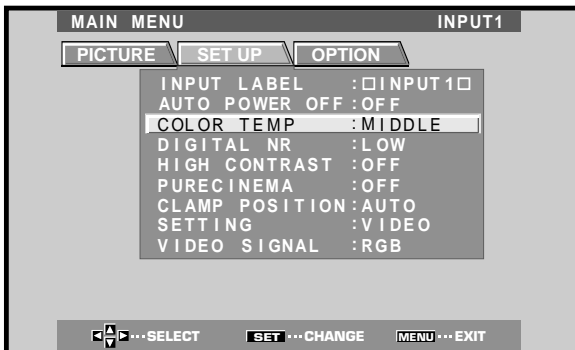
1 Press **MENU** to display the menu screen.



2 Press **◀/▶** to select **SET UP**.

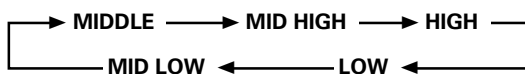


3 Press **▲/▼** to select **COLOR TEMP**.



4 Press **SET** to select the desired color temperature setting.

The unit has been factory set at the MIDDLE setting. Each time **SET** is pressed, the color temperature setting changes as shown:



5 Following completion of the setting, press **MENU** once again to return to the normal display.

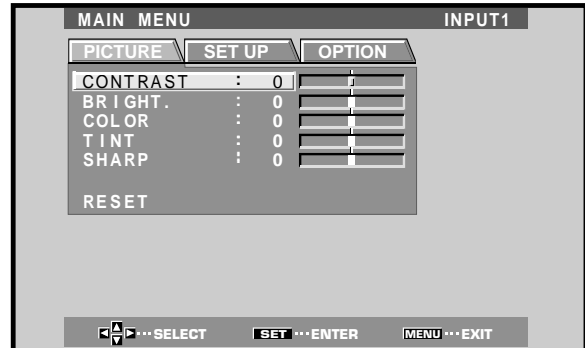
Note

Color temperature settings are supported only with input signals from a video device. Settings are made individually for each of the inputs (INPUT1 - INPUT4).

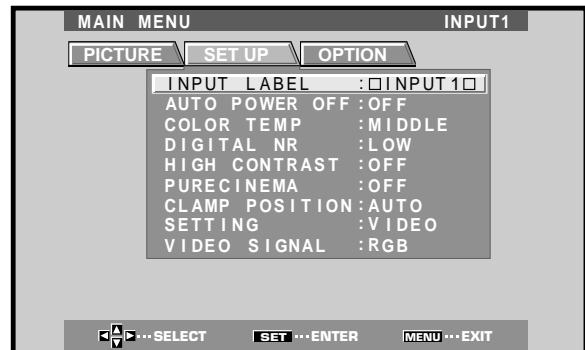
Reducing Video Noise (DIGITAL NR)

Make this setting if video noise is objectionable.

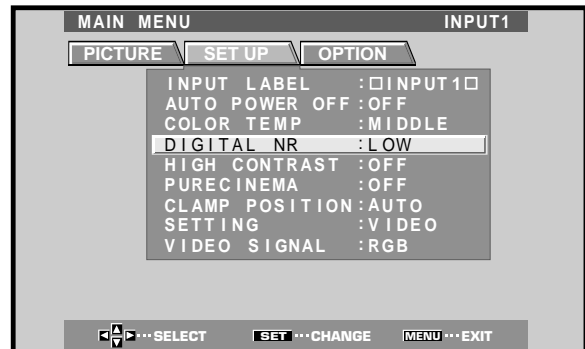
1 Press **MENU** to display the menu screen.



2 Press **◀/▶** to select **SET UP**.



3 Press **▲/▼** to select **DIGITAL NR**.



4 Press **SET** to select the desired DIGITAL NR setting.

The unit has been factory set to the LOW setting.

Each time **SET** is pressed, the digital noise reduction setting changes as shown:



● The noise reduction effect increases in order LOW → MIDDLE → HIGH

5 Following completion of the setting, press **MENU** once again to return to the normal display.

Note

Digital noise reduction settings are supported only with input signals from a video device. Settings are made individually for each of the inputs (INPUT1 - INPUT4).

Setting the PureCinema mode

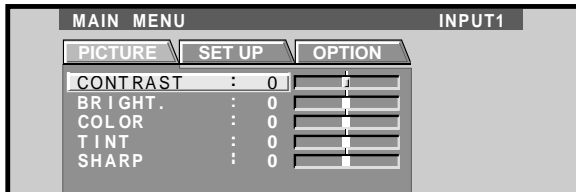
When the PureCinema mode is selected, it functions automatically to detect video signals of movies recorded at 24 frames-per-second, changing the scan settings to allow enjoyment of higher quality movie playback. It does this by converting the video signal to progressive scan. When using the PureCinema function, it should ordinarily be set to "HQ." Note, however, that due to the time required for video signal processing, a time lag may occur with the audio signal, and if this lag is objectionable, set the mode to "STANDARD." When set to OFF (factory default), only standard progressive conversion is used.

Note

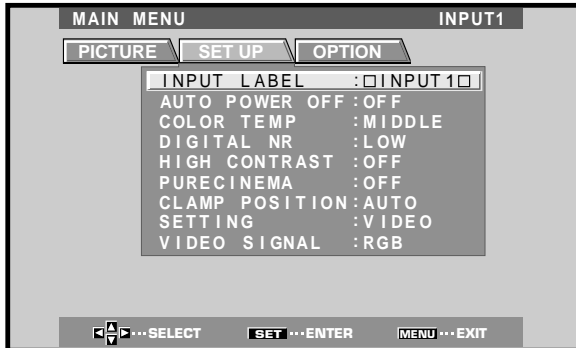
The PureCinema mode is supported only with 525i (480i) or NTSC input signals.

This setting must be made independently for each input (INPUT 1 - INPUT 4) used.

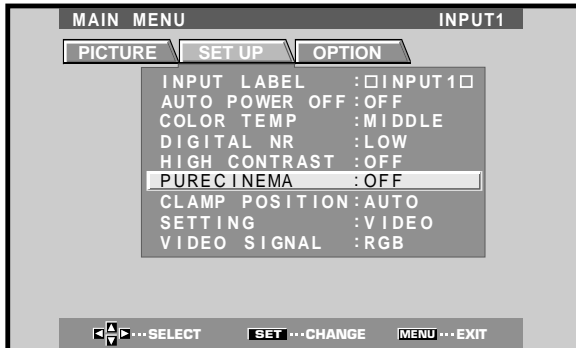
1 Press MENU to display the menu screen.



2 Press ◀/▶ to select SET UP.



3 Press ▲/▼ to select PURECINEMA.



4 Press SET to select the desired PureCinema mode.

Each time SET is pressed, the screen mode setting changes as shown:



5 Following completion of the setting, press MENU once again to return to the normal display.

Setting the Regional TV System Format

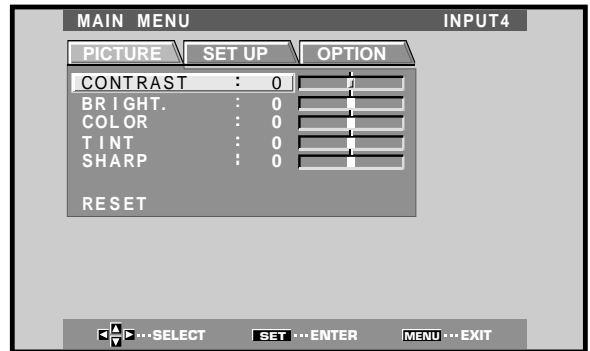
INPUT3 and INPUT4 are compatible with a number of TV system formats used around the world, which are automatically detected by this unit.

Normally "COLOR SYSTEM:AUTO" should be selected for automatic detection. However, some video signals are dubbed over or in certain conditions may not be displayed properly (loss of color, etc.) by this setting. In this case, change the setting according to the input signal.

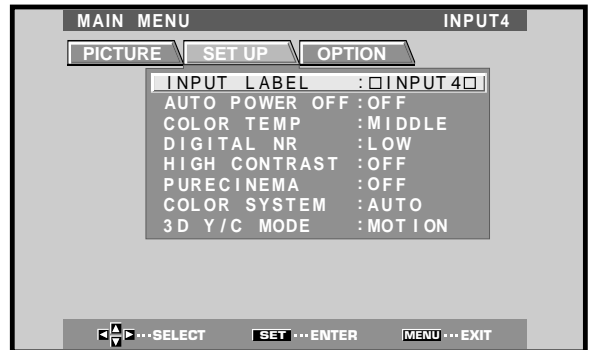
Note

Setting the TV system format is required for both INPUT3 and INPUT4. Setting assignment and exclusive use according to the TV system format of your input signal will enable prompt processing of signals and reduction of time for input selection and possible errors in detecting signals.

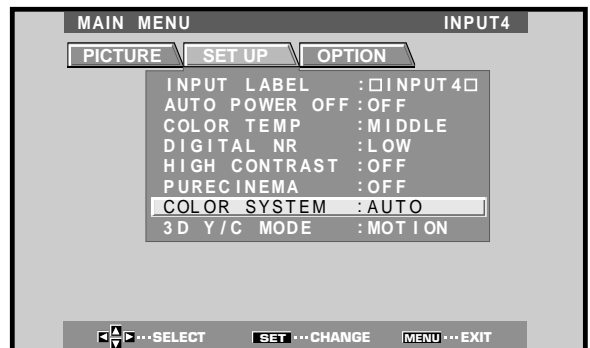
1 Press MENU to display the menu screen.



2 Press ◀/▶ to select SET UP.

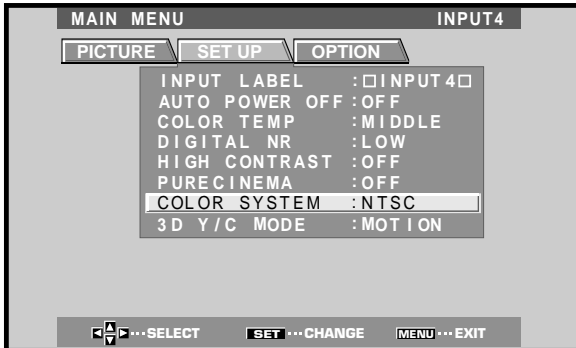
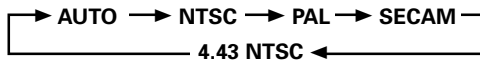


3 Press ▲/▼ to select COLOR SYSTEM.



4 Press SET repeatedly until the appropriate setting appears.

Each time **SET** is pressed, the settings change in the following order.



5 When the setup is finished, press MENU to exit the menu screen.

Viewing a Fast Moving Picture (3D Y/C MODE)

When viewing a fast moving picture such as might be experienced with a sports program, setting this mode to "MOTION" will reduce picture blur and create a clearer image.

- Set this mode to "STILL" when not viewing a fast moving picture.

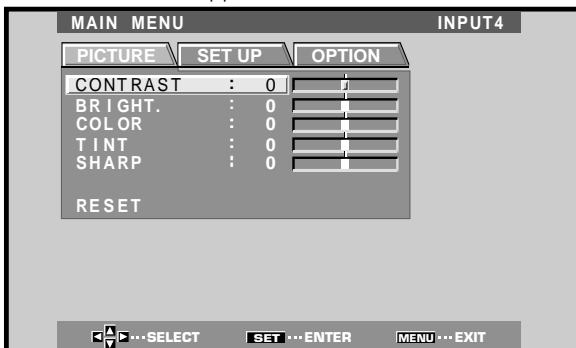
Notes

3D Y/C MODE setting is possible only when the unit is complying with all the following conditions:

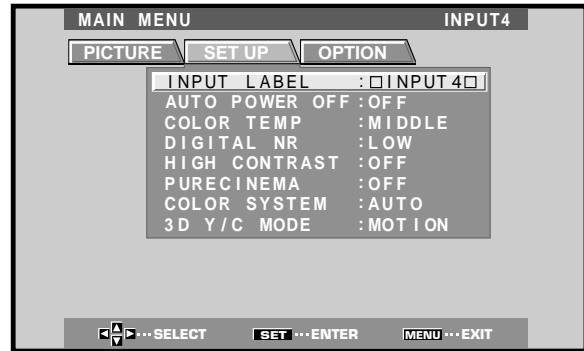
- When INPUT4 is selected.
- While COLOR SYSTEM is set to AUTO and the unit is receiving an NTSC signal or when COLOR SYSTEM is set to NTSC.

1 Press MENU to display the menu screen.

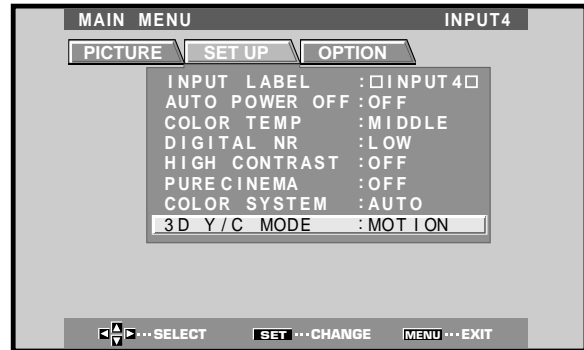
The menu screen appears.



2 Press ◀/▶ to select SET UP.



3 Press ▲/▼ to select 3D Y/C MODE.



4 Press SET to set the mode to "MOTION".

"MOTION" is set when this unit is shipped from the factory.

Each time **SET** is pressed, the settings change in the following order.



5 When the setup is finished, press MENU to exit the menu screen.

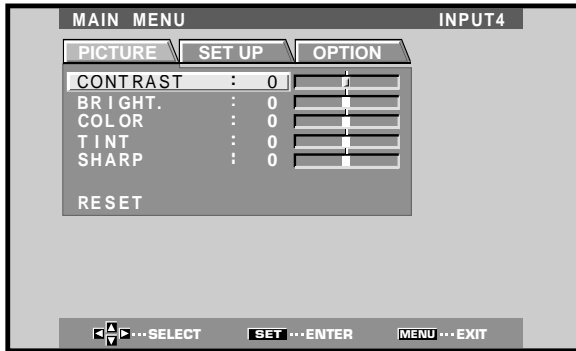
Viewing in a Bright Location (HIGH CONTRAST)

When viewing a picture in a bright location, setting this mode to "ON" will enable you to obtain a clear video image.

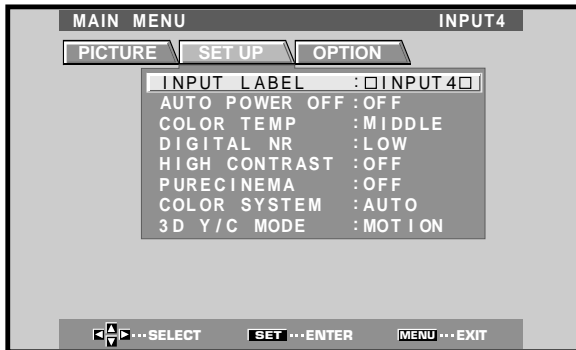
- Set this mode to "OFF" when not viewing in a bright location.

1 Press MENU to display the menu screen.

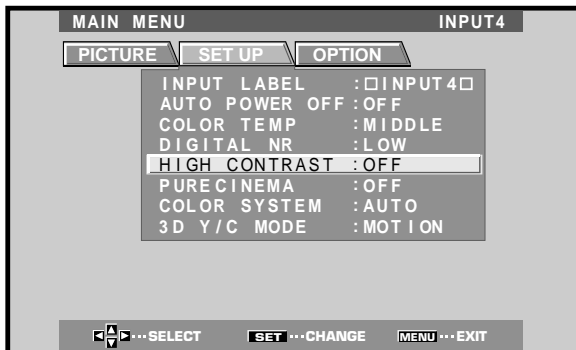
The menu screen appears.



2 Press ◀/▶ to select SET UP.



3 Press ▲/▼ to select HIGH CONTRAST.



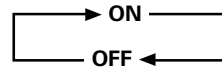
When viewing an image from INPUT1 or INPUT2, the following screen is displayed.



4 Press SET to set the mode to "ON".

"OFF" is set when this unit is shipped from the factory.

Each time SET is pressed, the settings change in the following order.



5 When the setup is finished, press MENU to exit the menu screen.

Note

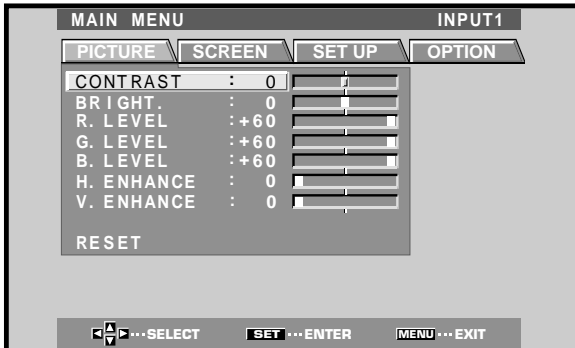
The HIGH CONTRAST setting is supported only when selecting a video input signal from a connected video component. This setting must be made independently for each input (INPUT 1 - INPUT 4) used.

AUTO FUNCTION

The plasma display is equipped with an AUTO FUNCTION detection function; when a signal is detected at the selected input, the function selector automatically switches to that input.

1 Press MENU;

The onscreen menu will be displayed.



2 Press ◀/▶ to select OPTION.



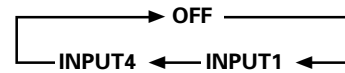
3 Press ▲/▼ to select AUTO FUNCTION.



4 Press SET to select INPUT1 or INPUT4.

The factory default setting is OFF.

Each time **SET** is pressed the selector function switches alternately as shown:



- When OFF is selected, AUTO FUNCTION is disabled.
 - After INPUT 1 or INPUT 4 is selected, if a signal is detected to the selected input jack, the input function will automatically switch to the selected input. Thereafter, the input will not change even if the INPUT button is pressed on the remote control unit or display.
- Once the function has switched to the selected input by operation of the AUTO FUNCTION facility, if the input signal is no longer detected at the selected input jack, the function will automatically switch back to the original input source used before the AUTO FUNCTION facility was enabled.

5 Following completion of settings, press MENU again to return the display to its normal screen.

Note

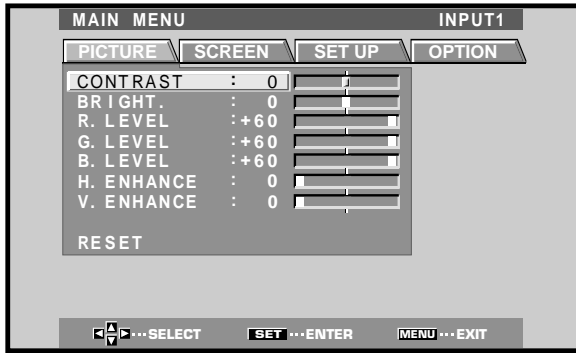
AUTO FUNCTION for INPUT 1 is supported only when a separate SYNC or Composite SYNC analog RGB signal is input. (AUTO FUNCTION is disabled when a G on SYNC or component video signal is input.)

Audio Output (AUDIO OUT)

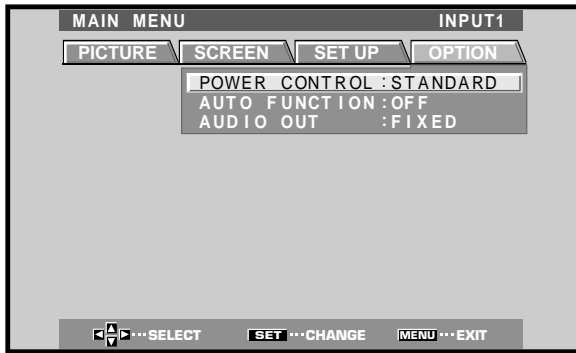
The signal level produced at the AUDIO OUT jack can be set to FIXED or VARIABLE (linked to the VOLUME) as desired.

1 Press MENU;

The onscreen menu will be displayed.



2 Press ◀/▶ to select OPTION.



3 Press ▲/▼ to select AUDIO OUT.



4 Press SET to select the desired audio level setting.

The factory default setting is FIXED.

Each time **SET** is pressed, the function alternates as shown:



- When FIXED is selected, the audio output volume will not change, even if the setting of the display's VOLUME function is later changed.
- When VARIABLE is selected, the level of the output signal changes in accordance with the setting of the VOLUME function.

5 Following completion of settings, press MENU to return to normal screen display.

Note

The AUDIO OUT setting affects all input sources (INPUT1-5).

Specifications

General

External dimensions 243.8 (W) x 23.6 (H) x 144 (D) mm
9-5/8 (W) x 29/32 (H) x 5-11/16 (D) in.
Weight 0.3 kg (10.6 oz)
Operating temperature range 0 to 40 °C (32 to 104 °F)

Input/output

Video

INPUT 3

- Input** S terminal (Mini DIN 4 pin)
- Y/C separate video signal
- Y . . . 1 V_{p-p}/75 Ω/negative sync.
C . . . 0.286 V_{p-p}/75 Ω (NTSC)
0.3 V_{p-p}/75 Ω (PAL)

INPUT 4

- Input** BNC jack
- Composite video signal
- 1 V_{p-p}/75 Ω/negative sync.

- Output** BNC jack
75 Ω /with buffer

INPUT 5

- Input** DVI-D 24-pin connector
- Digital RGB signal (DVI compliant TMDS signal)
- * INPUT 5 supports Microsoft "Plug & Play" (VESA DDC 2B) standards.

Audio

- Input** AUDIO INPUT (for INPUT 3)
Pin jack (x2)
L/R ... 500mV_{rms}/more than 10 kΩ
- AUDIO INPUT (for INPUT 4)
Pin jack (x2)
L/R ... 500mV_{rms}/more than 10 kΩ

Accessories

Label for remote control unit..... 1
BNC/Pin conversion adaptor 1
Connector indicator label..... 1
Operating Instructions..... 1
Warranty..... 1

- Due to improvements, specifications and design are subject to change without notice.

Supplement 1

Video signal compatibility table (INPUT1, INPUT2)

Refresh rate		Signal format	Screen size				Remarks
Vertical Fv (Hz)	Horizontal Fh (kHz)		4:3	FULL	ZOOM	WIDE	
50	15.625	Component	○	○	○	○	625i (575i)/SDTV
		RGB	○	○	○	○	
	28.1	Component		○			1125i (1080i)/HDTV
		RGB		○			
	31.25	Component	○	○	○	○	625p (575p)/SDTV
		RGB	○	○	○	○	
60	15.734	Component	○	○	○	○	525i (480i)/SDTV
		RGB	○	○	○	○	
	31.5	Component	○	○	○	○	525p (480p)/SDTV
		RGB	○	○	○	○	
	33.75	Component		○			1125i (1080i)/HDTV
		RGB		○			
	45.0	Component		○			750p (720p)/HDTV
		RGB		○			
	67.5	Component		○			1125p (1080p)/HDTV
		RGB		○			

Supplement 2

Computer signal compatibility table (when connected to PDP-503CMX/PDP-503MXE) (INPUT5)

Resolution (Dot x Line)	Refresh rate		Screen size (Dot x line)				Remarks
	Vertical	Horizontal	DOT BY DOT	4:3	FULL	PARTIAL	
640x480	60Hz	31.5kHz	◎ 640x480	○ 1024x768	○ 1280x768		
800 x600	56Hz	35.1kHz	◎ 800x600	○ 1024x768	○ 1280x768		
	60Hz	37.9kHz	↑	↑	↑		
852x480	60Hz	31.7kHz	◎ 852x480		○ 1280x768		
1024x768	60Hz	48.4kHz	◎ 1024x768		○ 1280x768		
1152x864	60Hz	53.7kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
1280x768	56Hz	45.1kHz	◎ 1280x768				
	60Hz	48.4kHz	↑				
1280x960	60Hz	60.0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
1280x1024	60Hz	64.0kHz		△ 960x768	△ 1280x768	◎ 1280x768	

- ◎ : Optimal picture. Adjustment of picture position, refresh rate, phase etc., may be necessary.
- : Picture will be enlarged but some fine detail will be hard to see.
- △ : Simple reproduction. Fine detail will not be reproduced. Screen size will be displayed as “~ (TYPE)”.

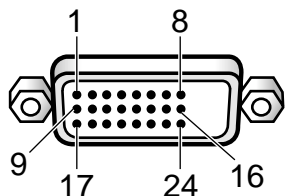
Computer signal compatibility table (when connected to PDP-433CMX/PDP-433MXE) (INPUT5)

Resolution (Dot x Line)	Refresh rate		Screen size (Dot x line)			Remarks
	Vertical	Horizontal	DOT BY DOT	4:3	FULL	
640x480	60Hz	31.5kHz	◎ 640x480	○ 768x768	○ 1024x768	
800 x600	56Hz	35.1kHz	◎ 800x600	△ 768x768	○ 1024x768	
	60Hz	37.9kHz	↑	↑	↑	
852x480	60Hz	31.7kHz	◎ 852x480		○ 1024x768	
1024x768	60Hz	48.4kHz	◎ 1024x768	△ 768x768		
1152x864	60Hz	53.7kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
1280x768	56Hz	45.1kHz			△ 1024x768	
	60Hz	48.4kHz			↑	
1280x960	60Hz	60.0kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
1280x1024	60Hz	64.0kHz		△ 720x768	△ 1024x768	

- ◎ : Input signals are made to display at a 1:1 ratio with the screen's dot x line composition. [] : Not available.
 Note: The PDP-433CMX/PDP-433MXE is designed with horizontally oblong elements, with the result that the image displayed will appear more oblong than the original input signal.
 ○ : Picture will be enlarged but some fine detail will be hard to see.
 △ : Simple reproduction. Fine detail will not be reproduced. Screen size will be displayed as “~ (TYPE)”.

Supplement 3

INPUT 5 (DVI female connector) pin allocation.



Pin No.	Signal Assignment
1	T.M.D.S. Data2-
2	T.M.D.S. Data2+
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield
4	NC (No connection)
5	NC (No connection)
6	DDC Clock
7	DDC Data
8	NC (No connection)
9	T.M.D.S. Data1-
10	T.M.D.S. Data1+
11	T.M.D.S. Data1/3 Shield
12	NC (No connection)
13	NC (No connection)
14	+5V Power
15	GND
16	Hot Plug Detect
17	T.M.D.S. Data0-
18	T.M.D.S. Data0+
19	T.M.D.S. Data0/5 Shield
20	NC (No connection)
21	NC (No connection)
22	T.M.D.S. Clock Shield
23	T.M.D.S. Clock+
24	T.M.D.S. Clock-

Power Management is a registered trademark of Sun Microsystems Inc.
 TMDS is a registered trademark of Silicon Image Inc.
 Apple and Macintosh are registered trademarks of Apple Computer, Inc.
 Microsoft is a registered trademark of Microsoft Corporation.
 VGA and XGA are registered trademarks of International Business Machines Co., Inc.
 VESA and DDC are registered trademarks of Video Electronics Standards Association.

Explanation of Terms

Aspect ratio

The TV screen's width to height ratio is referred to as its aspect ratio. The aspect ratio on standard TVs is 4:3 and on wide TVs or High Definition TVs it is 16:9.

S jack (S VIDEO jack)

This jack separates and transmits the video signal as two signals; the luminance (Y) signal and the color(C) signal. Because of this, picture reproduction is superior to that obtained at the composite input/output jacks.

S-video signal

The video signal is composed of two signals; the chroma signal (color signal) which reproduces color and the luminance signal which reproduces light and darkness. With standard video components, these two signals are combined into one and are handled as a video signal referred to as the "composite signal". The S-video signal, however, is a signal that handles these two signals separately. Because they are not combined as in the composite video signal, the high quality of both signals can be retained.

Component video signal

General term for video signal format composed of the Y.Cb.Cr, Y.Pb.Pr and Y.B-Y.R-Y luminance signal + color signal. The component video signal is sometimes simply called the "color difference signal".

G ON SYNC

This indicates a video signal in the form of a synchronization signal added to the G (GREEN) signal of the R.G.B signal.

VGA

VGA is short for "Video Graphics Array". Generally this indicates a 640 dot x 480 line resolution.

XGA

General term for "eXtended Graphics Array". Generally this indicates a 1024 dot x 768 line resolution.

DVI

An acronym for Digital Visual Interface, an interface standard proposed by the Digital Display Working Group (DDWG) for digital displays.

Précautions de sécurité

IMPORTANT



Ce symbole de l'éclair, placé dans un triangle équilatéral, a pour but d'attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence, à l'intérieur du coffret de l'appareil, de tensions dangereuses non isolées d'une grandeur suffisante pour représenter un risque d'électrocution pour les êtres humains.



ATTENTION:
POUR EVITER TOUT RISQUE D'ELECTROCUTION, NE PAS ENLEVER LE COUVERCLE (NI LE PANNEAU ARRIERE). AUCUNE PIECE REPARABLE PAR L'UTILISATEUR NE SE TROUVE A L'INTERIEUR. CONFIER TOUT ENTRETIEN A UN PERSONNEL QUALIFIE UNIQUEMENT.



Ce point d'exclamation, placé dans un triangle équilatéral, a pour but d'attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence, dans les documents qui accompagnent l'appareil, d'explications importantes du point de vue de l'exploitation ou de l'entretien.

H002AFr

Nous vous remercions vivement d'avoir fait l'acquisition de ce produit PIONEER.

Avant d'utiliser cet appareil veuillez lire attentivement les "Précautions de sécurité" ainsi que le présent "Mode d'emploi" de manière à utiliser l'écran à plasma correctement.

Conservez ce manuel dans un endroit sûr. Il vous sera sûrement utile dans le mois ou les années qui suivent.

ATTENTION: CET APPAREIL N'EST PAS IMPERMEABLE, AFIN DE PREVENIR TOUT RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE OU DE DEBUT D'ENCENDIE, NE PAS EXPOSER CET APPAREIL A L'HUMIDITE OU A LA PLUIE ET NE PLACER AUPRES DE LUI AUCUNE SOURCE D'EAU, TELS QUE VASES, POTS DE FLEUR, COSMETIQUES, FLACONS DE MEDICAMENTS, ETC.

H001AFr

Ce produit est conforme aux directives relatives à la compatibilité électromagnétique (89/336/CEE, amendements 92/31/CEE et 93/68/CEE).

H016AFr

Pour garantir un rayonnement thermique adéquat, placer l'unité à une certaine distance des autres équipements, murs, etc. (normalement à une distance supérieure à 10 cm). Eviter les modes d'installation décrits ciaprès qui entraînent l'obstruction des orifices et provoquent une accumulation de chaleur interne, d'où un risque d'incendie.

- Ne pas essayer de placer l'unité dans des espaces réduits et mal ventilés
- Si une installation spéciale est envisagée, comme un montage à proximité immédiate du mur, un placement horizontal, consulter d'abord le revendeur Pioneer de votre région.

[For Canadian model]

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

[Pour le modèle Canadien]

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

H009 2L

Remarques sur l'installation:

Ce produit est vendu en assumant qu'il sera installé par un personnel suffisamment expérimenté et qualifié. Faites toujours réaliser le montage et l'installation par un spécialiste ou par votre revendeur.

PIONEER ne peut être tenu responsable pour tout dommage causé par une erreur d'installation ou de montage, une mauvaise utilisation ou un désastre naturel.

Remarque pour le revendeur:

Après l'installation, assurez-vous de remettre ce mode d'emploi à l'utilisateur et de lui expliquer comment utiliser ce produit.

Les symboles qui suivent se trouvent sur les étiquettes apposées sur le produit. Ils alertent les utilisateurs de ce matériel ainsi que le personnel du service après-vente sur toutes les situations qui présentent un danger potentiel.

DANGER

Ce symbole concerne un risque ou une pratique dangereuse qui peut entraîner des blessures graves ou la mort.

ATTENTION

Ce symbole concerne un risque ou une pratique dangereuse qui peut entraîner des blessures ou des dégâts matériels.

Particularités

La PDA-5002 est une carte vidéo, destinée à une utilisation exclusive avec l'écran à plasma Pioneer PDP-503CMX/PDP-503MXE (ou PDP-433CMX/PDP-433MXE). Cet écran à plasma est conçu essentiellement comme moniteur d'ordinateur, mais par installation de la carte vidéo PDA-5002, les fonctions supplémentaires ci-dessous sont disponibles:

1. Utilisation possible de prises d'entrée additionnelles (INPUT 3, 4, 5), supportant les signaux S-Vidéo, vidéo composite et DVI (TMDS).
2. Raccordement possible à un large éventail d'équipements vidéo en option.

Table des matières

Précautions de sécurité	i
Avant de commencer	2
Comment utiliser ce mode d'emploi	2
Vérification des accessoires fournis	3
Les différents organes et leurs rôles ..	4
Panneau de raccordement	4
Installation et raccordements	6
Installation de la carte vidéo	6
Prises d'entrée sur l'écran à plasma avec carte vidéo	7
Raccordements de INPUT1 et INPUT2	7
Raccordement de INPUT3	10
Raccordement de INPUT4	10
Raccordements de INPUT5	11
Raccordement au boîtier DTV	11
Raccordements audio	12
Comment faire cheminer les câbles	13
Mise en oeuvre de l'ensemble	14
Mise en oeuvre après raccordement	14
Fonctionnement	16
Choix de la source	16
Choix du format de l'image	18
Agrandissement partiel de l'image (POINT ZOOM)	19
Mise hors tension automatique	20
Réglages de l'écran à plasma	21
Réglage de la qualité de l'image	21
Réglage automatique de la position de l'image et de l'horloge	22
Réglage manuel de la position d'écran et de l'horloge	22
Autres démarches	24
Modification de l'affichage d'entrée (INPUT LABEL)	24
Changement de la température de couleur (COLOR TEMP)	25
Réduction du bruit vidéo (DIGITAL NR)	25
Réglage du mode PureCinema	26
Choix du standard de télévision	26
Visualisation d'une image animée (3D Y/C MODE)	27
Utilisation en ambiance lumineuse (HIGH CONTRAST)	28
Fonctionnement automatique (AUTO FUNCTION)	29
Sortie audio (AUDIO OUT)	30
Informations complémentaires	31
Caractéristiques techniques	31
Supplément 1	32
Supplément 2	32
Supplément 3	34
Glossaire	34

Comment utiliser ce mode d'emploi

Ce mode d'emploi a été rédigé de manière à faciliter les démarches de la mise en œuvre et de l'exploitation lorsque la carte vidéo PDA-5002 est installée dans l'écran à plasma.

Retirez la carte vidéo de son emballage et assurez-vous que tous les accessoires sont présents. Pour l'installation et la mise en œuvre de la carte vidéo, consultez la section "Les différents organes et leurs rôles" à la page 4 de ce manuel et du Mode d'emploi de l'écran à plasma, de manière à vous familiariser avec les organes et les dispositifs respectifs.

Comme cette brochure fait souvent référence aux boutons de l'écran à plasma, utilisez aussi le mode d'emploi de ce dernier pour vous habituer aux commandes de l'écran à plasma proprement dit et de sa télécommande.

La section "Installation et raccordements" qui débute à la page 6 regroupe toutes les informations nécessaires pour l'installation de la carte vidéo sur l'écran à plasma, ainsi que les instructions relatives aux raccordements à divers autres composants.

La section "Mise en oeuvre de l'ensemble" qui débute à la page 14 traite des réglages à réaliser à partir des menus affichés de façon à intégrer le fonctionnement de l'écran à plasma à celui des autres appareils de l'installation. En fonction des raccordements réalisés, il peut être inutile de lire cette section.

Les autres sections de ce mode d'emploi abordent des opérations de base telle le choix d'une source et des opérations plus détaillées telles que l'affichage d'image correspondant aux appareils utilisés et aux goûts personnels.

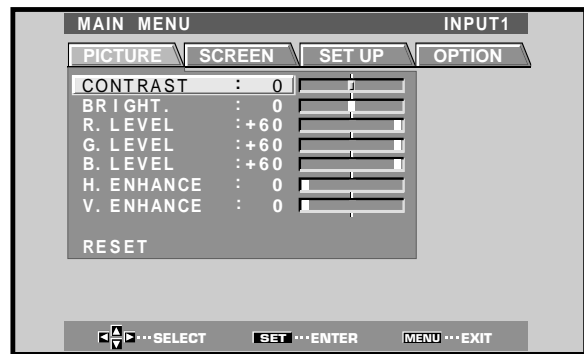
Affichages d'écran

Les affichages d'écran, présentés à titre d'exemples dans ce manuel, concernent le modèle PDP-503CMX/PDP-503MXE. L'affichage du PDP-433CMX/PDP-433MXE diffère comme suit :

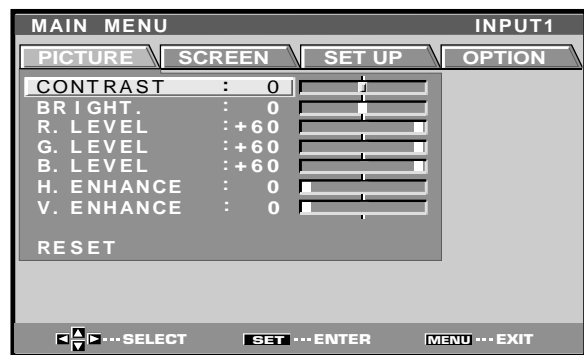
- L'affichage d'écran du PDP-503CMX/PDP-503MXE présente un bord non apparent sur chaque côté.
- L'affichage d'écran du PDP-433CMX/PDP-433MXE remplit la zone d'affichage dans le sens horizontal.

Notez que le contenu affiché réel est le même pour le PDP-503CMX/PDP-503MXE et le PDP-433CMX/PDP-433MXE.

Exemple d'Affichage d'écran du PDP-503CMX/PDP-503MXE :



Exemple d'Affichage d'écran du PDP-433CMX/PDP-433MXE :



Description des modes opératoires

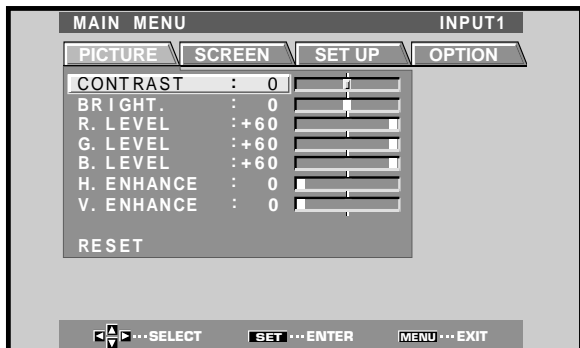
Les modes opératoires sont présentés sous la forme d'étapes numérotées. La plupart sont rédigés en tenant compte des possibilités de la télécommande, à moins que la touche ou la commande ne soient présentes que sur l'écran à plasma. A noter qu'une touche ou une commande de l'écran à plasma ayant le même nom qu'une touche ou une commande de la télécommande, jouent les mêmes rôles.

Ce qui suit est un exemple de démarches réelles, expliquant comment ajuster la position verticale et horizontale de l'image sur l'écran. Les illustrations permettent de vérifier visuellement que les étapes se déroulent bien comme il convient. Examinez cet exemple avant de poursuivre la lecture du mode d'emploi.

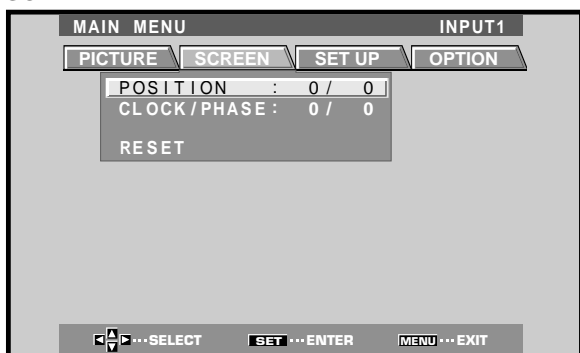
Remarque

Les affichages d'écran illustrés dans ce manuel ne sont présentés qu'à titre d'exemples. Le contenu réel et les rubriques affichées en réalité peuvent être différents en fonction de la source d'entrée et des réglages particuliers.

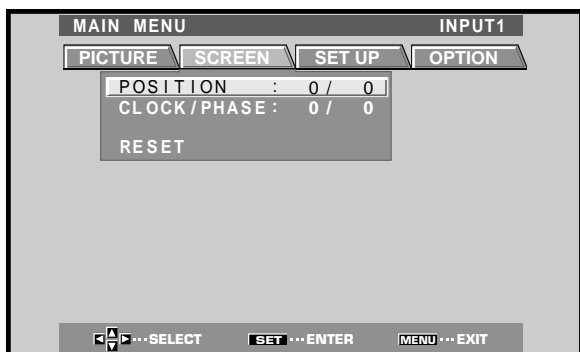
- 1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



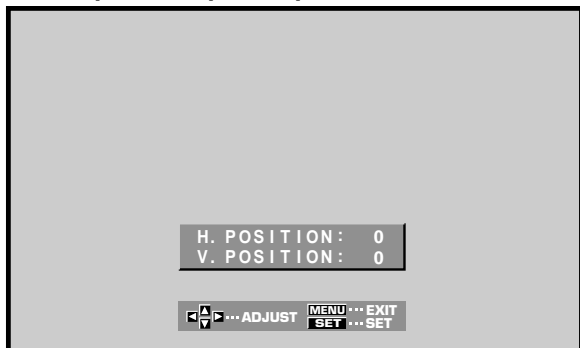
- 2 Utilisez les touches ► pour choisir l'option SCREEN.



- 3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir le paramètre à modifier.



- 4 Appuyez sur la touche SET pour afficher les valeurs possibles pour le paramètre choisi.



- 5 Utilisez les touches ▲/▼/◀/▶ pour choisir la valeur désirée.

Vérification des accessoires fournis

Assurez-vous que les accessoires suivants font partie de la fourniture.

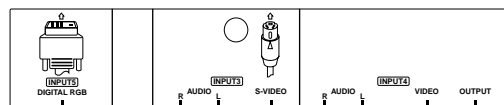
- ① Étiquette pour télécommande



- ② Adaptateur BNC/Fiche



- ③ Étiquette d'identification de connecteur

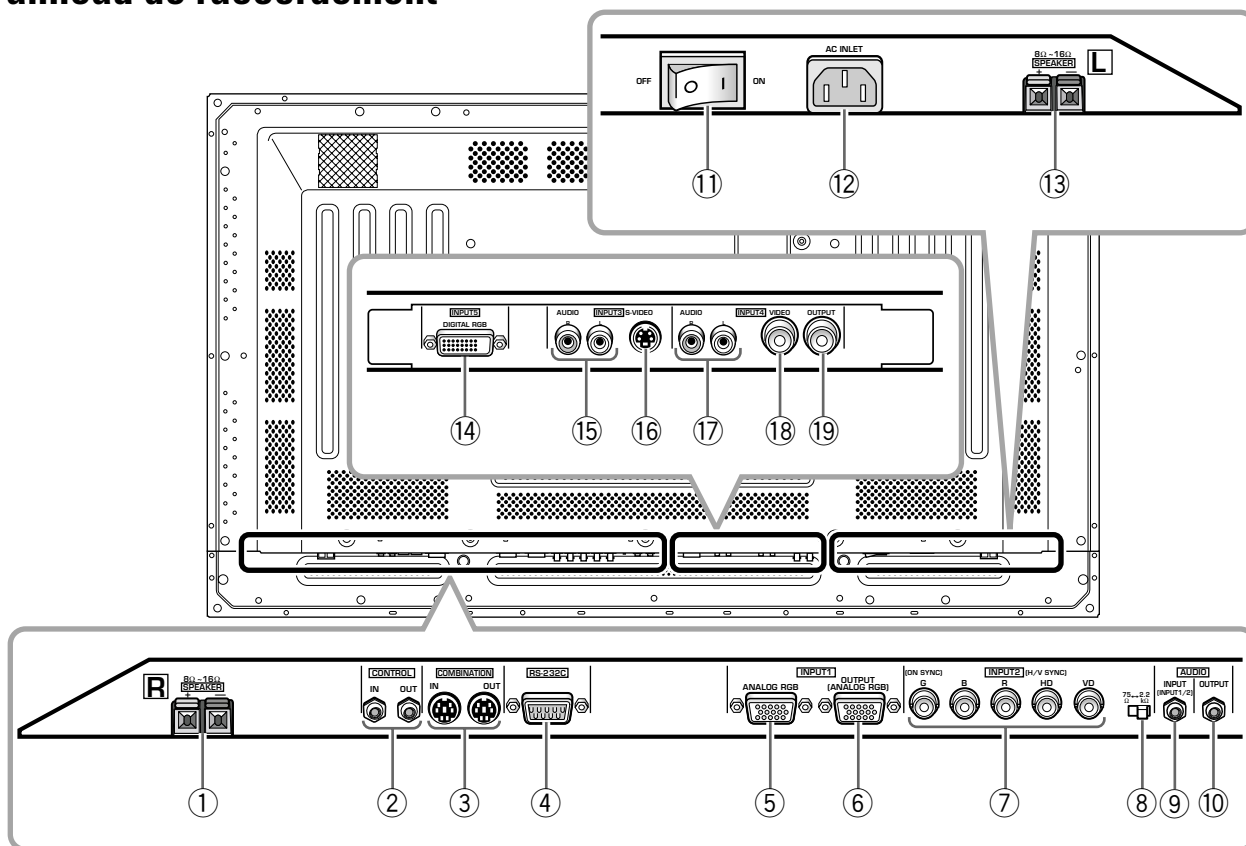


- ④ Vis (x 2)
(Vis accessoires pour l'installation de la carte vidéo)




- Mode d'emploi

Panneau de raccordement



Section Écran à plasma


L'écran à plasma est pourvu de deux connecteurs d'entrée vidéo, d'un connecteur de sortie vidéo, de jacks d'entrée/sortie audio et de bornes de haut-parleurs. Il existe aussi des prises CONTROL IN/OUT pour le raccordement à d'autres appareils PIONEER, portant la marque .

Lorsque cette carte vidéo est installée dans l'écran à plasma, vous disposez de trois jeux de prises d'entrée vidéo supplémentaires (soit 5 en tout) et d'une prise de sortie vidéo supplémentaire (soit 2 en tout). Consultez les pages indiquées entre parenthèses ou le Mode d'emploi de l'écran à plasma pour de plus amples détails sur le branchement des diverses prises et connecteurs.

① Borne SPEAKER (R)

Pour le raccordement à l'enceinte droite. Cette enceinte doit présenter une impédance comprise entre 8 et 16 Ohms.

② CONTROL IN/OUT (mini-prises monorales)

Utilisez ces prises pour le raccordement de l'écran à plasma à d'autres appareils PIONEER portant la marque . Cela fait, cet écran à plasma peut être considéré, du point de vue des commandes, comme faisant partie de l'ensemble.

③ COMBINATION IN/OUT

NE BRANCHEZ AUCUN APPAREIL SUR CES PRISES.

Ces prises sont utilisées pour effectuer des réglages en usine.

④ RS-232C

NE BRANCHEZ AUCUN APPAREIL SUR CETTE PRISE.

Cette prise est utilisée pour effectuer des réglages en usine.

⑤ INPUT1 (mini-prise D-sub à 15 broches)

Pour le branchement d'appareils, munis de prises de sortie RVB, tels qu'un ordinateur personnel ou un décodeur RVB externe, ou pour le branchement d'équipements, munis de prises de sortie à composant, tels qu'un lecteur DVD. Choisissez la prise en fonction de la nature du signal fourni par l'appareil connecté (pages 7 à 10).

⑥ OUTPUT (INPUT1) (mini-prise D-sub à 15 broches)

Utilisez la prise OUTPUT (INPUT1) pour appliquer le signal vidéo sur un moniteur extérieur ou un autre appareil.

Remarque: Le signal vidéo n'est pas présent sur la prise OUTPUT (INPUT1) lorsque l'écran à plasma est hors tension ou en veille (page 10).

⑦ INPUT2 (prises BNC)

Pour le branchement d'appareils, munis de prises de sortie RVB, tels qu'un ordinateur personnel ou un décodeur RVB externe, ou pour le branchement d'équipements, munis de prises de sortie à composant, tels qu'un lecteur DVD. Choisissez la prise en fonction de la nature du signal fourni par l'appareil connecté (pages 7 à 9).

⑧ Sélecteur d'impédance du signal de synchronisation

Selon le raccordement de la prise INPUT2, il peut être nécessaire de modifier la position de ce sélecteur de manière à adapter l'appareil à l'impédance de sortie du signal de synchronisation.

Si l'impédance de sortie du signal de synchronisation du composant est inférieure à 75 Ohms, placez ce sélecteur sur la position 75 Ohms (page 9).

⑨ AUDIO INPUT (Mini-prise stéréo)

Utilisez cette prise pour obtenir des sons, lorsque INPUT1, INPUT2 ou INPUT5 est sélectionné.

Raccordez cette prise au connecteur de sortie audio du dispositif, raccordé sur INPUT1 ou INPUT2 de l'écran à plasma, ou sur le connecteur de sortie audio du dispositif, raccordé à INPUT5 de la carte vidéo (page 12.)

⑩ AUDIO OUTPUT (Mini-prise stéréo)

Utilisez cette sortie pour appliquer à un amplificateur audiovisuel ou un appareil similaire, les sons provenant de l'appareil source qui est relié à cet écran à plasma (page 12).

⑪ Interrupteur MAIN POWER

Utilisez cet interrupteur pour mettre l'écran à plasma sous tension ou hors tension.

⑫ AC INLET

Un cordon d'alimentation est fourni avec l'écran à plasma. Branchez une de ses extrémités sur ce connecteur (AC INLET) et l'autre extrémité sur une prise secteur ordinaire.

⑬ Borne SPEAKER (L)

Pour le raccordement à l'enceinte gauche. Cette enceinte doit présenter une impédance comprise entre 8 et 16 Ohms.

Section Carte vidéo <PDA-5002>

La carte vidéo est pourvue de 3 connecteurs d'entrée vidéo, d'un connecteur de sortie vidéo et de 2 connecteurs d'entrée audio. Reportez-vous aux pages indiquées entre parenthèses où vous trouverez des détails sur les raccordements des divers connecteurs et prises.

⑭ INPUT5 (prise DVI-D)

Utilisez pour le branchement d'un ordinateur.

Remarque: Cet appareil n'autorise pas l'affichage de signaux vidéo protégés contre la copie (page 11).

⑮ AUDIO INPUT3 (prise à broches RCA)

Utilisez pour obtenir les sons quand INPUT3 est sélectionné.

Raccordez ces prises aux connecteurs de sortie audio des composants raccordés à INPUT3 de la carte vidéo (page 12).

Remarque: La prise (L) de canal audio gauche n'est pas compatible avec les sources d'entrée monaurales.

⑯ INPUT3 (prise S-vidéo)

Pour le branchement de composants, munis d'une prise de sortie S-vidéo, telle qu'une platine vidéo, une caméra vidéo, un lecteur de disque laser ou un lecteur DVD (page 10).

⑰ AUDIO INPUT4 (prises à broches RCA)

Utilisez pour obtenir les sons quand INPUT4 est sélectionné.

Raccordez ces prises aux connecteurs de sortie audio des composants raccordés à INPUT4 de la carte vidéo (page 12).

Remarque: La prise (L) de canal audio gauche n'est pas compatible avec les sources d'entrée monaurales.

⑱ INPUT4 (prise BNC)

Pour le branchement de composants, munis d'une prise de sortie vidéo composite, telle qu'une platine vidéo, une caméra vidéo, un lecteur de disque laser ou un lecteur DVD (page 10).

⑲ OUTPUT (INPUT4) (prise BNC)

Utilisez la prise OUTPUT (INPUT4) pour fournir le signal vidéo à un moniteur externe ou un autre composant.

Remarque: Le signal vidéo ne sera pas disponible au niveau de la prise OUTPUT (INPUT4) si l'alimentation de cet écran est coupée ou en mode de veille (page 10).

Installation de la carte vidéo

À L'INTENTION DES UTILISATEURS:

Ce composant est vendu avec l'assentiment qu'il sera installé par un spécialiste, disposant des connaissances et des compétences techniques adéquates.

À L'INTENTION DES VENDEURS:

Les instructions d'installation sont décrites ci-après. Si une vis ou un autre objet devait tomber à l'intérieur de l'écran à plasma au cours de l'installation, consultez immédiatement le Centre de service Pioneer le plus proche. Un dysfonctionnement risque de se produire si vous continuez l'installation.

Ce dispositif est conçu pour être installé sur l'Écran à plasma Pioneer PDP-503CMX/PDP-503MXE (ou PDP-433CMX/PDP-433MXE).

Les démarches d'installation sont les suivantes:

Vérifiez les points suivants avant d'installer la carte vidéo.

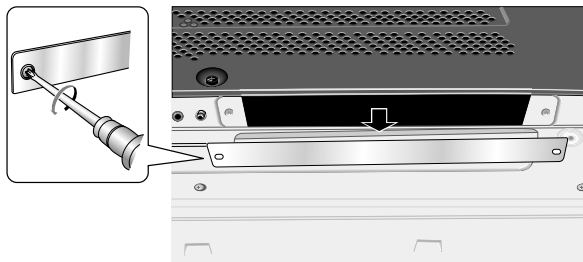
- Débranchez l'écran à plasma au niveau de l'ordinateur et des autres composants.
- Débranchez le cordon d'alimentation de l'écran à plasma au niveau de sa prise secteur.

Remarques d'installation:

- Lors de l'ouverture du couvercle d'installation, prenez soin de ne pas y laisser tomber de vis ou d'autres objets. Tout objet tombé à l'intérieur peut être à l'origine de dégâts ou d'un dysfonctionnement.
- Si l'écran à plasma doit être couché avec sa face avant vers le bas pour l'installation de la carte vidéo, la surface de travail doit être plate. Étalez au préalable le matériau d'emballage, une couverture ou un matériau souple sur la surface de travail pour la protection de l'écran. Évitez toute égratignure et autres dégâts, causés par des outils ou d'autres objets. Ne posez jamais l'écran d'une manière telle qu'une pression soit imprimée uniquement à sa surface.
- Cette carte vidéo est conçue en vue d'une utilisation exclusive sur l'écran à plasma Pioneer PDP-503CMX/PDP-503MXE (ou PDP-433CMX/PDP-433MXE). N'essayez aucune modification ou altération non autorisée car ceci pourrait provoquer une défaillance ou des dégâts.
- Prenez soin de ne pas modifier ou endommager les dispositifs internes de la carte.
- Avant l'installation de la carte, neutralisez l'électricité statique de votre organisme. Ne touchez pas les circuits et dispositifs internes de la carte.
- Cette carte n'est pas conçue en vue d'installations et de retraits répétés. Une fois que la carte a été installée sur l'écran à plasma, n'essayez pas de la retirer car elle en serait endommagée.

Installation

- 1 Déposez le cache protecteur, prévu sur la fente de carte vidéo sur le panneau des bornes de l'écran à plasma.**



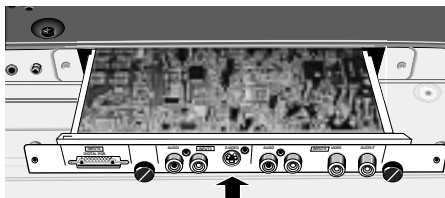
6

Fr

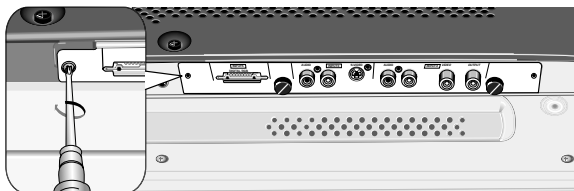
- 2 Insérez la carte vidéo délicatement en l'alignant de façon égale sur les deux rails visibles à l'intérieur du port d'installation.**

Remarque

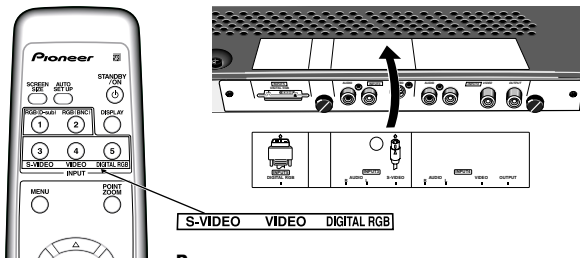
Procédez avec grande prudence et insérez la carte en ligne droite ! La carte et/ou l'écran risque d'être endommagé si la carte est insérée de travers ou en forçant sa mise en place.



- 3 Après avoir inséré la carte vidéo à fond dans la fente, assurez-vous qu'elle est bien installée, puis immobilisez-la à l'aide des vis, déposées à l'étape 1.**



- 4 Collez l'étiquette identificatrice du connecteur accessoire sur l'écran à plasma et collez l'étiquette de télécommande sur la télécommande, fournie avec l'écran à plasma.**

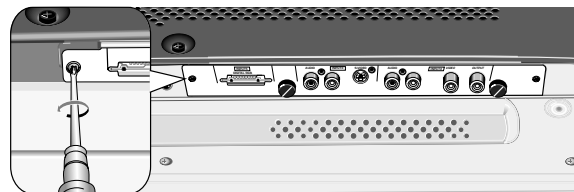


Remarque

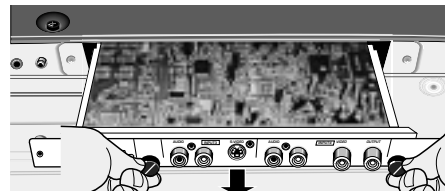
Enlevez toute poussière sur la surface avec un linge doux avant de coller l'étiquette.

Retrait de la carte vidéo (En principe, n'essayez pas de retirer la carte vidéo.)

- 1 Déposez les deux vis, retenant la carte vidéo.**



- 2 En tenant les taquets internes, retirez la carte vidéo en ligne droite.**



Prises d'entrée sur l'écran à plasma avec carte vidéo

Consultez le tableau suivant lorsque vous effectuez les raccordements sur un écran à plasma, équipé de cette prise vidéo (pages 7 à 12).

Appareils reliés et signaux	Prise d'entrée	INPUT 1*1	INPUT 2*1	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5
Composant audiovisuel						
RVB analogique		○	○			
Vidéo à composant		○	○			
S-vidéo				○		
Vidéo composite					○	
Ordinateur personnel (PC)						
RVB analogique		○*2	○			
S-vidéo				○*3		
Vidéo composite					○*3	
RVB numérique						○*4

- *1 Bien que INPUT1 et INPUT2 soient prévues pour accepter différents signaux, un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire pour adapter l'écran à plasma aux caractéristiques de la source (pages 14 à 15).
- *2 INPUT1 est compatible Microsoft Plug & Play (VESA DDC 1/2B).
- *3 Selon la carte de sortie vidéo de l'ordinateur, ce type de raccordement peut être impossible.
- *4 INPUT5 est compatible Microsoft Plug & Play (VESA DDC 2B).

Raccordements de INPUT1 et INPUT2

Divers appareils peuvent être reliés aux prises INPUT1 et INPUT2. Cela fait, un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire pour adapter l'appareil aux caractéristiques de la source. Pour cette opération, veuillez vous reporter aux pages 14 et 15.

Prise INPUT2	[ON SYNC] G	B	R	[H/V SYNC] HD	VD
Appareil vidéo, ordinateur personnel (PC) avec sortie RVB	○ G ON SYNC	○ B	○ R	×	×
	○ G	○ B	○ R	○ H/V SYNC	×
	○ G	○ B	○ R	○ HD	○ VD
Appareil vidéo avec sortie vidéo à composant	○ Y	○ Cb/Pb	○ Cr/Pr	×	×

× : Ne reliez rien sur cette prise. ○ : Reliez cette prise.

Remarque

Les appareils compatibles avec INPUT1 sont également compatibles avec INPUT2. Pour le raccordement à INPUT1, veuillez vous reporter au Mode d'emploi de l'écran à plasma.

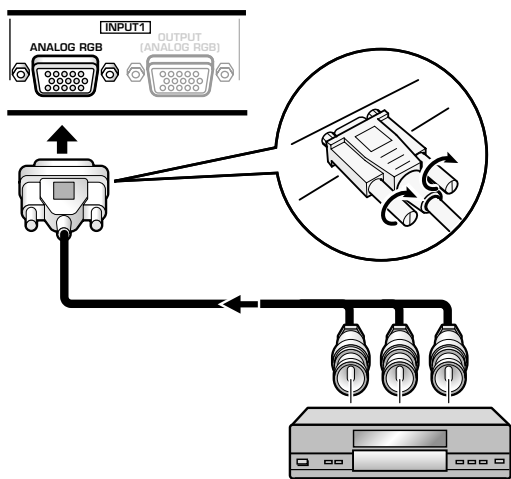
Pour connaître les formats d'image et les signaux d'entrée avec lesquels INPUT1 et INPUT2 sont compatibles, veuillez vous reporter au Mode d'emploi de l'écran à plasma.

Raccordement d'un appareil vidéo

Raccordement d'un appareil vidéo pourvu de prises pour composantes vidéo

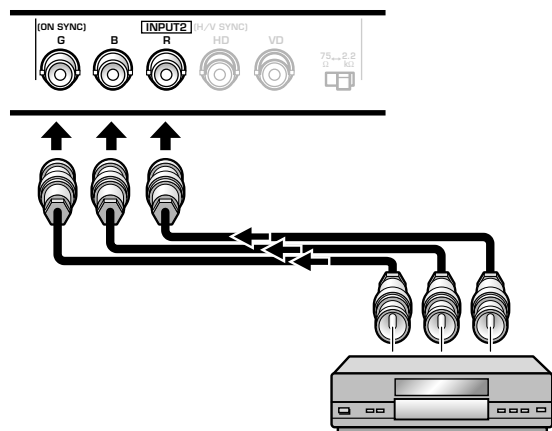
Effectuez les raccordements vidéo des appareils tels que lecteurs de DVD ou de LD qui sont capables de fournir séparément les composantes du signal.

Pour le raccordement à INPUT1



Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous à la page 14.

Pour le raccordement à INPUT2



Raccordez le signal Y à la prise G, le signal C_B/P_B à la prise B et le signal C_R/P_R à la prise R.

Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous à la page 14.

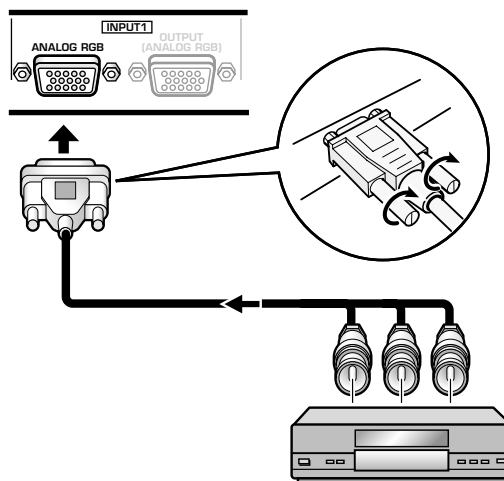
Les prises INPUT2 sont du type BNC.

Le cas échéant, utilisez un adaptateur BNC/Fiche (1 adaptateur est fourni) pour effectuer les raccordements.

Raccordement d'une source analogique RVB fournissant le signal de synchronisation sur le vert (G ON SYNC)

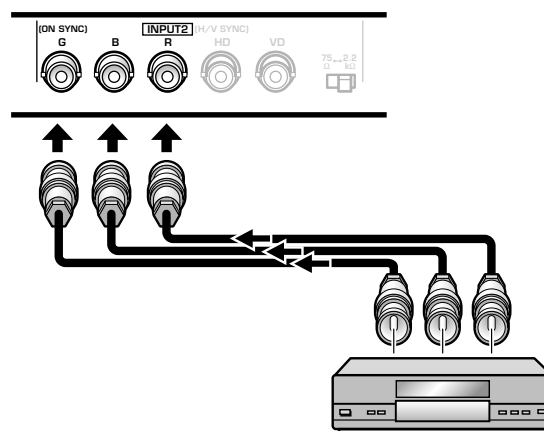
Raccordement d'une source analogique RVB fournissant le signal de synchronisation sur le vert (G ON SYNC)

Pour le raccordement à INPUT1



Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 14 et 15.

Pour le raccordement à INPUT2



Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 14 et 15.

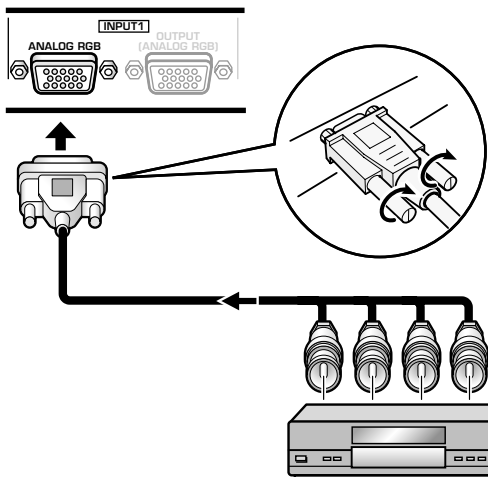
Remarque

Si vous utilisez G ON SYNC, ne branchez rien sur les prises VD ou HD. Dans le cas contraire, l'image peut être déformée.

Raccordement d'une source analogique RVB fournissant des signaux composites de synchronisation

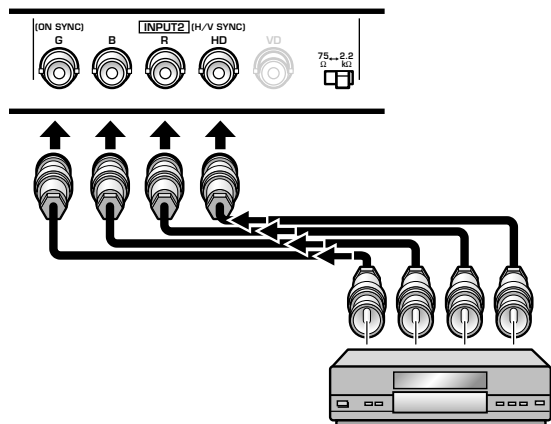
Utilisez cette solution si l'appareil fournit un signal de synchronisation verticale placé au-dessus du signal de synchronisation horizontale.

Pour le raccordement à INPUT1



Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 14 et 15.

Pour le raccordement à INPUT2



Si vous utilisez la prise INPUT2, placez le sélecteur d'impédance de manière à adapter l'appareil à l'impédance de sortie du signal de synchronisation. Si l'impédance de sortie du signal de synchronisation de l'ordinateur est inférieure à 75 Ohms, placez ce sélecteur sur la position 75 Ohms.

Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 14 et 15.

Remarques

- Si vous utilisez le signal de synchronisation composite, ne branchez rien sur la prise VD. Dans le cas contraire, l'image peut être déformée.
- Certains appareils Macintosh® fournissent les signaux G ON SYNC et de synchronisation composite. En ce cas, effectuez le raccordement sur G ON SYNC (page 8).

Raccordement à un ordinateur personnel

La méthode de raccordement dépend du type de l'ordinateur. Avant d'effectuer les raccordements, veuillez lire attentivement le mode d'emploi de l'ordinateur.

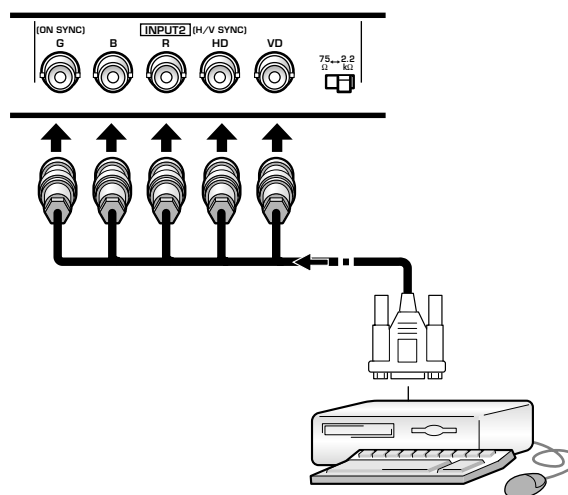
Avant tout raccordement veuillez à ce que l'écran à plasma et l'ordinateur soient tous deux hors tension.

Pour les signaux d'entrée PC et les formats d'image avec lesquels cet appareil est compatible, veuillez vous reporter au Mode d'emploi de l'écran à plasma.

Raccordement d'une source analogique RVB avec signaux de synchronisation séparés

Utilisez cette possibilité si la source RVB peut fournir 5 signaux séparés: vert, bleu, rouge, synchronisation horizontale et synchronisation verticale.

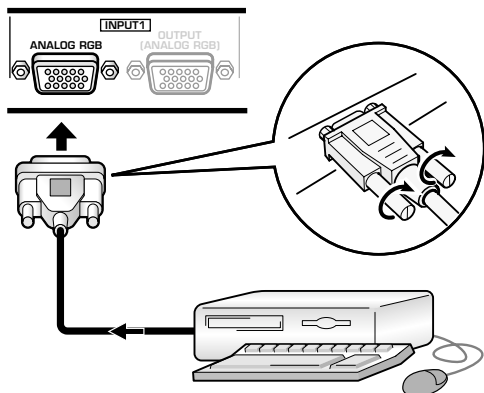
Pour le raccordement à INPUT2



Si vous utilisez la prise INPUT2, placez le sélecteur d'impédance de manière à adapter l'appareil à l'impédance de sortie du signal de synchronisation. Si l'impédance de sortie du signal de synchronisation de l'ordinateur est inférieure à 75 Ohms, placez ce sélecteur sur la position 75 Ohms.

Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 14 et 15.

Pour le raccordement à INPUT1



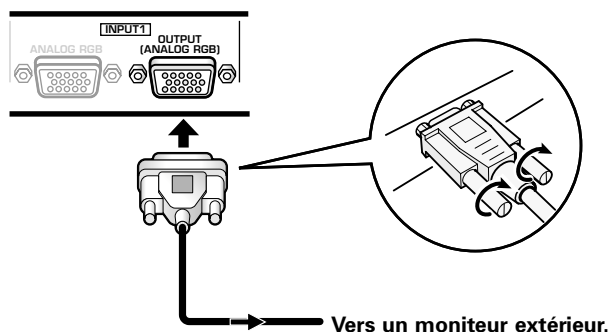
Branchez le câble entre la prise d'entrée de l'écran à plasma et la prise de sortie de l'ordinateur personnel. Serrez soigneusement les vis des connecteurs à chaque extrémité du câble.

Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 14 et 15.

Remarque

Selon le type de l'ordinateur, un adaptateur (fourni avec l'ordinateur ou vendu séparément) peut être nécessaire pour effectuer le raccordement ci-dessus. Veuillez consulter le mode d'emploi de l'ordinateur ou le revendeur.

Pour le raccordement à OUTPUT (INPUT1)



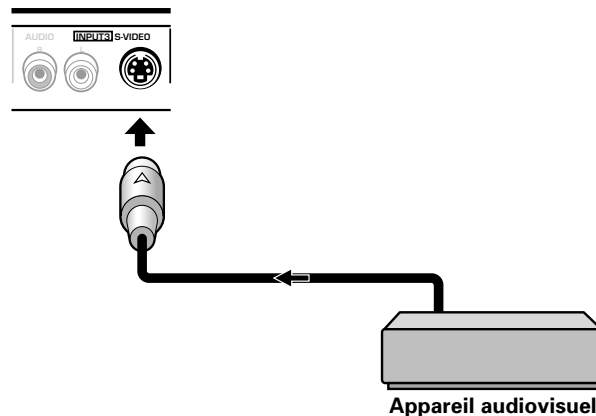
Cet écran à plasma est prévu pour que le signal vidéo puisse être appliqué à un moniteur ou un autre appareil à partir de la prise OUTPUT (INPUT1).

Remarque

Le signal vidéo n'est pas présent sur la prise OUTPUT (INPUT1) lorsque l'écran à plasma est hors tension ou en veille.

Raccordement de INPUT3

Sur la prise d'entrée S-VIDEO de la carte vidéo, raccordez un composant audiovisuel, muni d'une prise de sortie S-vidéo.

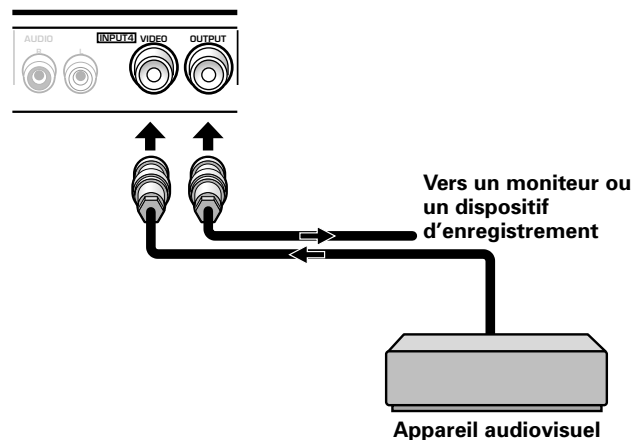


Raccordement de INPUT4

Sur la prise INPUT4 de la carte vidéo, raccordez un composant audiovisuel, muni d'une prise de sortie audio. La prise OUTPUT (INPUT4) peut servir pour fournir le signal vidéo à un moniteur séparé, un appareil d'enregistrement ou un autre composant, autorisant l'entrée vidéo.

Remarque

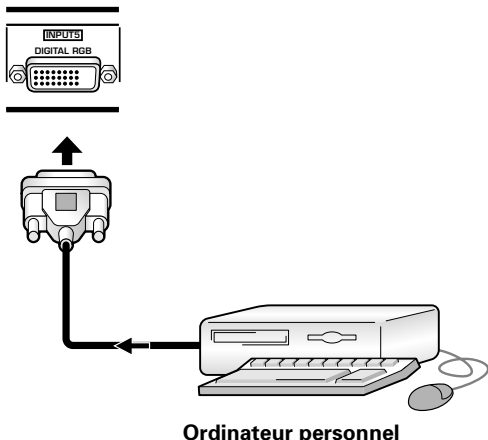
Le signal vidéo n'est pas présent sur la prise OUTPUT (INPUT4) lorsque l'écran à plasma est hors tension ou en veille.



Les signaux sur INPUT3 et INPUT4 sont compatibles avec les standards suivants: NTSC, PAL, SECAM et 4.43NTSC. Pour de plus amples détails, reportez-vous aux pages 26 et 27.

Raccordement de INPUT5

Un ordinateur, muni d'une sortie DVI (signal RVB numérique) peut être raccordé au connecteur DVI de la carte vidéo.



NOTICE

- INPUT 5 supporte les composants "Plug & Play" (VESA DDC 2B) de Microsoft. Pour effectuer un raccordement sur INPUT 5, reportez-vous au Supplément 3 (page 33).
- Reportez-vous au Supplément 2 (page 32) pour plus de renseignements sur les signaux et les formats d'affichage, supportés par INPUT 5.

Lorsque que les raccordements sont terminés, un réglage général à l'aide des menus sur écran est nécessaire. Reportez-vous à la page 14 pour les détails.

Remarques

- Utilisez un câble DVI-D à 24 broches (numérique seulement) pour le raccordement.
- **Cet appareil n'autorise pas l'affichage de signaux vidéo protégés contre la copie.**

Raccordement au boîtier DTV

Pour effectuer les raccordements convenables, lisez attentivement le mode d'emploi fourni avec le boîtier DTV.

Les signaux de sortie du boîtier avec lesquels cet écran à plasma est compatible, sont donnés dans le tableau ci-dessous.

Type de signal vidéo	Signal vidéo	Format du signal vidéo	Prises qui peuvent être utilisées			
			INPUT1	INPUT2	INPUT3	INPUT4
HDTV	1125i (1080 i) 1125p (1080p) 750p (720p)	Composantes	⊙	⊙		
		RGB	⊙	⊙		
SDTV	525i (480i) 625i (575i)	Composite				⊙
		S-vidéo			⊙	
		Composantes	⊙	⊙		
	525p (480p) 625p (575p)	RVB	⊙	⊙		
		Composantes	⊙	⊙		

Raccordements audio

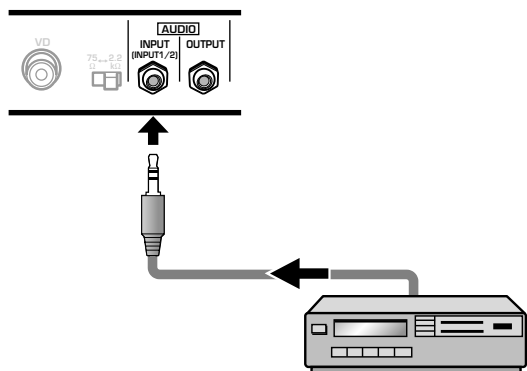
Avant tout raccordement veillez à ce que les appareils soient tous deux hors tension.

Raccordez un composant audio sur la prise d'entrée audio de l'écran à plasma où une carte vidéo est installée.

Lorsqu'une carte vidéo est installée, l'écran à plasma possède trois prises d'entrée audio et une prise de sortie audio. Consultez le tableau suivant pour choisir l'entrée audio correspondant à chaque entrée audio.

Entrée vidéo	Prises d'entrée audio	Sortie son
INPUT1	Mini-fiche stéréo (G/D)	Les sons provenant de l'entrée vidéo choisie sont présents sur • Bornes SPEAKER • les mini-prises stéréo (G/D).
INPUT2		
INPUT5		
INPUT3	Cinch (G/D)	
INPUT4	Cinch (G/D)	

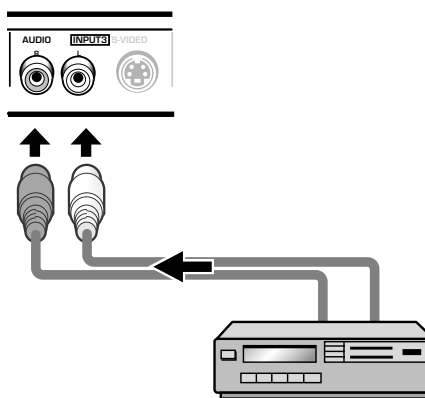
Raccordement audio pour l'appareil relié à INPUT1, INPUT2 ou INPUT5



Parmi les sources audio raccordées sur INPUT1, INPUT2 et INPUT5, une peut servir pour raccorder une fiche de type mini-prise stéréo (G/D).

Les sons sont présents sur la prise AUDIO OUTPUT (mini-prise stéréo (G/D)) ou les bornes SPEAKER, selon l'entrée vidéo choisie.

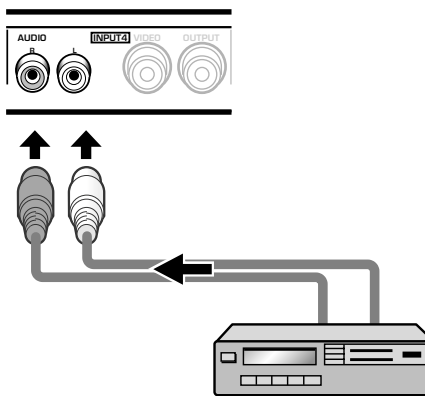
Raccordement audio pour l'appareil relié à INPUT3



L'entrée audio sur les prises AUDIO INPUT3 (Cinch G/D) est possible pour l'appareil relié à INPUT3.

Les sons sont présents sur la prise AUDIO OUTPUT (mini-prise stéréo (G/D)) ou les bornes SPEAKER, selon l'entrée vidéo choisie.

Raccordement audio pour l'appareil relié à INPUT4



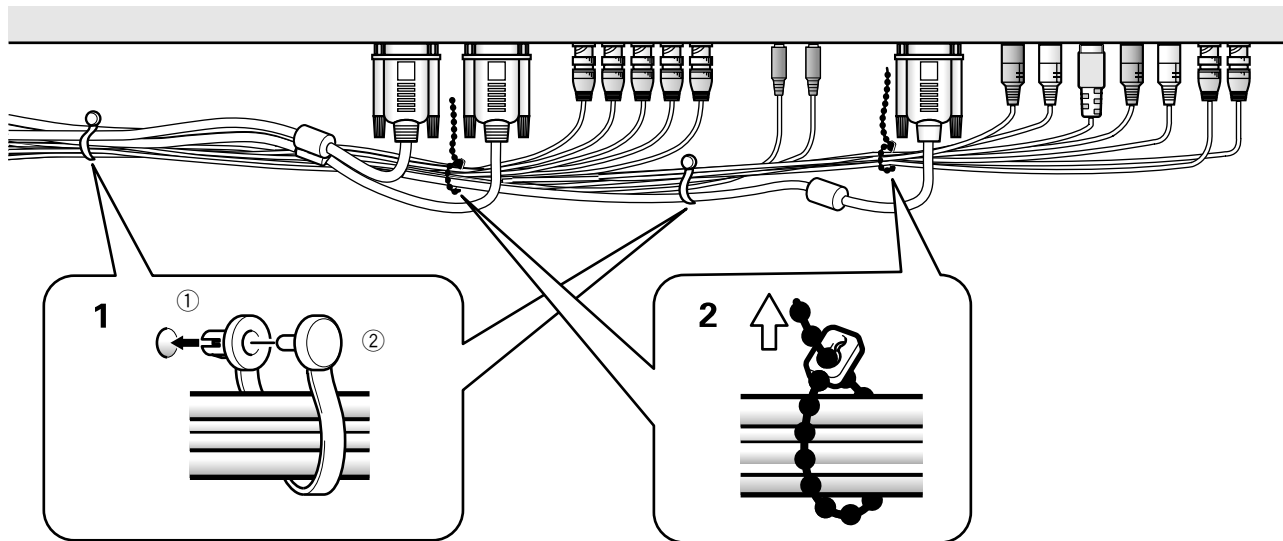
L'entrée audio sur les prises AUDIO INPUT4 (Cinch G/D) est possible pour l'appareil relié à INPUT4.

Les sons sont présents sur la prise AUDIO OUTPUT (mini-prise stéréo (G/D)) ou les bornes SPEAKER, selon l'entrée vidéo choisie.

Comment faire cheminer les câbles

Des colliers rapides et des serre-câble sont fournis pour lier les câbles en tre eux. Après raccordements des appareils, procédez aux opérations qui suivent.

* Vue de l'arrière de l'écran.



1 Groupez les câbles en utilisant les colliers rapides fournis.

Introduisez la partie ① dans un des perçages à l'arrière de l'écran à pas ma puis insérez ② à l'arrière de ① pour assurer la fixation.

Les colliers rapides sont conçus pour que l'ouverture soit difficile. Fermez-les soigneusement.

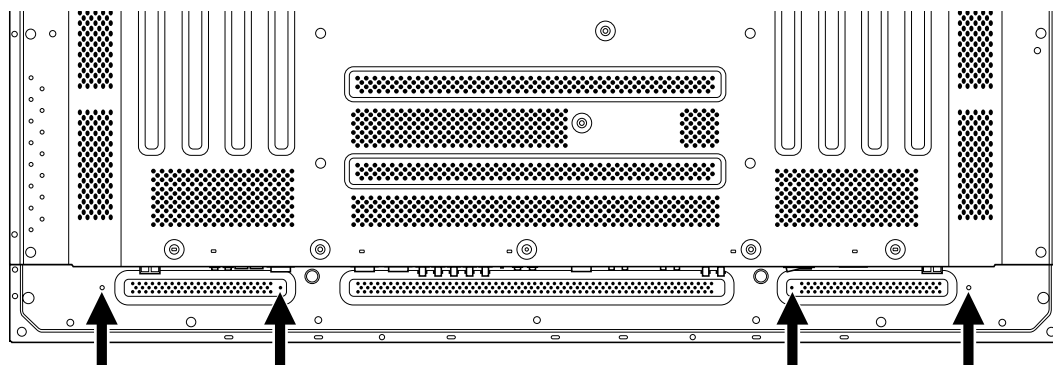
2 Liez les câbles et assurez leur maintien au moyen des serre-câble fournis.

Remarque

Les câbles peuvent cheminer d'un côté ou de l'autre.

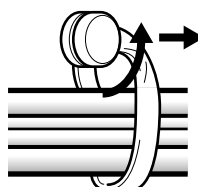
Fixation des colliers rapides à l'écran à plasma

Engagez les colliers rapides dans les trous 4 repérés par • sur l'illustration ci-dessous.



Pour retirer les colliers rapides

A l'aide d'une pince, tordez le collier de 90° puis tirez-le vers vous. Avec le temps, le collier peut se détériorer et il peut être nécessaire de la remplacer après que vous l'avez retiré.



Mise en œuvre après raccordement

Après le raccordement des appareils aux prises INPUT1, INPUT2 ou INPUT5, des réglages à l'aide des menus affichés sur l'écran sont nécessaires.

Procédez aux opérations décrites ci-dessous et effectuez les réglages en fonction des appareils connectés.

Mise en œuvre du mode écran / format de signal d'entrée

1 Mettez l'écran à plasma sous tension au moyen de l'interrupteur MAIN POWER que porte le panneau de commande.

Le témoin STANDBY/ON s'éclaire de couleur rouge.

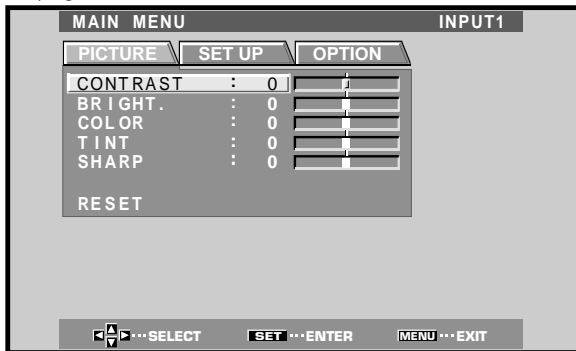
2 Appuyez sur la touche STANDBY/ON pour mettre l'écran à plasma en service.

Le témoin STANDBY/ON s'éclaire de couleur verte.

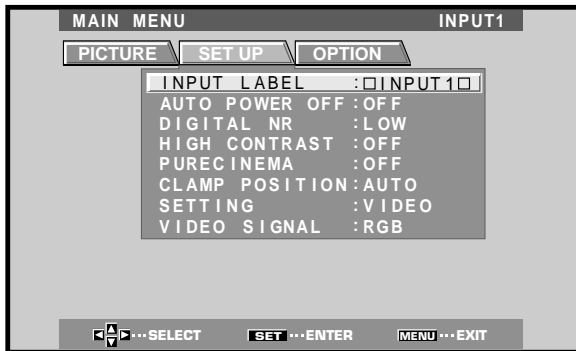
3 Choisissez INPUT1, INPUT2 ou INPUT5.

4 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.

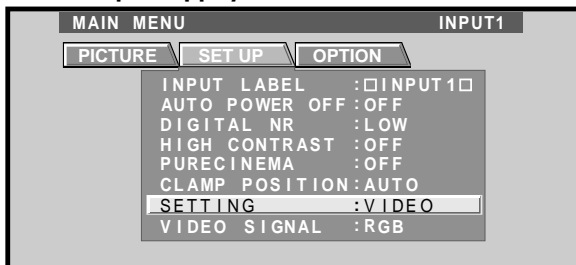
La page de menu s'affiche.



5 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir l'option SET UP.



6 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option SETTING puis appuyez sur la touche SET.

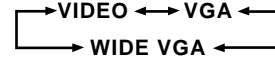


7 Appuyez sur la touche ◀/▶ pour sélectionner le mode d'affichage.

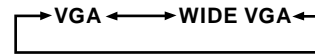


Si un composant autre qu'un ordinateur personnel est raccordé, réglez sur "VIDEO".

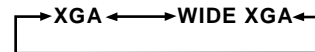
- ① Si le signal d'entrée a une fréquence de rafraîchissement de 31,5 kHz (horizontale) et de 60 Hz (verticale), une pression sur ◀/▶ modifie alternativement comme suit le mode d'affichage: A l'emploi de la prise INPUT1 ou INPUT2:



A l'emploi de la prise INPUT5:



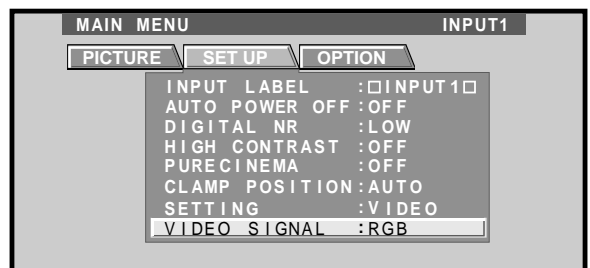
- ② Si le signal d'entrée a une fréquence de rafraîchissement de 48,4 kHz horizontal / 60 Hz vertical ou de 56,5 kHz horizontal / 70 Hz vertical, une pression sur ◀/▶ fait permuter comme suit le mode d'affichage.



Remarque

Les étapes 6 et 7 sont nécessaires seulement si l'on utilise des signaux ayant les fréquences de rafraîchissement suivantes: ① 31,5 kHz horizontal / 60 Hz vertical; ② 48,4 kHz horizontal / 60 Hz vertical ou 56,5 kHz horizontal / 70 Hz vertical. Aucun réglage manuel n'est requis pour les signaux ayant d'autres fréquences de rafraîchissement, car les ajustements sont accomplis automatiquement (le paramètre SETTING ne sera pas affiché).

8 Lorsqu'un appareil autre qu'un ordinateur est raccordé et que VIDEO a été sélectionné, appuyez sur les touches ▲/▼ pour sélectionner VIDEO SIGNAL.



9 Appuyez sur la touche SET autant de fois qu'il est nécessaire pour choisir le format du signal d'entrée. Chaque pression sur la touche SET, modifie comme suit l'indication affichée.



Le tableau ci-dessous donne les réglages disponibles et convenables en fonction des raccordements effectués.

Choisissez pour SETTING et VIDEO SIGNAL les valeurs du tableau ci-dessous.

Appareil relié \ SET UP	SETTING	SIGNAL
Sortie des composantes vidéo d'un lecteur de DVD, etc.	VIDEO	COMPONENT
Sortie vidéo RVB d'un magnétoscope, etc. muni d'une sortie RVB	VIDEO	RGB
Sortie vidéo RVB d'un PC	VGA WIDE VGA XGA WIDE XGA	Non supporté

10 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en œuvre est terminée.

Remarques

- Effectuez cette mise en œuvre pour chaque entrée (INPUT1 ou INPUT2).
- Le réglage VIDEO SIGNAL n'est pas supporté si vous avez choisi un signal d'ordinateur, ou si la fonction SETTINGS a été utilisée pour sélectionner un signal, autre que VIDEO.

Mise en œuvre pour CLAMP POSITION

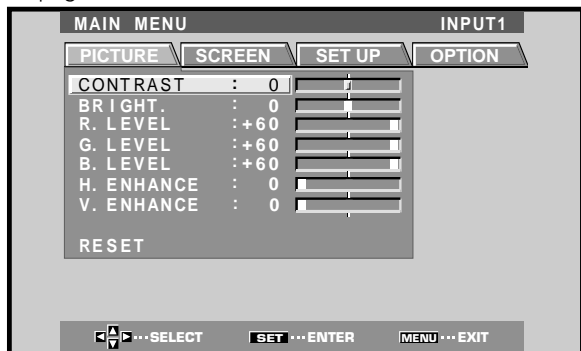
Selon leur nature, il peut arriver que des signaux RVB analogiques fournissent sur l'écran une image à tons blanchâtres ou verdâtres. Dans ce cas, réglez "CLAMP POSITION" sur LOCKED.

- En temps normal, laissez ce réglage sur AUTO.

Réglage de CLAMP POSITION

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.

La page de menu s'affiche.



2 Utilisez les touches ◀▶ pour choisir l'option SET UP.



3 Utilisez les touches ▲▼ pour choisir l'option CLAMP POSITION.



4 Appuyez sur la touche SET pour choisir LOCKED.



Chaque pression sur la touche SET, modifie comme suit le mode choisi.



5 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en œuvre est terminée.

Remarques

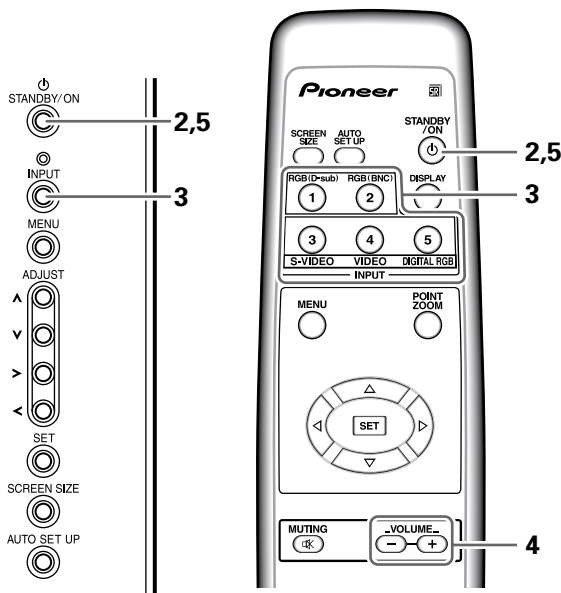
- Effectuez cette mise en œuvre de CLAMP POSITION pour chaque entrée (INPUT1 ou INPUT2).
- Avant d'utiliser cette possibilité, vérifiez soigneusement le signal de sortie de l'appareil utilisé. Pour de plus amples détails concernant cette question, veuillez vous reporter au mode d'emploi de l'appareil en question.

Choix de la source

Cette section explique le fonctionnement de base. Nous abordons, dans les pages qui suivent, la manière de mettre sous tension, ou hors tension, l'écran à plasma, de le mettre en service ou en veille, et de choisir un appareil parmi ceux qui sont connectés.

Avant tout, assurez-vous que:

- Vous avez effectué les raccordements entre cet écran et les composants audiovisuels ou l'ordinateur personnel, comme expliqué à la section "Installation et raccordements" qui débute à la page 6.
 - Les réglages de mise en oeuvre ont été réalisés, pour les appareils connectés à INPUT1, INPUT2 et INPUT5, conformément à la section "Mise en oeuvre de l'ensemble", page 14.
- Si aucun appareil n'est relié à ces prises, aucune mise en oeuvre n'est requise.

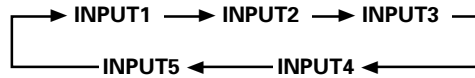


Panneau de commande de l'écran à plasma

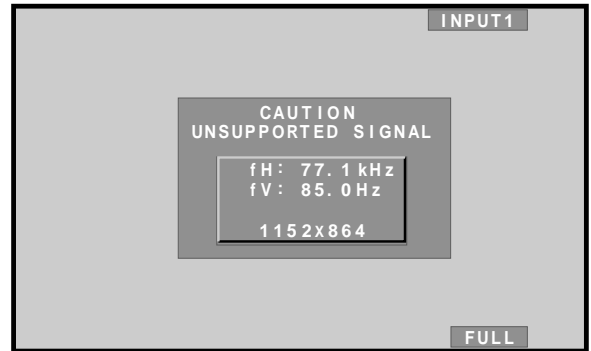
Boîtier de télécommande

- 1 Mettez l'écran à plasma sous tension au moyen de l'interrupteur MAIN POWER que porte le panneau de commande.**
Le témoin STANDBY/ON s'éclaire de couleur rouge.
- 2 Appuyez sur la touche STANDBY/ON pour mettre l'écran à plasma en service.**
Le témoin STANDBY/ON s'éclaire de couleur verte.
- 3 Appuyez sur la touche INPUT de l'écran à plasma ou du boîtier de télécommande pour choisir l'entrée.**

Chaque pression sur la touche **INPUT** de l'écran à plasma, modifie comme suit l'entrée.



- Si la page de menu est affichée, elle disparaît lorsque le signal d'entrée est modifié.
- Si le signal fourni par l'ordinateur n'est pas accepté par cet écran, le message suivant est affiché:

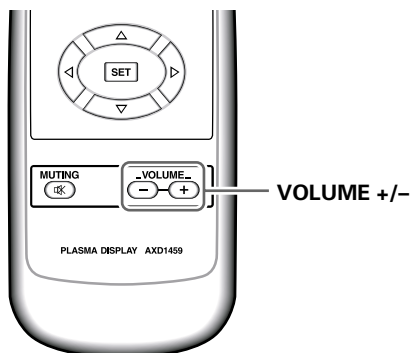


- 4 Utilisez les touches VOLUME +/- de la télécommande pour régler le niveau d'écoute.**
Si aucune signal sonore n'est appliqué à l'écran à plasma, cette opération est inutile.
- 5 Lorsque vous avez fini de regarder les images, appuyez sur la touche STANDBY/ON pour placer l'écran à plasma en veille.**
Le témoin STANDBY/ON clignote puis demeure éclairé (rouge) indiquant ainsi que l'écran est en veille. Les commandes ne sont pas reçues quand le témoin clignote (rouge).
- 6 Mettez l'écran à plasma hors tension au moyen de l'interrupteur MAIN POWER que porte le panneau de commande.**
Le voyant STANDBY/ON peut rester allumé pendant quelques instants après la mise hors tension. Ceci provient du courant électrique restant dans les circuits.

Précaution

Ne laissez pas la même image affichée sur l'écran pendant une longue période. Cela peut causer une détérioration de l'écran (on parle de "brûlage" de l'écran) qui se traduit par la persistance de cette image atténuée.

Pour régler le niveau d'écoute

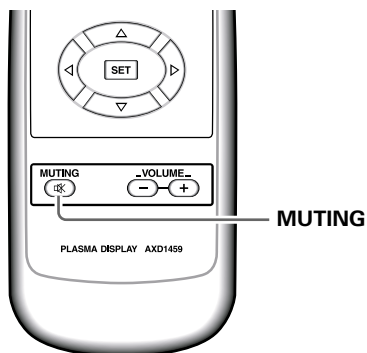


Appuyez sur la touche VOLUME de la télécommande.

Utilisez les touches **VOLUME +** ou **VOLUME -** pour régler le niveau de sortie des enceintes connectées.



Pour couper les sons



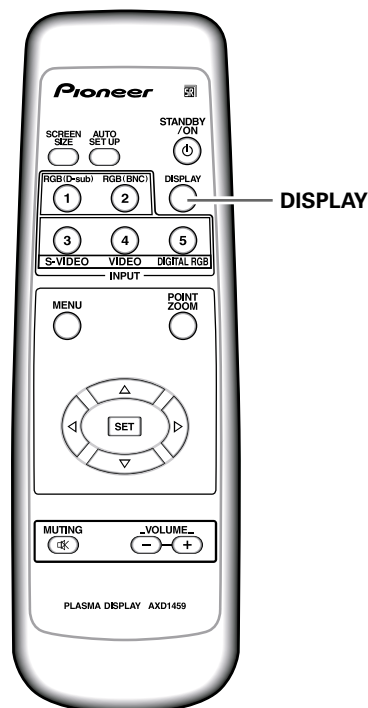
Appuyez sur la touche MUTING de la télécommande.

Appuyez une nouvelle fois sur la touche **MUTING** pour rétablir les sons.

La coupure des sons est automatiquement abandonnée environ 8 minutes après une action sur cette touche; les sons sont rétablis au niveau minimum.

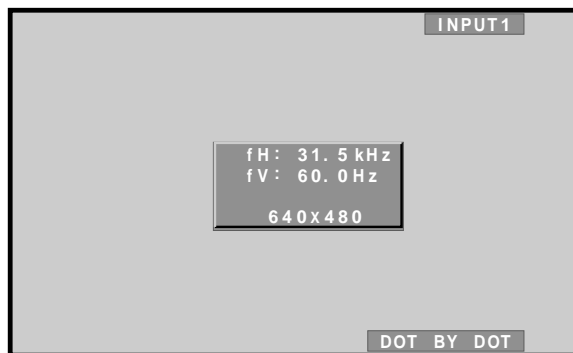
Utilisez les touches **VOLUME +** ou **VOLUME -** pour régler le niveau d'écoute.

Pour vérifier les réglages



Appuyez sur la touche DISPLAY de la télécommande.

Le nom de l'entrée choisie, le format de l'image et les fréquences de rafraîchissement seront affichés pendant 3 secondes environ.



Remarque

Il se peut que les fréquences de rafraîchissement affichées soient légèrement différentes des valeurs réelles.

Choix du format de l'image

Cet écran à plasma est en mesure d'afficher des images ayant des hauteurs et des largeurs différentes. Nous vous conseillons de choisir le format correspondant le mieux à la source vidéo. Bien que ces modes aient été imaginés pour l'affichage d'une image sur grand écran, nous espérons que vous les emploierez en tenant compte des intentions qui ont prévalu à leur choix.

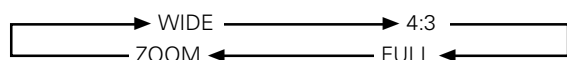
Choix d'un format d'image

Dans le cas des signaux vidéo

L'image affichée sur l'écran peut avoir un des 4 formats mentionnés dans le tableau ci-dessous.

Appuyez sur la touche SCREEN SIZE pour choisir le format.

Le format d'image change comme suit chaque fois que la touche **SCREEN SIZE** est actionnée.



Remarques

- Si vous utilisez un format grand écran tel que WIDE, ZOOM ou FULL pour afficher une image au format standard de 4/3, une portion de l'image peut être coupée ou déformée.
- Sachez que si l'écran sert à des applications commerciales ou des projections publiques, la sélection des modes WIDE, ZOOM ou FULL peut entraîner une infraction aux droits d'auteur, protégés par la législation.

Changement de la position de l'image

Dans le cas où une image Vista, etc., est affichée avec le format ZOOM, un décentrage peut être constaté qui peut aller jusqu'à la coupure de l'image par le bord physique de l'écran.

Dans ce cas, ajustez l'écran sur une position facile à voir en utilisant ▲/▼.

Sélection automatique du format d'image

Lorsqu'un signal de télévision à Haute Définition (1125i, 750p, 1125p) est détecté, le format d'image est automatiquement changé à FULL.

Avec un signal d'entrée vidéo

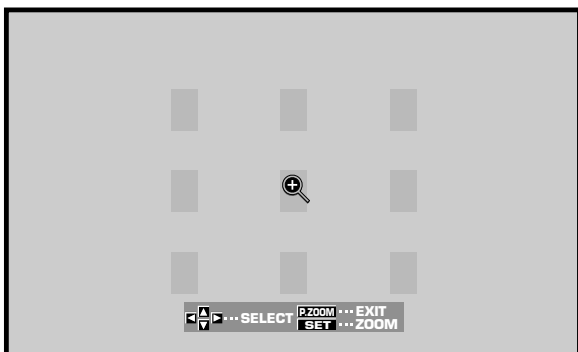
Représentation schématique de l'image	
<p>WIDE</p>	<p>Pour les informations et les reportages sportifs. Les films et les reportages sportifs donnent lieu à des images puissantes.</p>
<p>4:3</p>	<p>Pour les informations et les comédies de situation. Le format d'un enregistrement vidéo n'est pas modifié. (Pour éviter tout brûlage de l'écran, la position de l'image est légèrement différente chaque fois que l'écran est mis en service.)</p>
<p>FULL</p>	<p>Pour les images grand format (écrasement).</p>
<p>ZOOM</p>	<p>Pour les films en Cinémascope et autres techniques voisines. L'image est vaste et puissante.</p>

Reportez-vous au Mode d'emploi de l'écran à plasma en ce qui concerne le format d'image lors de l'entrée d'un signal d'ordinateur.

Agrandissement partiel de l'image (POINT ZOOM)

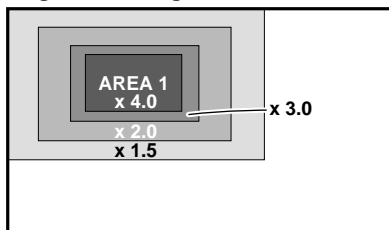
Il est possible de sélectionner une des neuf zones d'écran (AREA 1 à AREA 9) et de l'agrandir de 1,5 fois, 2 fois, 3 fois ou 4 fois. Après avoir effectué un de ces agrandissements, les touches de direction (▲/▼/◀/▶) vous permettront de déplacer la zone agrandie dans le sens vertical et horizontal.

1 Appuyez sur la touche POINT ZOOM de la télécommande.

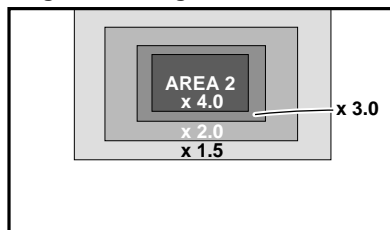


2 Selon les besoins, utilisez les touches ▲/▼/◀/▶ pour choisir la zone souhaitée (AREA 1 à AREA 9) de l'écran.

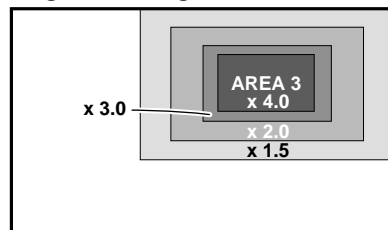
Plage d'affichage AREA 1



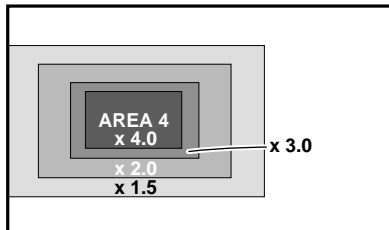
Plage d'affichage AREA 2



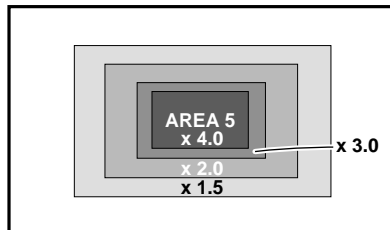
Plage d'affichage AREA 3



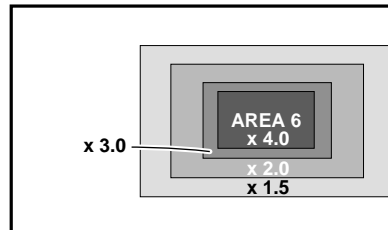
Plage d'affichage AREA 4



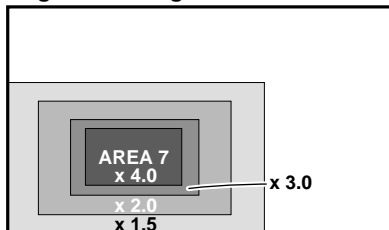
Plage d'affichage AREA 5



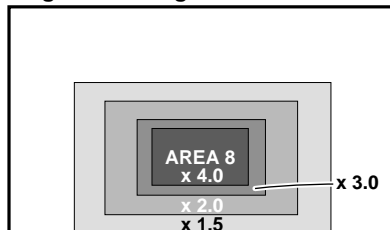
Plage d'affichage AREA 6



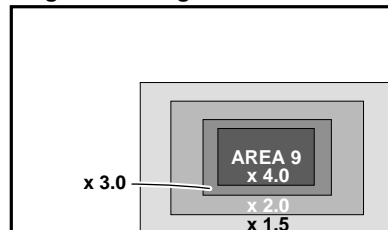
Plage d'affichage AREA 7



Plage d'affichage AREA 8

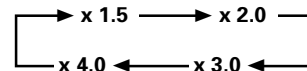


Plage d'affichage AREA 9



3 Appuyez sur SET pour choisir le taux de zoom.

Des pressions répétées sur SET font changer le taux de zoom dans l'ordre suivant:



- Lorsque le taux de zoom est changé, l'image de l'écran s'agrandit à partir du centre de l'écran.
- Les touches de direction (▲/▼/◀/▶) permettent de déplacer la zone agrandie dans le sens vertical et horizontal.
- Si aucune action n'est prise pendant 3 secondes ou plus, l'écran d'affichage disparaît. Au besoin, vous pouvez appuyer à nouveau sur SET ou les touches (▲/▼/◀/▶) pour modifier le taux de zoom ou la position de la zone affichée.

4 Appuyez une nouvelle fois sur la touche POINT ZOOM de la télécommande annule l'agrandissement partiel de l'image.

La fonction d'agrandissement partiel de l'image sera annulée également si le signal d'entrée change, si la page de menu est affichée ou si INPUT est changée.

Remarques

- Chaque fois qu'un agrandissement partiel (POINT ZOOM) est choisi, le format d'écran change automatiquement à FULL.
- La fonction POINT ZOOM agit seulement quand le signal d'entrée provient d'un ordinateur.

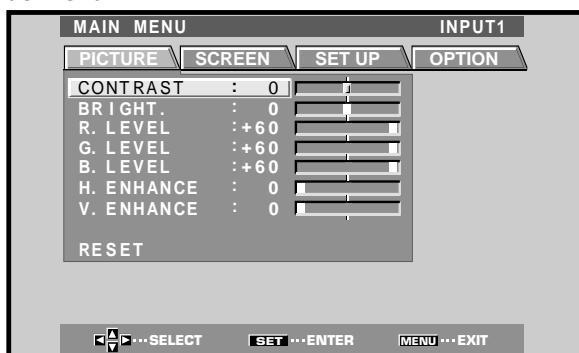
Mise hors tension automatique

L'écran dispose de fonctions automatiques de gestion de courant (POWER MANAGEMENT) et de mise hors tension (AUTO POWER OFF). Elles lui permettent de passer automatiquement en mode Économie d'énergie quand aucun signal de synchronisation n'est détecté. (Un message avertisseur apparaît sur l'écran avant l'action de ces fonctions.)

Remarques

- Les réglages de la fonction Power Management (Gestion de courant) sont supportés seulement lorsqu'un signal d'ordinateur est fourni à INPUT 1 ou quand INPUT 5 est sélectionné.
- La fonction Mise hors tension automatique peut agir seulement dans les cas autres que les entrées, utilisées à l'alinéa précédent.
- Coupez toujours d'interrupteur principal de l'écran à plasma lorsque vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant une longue période.

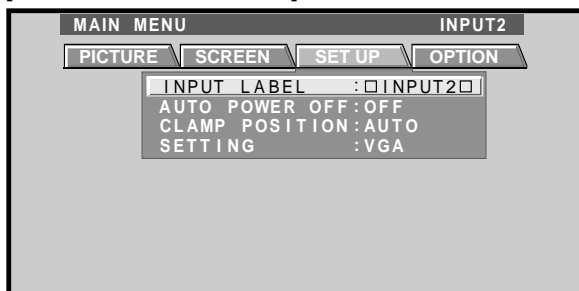
1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



2 Utilisez les touches </> pour choisir l'option SET UP. [Quand un signal d'ordinateur est fourni à INPUT 1, ou quand INPUT 5 est utilisé]



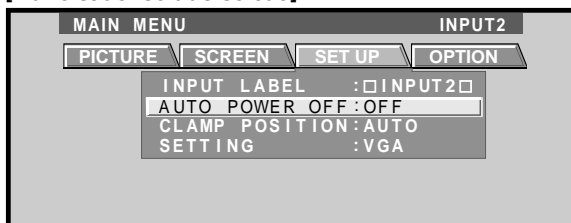
[Dans tous les autres cas]



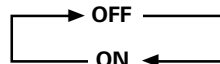
3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir le mode POWER MANAGEMENT ou AUTO POWER OFF. [Quand un signal d'ordinateur est fourni à INPUT 1, ou quand INPUT 5 est utilisé]



[Dans tous les autres cas]



4 Appuyez sur SET pour valider la sélection POWER MANAGEMENT ou AUTO POWER OFF.



- Si vous sélectionnez OFF, l'écran reste en mode de fonctionnement, qu'un signal de synchronisation soit présent ou non à l'entrée.
- Lorsque **POWER MANAGEMENT: ON** est choisi, si un signal de synchronisation n'est pas détecté, un message d'avertissement est affiché pendant 8 secondes; ensuite, l'écran passe automatiquement au mode Économie d'énergie (*1) et le voyant STANDBY/ON clignote en vert. Si un signal de synchronisation (*2) est à nouveau détecté ensuite, l'écran à plasma repasse automatiquement au mode de fonctionnement normal.

*1. La consommation est d'environ 1 W quand INPUT 1 est utilisé et d'environ 50 W quand INPUT 5 est utilisé.

*2. Excepté dans le signal d'entrée est G sur SYNC ou SYNC composite.

- Lorsque **AUTO POWER OFF: ON** est choisi, si aucun signal de synchronisation n'est détecté pendant 8 minutes ou plus, un message d'avertissement est affiché pendant 30 secondes, puis l'alimentation de l'appareil passe en mode veille.

5 Lorsque ces réglages sont terminés, appuyez sur MENU pour quitter la page de menu.

Remarque

Les fonctions POWER MANAGEMENT et AUTO POWER OFF doivent être réglées individuellement pour chaque entrée (INPUT 1-5).

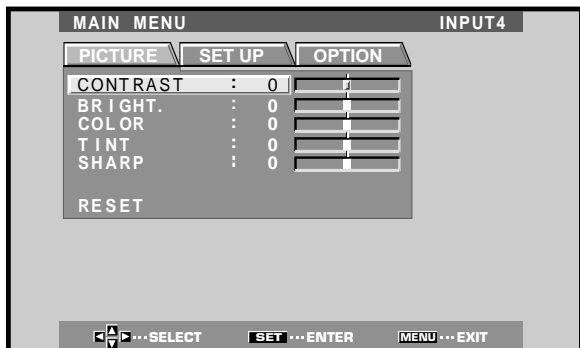
Pour replacer l'écran en mode de fonctionnement:

- **Quand le mode POWER MANAGEMENT est en service:** Faites fonctionner l'ordinateur ou appuyez sur la touche INPUT de l'appareil ou de la télécommande.
- **Quand le mode AUTO POWER OFF est en service:** Appuyez sur la touche STANDBY/ON de l'appareil ou de

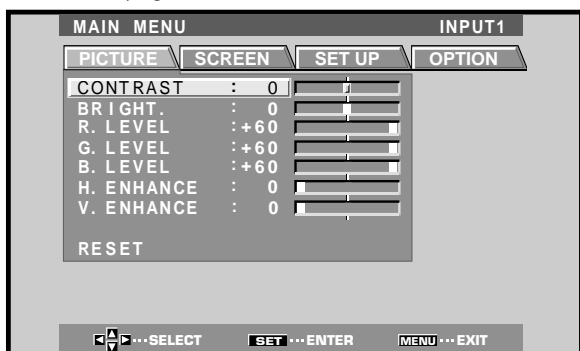
Réglages de l'écran à plasma

Réglage de la qualité de l'image

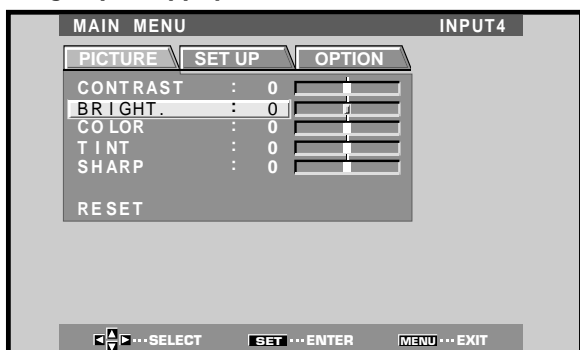
1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



Dans le cas où l'image est fournie par un ordinateur personnel connecté à l'entrée INPUT1, INPUT2 ou INPUT5, la page suivante est affichée.



2 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir le paramètre à régler puis appuyez sur la touche SET.



3 Réglez la qualité de l'image à l'aide des touches ◀/▶.



4 Appuyez sur la touche SET.

En appuyant sur la touche SET, vous mettez en mémoire la valeur choisie et retournez à la page de l'opération 2.

5 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

Remarque

Effectuez ces réglages pour chaque entrée (INPUT1 à INPUT5) et chaque signal.

Paramètres qui peuvent être réglés

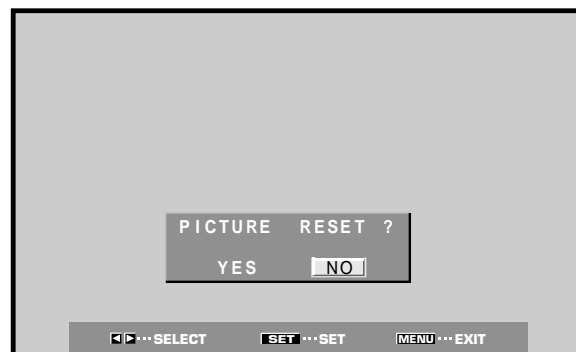
Voici de brèves explications sur les paramètres qui peuvent être réglés grâce à l'option PICTURE.

- CONTRAST Réglez le contraste en fonction de l'éclairage ambiant de manière que l'image soit bien visible.
- BRIGHT. Réglez la luminosité de manière que les parties sombres de l'image soient bien visibles.
- COLOR Réglez les couleurs pour obtenir une certaine profondeur. (Une certaine profondeur procure une sensation de naturel.)
- TINT Réglez la teinte pour que les couleurs de la peau paraissent naturelles.
- SHARP En principe, choisissez la valeur centrale. Pour obtenir une image douce, choisissez une valeur à gauche; pour obtenir une image nette, choisissez une valeur à droite.

Pour rétablir les valeurs par défaut des paramètres de l'option PICTURE

Si les réglages effectués ne vous conviennent pas, il peut être souhaitable de rétablir les valeurs par défaut des différents paramètres de l'option PICTURE plutôt que de continuer à modifier les réglages.

1 Au cours de l'opération 2 ci-dessus, utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option RESET puis appuyez sur la touche SET.



2 Appuyez sur la touche ◀/▶ pour choisir la valeur YES puis appuyez sur la touche SET.

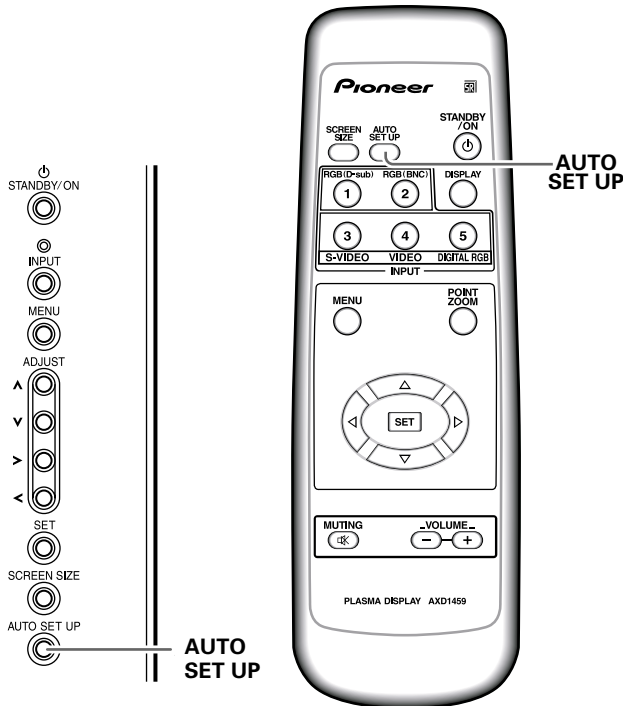
Les valeurs par défaut des paramètres de l'option PICTURE sont rétablies.

Réglage automatique de la position de l'image et de l'horloge

Une pression sur la touche AUTO SET UP de l'appareil ou de la télécommande ajustera la position sur l'écran et l'horloge aux valeurs optimales.

Remarques

- Ce réglage est supporté uniquement quand un signal d'ordinateur est raccordé à INPUT1 ou INPUT2.
- Effectuez ce réglage individuellement pour chaque fonction d'entrée (INPUT 1 et INPUT 2) et pour chaque type de signal.



Panneau de commande de l'écran

Télécommande

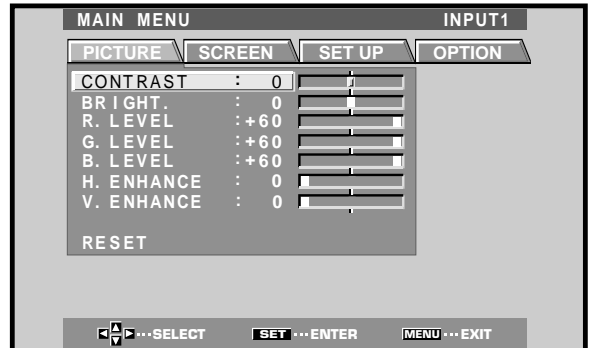
Appuyez sur la touche AUTO SET UP de l'appareil ou de la télécommande.

- Des ajustements optimaux peuvent s'avérer impossibles avec des signaux à faible luminance ou d'autres types de signaux. Dans ce cas, passez à la section suivante "Réglage manuel de la position d'écran et de l'horloge" pour effectuer des réglages plus précis.

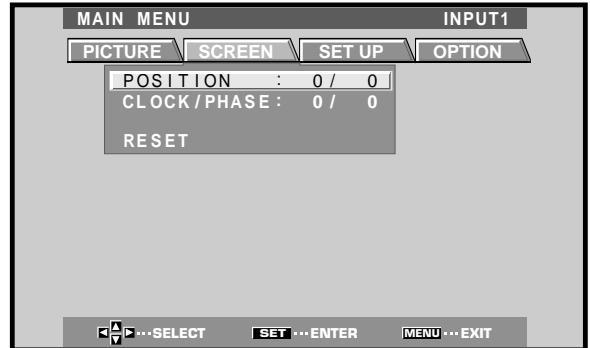
Réglage manuel de la position d'écran et de l'horloge

Ce réglage est possible quand un signal d'ordinateur est raccordé sur INPUT1, INPUT2 ou INPUT5. (Les réglages de cette page ne sont pas pris en compte quand INPUT3 ou INPUT4 est sélectionné, ou quand un signal vidéo est entré.)

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



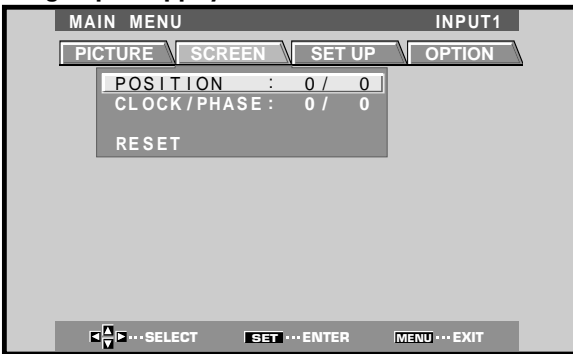
2 Utilisez les touches </> pour choisir l'option SCREEN.



Si INPUT5 est sélectionné, l'écran suivant apparaît et seul le réglage POSITION peut être sélectionné.



3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir le paramètre à régler puis appuyez sur la touche SET.



4 Utilisez les touches ◀/▶ pour effectuer le réglage.



Utilisez les touches ▲/▼ pour le réglage des paramètres V. POSITION et PHASE.

5 Appuyez sur la touche SET.

En appuyant sur la touche **SET**, vous mettez en mémoire la valeur choisie et retournez à la page de l'opération 3.

6 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

Remarque

Effectuez ces réglages pour chaque entrée (INPUT1, INPUT2 ou INPUT5) et chaque signal.

Paramètres qui peuvent être réglés

Voici de brèves explications sur les paramètres qui peuvent être réglés grâce à l'option SCREEN.

POSITION

H.POSITION Réglage de la position latérale de l'image.

V.POSITION Réglage de la position verticale de l'image.

CLOCK/PHASE

CLOCK Réglage des signaux et du bruit. Ce réglage agit sur la fréquence du signal de l'horloge interne en fonction du signal d'entrée vidéo.

PHASE Réglage du scintillement et des erreurs de couleur. Ce réglage agit sur la phase du signal de l'horloge interne dont la fréquence a été réglée au moyen du paramètre CLOCK.

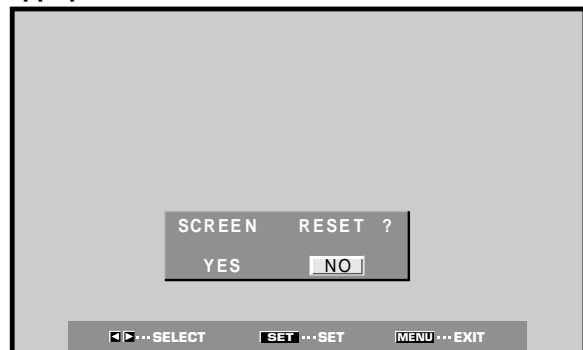
Remarques

- Si vous modifiez CLOCK, il se peut que vous soyez obligé de retoucher la valeur de H.POSITION.
- Si les paramètres de l'option SCREEN ont des valeurs excessives, l'image peut être déformée.

Pour rétablir les valeurs par défaut des paramètres de l'option SCREEN

Si les réglages effectués ne vous conviennent pas, il peut être souhaitable de rétablir les valeurs par défaut des différents paramètres de l'option SCREEN plutôt que de continuer à modifier les réglages.

1 Au cours de l'opération 3 ci-dessus, utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option RESET puis appuyez sur la touche SET.



2 Appuyez sur la touche ◀/▶ pour choisir la valeur YES puis appuyez sur la touche SET.

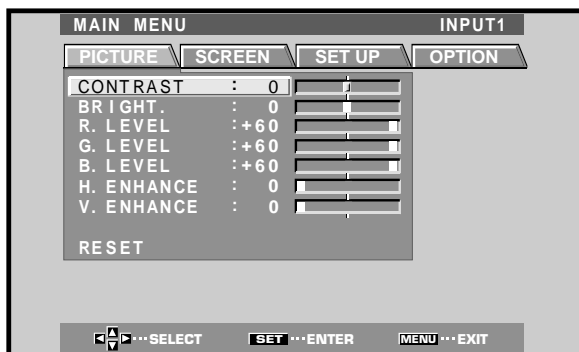
Les valeurs par défaut des paramètres de l'option SCREEN sont rétablies.

Modification de l'affichage d'entrée (INPUT LABEL)

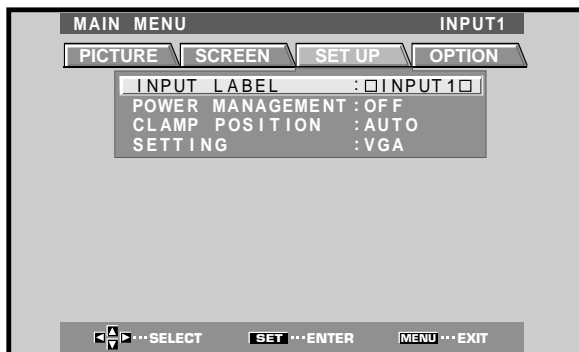
Cette fonction vous permet de réécrire le contenu de l'écran, affiché avec des entrées différentes. A titre d'exemple, la valeur par défaut "INPUT 1" peut être changée en "COMPUTER" ou tout autre nom (de 8 caractères au maximum), évoquant le composant raccordé.

Exemple: Pour changer le message "INPUT 1" par défaut en "COMPUTER".

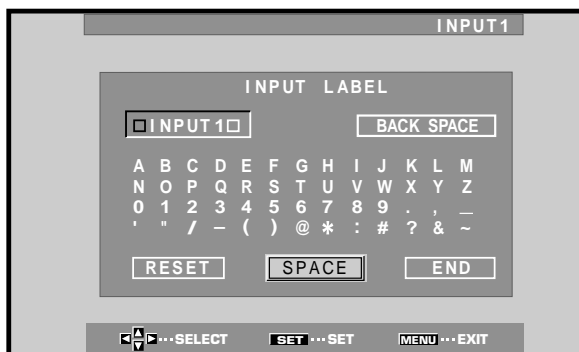
- 1 Appuyez sur la touche **INPUT** et réglez l'entrée à **INPUT 1**.
- 2 Appuyez sur la touche **MENU** pour afficher la page de menu.



- 3 Utilisez les touches **◀/▶** pour choisir l'option **SET UP**.



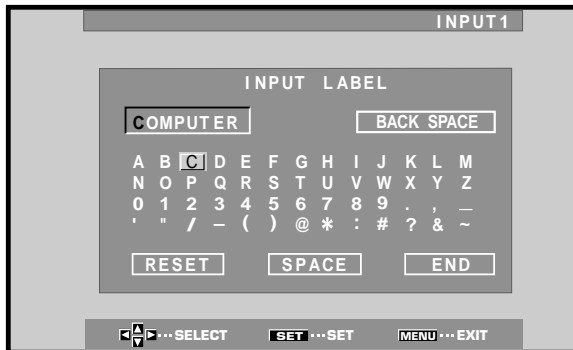
- 4 Appuyez sur la touche **SET** pour choisir **INPUT LABEL**.



- 5 Servez-vous des touches **◀/▶/▲/▼** pour choisir le premier caractère ("C" dans ce cas), puis appuyez sur **SET** pour valider. (Répétez cette démarche pour saisir jusqu'à 8 caractères au maximum.)



- Les caractères utilisables sont les 52 affichés sur cet écran.
- Lorsqu'un caractère est choisi et que la touche **SET** est actionnée, le point d'entrée (position du curseur) avance d'une position.
- En cas d'erreur de saisie d'un caractère, appuyez sur **BACK SPACE** puis sur la touche **SET** pour revenir en arrière d'une position (point d'entrée ou curseur).
- Pour rétablir les valeurs (INPUT1) par défaut de l'écran, appuyez sur la touche **RESET**, puis sur la touche **SET**.



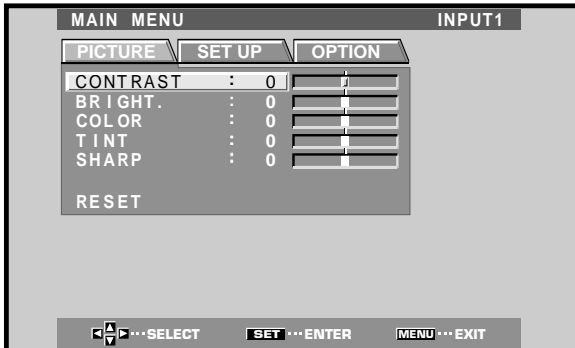
- 6 Une fois terminées toutes les entrées, appuyez sur **◀/▶/▲/▼** pour choisir **END**, puis sur la touche **SET**.



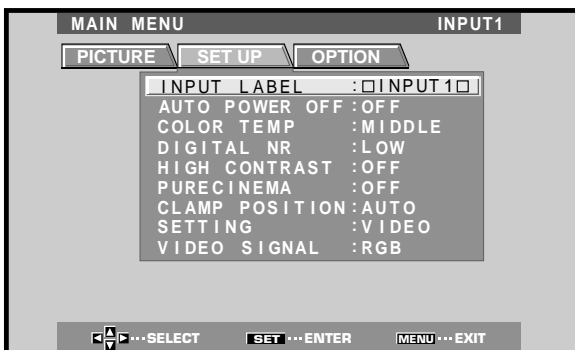
- 7 Appuyez sur la touche **MENU** pour revenir à l'écran normal.

Changement de la température de couleur (COLOR TEMP)

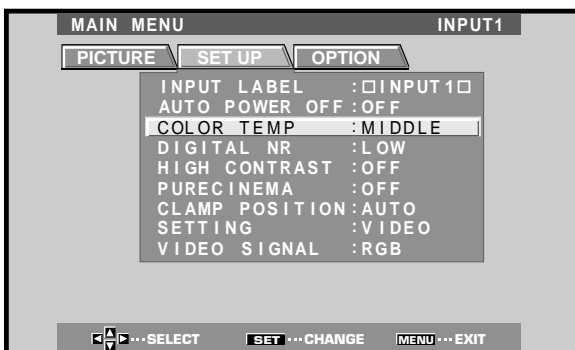
- 1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



- 2 Appuyez sur les touches ◀/▶ pour choisir l'option SET UP.



- 3 Appuyez sur les touches ▲/▼ pour choisir COLOR TEMP.



- 4 Appuyez sur la touche SET pour choisir le réglage de température de couleur souhaité.

En usine, l'appareil a été réglé sur MIDDLE. Le paramètre de température couleur change dans l'ordre suivant à chaque pression sur la touche SET :



- 5 Lorsque ces réglages sont terminés, appuyez à nouveau sur la touche MENU pour repasser à l'affichage normal.

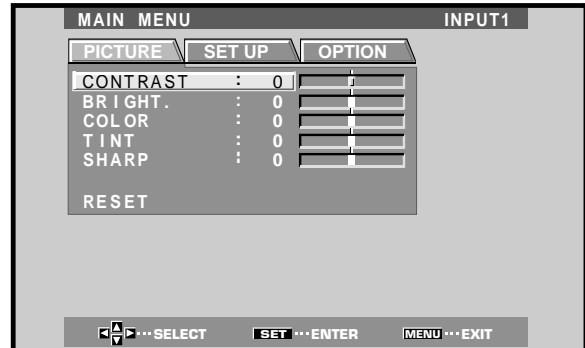
Remarque

Les réglages de température de couleur sont pris en compte uniquement avec des signaux d'entrée provenant d'un appareil vidéo. Les réglages se font individuellement pour chacune des entrées (INPUT1 - INPUT4).

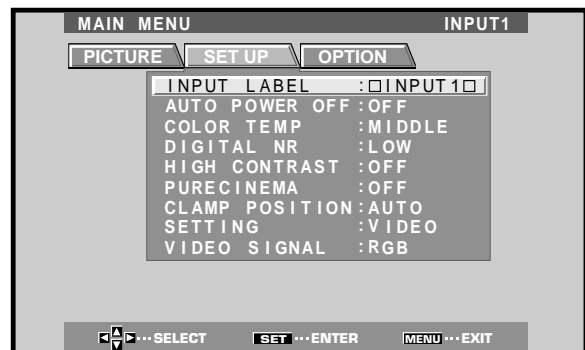
Réduction du bruit vidéo (DIGITAL NR)

Effectuez ce réglage si le bruit vidéo n'est pas supportable.

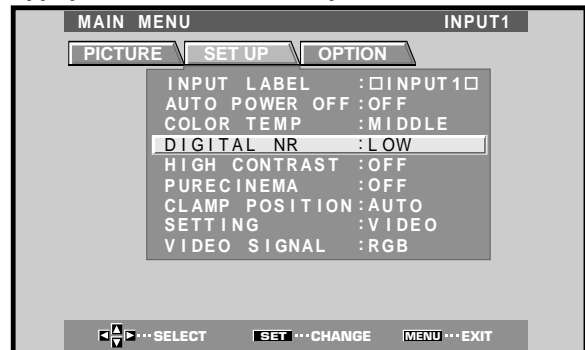
- 1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



- 2 Appuyez sur les touches ◀/▶ pour choisir l'option SET UP.



- 3 Appuyez sur les touches ▲/▼ pour choisir DIGITAL NR



- 4 Appuyez sur la touche SET pour choisir le réglage souhaitée pour la réduction du bruit (DIGITAL NR).

En usine, l'appareil a été réglé sur LOW. Le paramètre de réduction du bruit numérique change dans l'ordre suivant à chaque pression sur la touche SET :



- L'effet de réduction du bruit augmente dans l'ordre : LOW (faible) → MIDDLE (moyen) → HIGH (fort)

- 5 Lorsque ces réglages sont terminés, appuyez à nouveau sur la touche MENU pour repasser à l'affichage normal.

Remarque

L'effet de réduction de bruit est pris en compte uniquement avec des signaux d'entrée provenant d'un appareil vidéo. Les réglages se font individuellement pour chacune des entrées (INPUT1 - INPUT4).

Réglage du mode PureCinema

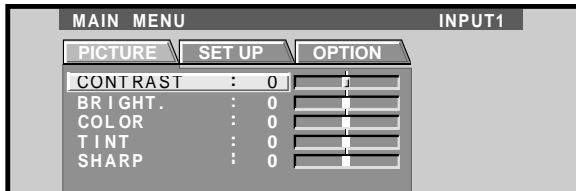
Lorsque le mode PureCinema est choisi, l'appareil détecte automatiquement les signaux vidéo de films, enregistrés à 24 images/seconde et il règle lui-même le balayage de manière à obtenir une lecture de film de meilleure qualité. Ceci est réalisé par la conversion du signal vidéo en balayage progressif. Lorsque vous utilisez la fonction PureCinema, elle doit être réglée d'ordinaire sur "HQ". Notez toutefois qu'en raison du temps requis pour le traitement du signal vidéo, un décalage peut se produire par rapport au signal audio; si ce décalage est gênant, réglez le mode à la position "STANDARD". Au réglage OFF (réglage par défaut, fait en usine), seule une conversion progressive standard est utilisée.

Remarque

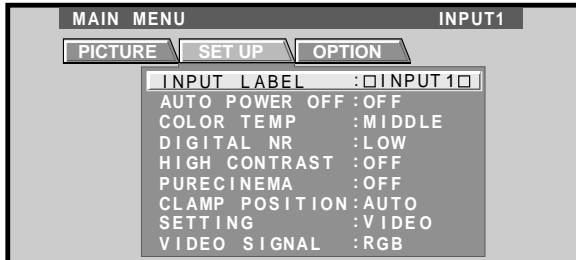
Le mode PureCinema est supporté seulement avec les signaux d'entrée 525i (480i) ou NTSC.

Ce réglage doit être effectué indépendamment pour chaque entrée utilisée (de INPUT 1 à INPUT 4).

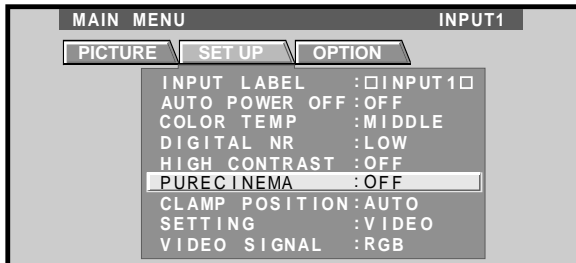
- 1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



- 2 Appuyez sur les touches </> pour choisir l'option SET UP.

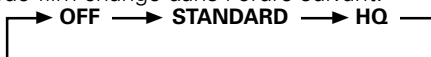


- 3 Appuyez sur les touches ▲/▼ pour choisir PURECINEMA



- 4 Appuyez sur la touche SET pour choisir le réglage PureCinema.

A chaque poussée sur la touche SET, le réglage du Mode film change dans l'ordre suivant:



- 5 Lorsque ces réglages sont terminés, appuyez à nouveau sur la touche MENU pour repasser à l'affichage normal.

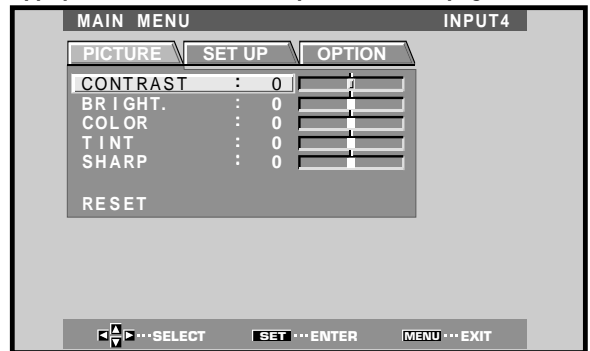
Choix du standard de télévision

Les entrées INPUT3 et INPUT4 sont compatibles avec différents standards de télévision utilisés dans le monde; la détection du standard du signal télévisé est automatique. En principe, choisissez "COLOR SYSTEM:AUTO" de manière que la détection soit automatique. Toutefois, certains signaux résultant de copie ou de montage peuvent être affichés de manière erronée (perte de couleur, etc.). En ce cas, changez le standard en fonction du signal d'entrée.

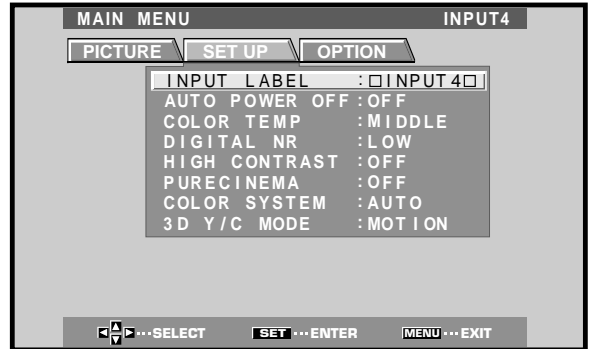
Remarque

Le choix du standard est nécessaire pour les entrées INPUT3 et INPUT4. Choisir le standard du signal télévisé appliqué à l'entrée, permet un traitement immédiat du signal et évite toute erreur dans la détection automatique du standard.

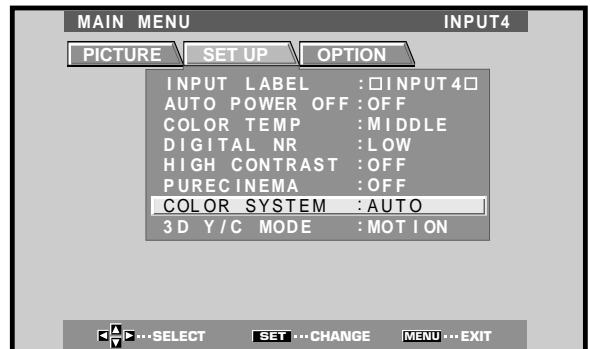
- 1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



- 2 Utilisez les touches </> pour choisir l'option SET UP.

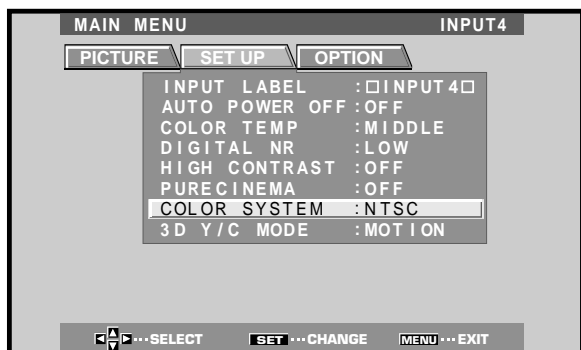
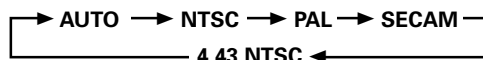


- 3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option COLOR SYSTEM.



4 Appuyez sur la touche SET de manière répétée jusqu'à ce que le standard convenable soit affiché.

Chaque pression sur la touche **SET**, modifie comme suit les indications affichées.



5 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

Visualisation d'une image animée (3D Y/C MODE)

Pour supprimer le flou de l'image, en particulier dans le cas des images animées à cadence rapide, comme c'est souvent le cas des émissions sportives, choisissez la valeur "MOTION".

- Choisissez la valeur "STILL" si l'image n'est pas animée.

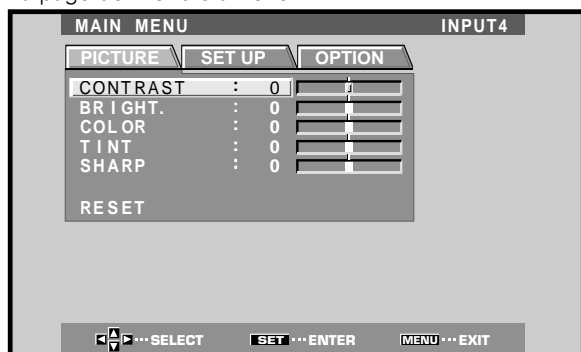
Remarques

Le réglage de 3D Y/C MODE n'est possible que si l'écran à plasma répond aux conditions suivantes:

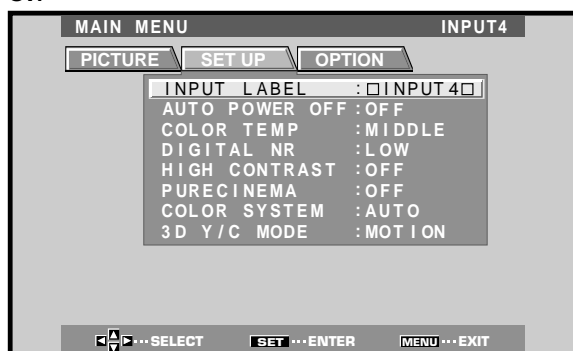
- L'entrée INPUT4 a été choisie.
- L'option COLOR SYSTEM a la valeur AUTO et le signal appliqué à l'entrée est au standard NTSC, ou encore l'option COLOR SYSTEM a la valeur NTSC.

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.

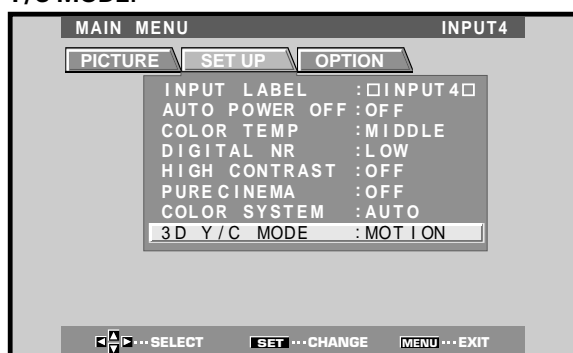
La page de menu s'affiche.



2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir l'option SET UP.



3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option 3D Y/C MODE.



4 Appuyez sur la touche SET pour choisir la valeur "MOTION".

En quittant l'usine, l'écran à plasma est réglé sur la valeur "MOTION".

Chaque pression sur la touche **SET**, modifie comme suit les indications affichées.



5 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

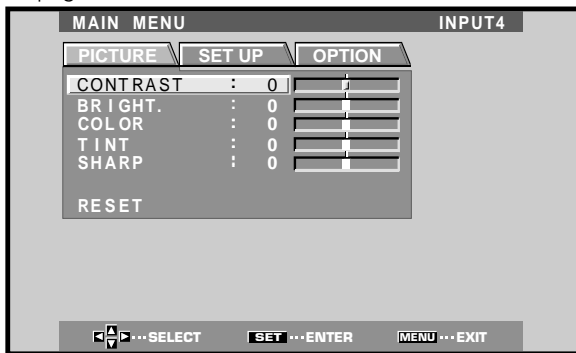
Utilisation en ambiance lumineuse (HIGH CONTRAST)

Pour obtenir une image vidéo très claire, choisissez la valeur "ON" pour cette option quand l'écran est placé dans une ambiance très lumineuse.

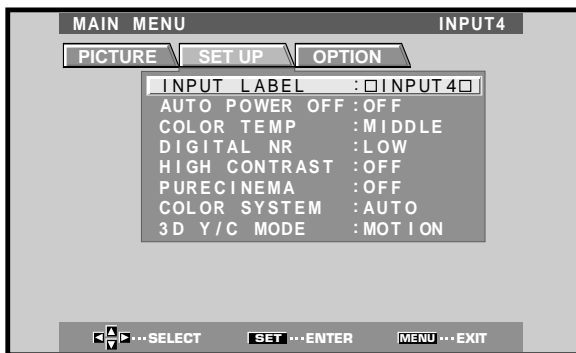
- Choisissez la valeur "OFF" si l'écran n'est pas placé dans une salle brillamment éclairée.

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.

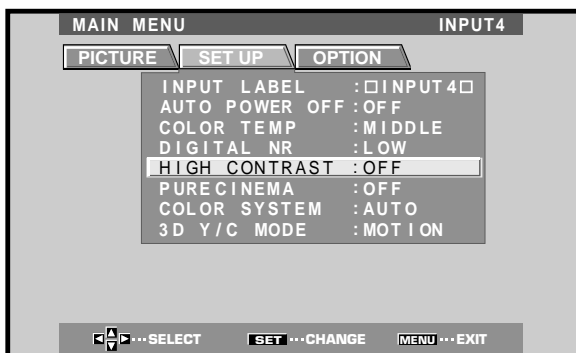
La page de menu s'affiche.



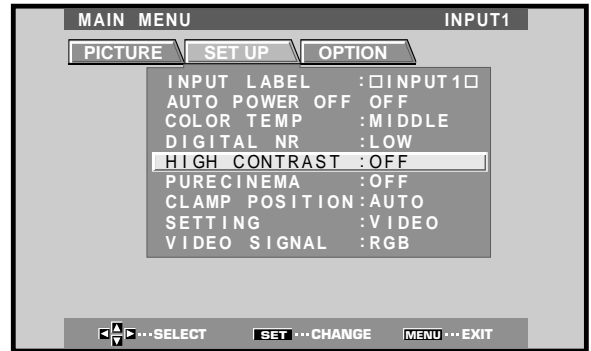
2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir l'option SET UP.



3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option HIGH CONTRAST.



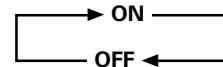
Dans le cas où l'image provient de INPUT1 ou INPUT2, la page suivante est affichée.



4 Appuyez sur la touche SET pour choisir la valeur "ON".

En quittant l'usine, l'écran à plasma est réglé sur la valeur "OFF".

Chaque pression sur la touche **SET**, modifie comme suit les indications affichées.



5 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

Remarque

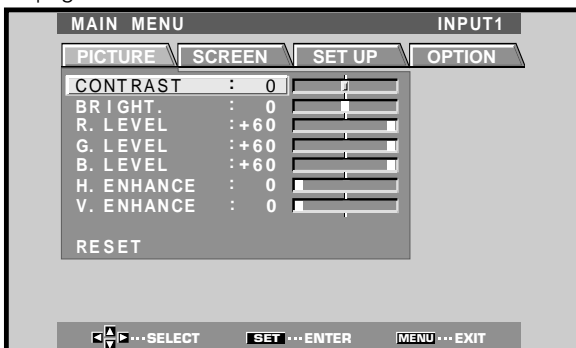
L'option HIGH CONTRAST est supportée seulement si le signal d'entrée vidéo d'un composant vidéo raccordé a été sélectionné. Ce réglage doit être effectué indépendamment pour chaque entrée utilisée (de INPUT 1 à INPUT 4).

Fonctionnement automatique (AUTO FUNCTION)

L'écran à plasma possède une fonction de sélection AUTO FUNCTION. Lorsqu'un signal est détecté à l'entrée sélectionnée, le sélecteur de fonction fait passer automatiquement à cette entrée.

1 Appuyez sur la touche MENU.

La page de menu est affichée.



2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir OPTION.

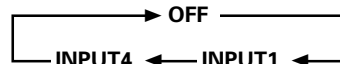


3 Appuyez sur les touches ▲/▼ pour choisir AUTO FUNCTION.



4 Appuyez sur la touche SET pour choisir INPUT1 ou INPUT4.

Le réglage par défaut effectué en usine est OFF (hors service). A chaque pression sur la touche **SET**, la fonction du sélecteur permute comme suit:



- Lorsque OFF est choisi, le paramètre AUTO FUNCTION est invalidé.
- Lorsque INPUT1 ou INPUT4 est choisi, la fonction d'entrée passe automatiquement à l'entrée sélectionnée, dès qu'un signal est détecté à la prise d'entrée choisie. Par la suite, l'entrée ne changera plus, même si la touche INPUT de la télécommande ou de l'appareil est actionnée. Une fois que la fonction est commutée à l'entrée sélectionnée par l'action du paramètre AUTO FUNCTION, la source d'entrée originale, utilisée avant l'utilisation de ce paramètre, sera rétablie si un signal d'entrée n'est plus détecté à la prise d'entrée sélectionnée.

5 Une fois terminés ces réglages, appuyez sur la touche MENU pour repasser à l'écran normal.

Remarque

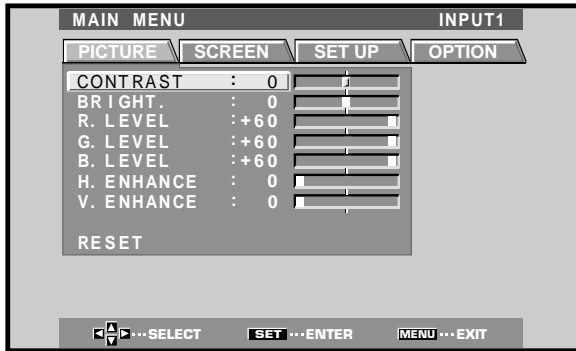
Le paramètre AUTO FUNCTION pour INPUT1 est supporté uniquement lorsqu'un signal RVB analogique SYNC séparé ou SYNC composite est fourni. (Lorsqu'un composant V sur signal vidéo SYNC ou à composant est entré, le paramètre AUTO FUNCTION est invalidé.)

Sortie audio (AUDIO OUT)

Au besoin, le niveau du signal fourni à la prise AUDIO OUT peut être réglé sur FIXED ou VARIABLE (lié à la fonction VOLUME).

1 Appuyez sur la touche MENU.

La page de menu est affichée.



2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir OPTION.



3 Appuyez sur les touches ▲/▼ pour choisir AUDIO OUT.



4 Appuyez sur SET pour choisir le réglage souhaité pour le niveau audio.

Le réglage par défaut effectué en usine est FIXED. A chaque pression sur la touche **SET**, la fonction change comme suit:



- Lorsque FIXED est choisi, le volume de sortie sonore ne change pas, même si le réglage de la fonction VOLUME de l'écran est changé ultérieurement.
- Lorsque VARIABLE est choisi, le volume de sortie sonore change en accord avec le réglage de la fonction VOLUME.

5 Une fois terminés ces réglages, appuyez sur la touche MENU pour repasser à l'écran normal.

Remarque

Le réglage AUDIO OUT concerne toutes les sources d'entrée (INPUT1-5).

Caractéristiques techniques

Généralités

Dimensions hors tout 243,8 (L) x 23,6 (H) x 144 (P) mm

Poids 0,3 kg

Gamme de température de fonctionnement 0 à 40°C

Entrée/sortie

Vidéo

INPUT 3

- Entrée** borne S (mini DIN 4 broches)
- signal vidéo Y/C séparé
luminance . . . 1 Vcc/75 Ohms, synchro-
négative
 - chrominance . . . 0,286 Vcc/75 Ohms
(NTSC)
0,3 Vcc/75 Ohms (PAL)

INPUT4

- Entrée** prise BNC
- signal vidéo composite
1 Vcc/75 Ohms, synchro négative

- Sortie** prise BNC
75 Ohms avec protection

INPUT5

- Entrée** Connecteur DVI-D à 24 broche
- Signal RVB numérique (DVI conforme au
signal TMDS)
 - * INPUT 5 supporte les normes "Plug &
Play" (VESA DDC 2B) de Microsoft.

Audio

- Entrée** Entrée audio (pour INPUT3)
Fiche (x 2)
G/D ... 500 mV eff./plus de 10 kOhms

- Entrée audio (pour INPUT4)
Fiche (x 2)
G/D ... 500 mV eff./plus de 10 kOhms

Accessoires

Étiquette pour télécommande	1
Adaptateur BNC/Fiche	1
Étiquette d'identification de connecteur	1
Mode d'emploi	1

- Les caractéristiques et la présentation peuvent être modifiées sans avis préalable à fin d'amélioration.

Supplément 1

Tableau de compatibilité des signaux vidéo (INPUT1, INPUT2)

Fréquence de rafraîchissement		Format du signal	Format d'image				Remarques
Vertical Fv (Hz)	Horizontal Fh (kHz)		4:3	FULL	ZOOM	WIDE	
50	15,625	Composante	○	○	○	○	625i (575i)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	
	28,1	Composante		○			1125i (1080i)/HDTV
		RVB		○			
	31,25	Composante	○	○	○	○	625p (575p)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	
60	15,734	Composante	○	○	○	○	525i (480i)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	
	31,5	Composante	○	○	○	○	525p (480p)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	
	33,75	Composante		○			1125i (1080i)/HDTV
		RVB		○			
	45,0	Composante		○			750p (720p)/HDTV
		RVB		○			
	67,5	Composante		○			1125p (1080p)/HDTV
		RVB		○			

Français

Supplément 2

Tableau de compatibilité de signal Ordinateur (lors d'un raccordement au PDP-503CMX/PDP-503MXE) (INPUT5)

Définition (Points x Lignes)	Fréquence de rafraîchissement		Format d'image (points x lignes)				Remarques
	Vertical	Horizontal	DOT BY DOT	4:3	FULL	PARTIAL	
640x480	60 Hz	31,5 kHz	◎ 640x480	○ 1024x768	○ 1280x768		
800 x600	56 Hz	35,1 kHz	◎ 800x600	○ 1024x768	○ 1280x768		
	60 Hz	37,9 kHz	↑	↑	↑		
852x480	60 Hz	31,7 kHz	◎ 852x480		○ 1280x768		
1024x768	60 Hz	48,4 kHz	◎ 1024x768		○ 1280x768		
1152x864	60 Hz	53,7 kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
1280x768	56 Hz	45,1 kHz	◎ 1280x768				
	60 Hz	48,4 kHz	↑				
1280x960	60 Hz	60,0 kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
1280x1024	60 Hz	64,0 kHz		△ 960x768	△ 1280x768	◎ 1280x768	

◎ : Image optimale. Un réglage de la position de l'image, de la fréquence de rafraîchissement, de la phase, etc. peut s'avérer nécessaire.

○ : L'image sera agrandie mais certains petits détails seront difficiles à voir.

△ : La reproduction est simple. Les détails ne sont pas reproduits. Le format est affiché sous la forme "~ (TYPE)".

■ : Non disponible

Informations complémentaires

Tableau de compatibilité de signal Ordinateur (lors d'un raccordement au PDP-433CMX/PDP-433MXE) (INPUT5)

Définition (Points x Lignes)	Fréquence de rafraîchissement		Format d'image (points x lignes)			Remarques
	Vertical	Horizontal	DOT BY DOT	4:3	FULL	
640x480	60 Hz	31,5 kHz	◎ 640x480	○ 768x768	○ 1024x768	
800 x600	56 Hz	35,1 kHz	◎ 800x600	△ 768x768	○ 1024x768	
	60 Hz	37,9 kHz	↑	↑	↑	
852x480	60 Hz	31,7 kHz	◎ 852x480		○ 1024x768	
1024x768	60 Hz	48,4 kHz	◎ 1024x768	○ 768x768		
1152x864	60 Hz	53,7 kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
1280x768	56 Hz	45,1 kHz			△ 1024x768	
	60 Hz	48,4 kHz			↑	
1280x960	60 Hz	60,0 kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
1280x1024	60 Hz	64,0 kHz		△ 720x768	△ 1024x768	

◎ : Le signal d'entrée et le format d'image (points x lignes) sont réglés pour afficher dans un rapport 1:1.

■ : Non disponible

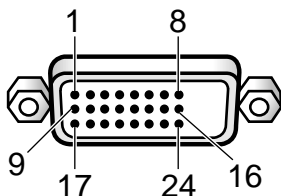
Remarque : Le PDP-433CMX/PDP-433MXE est conçu avec des éléments horizontalement rectangulaires, ce qui fait que l'image affichée apparaît plus allongée que celle du signal d'entrée original.

○ : L'image sera agrandie mais certains petits détails seront difficiles à voir.

△ : La reproduction est simple. Les détails ne sont pas reproduits. Le format est affiché sous la forme "~ (TYPE)".

Supplément 3

Bornage de INPUT5 (connecteur femelle DVI)



No. broche	Affectation des signaux
1	T.M.D.S. Donnée 2-
2	T.M.D.S. Donnée 2+
3	T.M.D.S. Blindage Donnée 2/4
4	Pas de connexion
5	Pas de connexion
6	Horloge DDC
7	Donnée DDC
8	Pas de connexion
9	T.M.D.S. Donnée 1-
10	T.M.D.S. Donnée 1+
11	T.M.D.S. Blindage Donnée 1/3
12	Pas de connexion
13	Pas de connexion
14	Alimentation +5V
15	Masse
16	Détection Fiche directe
17	T.M.D.S. Donnée 0-
18	T.M.D.S. Donnée 0+
19	T.M.D.S. Blindage Donnée 0/5
20	Pas de connexion
21	Pas de connexion
22	T.M.D.S. Blindage Horloge
23	T.M.D.S. Horloge +
24	T.M.D.S. Horloge -

Glossaire

Format d'image

Le rapport de la largeur à la hauteur de l'image donne son format. Dans le cas d'un téléviseur standard, ce format est égale à 4/3; dans le cas de la télévision haute définition il est égale à 16/9.

Prise S (Prise S VIDEO)

Cette prise permet de transmettre le signal vidéo sous la forme de deux signaux: la luminance (Y) et la chrominance (C). La qualité de l'image est meilleure qu'avec un signal composite.

Signal S-vidéo

Le signal vidéo se compose de deux signaux: le signal de chrominance (C) qui produit les couleurs, et le signal de luminance qui produit la luminosité. Dans le cas où ces signaux sont combinés pour n'en former qu'un, on parle de signal vidéo composite. Contrairement à cela, le signal S-vidéo maintient la séparation de la couleur et de la luminosité, ce qui permet une amélioration de la qualité de l'image.

Composantes vidéo

C'est un terme générique pour les signaux vidéo comprenant les éléments de luminance et de chrominance Y.Cb.Cr, Y.Pb.Pr, et Y.B-Y.R-Y.

On parle aussi de signaux de "différence de couleur".

G ON SYNC

La synchronisation du signal RVB est obtenue par l'addition d'un signal de synchronisation au signal du vert (G).

VGA

VGA est l'abréviation de "Video Graphics Array". En général, la définition VGA est de 640 points x 480 lignes.

XGA

XGA est l'abréviation de "eXtended Graphics Array". En général, la définition XGA est de 1024 points x 768 lignes.

DVI

DVI est l'abréviation de "Digital Visual Interface" (Interface visuelle numérique). C'est l'interface standard, proposée par Digital Display Working Group (DDWG) pour les écrans numériques.

Power Management est une marque déposée de Sun Microsystems Inc.

TMDS est une marque déposée de Silicon Image Inc.

Apple et Macintosh sont des marques déposées par Apple Computer, Inc.

Microsoft est une marque déposée par Microsoft Corporation.

VGA et XGA sont des marques déposées de International Business Machines Co., Inc.

VESA et DDC sont des marques déposées par Video Electronics Standards Association.

Sicherheitsmaßnahmen

WICHTIG



Das Blitzsymbol in einem Dreieck weist den Nutzer darauf hin, dass eine Berühungsgefahr mit nicht isolierten Teilen im Geräteinneren, die eine gefährliche Spannung führen, besteht. Die Spannung kann so hoch sein, dass sie die Gefahr eines elektrischen Schlags bei Personen birgt.

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN

ACHTUNG:

UM SICH NICHT DER GEFAHR EINES ELEKTRISCHEN SCHLAGS, AUSZUSETZEN, DÜRFEN SIE NICHT DEN DECKEL (ODER DIE RÜCKSEITE) ENTFERNEN. IM GERÄTEINNEREN BEFINDEN SICH KEINE VOM NUTZER REPARIERBARE TEILE. ÜBERLASSEN SIE REPARATUREN DEM QUALIFIZIERTEN KUNDENDIENST.



Ein Ausrufungszeichen in einem Dreieck weist den Nutzer auf wichtige Bedienungs- und Wartungsanweisungen in den Dokumenten hin, die dem Gerät beiliegen.

H002AGe

Deutsch

Wir danken Ihnen für das Vertrauen, das Sie Pioneer mit dem Kauf dieses Produkts erwiesen haben. Bitte lesen Sie vor der Inbetriebnahme die "Sicherheitsmaßnahmen" auf dieser Seite sowie die übrigen Abschnitte dieser Bedienungsanleitung vollständig durch, um eine fehlerfreie Bedienung des Plasma-Displays zu gewährleisten. Bewahren Sie diese Anleitung an einem sicheren Ort auf. Sie wird Ihnen in Zukunft nützliche Dienste leisten.

WARNUNG: DIESES GERÄT IST NICHT WASSERUNDURCHLÄSSIG. UM EINEN BRAND ODER STROMSCHLAG ZU VERMEIDEN, DIESES GERÄT NICHT REGEN ODER FEUCHTIGKEIT AUSSETZEN UND KEINEN BEHÄLTER MIT WASSER, WIE VASEN, BLUMENTÖPFE, KOSMETIKBEHÄLTER UND MEDIZINFLASCHEN, IN DER NÄHE DIESES GERÄTS STELLEN.

H001AGe

Dieses Produkt entspricht den EMV-Richtlinien (89/336/EEC, geändert durch 92/31/EEC und 93/68/EEC).

H016AGe

Um eine ausreichende Belüftung zu gewährleisten, sollte das Gerät in einem Mindestabstand von 10 cm von anderen Geräten, Wänden usw. aufgestellt werden. Vermeiden Sie die nachstehenden Installationsarten, die die Ventilationsschlitze blockieren könnten. Dadurch könnte im Inneren des Gerätes ein Wärmestau entstehen, der wiederum einen Brandausbruch verursachen kann.

- Stellen Sie das Gerät nicht in engen Räumen mit unzureichender Belüftung auf.
- Wenn Sie eine spezielle Installation beabsichtigen, z.B. unmittelbar an einer Wand, in horizontaler Position usw., lassen Sie sich vorher von Ihrem Pioneer-Fachhändler beraten.

Hinweis zur Installation:

Dieses Produkt ist für die Installation durch einen Fachmann bestimmt. Der Käufer muss dieses Produkt entweder von einem qualifizierten Techniker oder vom Fachhändler installieren und einrichten lassen. PIONEER übernimmt keinerlei Haftung für Schäden, die auf unsachgemäße Installation oder Befestigung, zweckentfremdeten Gebrauch, Nachgestaltung oder Naturkatastrophen zurückzuführen sind.

Hinweis für den Fachhändler:

Achten Sie nach der Installation darauf, dem Kunden diese Anleitung auszuhändigen und ihm die Handhabung des Produkts zu erklären.

Sicherheitsmaßnahmen

Die unten abgebildeten Symbole befinden sich auf Aufklebern, die am Gerät angebracht sind. Sie dienen dazu, Benutzer und Wartungspersonal auf potentielle Gefahrenquellen aufmerksam zu machen.

⚠️ WARNUNG

Dieses Symbol warnt vor einer gefährlichen oder unsicheren Vorgehensweise, die Verletzungen und Sachschäden verursachen kann.

⚠️ VORSICHT

Dieses Symbol warnt vor einer gefährlichen oder unsicheren Vorgehensweise, die schwere Verletzungen mit möglicherweise tödlichem Ausgang zur Folge haben kann.

Bei der PDA-5002 handelt es sich um eine Videokarte, die ausschließlich für den Gebrauch mit Pioneers Plasma-Display PDP-503MXE (oder PDP-433MXE) vorgesehen ist. Das Plasma-Display PDP-503MXE (oder PDP-433MXE) wurde ursprünglich als Monitor für Personalcomputer konzipiert, doch stehen nach Installation der optionalen Videokarte PDA-5002 die folgenden ergänzenden Funktionen zur Verfügung:

1. Die zusätzlichen Eingangsbuchsen (INPUT3, INPUT4, INPUT5) unterstützen S-Video-, FBAS- und DVI-Signale (TMDS).
2. Ein breites Angebot an optionalen Videogeräten kann angeschlossen werden.

Sicherheitsmaßnahmen	i
Vor der Inbetriebnahme	2
Verwendung dieser Anleitung	2
Überprüfen des mitgelieferten Zubehörs	3
Bezeichnungen und Funktionen der Teile	4
Anschlussleiste	4
Installation und Anschlüsse	6
Installieren der Videokarte	6
Eingangsbuchsen am Plasma-Display bei installierter Videokarte	7
Anschlüsse an INPUT1 und INPUT2	7
Anschluss an INPUT3	10
Anschluss an INPUT4	10
Anschluss an INPUT5	11
Hinweise zum Anschluss einer DTV-Top Box ...	11
Audio-Anschlüsse	12
Verlegung der Kabel	13
Setup des Systems	14
Setup nach dem Anschließen	14
Bedienung	16
Wahl einer Eingangssignalquelle	16
Wahl des Bildschirmformats	18
Vergrößerung eines Bildausschnitts (POINT ZOOM)	19
Abschaltautomatik	20
Display-Einstellungen	21
Einstellen der Bildqualität	21
Einstellen von Bildposition und Taktsignal (automatische Einstellung)	22
Manuelle Einstellung von Bildposition und Taktsignal	22
Weitere Funktionen	24
Neuschreiben der Eingangskennzeichnung (INPUT LABEL)	24
Ändern der Farbtemperatur (COLOR TEMP) ..	25
Vermindern des Videorauschens (DIGITAL NR) ...	25
Einstellen des PureCinema-Modus	26
Einstellen auf das örtliche Fernsehsystem	26
Betrachten eines sich schnell bewegenden Bilds (3D Y/C MODE)	27
Betrachten in einer hellen Umgebung (HIGH CONTRAST)	28
Automatische Eingangswahl (AUTO FUNCTION)	29
Tonausgabepegel (AUDIO OUT)	30
Zusätzliche Informationen	31
Technische Daten	31
Nachtrag 1	32
Nachtrag 2	32
Nachtrag 3	34
Glossar	34

Verwendung dieser Anleitung

Die in dieser Anleitung enthaltenen Hinweise sind in einer Reihenfolge angeordnet, die der logischen Vorgehensweise bei Setup und Bedienung entspricht, nachdem die Videokarte PDA-5002 im Plasma-Display installiert worden ist.

Entfernen Sie die Videokarte aus ihrer Verpackung und vergewissern Sie sich anhand der Liste auf der folgenden Seite, dass alle Zubehörteile vollständig vorhanden sind. Bitte beziehen Sie sich bei Installation und Setup der Videokarte auf den Abschnitt "Bezeichnungen und Funktionen der Teile" auf Seite 4 dieser Anleitung sowie auf die Bedienungsanleitung des Plasma-Displays. Dies dient dazu, sich mit den Bedienungselementen des Plasma-Displays und der Fernbedienung vertraut zu machen, da diese Tasten in der vorliegenden Anleitung häufig erwähnt werden.

Der Abschnitt "Installation und Anschlüsse", der auf Seite 6 beginnt, enthält alle Informationen, die zur Installation der Videokarte im Plasma-Display erforderlich sind, sowie detaillierte Hinweise zum Anschließen verschiedener Videogeräte.

Der auf Seite 14 beginnende Abschnitt "Setup des Systems" erläutert die Einstellungen der in den Bildschirm eingeblendeten Menüs, die zur Herstellung einer korrekten Verbindung zwischen Plasma-Display und den daran angeschlossenen Geräten erforderlich sind. Abhängig von den jeweils vorgenommenen Anschlüssen kann dieser Abschnitt u.U. übergangen werden.

Die übrigen Abschnitte dieser Anleitung enthalten Erläuterungen der grundlegenden Bedienungsschritte zur Wahl der Eingangsquelle sowie weiterführender Bedienungsvorgänge, mit deren Hilfe Sie die für die jeweils angeschlossenen Geräte und Ihre Anforderungen optimalen Bildeinstellungen am Plasma-Display vornehmen können.

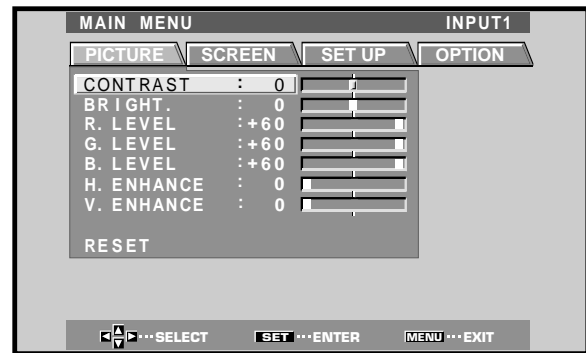
Abbildungen von Bildschirmanzeigen

Die Beispiele von Bildschirmanzeigen, die in diesem Handbuch abgebildet sind, beziehen sich auf das Modell PDP-503MXE. Die Bildschirmanzeigen des Modells PDP-433MXE unterscheiden sich von den Abbildungen wie folgt:

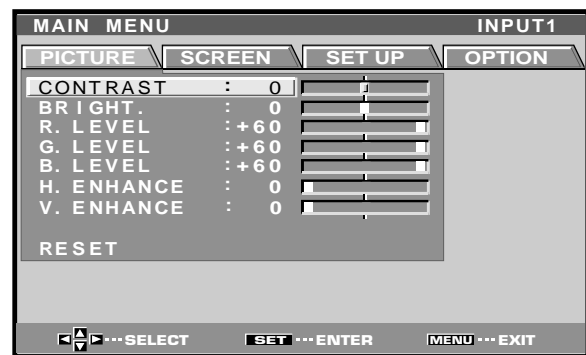
- Die Bildschirmanzeige des PDP-503MXE besitzt an beiden Seiten einen Rand, innerhalb dessen nichts angezeigt wird.
- Die Bildschirmanzeige des PDP-433MXE füllt den Bildschirm in horizontaler Richtung vollständig aus.

Bitte beachten Sie, dass der Inhalt der Bildschirmanzeigen beim PDP-503MXE und PDP-433MXE identisch ist.

Beispiel einer Bildschirmanzeige des PDP-503MXE:



Beispiel einer Bildschirmanzeige des PDP-433MXE:



Hinweise zu den Erläuterungen der Bedienungsschritte

Die jeweils auszuführenden Bedienungsschritte werden in dieser Anleitung in numerischer Reihenfolge aufgeführt. Die überwiegende Anzahl der angegebenen Schritte bezieht sich auf den Gebrauch der Fernbedienung, es sei denn, das betreffende Bedienungselement ist nur am Plasma-Display vorhanden. Wenn ein Bedienungselement des Plasma-Displays jedoch die gleiche oder eine ähnliche Bezeichnung aufweist wie ein Bedienungselement an der Fernbedienung, kann dieses ebenfalls zur Ausführung des jeweiligen Bedienungsschritts betätigt werden.

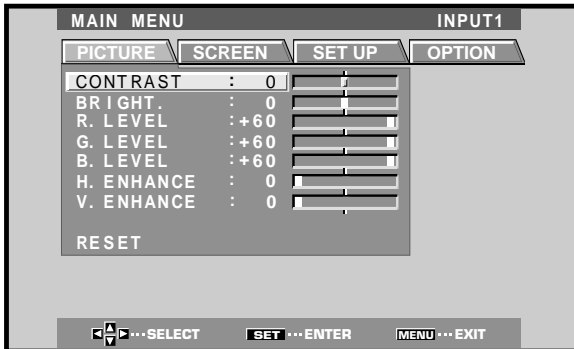
Das nachstehende Beispiel erläutert die Bedienungsschritte, die zur Einstellung der Horizontal- und Vertikalposition der Bildschirmanzeige auszuführen sind.

Die auf jeden Schritt folgenden Abbildungen der Bildschirmanzeigen ermöglichen Ihnen eine Kontrolle darüber, dass Sie jeden Bedienungsvorgang korrekt ausgeführt haben. Bitte machen Sie sich mit dieser Vorgehensweise vertraut, bevor Sie mit den übrigen Abschnitten dieser Anleitung fortfahren.

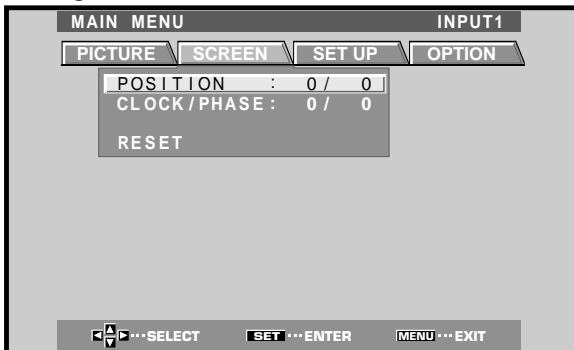
Hinweis

Bei den in dieser Anleitung gezeigten Abbildungen handelt es sich um typische Beispiele von Bildschirmanzeigen. Je nach der gewählten Eingangsquelle und den vorgenommenen Einstellungen weicht der Inhalt der tatsächlichen Menüanzeigen u.U. von den Abbildungen ab.

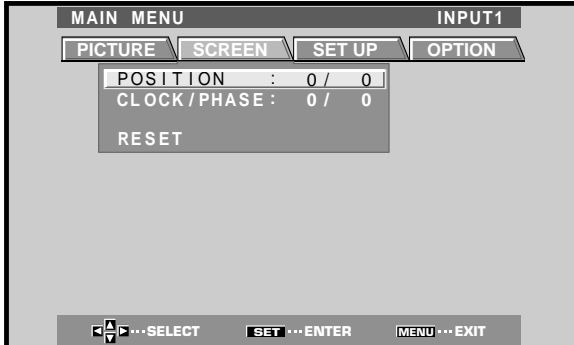
- 1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige auf den Bildschirm zu rufen.



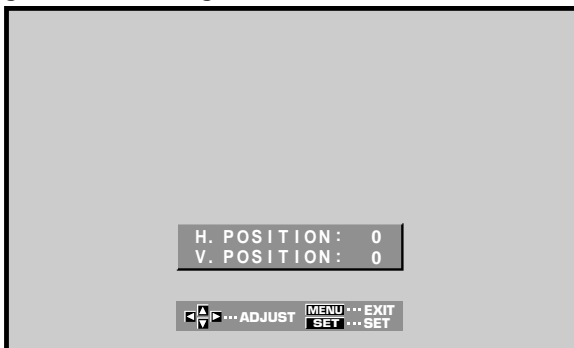
- 2 Betätigen Sie ► zur Wahl von "SCREEN".



- 3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl des Menüeintrags, dessen Einstellung geändert werden soll.



- 4 Drücken Sie SET, um die Einstellanzeige für den gewählten Eintrag aufzurufen.



- 5 Betätigen Sie ▲/▼/◀/▶, um den gewünschten Wert einzustellen.

Überprüfen des mitgelieferten Zubehörs

Bitte vergewissern Sie sich nach dem Auspacken, dass die nachstehend aufgeführten Zubehörteile vollständig vorhanden sind.

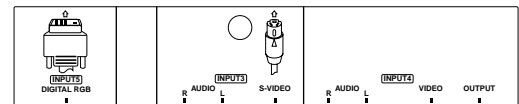
- ① Aufkleber für Fernbedienung



- ② BNC-/Cinch-Steckeradapter



- ③ Aufkleber für Buchsenkennzeichnung

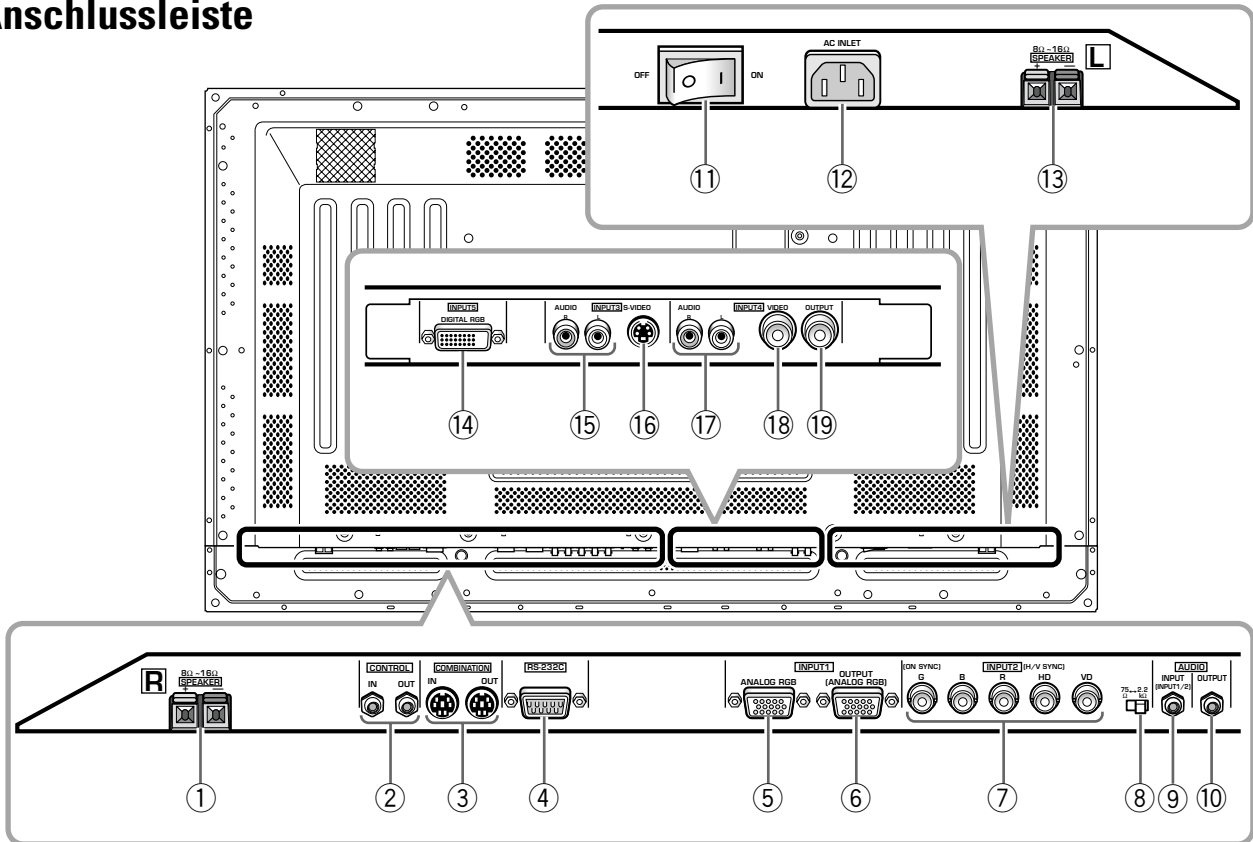


- ④ Schraube x 2
(Befestigungsschrauben für Videokarte)



- Bedienungsanleitung

Anschlussleiste



Bereich für Plasma-Display

Das Plasma-Display verfügt über zwei Video-Eingangsbuchsen, eine Video-Ausgangsbuchse, Audio-Eingangs-/Ausgangsbuchsen sowie Lautsprecherklemmen.

Außerdem sind CONTROL IN/OUT-Buchsen zum Anschluss von PIONEER-Komponenten vorhanden, die mit dem versehen sind.

Nach Installation dieser Videokarte im Plasma-Display stehen drei zusätzliche Paare von Video-Eingangsbuchsen (d.h. insgesamt 5 Video-Eingänge) sowie eine zusätzliche Video-Ausgangsbuchse (d.h. insgesamt 2 Video-Ausgänge) zur Verfügung. Einzelheiten zu den Anschlüssen, die an den verschiedenen Buchsen vorgenommen werden, finden Sie auf den in Klammern angegebenen Seiten oder in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays.

① SPEAKER (R) (Klemmen für rechten Lautsprecher)

An diese Klemmen wird der rechte externe Lautsprecher angeschlossen. Schließen Sie einen Lautsprecher mit einer Impedanz von 8–16 Ohm an.

② CONTROL IN/OUT (Mono-Minibuchsen) Steuerkabel-Eingang/Ausgang

Diese Buchsen dienen zum Anschluss von PIONEER-Komponenten, die mit dem versehen sind. Wenn ein CONTROL-Anschluss hergestellt wird, kann das Plasma-Display als Systemkomponente gesteuert werden.

③ COMBINATION IN/OUT (Kombi-Eingang/Ausgang) AN DIESEN BUCHSEN DÜRFEN KEINE ANSCHLÜSSE HERGESTELLT WERDEN!

Diese Buchsen werden ausschließlich für das werkseitige Setup verwendet.

④ RS-232C (RS-232C-Schnittstelle) AN DIESER BUCHSE DARF KEIN ANSCHLUSS HERGESTELLT WERDEN!

Diese Buchse wird ausschließlich für das werkseitige Setup verwendet.

⑤ INPUT1 (15-polige Mini-D-Sub-Buchse) (Video-Eingang 1)

Diese Buchsen dienen zum Anschluss eines Gerätes mit RGB-Ausgangsbuchsen, z.B. eines Personalcomputer oder externen RGB-Decoders, oder zum Anschluss eines Gerätes mit Komponentensignal-Ausgangsbuchsen, z.B. eines DVD-Players. Vergewissern Sie sich, dass die vorgenommenen Anschlüsse mit dem Signalausgabe-Format des angeschlossenen Gerätes übereinstimmen (Seite 7 bis 10).

⑥ OUTPUT (INPUT1) (15-polige Mini-D-Sub-Buchse) (Video-Ausgangsbuchse)

Verwenden Sie die Buchse OUTPUT (INPUT1) zur Ausgabe des Videosignals an einen externen Monitor oder an ein anderes Gerät.

Hinweis: Wenn der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet ist oder sich dieses im Bereitschaftszustand befindet (Seite 10), wird das Videosignal nicht von der Buchse OUTPUT (INPUT1) ausgegeben.

⑦ INPUT2 (BNC-Buchsen) (Video-Eingang 2)

Diese Buchsen dienen zum Anschluss eines Gerätes mit RGB-Ausgangsbuchsen, z.B. eines Personalcomputer oder externen RGB-Decoders, oder zum Anschluss eines Gerätes mit Komponentensignal-Ausgangsbuchsen, z.B. eines DVD-Players. Vergewissern Sie sich, dass die vorgenommenen Anschlüsse mit dem Signalausgabe-Format des angeschlossenen Gerätes übereinstimmen (Seite 7 bis 9).

⑧ Wahlschalter für Synchronsignal-Impedanz

Je nach den an den INPUT2-Buchsen vorgenommenen Anschlüssen kann eine Einstellung dieses Schalters erforderlich sein, die zur Anpassung an die Ausgangsimpedanz des Synchronsignals des angeschlossenen Gerätes dient. Wenn die Ausgangsimpedanz des Synchronsignals des Gerätes weniger als 75 Ohm beträgt, bringen Sie diesen Schalter in die Stellung "75 Ohm" (Seite 9).

⑨ AUDIO INPUT (Stereo-Minibuchse) (Audio-Eingang)

Diese Buchse dient zur Eingabe des Tonsignals, wenn der Eingang INPUT1, INPUT2 oder INPUT5 gewählt ist. Verbinden Sie diese Buchse mit der Audio-Ausgangsbuchse des an INPUT1 oder INPUT2 des Plasma-Displays angeschlossenen Gerätes bzw. mit der Audio-Ausgangsbuchse des an INPUT5 der Videokarte angeschlossenen Gerätes (Seite 12).

⑩ AUDIO OUTPUT (Stereo-Minibuchse) (Audio-Ausgang)

Von dieser Buchse kann das Tonsignal der gewählten, an das Plasma-Display angeschlossenen Signalquelle an einen AV-Verstärker oder ein ähnliches Gerät ausgegeben werden (Seite 12).

⑪ MAIN POWER (Hauptschalter)

Mit diesem Schalter wird die Stromzufuhr des Plasma-Displays ein- und ausgeschaltet.

⑫ AC INLET (Netzeingang)

Ein Netzkabel gehört zum Lieferumfang des Plasma-Displays. Schließen Sie das eine Ende des Netzkabels an diesen Netzeingang, das andere Ende an eine Netzsteckdose an.

⑬ SPEAKER (L) (Klemmen für linken Lautsprecher)

An diese Klemmen wird der linke externe Lautsprecher angeschlossen. Schließen Sie einen Lautsprecher mit einer Impedanz von 8–16 Ohm an.

Bereich für Videokarte <PDA-5002>

Die Videokarte verfügt über drei Video-Eingangsbuchsen, eine Video-Ausgangsbuchse und zwei Audio-Eingangsbuchsen. Einzelheiten zu den Anschlüssen, die an den verschiedenen Buchsen vorgenommen werden, finden Sie auf den in Klammern angegebenen Seiten.

⑭ INPUT5 (DVI-D-Buchse) (Video-Eingang 5)

An diese Buchse kann ein Personalcomputer angeschlossen werden.

Hinweis: Dieses Gerät unterstützt keine Anzeige von Videosignalen, die mit Kopierschutz codiert sind (Seite 11).

⑮ AUDIO INPUT3 (Cinchbuchsen) (Audio-Eingang 3)

Diese Buchsen dienen zur Eingabe des Tonsignals, wenn der Eingang INPUT3 gewählt ist.

Verbinden Sie diese Buchsen mit den Audio-Ausgangsbuchsen des an INPUT3 der Videokarte angeschlossenen Gerätes (Seite 12).

Hinweis: Die Buchse für den linken (L) Tonkanal ist nicht mit monauralen Eingangsquellen kompatibel.

⑯ INPUT3 (S-VIDEO-Buchse) (Video-Eingang 3)

Diese Buchse dient zum Anschluss eines Gerätes mit S-Video-Ausgangsbuchse, z.B. eines Videorecorders, einer Videokamera, eines LaserDisc-Spielers oder eines DVD-Players (Seite 10).

⑰ AUDIO INPUT4 (Cinchbuchsen) (Audio-Eingang 4)

Diese Buchsen dienen zur Eingabe des Tonsignals, wenn der Eingang INPUT4 gewählt ist.

Verbinden Sie diese Buchsen mit den Audio-Ausgangsbuchsen des an INPUT4 der Videokarte angeschlossenen Gerätes (Seite 12).

Hinweis: Die Buchse für den linken (L) Tonkanal ist nicht mit monauralen Eingangsquellen kompatibel.

⑱ INPUT4 (BNC-Buchse) (Video-Eingang 4)

Diese Buchse dient zum Anschluss eines Gerätes mit FBAS-Ausgangsbuchse, z.B. eines Videorecorders, einer Videokamera, eines LaserDisc-Spielers oder eines DVD-Players (Seite 10).

⑲ OUTPUT (INPUT4) (BNC-Buchse) (Video-Ausgangsbuchse)

Verwenden Sie die Buchse OUTPUT (INPUT4) zur Ausgabe des Videosignals an einen externen Monitor oder an ein anderes Gerät.

Hinweis: Wenn der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet ist oder sich dieses im Bereitschaftszustand befindet (Seite 10), wird das Videosignal nicht von der Buchse OUTPUT (INPUT4) ausgegeben.

Installieren der Videokarte

Hinweis für den Käufer:

Dieses Produkt ist für die Installation durch einen Fachmann bestimmt.

Hinweis für den Fachhändler:

Das Verfahren zur Installation der Videokarte wird nachstehend beschrieben. Falls bei der Installation eine Schraube oder ein anderer Gegenstand in das Innere des Plasma-Displays fällt, nehmen Sie bitte unverzüglich Kontakt mit einer Pioneer-Kundendienststelle auf. Wird der Betrieb in diesem Zustand fortgesetzt, kann dies Funktionsstörungen verursachen. Dieses Produkt ist zur Installation in Pioneers Plasma-Display PDP-503MXE (oder PDP-433MXE) vorgesehen. Zur Installation gehen Sie wie folgt vor:

Führen Sie ggf. die folgenden Schritte aus, bevor Sie mit der Installation der Videokarte beginnen:

- Trennen Sie das Plasma-Display vom Computer und allen anderen evtl. angeschlossenen Geräten.
- Trennen Sie das Netzkabel des Plasma-Displays von der Netzsteckdose.

Hinweise zur Installation:

- Achten Sie beim Entfernen der Abdeckplatte über dem Videokarten-Steckplatz sorgfältig darauf, keine Schrauben oder anderen Gegenstände in das Innere des Plasma-Displays fallen zu lassen. Anderenfalls kann das Display beschädigt werden, oder es tritt eine Funktionsstörung auf.
- Wenn das Plasma-Display zur Installation der Videokarte mit dem Bildschirm nach unten weisend platziert werden soll, muss die Unterlage waagrecht und eben sein. Legen Sie das Verpackungsmaterial des Displays, eine Decke oder ein anderes weiches Material auf die Unterlage, bevor Sie das Display darauf legen, um den Bildschirm zu schützen. Achten Sie bei der Arbeit darauf, dass das Display nicht durch Werkzeuge oder andere Gegenstände zerkratzt wird. Legen Sie das Display auf keinen Fall so auf eine Unterlage, dass der Bildschirm das gesamte Gewicht des Gerätes trägt.
- Diese Videokarte ist ausschließlich für den Gebrauch mit Pioneers Plasma-Display PDP-503MXE (oder PDP-433MXE) vorgesehen. Versuchen Sie auf keinen Fall, irgendeine Modifikation oder Nachgestaltung vorzunehmen, da dies zu Funktionsstörungen und Beschädigung führen kann.
- Die Bauteile der Karte dürfen auf keinerlei Weise modifiziert werden und sind sorgfältig gegen Beschädigung zu schützen.
- Leiten Sie vor der Installation statische Aufladung von Ihrem Körper ab. Vermeiden Sie eine Berührung der gedruckten Schaltungen und anderen Bauteile der Karte.
- Diese Karte ist nicht zum Ausbau und einer anschließenden Neuinstallation vorgesehen. Nachdem die Karte im Plasma-Display installiert worden ist, darf sie nicht mehr aus diesem entfernt werden, da der Ausbau eine Beschädigung verursachen kann.

Installationsverfahren

- 1 Entfernen Sie die Abdeckplatte über dem Videokarten-Steckplatz von der Anschlussleiste des Plasma-Displays.**



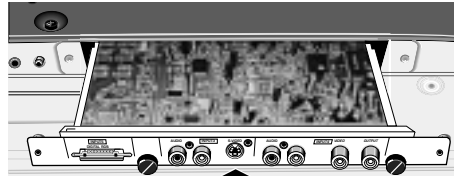
6

Ge

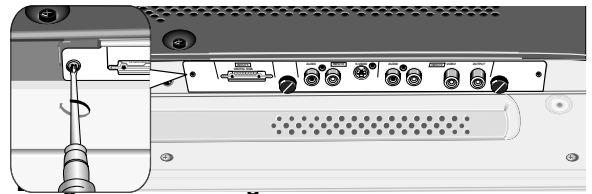
- 2 Richten Sie die Videokarte auf die beiden Schienen aus, die im Steckplatz sichtbar sind, und schieben Sie die Karte sacht in den Steckplatz ein.**

Hinweis

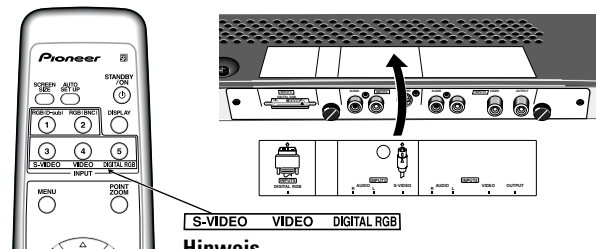
Gehen Sie beim Einsetzen der Karte sorgsam vor. Die Karte muss unverkantet in den Steckplatz eingeschoben werden. Wird die Karte verkantet oder gewaltsam eingeschoben, kann dies zu einer Beschädigung von Karte oder Display führen.



- 3 Drücken Sie die Videokarte mit dem Daumen nach unten in den Steckplatz ein, vergewissern Sie sich, dass sie fest im Steckplatz sitzt, und sichern Sie sie dann mit den in Schritt 1 entfernten Schrauben.**



- 4 Buchsenkennzeichnung am Plasma-Display und den mitgelieferten Aufkleber für Fernbedienung an der Fernbedienung des Plasma-Displays an.**

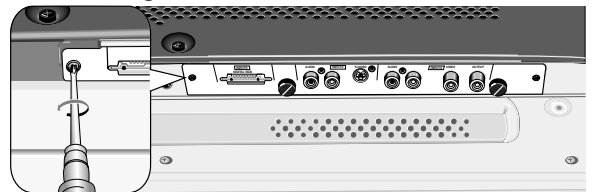


Hinweis

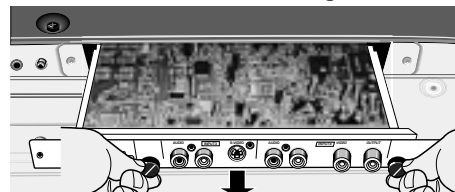
Reiben Sie Staub mit einem weichen Tuch von der Oberfläche ab, bevor Sie den Aufkleber daran befestigen.

Ausbau der Videokarte (Die Videokarte sollte prinzipiell nicht ausgebaut werden!)

- 1 Entfernen Sie die beiden Schrauben, mit denen die Videokarte gesichert ist.**



- 2 Halten Sie die Videokarte an den beiden inneren Laschen und ziehen Sie sie gerade heraus.**



Eingangsbuchsen am Plasma-Display bei installierter Videokarte

Bitte orientieren Sie sich an der nachstehenden Tabelle, wenn Sie Anschlüsse am Plasma-Display herstellen, nachdem diese Videokarte im Plasma-Display installiert worden ist (Seite 7 bis 12).

Eingangs- Ange- schlossenes Gerät und Signale	INPUT 1*1	INPUT 2*1	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5
AV-Komponente					
Analoges RGB-Signal	○	○			
Komponenten-Videosignal	○	○			
S-Videosignal			○		
FBAS-Signal				○	
Personalcomputer					
Analoges RGB-Signal	○*2	○			
S-Videosignal			○*3		
FBAS-Signal				○*3	
Digitales RGB-Signal					○*4

- *1 Obwohl die Eingänge INPUT1/INPUT2 mit verschiedenen Signaltypen kompatibel sind, muss nach Herstellung der Anschlüsse ein Setup mit Hilfe der eingeblendeten Menüs ausgeführt werden, um eine Anpassung an die Charakteristik der angeschlossenen Signalquelle vorzunehmen (Seite 14 und 15).
- *2 Der Eingang INPUT1 ist mit der Plug & Play-Funktion von Microsoft (VESA DDC 1/2B) kompatibel.
- *3 Je nach Ausführung der Video-Ausgangsplatine des angeschlossenen Personalcomputers steht diese Anschlussart u.U. nicht zur Verfügung.
- *4 Der Eingang INPUT5 ist mit der Plug & Play-Funktion von Microsoft (VESA DDC 2B) kompatibel.

Anschlüsse an INPUT1 und INPUT2

An die INPUT1- und INPUT2-Buchsen können verschiedene Arten von Geräten angeschlossen werden. Nach Herstellung der Anschlüsse muss ein Setup mit Hilfe der eingeblendeten Menüs ausgeführt werden, um eine Anpassung an die Charakteristik des jeweils angeschlossenen Gerätes vorzunehmen. Einzelheiten zum Setup nach dem Anschluss finden Sie auf Seite 14 und 15.

INPUT2- Ausgangs- signalquelle	[ON SYNC] G	B	R	[H/V SYNC] HD	VD
Videogerät/ Personalcomputer mit RGB-Ausgang	○ G ON SYNC	○ B	○ R	✗	✗
	○ G	○ B	○ R	○ H/V SYNC	✗
	○ G	○ B	○ R	○ HD	○ VD
Videogerät mit Komponenten- Videosignalausgang	○ Y	○ Cb/Pb	○ Cr/Pr	✗	✗

✗ : Keinen Anschluss vornehmen. ○ : An diese Buchse anschließen.

Hinweis

Ein mit INPUT1 kompatibles Gerät ist auch mit INPUT2 kompatibel.
Bitte schlagen Sie in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays nach, wenn Sie einen Anschluss an INPUT1 herstellen.

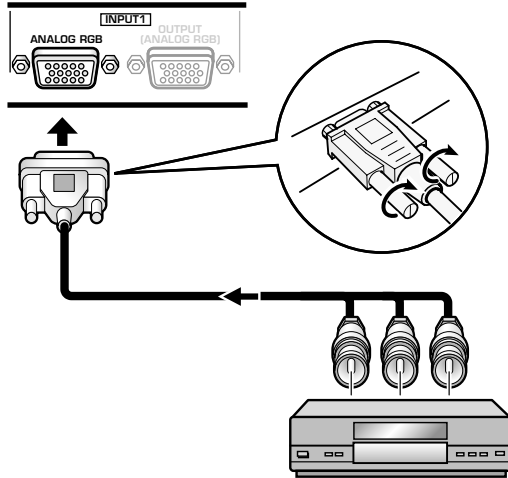
Einzelheiten zu den Bildschirmformaten und Eingangssignalen, die mit den Eingängen INPUT1 und INPUT2 kompatibel sind, finden Sie in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays.

Anschluss an AV-Komponenten

Anschluss an eine AV-Komponente mit Komponenten-Videoausgang

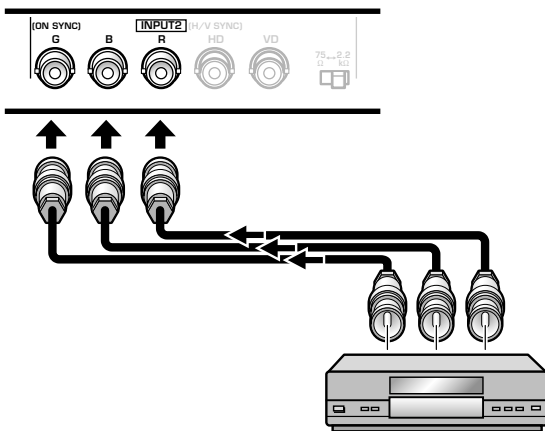
AV-Komponenten, die über einen Ausgang für Komponenten-Videoeignale verfügen, z.B. DVD-Player, LaserDisc-Player usw., können wie nachstehend gezeigt an die Eingänge INPUT1 und INPUT2 angeschlossen werden.

Bei Anschluss an INPUT1



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menü ausgeführt werden. Siehe Seite 14.

Bei Anschluss an INPUT2



Verbinden Sie das Y-Signal mit der G-Buchse, das C_B/P_B-Signal mit der B-Buchse, und das C_R/P_R-Signal mit der R-Buchse.

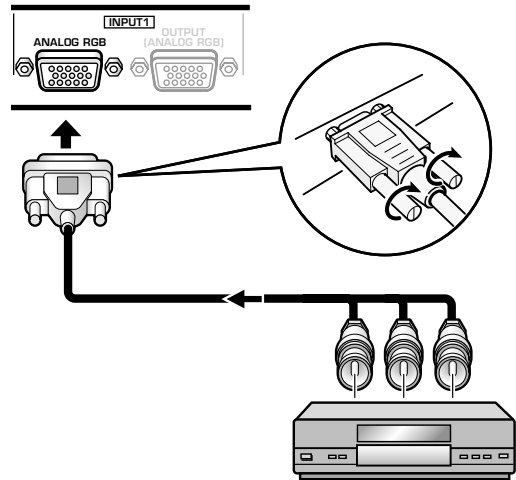
Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menü ausgeführt werden. Siehe Seite 14.

Alle INPUT2-Buchsen besitzen eine BNC-Ausführung. Verwenden Sie bei Bedarf BNC-/Cinch-Wandlerstecker (1 Stck. gehört zum Lieferumfang) zum Herstellen der Anschlüsse.

Anschluss einer analogen G ON SYNC RGB-Signalquelle

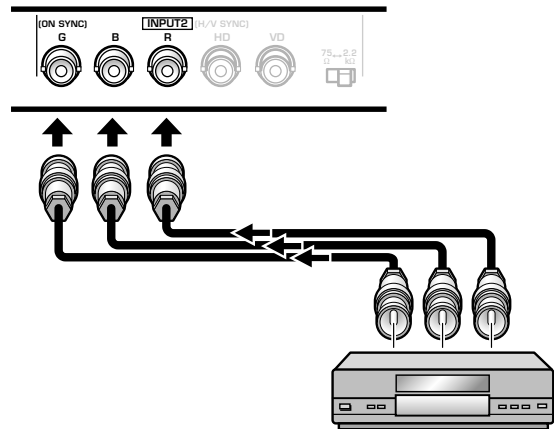
Nachstehend wird der G ON SYNC-Anschluss für ein Gerät gezeigt, in dessen Ausgangssignal das Synchronsignal dem Grün-Signal überlagert ist.

Bei Anschluss an INPUT1



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menü ausgeführt werden. Siehe Seite 14 und 15.

Bei Anschluss an INPUT2



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menü ausgeführt werden. Siehe Seite 14 und 15.

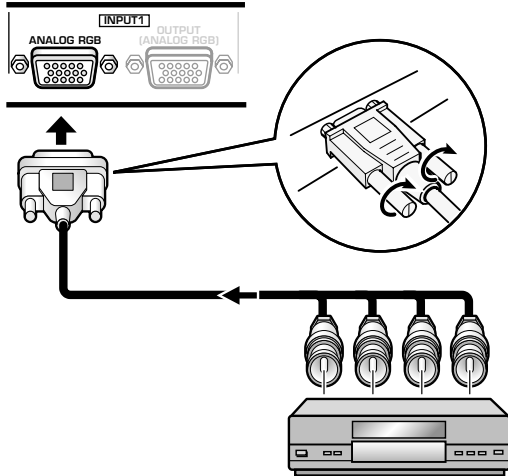
Hinweis

Wenn ein G ON SYNC-Anschluss hergestellt worden ist, dürfen keine Anschlüsse an der VD- oder der HD-Buchse vorgenommen werden. Anderenfalls wird das Bild u.U. nicht einwandfrei angezeigt.

Anschluss einer analogen RGB-Signalquelle mit zusammengesetztem Synchronsignal

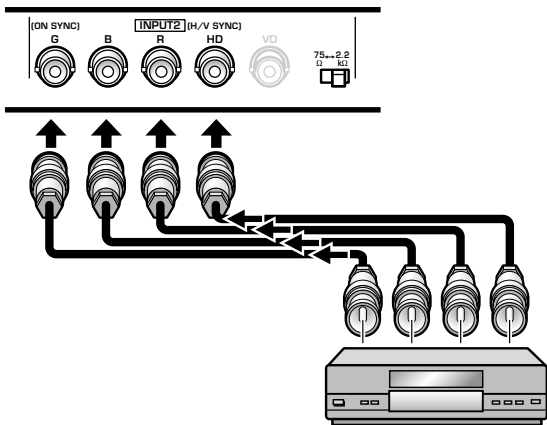
Nachstehend wird der Anschluss für ein Gerät gezeigt, in dessen Ausgangssignal das vertikale Synchronsignal dem horizontalen Synchronsignal überlagert ist.

Bei Anschluss an INPUT1



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 14 und 15.

Bei Anschluss an INPUT2



Bei Anschluss an INPUT2 muss die Einstellung des Wahlschalters für Synchronsignal-Impedanz der Ausgangsimpedanz des Synchronsignals des angeschlossenen Gerätes angepasst werden. Wenn die Ausgangsimpedanz des Synchronsignals des Computers weniger als 75 Ohm beträgt, bringen Sie diesen Schalter in die Stellung "75 Ohm". Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 14 und 15.

Hinweise

- Wenn ein Anschluss für ein zusammengesetztes Synchronsignal hergestellt worden ist, darf kein Anschluss an der VD-Buchse vorgenommen werden. Anderenfalls wird das Bild u.U. nicht einwandfrei angezeigt.
- Bestimmte Modelle des Macintosh® geben sowohl ein G ON SYNC- als auch ein zusammengesetztes Synchronsignal aus. Bei Verwendung eines derartigen Modells stellen Sie den auf der vorigen Seite gezeigten G ON SYNC-Anschluss her.

Anschluss an einen Personalcomputer

Das Anschlussverfahren ist je nach Ausführung des Personalcomputers verschieden. Bitte schlagen Sie vor dem Anschließen in der Bedienungsanleitung Ihres PC nach.

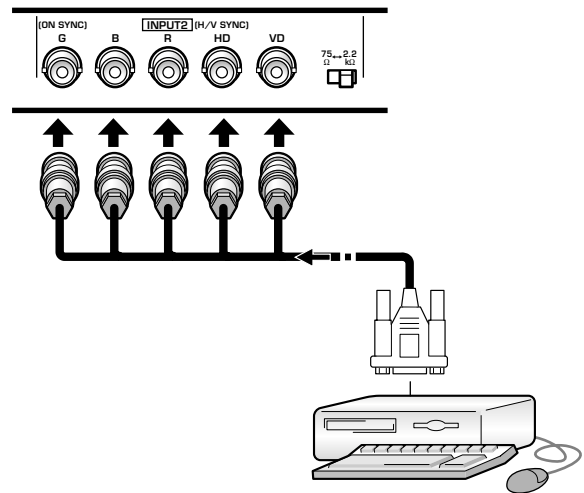
Vergewissern Sie sich, dass die Stromzufuhr des Personalcomputers und der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet sind, bevor Sie irgendwelche Anschlüsse herstellen.

Informationen zu den PC-Eingangssignalen und den Bildschirmformaten, mit denen das Plasma-Display kompatibel ist, finden Sie in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays.

Anschluss einer analogen RGB-Signalquelle mit getrenntem Synchronsignal

Stellen Sie einen Anschluss für ein getrenntes Synchronsignal her, wenn das RGB-Ausgangssignal des verwendeten Personalcomputers in 5 Ausgangssignale getrennt wird: Grün-Signal, Blau-Signal, Rot-Signal, horizontales Synchronsignal und vertikales Synchronsignal.

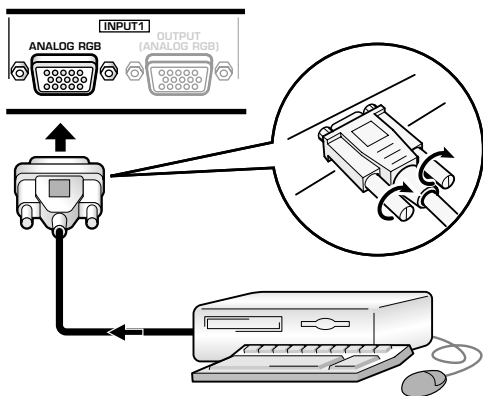
Bei Anschluss an INPUT2



Bei Anschluss an INPUT2 muss die Einstellung des Wahlschalters für Synchronsignal-Impedanz der Ausgangsimpedanz des Synchronsignals des angeschlossenen Personalcomputers angepasst werden. Wenn die Ausgangsimpedanz des Synchronsignals des Computers weniger als 75 Ohm beträgt, bringen Sie diesen Schalter in die Stellung "75 Ohm".

Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 14 und 15.

Bei Anschluss an INPUT1



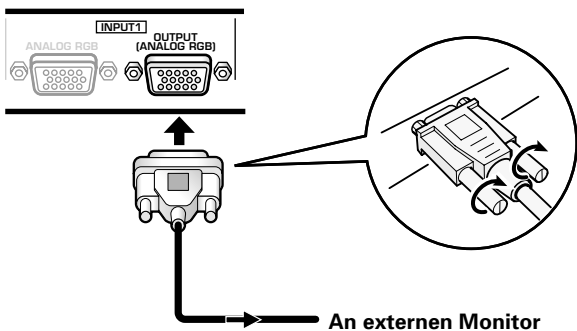
Richten Sie die Steckverbinder beim Anschließen des Kabels korrekt auf die Eingangsbuchse am Plasma-Display und auf die Ausgangsbuchse am Personalcomputer aus. Ziehen Sie die Schrauben an, um die Steckverbinder in den Buchsen zu sichern.

Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 14 und 15.

Hinweis

Je nach Ausführung der Ausgangsbuchse am anzuschließenden Personalcomputer ist u.U. der Gebrauch eines Wandlersteckers oder Adapters usw. erforderlich, der entweder zum Lieferumfang des Computers gehört oder separat im Fachhandel erhältlich ist. Einzelheiten hierzu sind der Bedienungsanleitung Ihres Computers zu entnehmen, oder Sie können sich an den PC-Hersteller bzw. an Ihren Computer-Fachhändler wenden.

Anschluss an OUTPUT (INPUT1)



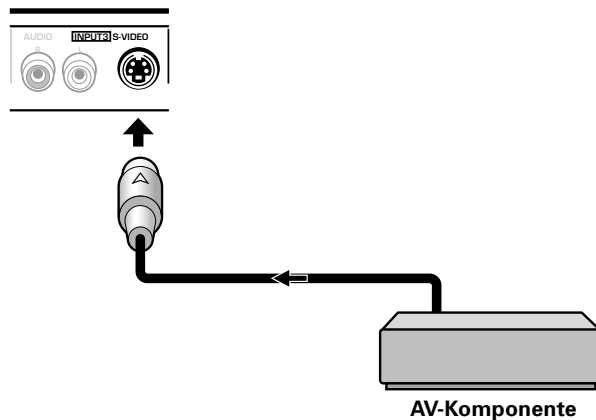
Bei diesem Plasma-Display besteht die Möglichkeit, das Videosignal von der Buchse OUTPUT (INPUT1) an einen externen Monitor oder ein anderes Gerät auszugeben.

Hinweis

Wenn der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet ist oder sich dieses im Bereitschaftszustand befindet, wird das Videosignal nicht von der Buchse OUTPUT (INPUT1) ausgegeben.

Anschluss an INPUT3

An die Eingangsbuchse S-VIDEO der Videokarte kann eine AV-Komponente mit S-Video-Ausgangsbuchse angeschlossen werden.

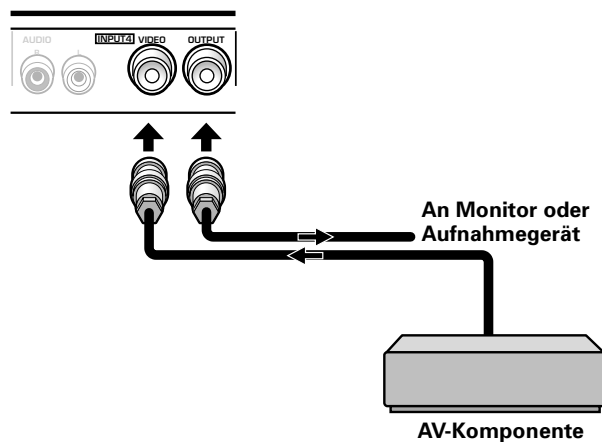


Anschluss an INPUT4

An die INPUT4-Buchse der Videokarte kann eine AV-Komponente mit Video-Ausgangsbuchse angeschlossen werden. Die Buchse OUTPUT [INPUT4] kann zur Ausgabe des Videosignals an einen separaten Monitor, ein Aufnahmegerät oder ein anderes Gerät mit Video-Eingang verwendet werden.

Hinweis

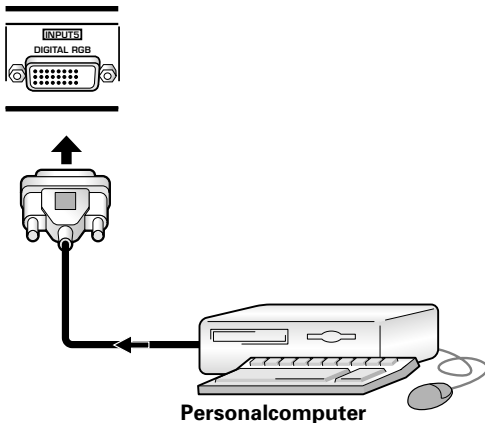
Wenn der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet ist oder sich dieses im Bereitschaftszustand befindet, wird das Videosignal nicht von der Buchse OUTPUT [INPUT4] ausgegeben.



Die Buchsen INPUT3 und INPUT4 sind mit Signalen der folgenden Fernsehsysteme kompatibel: NTSC, PAL, SECAM und 4.43NTSC. Einzelheiten hierzu finden Sie im Abschnitt "Einstellen auf das örtliche Fernsehsystem" auf Seite 26-27.

Anschluss an INPUT5

Ein Personalcomputer mit DVI-Ausgang (digitales RGB-Signal) kann an die DVI-Buchse der Videokarte angeschlossen werden.



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingeblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 14.

Hinweise

- Verwenden Sie ein 24-poliges DVI-D-Kabel (nur für Digitalsignale bestimmt) für den Anschluss.
- **Dieses Gerät unterstützt keine Anzeige von Videosignalen, die mit Kopierschutz codiert sind.**

Hinweise

- Der Eingang INPUT5 ist mit der Plug & Play-Funktion von HDCP (High Bandwidth Digital Content Protection) ausgestattet. Wenn der Anschluss an INPUT5 hergestellt werden soll, schlagen Sie bitte in Nachtrag 3 (Seite 33) nach.
- Bitte lesen Sie die Bedienungsanleitung der DTV-Top Box für die unterstützten Videoformate, bevor Sie die Verbindung aufbauen. Siehe Nachtrag 2 (Seite 32) für den Anschluss zu gewährleisten.

Die Ausgangssignale der Top Box, mit denen dieses Plasma-Display kompatibel ist, sind in der nachstehenden Tabelle aufgelistet.

Videosignal-Typ	Videosignal	Videosignal-Format	Buchsen, an denen ein Anschluss möglich ist			
			INPUT1	INPUT2	INPUT3	INPUT4
HDTV	1125i (1080i) 1125p (1080p) 750p (720p)	Komponentensignal	⊙	⊙		
		RGB-Signal	⊙	⊙		
SDTV	525i (480i) 625i (575i)	FBAS-Signal				⊙
		S-Video-Signal			⊙	
		Komponentensignal	⊙	⊙		
		RGB-Signal	⊙	⊙		
	525p (480p) 625p (575p)	Komponentensignal	⊙	⊙		
		RGB-Signal	⊙	⊙		

Audio-Anschlüsse

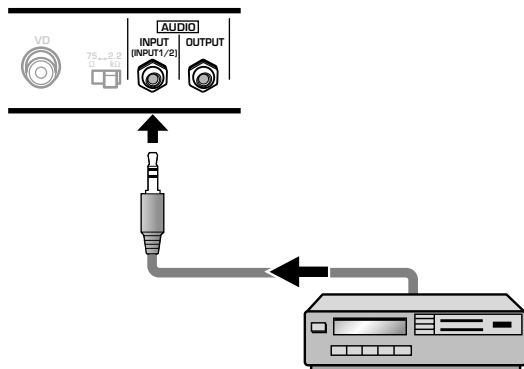
Vergewissern Sie sich, dass die Stromzufuhr der Audio-Komponente und der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet sind, bevor Sie irgendwelche Anschlüsse herstellen.

Schließen Sie eine Audio-Komponente an einen Audio-Eingang des Plasma-Displays mit installierter Videokarte an.

Bei installierter Videokarte verfügt das Plasma-Display über drei Audio-Eingänge und einen Audio-Ausgang. Ermitteln Sie den richtigen Audio-Eingang für jeden Video-Eingang aus der nachstehenden Tabelle.

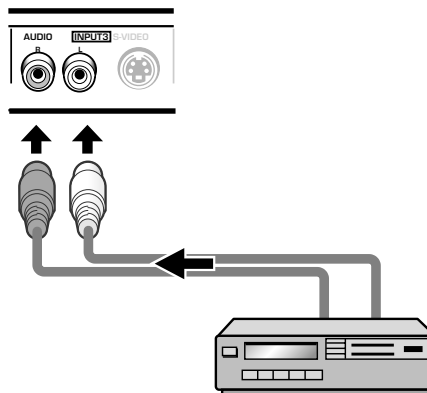
Video-Eingang	Audio-Eingangsbuchsen	Tonsignalausgabe
INPUT1	Stereo-Minibuchse (L/R)	Der Ton der gewählten Video-Eingangsquelle liegt an den folgenden Buchsen an:
INPUT2		
INPUT5		
INPUT3	Cinchbuchsen (L/R)	<ul style="list-style-type: none"> • SPEAKER-Klemmen • Stereo-Minibuchsen (L/R)
INPUT4	Cinchbuchsen (L/R)	

Audio-Anschluss für ein an INPUT1, INPUT2 oder INPUT5 angeschlossenes Gerät



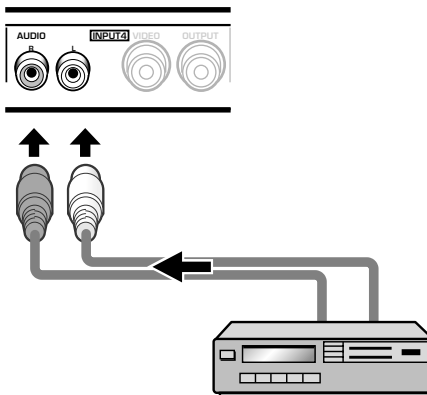
Eine der an INPUT1, INPUT2 und INPUT5 angeschlossenen Signalquellen kann über einen Stereo-Minstecker (L/R) an die Buchse AUDIO OUT angeschlossen werden. Das Tonsignal der gewählten Video-Eingangsquelle wird sowohl über die Buchse AUDIO OUT (Stereo-Minibuchse (L/R)) als auch über die SPEAKER-Klemmen ausgegeben.

Audio-Anschluss für ein an INPUT3 angeschlossenes Gerät



Das Tonsignal einer an INPUT3 angeschlossenen Video-Signalquelle kann den Cinchbuchsen AUDIO INPUT3 (L/R) zugeleitet werden. Das Tonsignal der gewählten Video-Eingangsquelle wird sowohl über die Buchse AUDIO OUT (Stereo-Minibuchse (L/R)) als auch über die SPEAKER-Klemmen ausgegeben.

Audio-Anschluss für ein an INPUT4 angeschlossenes Gerät

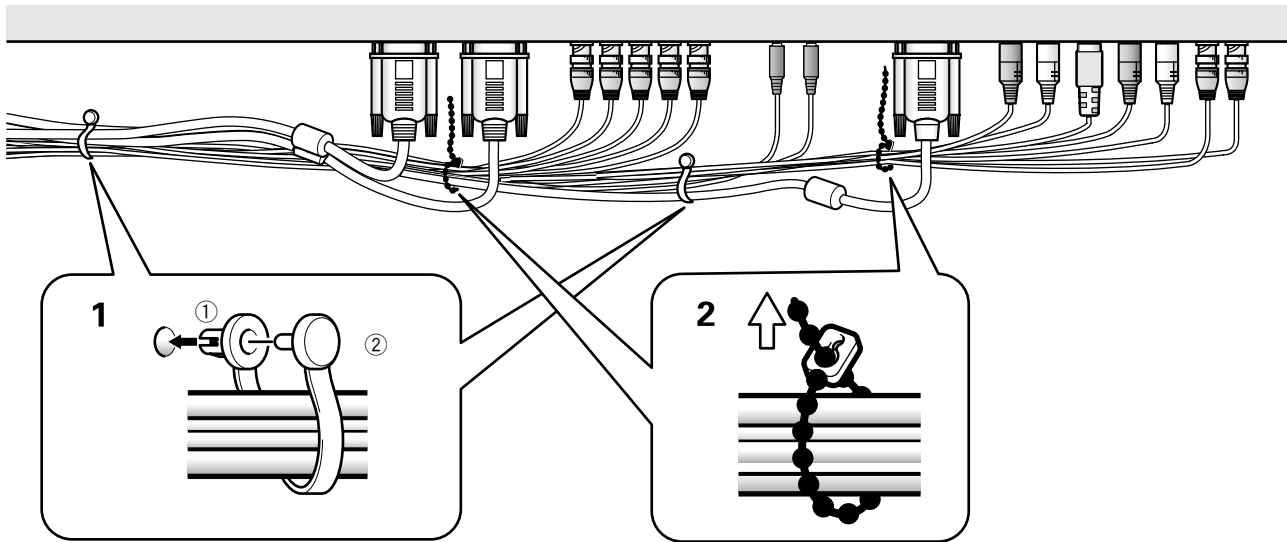


Das Tonsignal einer an INPUT4 angeschlossenen Video-Signalquelle kann den Cinchbuchsen AUDIO INPUT4 (L/R) zugeleitet werden. Das Tonsignal der gewählten Video-Eingangsquelle wird sowohl über die Buchse AUDIO OUT (Stereo-Minibuchse (L/R)) als auch über die SPEAKER-Klemmen ausgegeben.

Verlegung der Kabel

Schnellverschluss-Kabelbänder und Kugelbänder zum Bündeln der Kabel gehören zum Lieferumfang des Plasma-Displays. Nachdem alle Anschlüsse hergestellt worden sind, verlegen Sie die Kabel anhand des nachstehend erläuterten Verfahrens.

* Ansicht von der Rückseite des Plasma-Displays



1 Fassen Sie die verschiedenen Kabel mit Hilfe der mitgelieferten Schnellverschluss-Kabelbänder zusammen.

Schieben Sie Teil ① in das dafür vorgesehene Loch an der Rückseite des Gerätes und stecken Sie dann Stift ② in das Loch an der Rückseite von Teil ①, um das Kabelband zu sichern.

Schnellverschluss-Kabelbänder sind so ausgelegt, dass sie nach dem Anbringen nur noch schwer gelöst werden können. Gehen Sie daher bei der Befestigung sorgfältig vor.

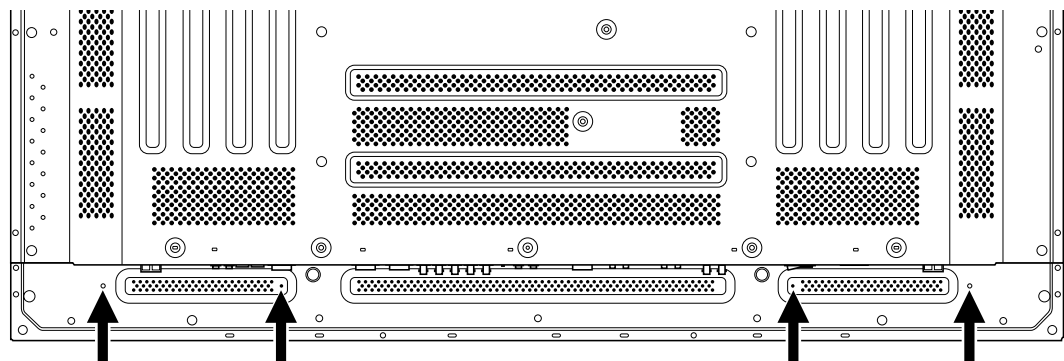
2 Bündeln Sie getrennt verlaufende Kabel und sichern Sie sie mit den mitgelieferten Kugelbändern.

Hinweis

Kabel können wahlweise auf der rechten oder linken Seite verlegt werden.

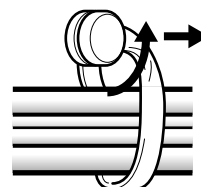
Befestigen der Schnellverschluss-Kabelbänder am Plasma-Display

Verwenden Sie die vier in der nachstehenden Abbildung mit "•" gekennzeichneten Löcher, um die Schnellverschluss-Kabelbänder nach Bedarf am Plasma-Display zu befestigen.



Entfernen der Schnellverschluss-Kabelbänder

Drehen Sie den Verschluss mit einer Zange um 90 Grad und ziehen Sie das Kabelband dann nach außen, um den Verschluss zu öffnen. Im Lauf der Zeit kann es vorkommen, dass sich ein Kabelband abnutzt und beim Entfernen beschädigt wird.



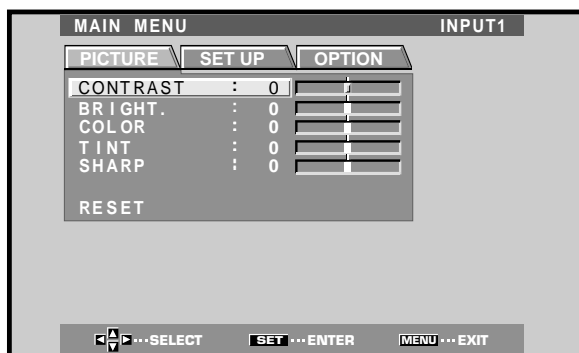
Setup nach dem Anschließen

Nachdem ein Gerät an INPUT1, INPUT2 oder INPUT5 angeschlossen worden ist, muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden.

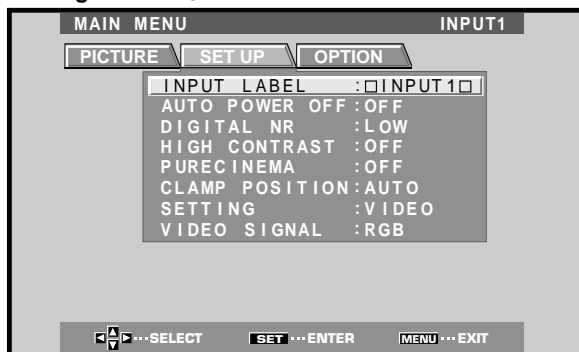
Gehen Sie wie nachstehend erläutert vor, um die für das jeweils angeschlossene Gerät erforderlichen Einstellungen vorzunehmen.

Einstellen von Anzeigemodus/ Eingangssignal-Format

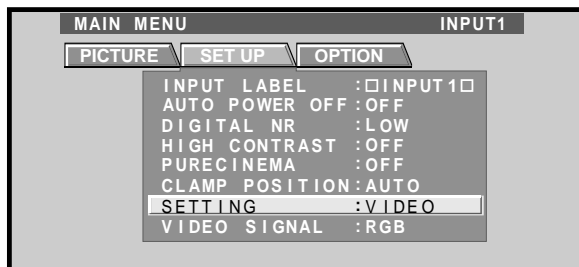
- 1 Bringen Sie den MAIN POWER-Schalter an der Anschlussleiste in die Stellung "ON", um die Stromzufuhr des Plasma-Displays einzuschalten.**
Die STANDBY/ON-Anzeige leuchtet rot auf.
- 2 Drücken Sie STANDBY/ON, um das Plasma-Display in den Betriebsmodus zu schalten.**
Die Farbe der STANDBY/ON-Anzeige wechselt auf Grün.
- 3 Wählen Sie INPUT1, INPUT2 oder INPUT5.**
- 4 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.**
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 5 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von "SET UP".**



- 6 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von "SETTING" und drücken Sie dann SET.**

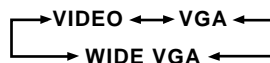


- 7 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl des gewünschten Anzeigemodus.**

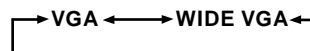


Wenn ein anderes Gerät als ein Personalcomputer angeschlossen ist, wählen Sie die Einstellung "VIDEO".

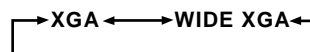
- ① Wenn das Eingangssignal mit einer Horizontalfrequenz von 31,5 kHz und einer Vertikalfrequenz von 60 Hz übermittelt wird, wechselt der Anzeigemodus bei jeder Betätigung von ◀/▶ in der folgenden Reihenfolge:
Bei Verwendung von INPUT1 oder INPUT2:



Bei Verwendung von INPUT5:



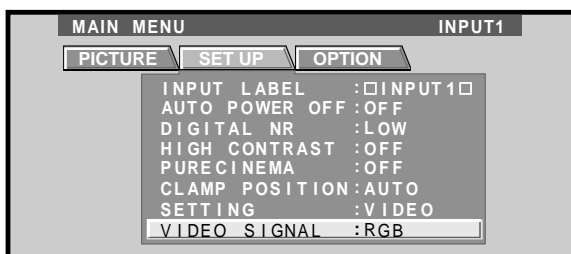
- ② Wenn das Eingangssignal mit einer Horizontalfrequenz von 48,4 kHz und einer Vertikalfrequenz von 60 Hz oder einer Horizontalfrequenz von 56,5 kHz und einer Vertikalfrequenz von 70 Hz übermittelt wird, wechselt der Anzeigemodus bei jeder Betätigung von ◀/▶ in der folgenden Reihenfolge:



Hinweis

Die Einstellungen in Schritt 6 und 7 sind nur dann erforderlich, wenn das Eingangssignal mit den folgenden Frequenzen übermittelt wird: ① Horizontalfrequenz 31,5 kHz/Vertikalfrequenz 60 Hz; ② Horizontalfrequenz 48,4 kHz/Vertikalfrequenz 60 Hz oder Horizontalfrequenz 56,5 kHz/Vertikalfrequenz 70 Hz. Bei Eingangssignalen anderer Frequenzen ist keine manuelle Einstellung erforderlich, da die Einstellung automatisch erfolgt (der Eintrag "SETTING" erscheint nicht im Menü).

- 8 Wenn ein anderes Gerät als ein Computer angeschlossen und "VIDEO" als Anzeigemodus gewählt ist, betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von "VIDEO SIGNAL".**



- 9 Betätigen Sie SET zur Wahl des Eingangssignal-Formats.**

Bei jeder Betätigung von SET wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Eingangssignal-Formaten umgeschaltet:



Die Tabelle auf der nächsten Seite zeigt die geeigneten Einstellungen, die für den jeweils hergestellten Anschluss zur Verfügung stehen.

Stellen Sie die Einträge "SETTING" und "VIDEO SIGNAL" unter Bezugnahme auf die nachstehende

Angeschlossenes Gerät	SET UP	SETTING	VIDEO SIGNAL
Komponenten-Videosignal eines DVD-Players usw.		VIDEO	COMPONENT
RGB-Videosignal eines Videorecorders usw. mit RGB-Ausgang		VIDEO	RGB
RGB-Videosignal eines Personalcomputers	VGA	WIDE VGA XGA WIDE XGA	Nicht unterstützt

10 Drücken Sie nach beendetem Setup MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweise

- Das Setup muss für jeden Eingang (INPUT1 und INPUT2) separat ausgeführt werden.
- Wenn das Signal eines Personalcomputers zugeleitet wird oder im Eintrag "SETTING" eine andere Einstellung als "VIDEO" gewählt wurde, steht der Eintrag "VIDEO SIGNAL" nicht zur Verfügung.

Setup für CLAMP POSITION

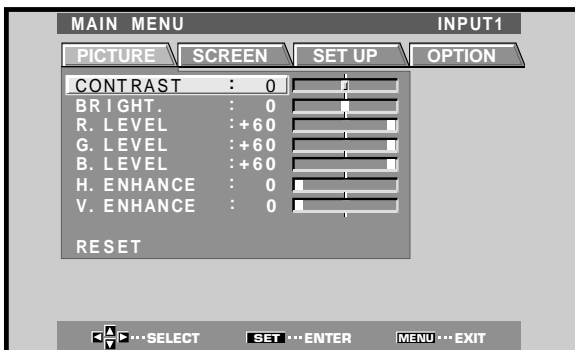
Je nach Eingangssignal kann es bei analogen RGB-Signalen vorkommen, dass die Bildschirmanzeige einen ausgeprägten Weiß- oder Grünnton annimmt. In einem solchen Fall wählen Sie im Eintrag "CLAMP POSITION" die Einstellung "LOCKED".

- Normalerweise sollte die Einstellung "AUTO" beibehalten werden.

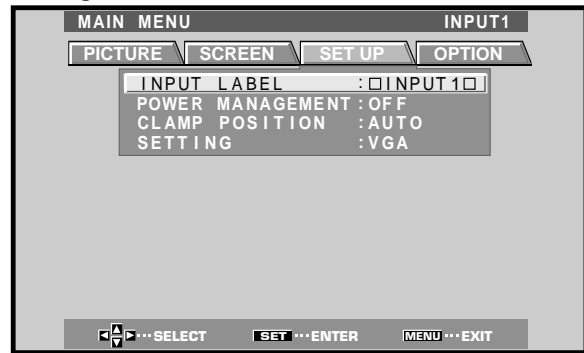
Einstellen von CLAMP POSITION

1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.

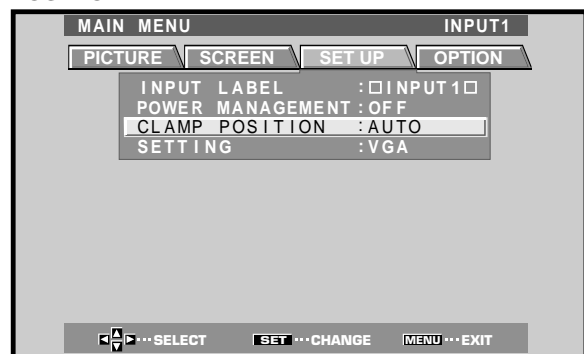
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



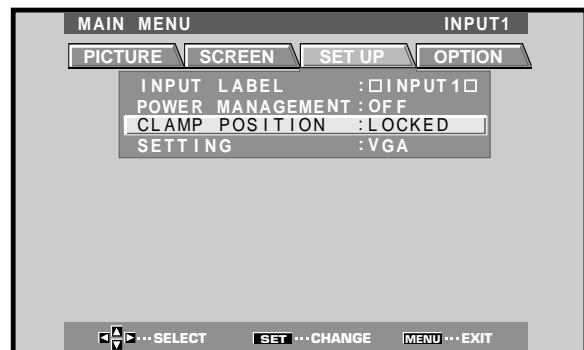
2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von "SET UP".



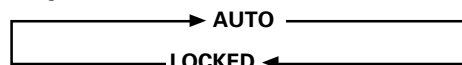
3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von "CLAMP POSITION".



4 Drücken Sie SET zur Wahl von "LOCKED".



Bei jeder Betätigung von SET wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



5 Drücken Sie nach beendetem Setup MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweise

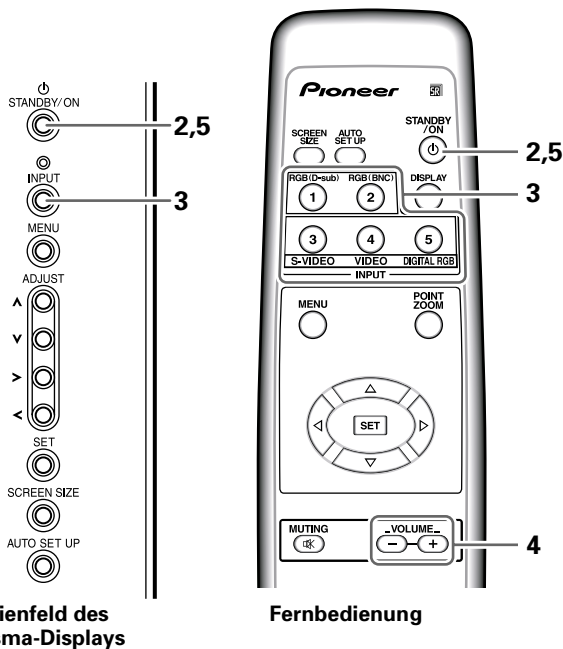
- Die Einstellung des Eintrags "CLAMP POSITION" muss für jeden betreffenden Eingang (INPUT1 und INPUT2) separat ausgeführt werden.
- Bei Verwendung dieses Setups muss die Signalausgabe des angeschlossenen Gerätes sorgfältig überprüft werden. Einzelheiten hierzu finden Sie in der Bedienungsanleitung des jeweiligen Gerätes.

Wahl einer Eingangssignalquelle

In diesem Abschnitt wird die grundlegende Bedienung des Plasma-Displays erläutert. Auf den folgenden Seiten werden die Bedienungsschritte zum Ein- und Ausschalten der Stromzufuhr, zum Umschalten in den Betriebs- und Bereitschaftsmodus und zur Wahl der angeschlossenen Geräte beschrieben.

Vergewissern Sie sich zunächst, dass:

- Sie die Anschlüsse zwischen dem Plasma-Display und AV-Komponenten oder einem Personalcomputer wie im Abschnitt "Installation und Anschlüsse", der auf Seite 6 beginnt, beschrieben hergestellt haben;
- Sie das Setup mit Hilfe der eingeblendeten Menüs wie im Abschnitt "Setup des Systems" auf Seite 14 beschrieben für die an INPUT1, INPUT2 und INPUT5 angeschlossenen Geräte ausgeführt haben. Wenn keine Anschlüsse an diesen Eingängen hergestellt wurden, braucht kein Setup mit Hilfe der eingeblendeten Menüs ausgeführt zu werden.

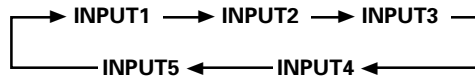


Bedienfeld des Plasma-Displays

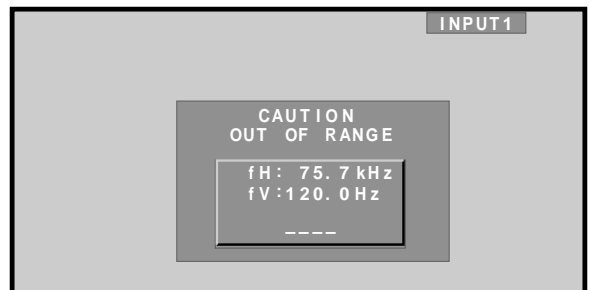
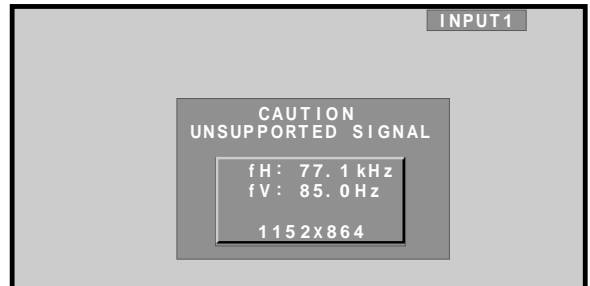
Fernbedienung

- 1 Bringen Sie den MAIN POWER-Schalter an der Anschlussleiste in die Stellung "ON", um die Stromzufuhr des Plasma-Displays einzuschalten.**
Die STANDBY/ON-Anzeige leuchtet rot auf.
- 2 Drücken Sie STANDBY/ON, um das Plasma-Display in den Betriebsmodus zu schalten.**
Die Farbe der STANDBY/ON-Anzeige wechselt auf Grün.
- 3 Betätigen Sie INPUT an der Fernbedienung oder am Bedienfeld des Plasma-Displays zur Wahl des gewünschten Eingangs.**

Bei jeder Betätigung von **INPUT** wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Eingängen umgeschaltet:



- Falls momentan eine Menüanzeige erscheint, verschwindet diese vom Bildschirm, wenn auf einen anderen Eingang umgeschaltet wird.
- Wenn das von einem Personalcomputer zugeleitete Signal nicht von diesem Plasma-Display unterstützt wird, erscheint die folgende Fehlermeldung auf dem Bildschirm:

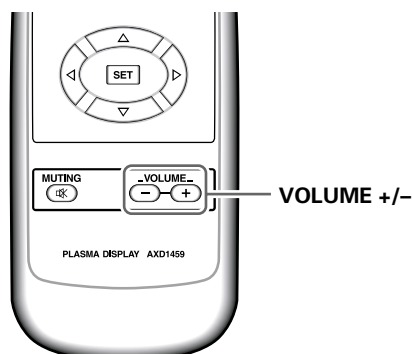


- 4 Betätigen Sie VOLUME +/- an der Fernbedienung, um die Lautstärke wunschgemäß einzustellen.**
Wenn keine Audio-Anschlüsse am Plasma-Display hergestellt wurden, erübrigt sich diese Einstellung.
- 5 Drücken Sie nach beendeter Wiedergabe STANDBY/ON, um das Display in den Bereitschaftsmodus umzuschalten.**
Die STANDBY/ON-Anzeige blinkt zunächst und wechselt dann auf konstantes Leuchten (rot), um darauf hinweisen, dass sich das Plasma-Display im Bereitschaftszustand befindet. Während die STANDBY/ON-Anzeige (rot) blinkt, ist kein Betrieb möglich.
- 6 Bringen Sie den MAIN POWER-Schalter an der Anschlussleiste in die Stellung "OFF", um die Stromzufuhr des Plasma-Displays auszuschalten.**
Die STANDBY/ON-Anzeige leuchtet u.U. auch nach Ausschalten des MAIN POWER-Schalters noch einige Sekunden lang. Dies ist auf eine elektrische Restlast zurückzuführen, die auf die Schaltung einwirkt, doch erlischt die Anzeige kurz danach.

VORSICHT

Bitte vermeiden Sie es, das gleiche Bild längere Zeit über auf dem Bildschirm anzeigen zu lassen. Anderenfalls kann ein "Geisterbild" durch Einbrennen verursacht werden, das sich nicht mehr vom Bildschirm beseitigen lässt.

Einstellen der Lautstärke

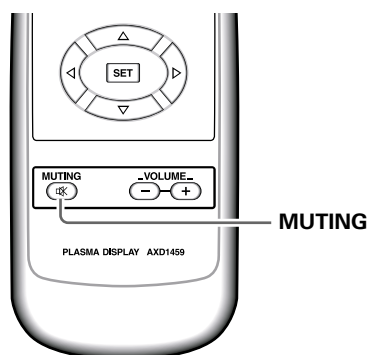


Betätigen Sie VOLUME an der Fernbedienung.

Verwenden Sie **VOLUME +** oder **VOLUME -**, um den Lautstärkepegel der angeschlossenen Lautsprecher wunschgemäß einzustellen.



Stummschaltung



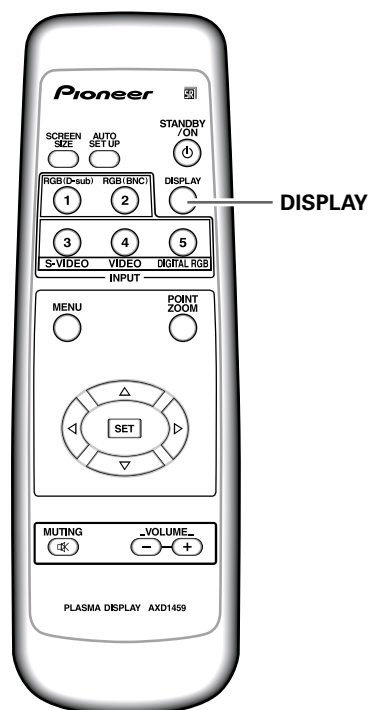
Drücken Sie MUTING an der Fernbedienung.

Um die Stummschaltung aufzuheben, drücken Sie **MUTING** erneut.

Die Stummschaltung wird ca. 8 Minuten nach Drücken der Taste automatisch wieder aufgehoben, wonach die Lautstärke auf den Minimalpegel eingestellt wird.

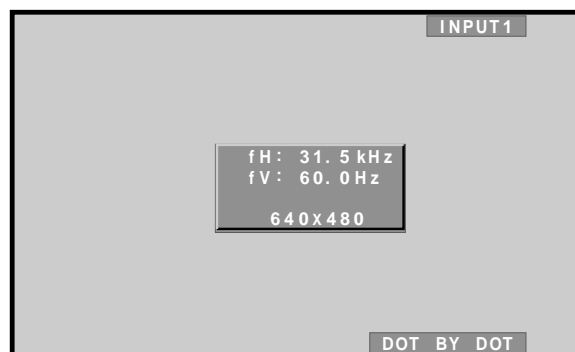
Betätigen Sie anschließend **VOLUME +** oder **VOLUME -**, um die gewünschte Lautstärke einzustellen.

Überprüfen der Anzeigeparameter



Drücken Sie DISPLAY an der Fernbedienung.

Danach werden der momentan gewählte Eingang, das aktuelle Bildschirmformat sowie Horizontal- und Vertikalfrequenz des Eingangssignals ca. 3 Sekunden lang auf dem Bildschirm angezeigt.



Hinweis

Die angezeigten Horizontal- und Vertikalfrequenzen weichen u.U. geringfügig von den tatsächlichen Werten ab.

Wahl des Bildschirmformats

Der auf den Bildschirm projizierte Bereich kann zwischen vier verschiedenen Formaten mit jeweils unterschiedlichem Bildseitenverhältnis umgeschaltet werden. Für optimale Wiedergabe empfiehlt sich die Wahl des Bildschirmformats, das mit dem zu betrachtenden Videomaterial übereinstimmt. Obwohl diese Formate auf eine volle Anzeige im Breitbild-Modus ausgelegt sind, sollten Sie die jeweils am besten für das Bildmaterial geeignete Einstellung wählen.

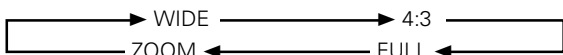
Verändern des Bildschirmformats

Für Videosignale

Die Bildgröße bzw. der auf den Bildschirm projizierte Bereich kann zwischen den 4 Bildschirmformaten umgeschaltet werden, die in der Tabelle unten auf dieser Seite aufgelistet sind.

Betätigen Sie SCREEN SIZE zur Wahl des gewünschten Bildschirmformats.

Bei jeder Betätigung von **SCREEN SIZE** wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Bildschirmformaten umgeschaltet:



Hinweise

- Wenn die Einstellung "WIDE", "ZOOM" oder "FULL" dazu verwendet wird, ein Standbild mit einem Bildseitenverhältnis von 4:3 auf einem Breitbildschirm wiederzugeben, kann ein Teil des Bilds abgeschnitten sein oder deformiert erscheinen.
- Bitte beachten Sie, dass bei Verwendung dieses Plasma-Displays für kommerzielle Zwecke oder öffentliche Veranstaltungen Urheberrechte durch Wahl des WIDE-, ZOOM- oder FULL-Modus verletzt werden können.

Verschieben der Bildposition nach oben oder unten

Wenn ein Film im Vista-Modus unter Verwendung der Einstellung "ZOOM" wiedergegeben wird, ist das Bild u.U. nicht korrekt auf dem Bildschirm zentriert oder ragt über den Bildschirmrand hinaus.

In einem solchen Fall können Sie ▲/▼ betätigen, um die Anzeigeposition wunschgemäß zu justieren.

Automatische Wahl des Bildschirmformats

Wenn das Plasma-Display ein HDTV-Signal (1125i, 750p, 1125p) erfasst, schaltet es automatisch auf das Bildschirmformat "FULL" um.

Bei Zuleitung eines Videosignals

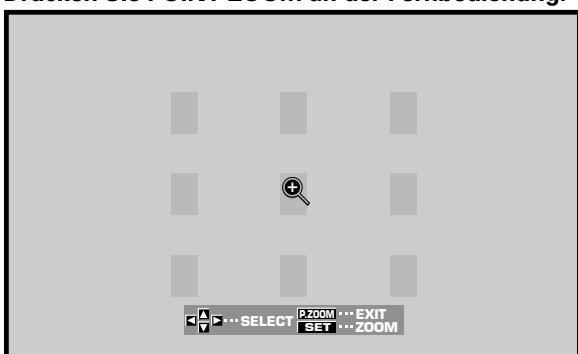
Darstellungsweise des Bilds	
<p>WIDE</p>	Dieses Format eignet sich für Nachrichten oder Sportsendungen. Auch bei Filmen und Sportübertragungen wird ein weiträumiges, ausdrucksstarkes Bild erhalten.
<p>4:3</p>	Dieses Format eignet sich für Nachrichten und Situationskomödien. Die Video-Software kann im Original-Abbildungsformat betrachtet werden. (Um ein Einbrennen am Bildschirm zu vermeiden, ändert sich die Position der Bildschirmanzeige geringfügig bei jedem Einschalten der Stromzufuhr.)
<p>FULL</p>	Dieses Format ist für eine Breitbild-Darstellung vorgesehen (Quetschung).
<p>ZOOM</p>	Dieser Modus eignet sich hauptsächlich für Cinemascope und ähnliche Filmformate. Bei Wahl dieser Einstellung wird ein weiträumiges, ausdrucksstarkes Bild erhalten.

Informationen zum Bildschirmformat bei Zuleitung des Signals eines Personalcomputers finden Sie in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays.

Vergrößerung eines Bildausschnitts (POINT ZOOM)

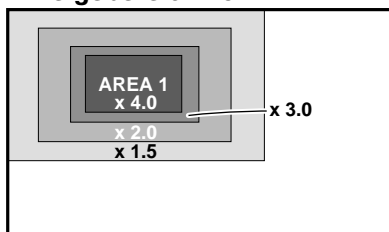
Dieses Plasma-Display verfügt über eine Funktion, die es Ihnen gestattet, einen gewünschten von insgesamt neun Bildausschnitten (AREA 1 bis AREA 9) auszuwählen und mit einem Vergrößerungsmaßstab von 1,5x, 2x, 3x oder 4x anzeigen zu lassen. Beim Vergrößern mit Hilfe der POINT ZOOM-Funktion können Sie die Pfeiltasten (▲/▼/◀/▶) verwenden, um den vergrößerten Bildausschnitt in der entsprechenden Richtung auf dem Bildschirm zu verschieben.

1 Drücken Sie POINT ZOOM an der Fernbedienung.

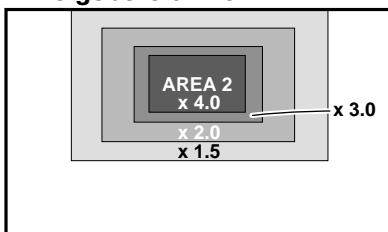


2 Betätigen Sie ▲/▼/◀/▶ zur Wahl des gewünschten Bildausschnitts (AREA 1 bis AREA 9).

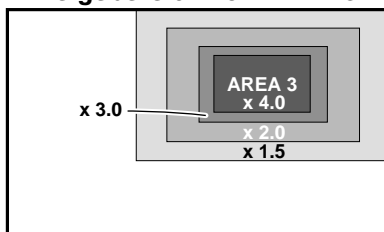
Anzeigebereich von AREA 1



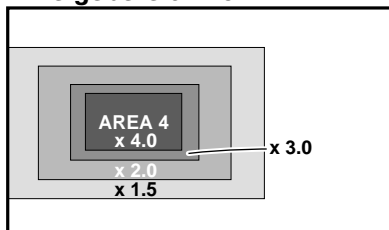
Anzeigebereich von AREA 2



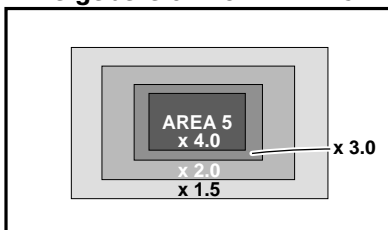
Anzeigebereich von AREA 3



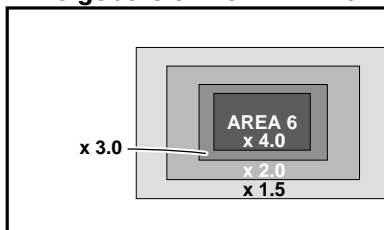
Anzeigebereich von AREA 4



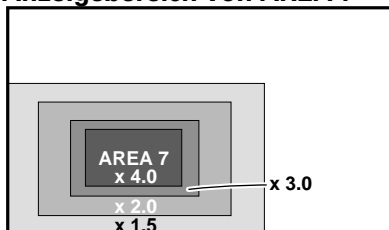
Anzeigebereich von AREA 5



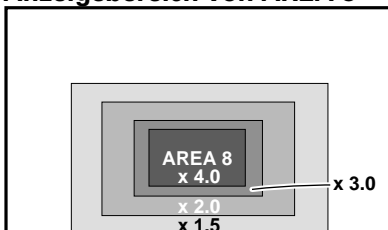
Anzeigebereich von AREA 6



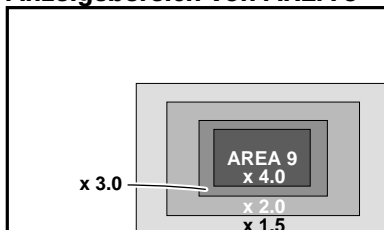
Anzeigebereich von AREA 7



Anzeigebereich von AREA 8

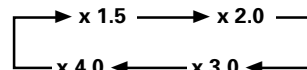


Anzeigebereich von AREA 9



3 Drücken Sie SET zur Wahl des gewünschten Vergrößerungsmaßstabs.

Bei jeder Betätigung von SET wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Vergrößerungsmaßstäben umgeschaltet:



- Bei einem Wechsel des Vergrößerungsmaßstabs wird das Bild auf der Grundlage der Bildschirmmitte vergrößert.
- Durch Betätigen von ▲/▼/◀/▶ kann der vergrößerte Bildausschnitt nach oben, unten, links oder rechts verschoben werden.
- Wenn innerhalb von 3 Sekunden kein Bedienungsvorgang stattfindet, kehrt das Bild auf den Bildschirm zurück. Um den Vergrößerungsmaßstab zu wechseln oder die Anzeigeposition zu verändern, drücken Sie SET bzw. ▲/▼/◀/▶ erneut.

4 Drücken Sie POINT ZOOM an der Fernbedienung erneut, um diese Funktion aufzuheben.

Die POINT ZOOM-Funktion wird auch aufgehoben, wenn ein anderes Eingangssignal gewählt, die Menüanzeige aufgerufen oder auf einen anderen Eingang umgeschaltet wird.

Hinweise

- Nach Aktivierung der POINT ZOOM-Funktion wird automatisch auf das Bildschirmformat "FULL" umgeschaltet.
- Die POINT ZOOM-Funktion steht nur zur Verfügung, wenn das Eingangssignal von einem Personalcomputer zugeleitet wird.

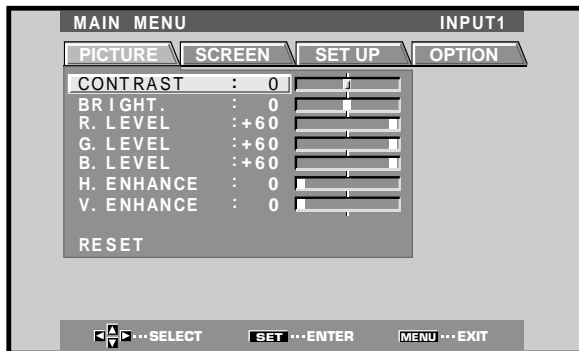
Abschaltautomatik

Dieses Plasma-Display verfügt über eine Funktion für automatische Energieeinsparung sowie über eine Abschaltautomatik, die dafür sorgen, dass das Plasma-Display automatisch in den Energiesparmodus schaltet, wenn innerhalb einer bestimmten Zeitdauer kein Synchronsignal erfasst wird.
(Eine Warnmeldung erscheint auf dem Bildschirm, bevor diese Funktionen aktiviert werden.)

Hinweise

- Die Energiesparfunktion steht nur zur Verfügung, wenn das Signal eines Personalcomputer INPUT1 zugeleitet wird oder INPUT5 gewählt ist.
- Die Abschaltautomatik ist in allen anderen als den beiden oben erwähnten Situationen wirksam.
- Achten Sie stets darauf, den MAIN POWER-Schalter auszuschalten, wenn das Plasma-Display längere Zeit nicht verwendet werden soll.

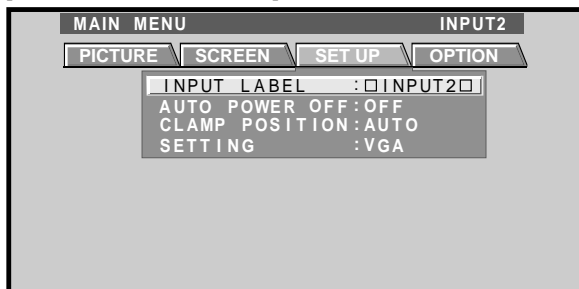
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



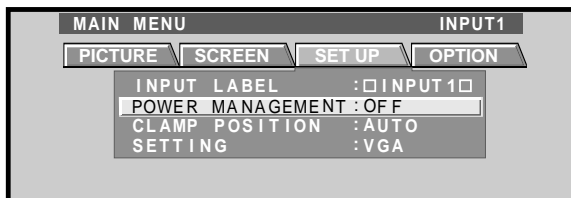
2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von "SET UP". [Bei Zuleitung des Signals eines Personalcomputers an INPUT1 oder bei Verwendung von INPUT5]



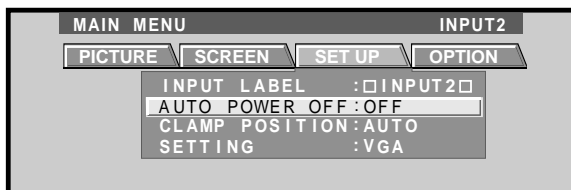
[In allen anderen Fällen]



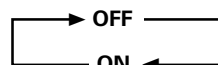
3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von "POWER MANAGEMENT" bzw. "AUTO POWER OFF". [Bei Zuleitung des Signals eines Personalcomputers an INPUT1 oder bei Verwendung von INPUT5]



[In allen anderen Fällen]



4 Drücken Sie SET, um die Wahl von "POWER MANAGEMENT" bzw. "AUTO POWER OFF" zu bestätigen.



- Bei Wahl der Einstellung "OFF" verbleibt das Plasma-Display auch dann im Betriebsmodus, wenn kein Synchronsignal zugeleitet wird.
- Wenn bei Wahl der Einstellung "POWER MANAGEMENT: ON" kein Synchronsignal erfasst wird, erscheint 8 Sekunden lang eine Warnmeldung, wonach das Plasma-Display automatisch in den Energiesparmodus (*1) umschaltet und die STANDBY/ON-Anzeige grün zu blinken beginnt. Sobald dem Plasma-Display danach wieder ein Synchronsignal zugeleitet wird (*2), schaltet dieses automatisch wieder in den Betriebsmodus.
*1: Die Leistungsaufnahme beträgt ca. 1 W bei Verwendung von INPUT1 und ca. 50 W bei Verwendung von INPUT5.
*2: Außer bei einem Eingangssignal mit G ON SYNC-Signal oder zusammengesetztem Synchronsignal
- Wenn bei Wahl der Einstellung "AUTO POWER OFF: ON" 8 Minuten lang kein Synchronsignal erfasst wird, erscheint eine Warnmeldung 30 Sekunden lang auf dem Bildschirm, wonach das Plasma-Display in den Bereitschaftsmodus schaltet.

5 Drücken Sie nach beendetem Setup MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

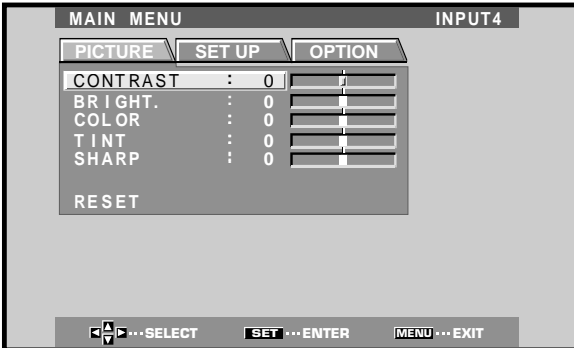
Die Einstellungen der Einträge "POWER MANAGEMENT" und "AUTO POWER OFF" müssen für jeden Eingang (INPUT1-5) separat ausgeführt werden.

Zurückschalten in den Betriebsmodus:

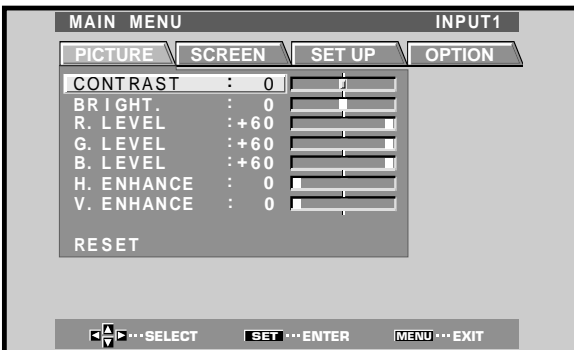
- **Um aus dem POWER MANAGEMENT-Modus in den Betriebsmodus zurückzuschalten:** Betätigen Sie entweder den Personalcomputer oder drücken Sie INPUT am Bedienfeld des Plasma-Displays bzw. an der Fernbedienung.
- **Um aus dem AUTO POWER OFF-Modus in den Betriebsmodus zurückzuschalten:** Drücken Sie STANDBY/ON am Bedienfeld des Plasma-Displays bzw. an der Fernbedienung.

Einstellen der Bildqualität

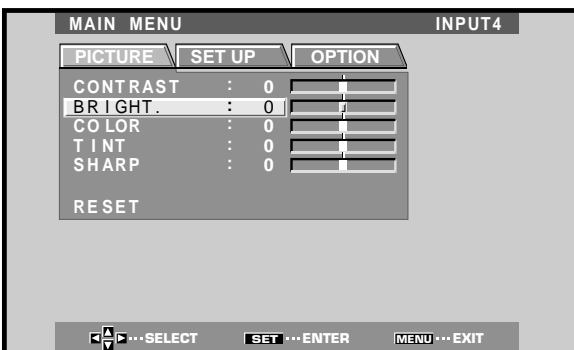
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



Wenn ein von einem Personalcomputer übermitteltes Bild über INPUT1, INPUT2 oder INPUT5 betrachtet wird, erscheint das folgende Menü.



2 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl des Eintrags, dessen Einstellung geändert werden soll, und drücken Sie dann SET.



3 Betätigen Sie ◀/▶, um die Bildqualität wunschgemäß einzustellen.



4 Drücken Sie SET.

Nach Drücken von **SET** wird die neue Einstellung gespeichert, wonach das in Schritt 2 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

5 Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

Diese Einstellungen müssen für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT5) und jedes Signal separat ausgeführt werden.

Einträge im PICTURE-Modus

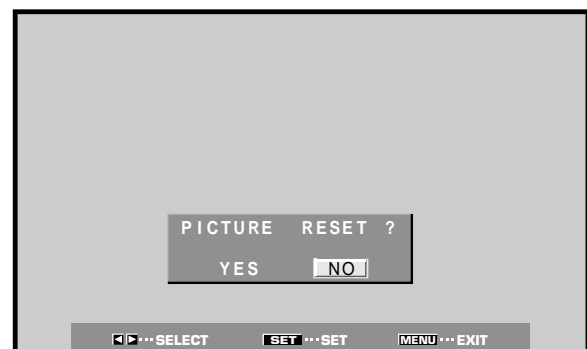
Die Optionen, die im PICTURE-Modus eingestellt werden können, sind nachstehend mit einer kurzen Erläuterung aufgelistet.

- CONTRAST Stellen Sie den Kontrast je nach der Umgebungshelligkeit so ein, dass das Bild klar zu erkennen ist.
- BRIGHT. Stellen Sie die Helligkeit so ein, dass die dunklen Bildbereiche deutlich zu erkennen sind.
- COLOR Stellen Sie die gewünschte Farbintensität ein (mit einer Einstellung auf einen etwas tieferen Farbton kann ein natürlich wirkendes Bild erzielt werden).
- TINT Nehmen Sie die Einstellung so vor, dass Hauttöne natürlich wirken.
- SHARP Wählen Sie normalerweise die Mittelposition. Um ein etwas weicher gezeichnetes Bild zu erhalten, wählen Sie eine Einstellung links von der Mitte. Eine Einstellung rechts von der Mitte ergibt ein schärferes Bild.

Zurücksetzen der Einträge im PICTURE-Modus auf ihre Standardwerte

Wenn die Einstellungen dieser Einträge stark verändert wurden oder das Bild unnatürlich wirkt, ist es u.U. praktischer, sämtliche Standardwerte des PICTURE-Modus wiederherzustellen, anstatt zu versuchen, die verschiedenen Einstellungen einzeln zu justieren.

1 Betätigen Sie in Schritt 2 des obigen Verfahrens ▲/▼ zur Wahl von "RESET" und drücken Sie dann SET.



2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von "YES" und drücken Sie dann SET.

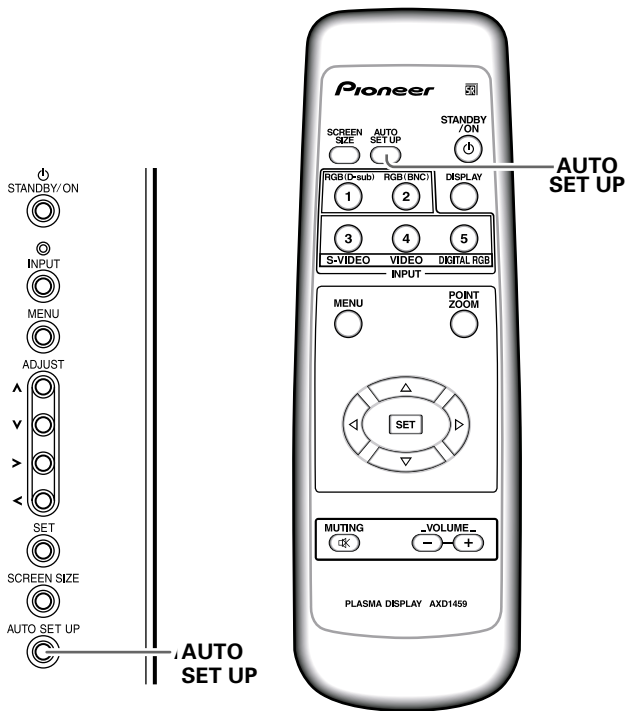
Danach werden alle Einträge des PICTURE-Modus auf ihre Standardwerte zurückgesetzt.

Einstellen von Bildposition und Taktsignal (automatische Einstellung)

Nach Drücken von AUTO SET UP am Bedienfeld des Plasma-Displays oder an der Fernbedienung werden die Position der Bildschirmanzeige und das Taktsignal automatisch auf die optimalen Werte eingestellt.

Hinweise

- Diese Funktion steht nur zur Verfügung, wenn INPUT1 oder INPUT2 das Signal eines Personalcomputers zugeleitet wird.
- Nehmen Sie diese Einstellung für jeden Eingang (INPUT1, INPUT2) und jeden Signaltyp separat vor.



Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

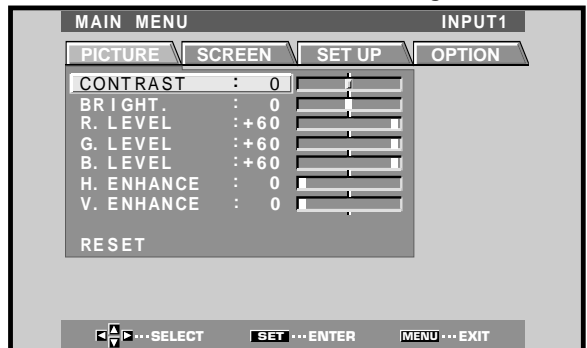
Drücken Sie AUTO SET UP entweder am Bedienfeld oder an der Fernbedienung.

- Bei Eingangssignalen mit niedriger Luminanz und bestimmten anderen Signalarten ist u.U. keine optimale automatische Einstellung möglich. In einem solchen Fall gehen Sie wie im folgenden Abschnitt **“Manuelle Einstellung von Bildposition und Taktsignal“** beschrieben vor, um eine präzise Einstellung manuell vorzunehmen.

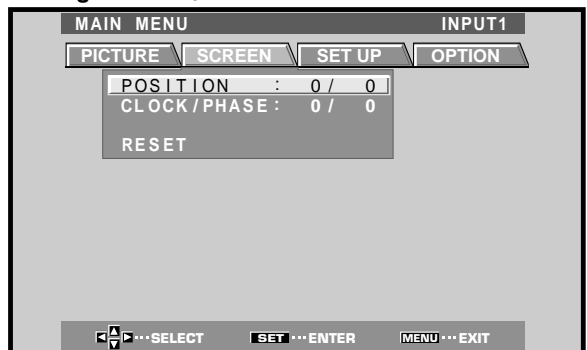
Manuelle Einstellung von Bildposition und Taktsignal

Diese Einstellung kann vorgenommen werden, wenn INPUT1, INPUT2 oder INPUT5 das Signal eines Personalcomputers zugeleitet wird. (Bei Wahl von INPUT3 oder INPUT4 sowie bei Zuleitung eines Videosignals stehen die in diesem Abschnitt beschriebenen Einstellungen nicht zur Verfügung.)

1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



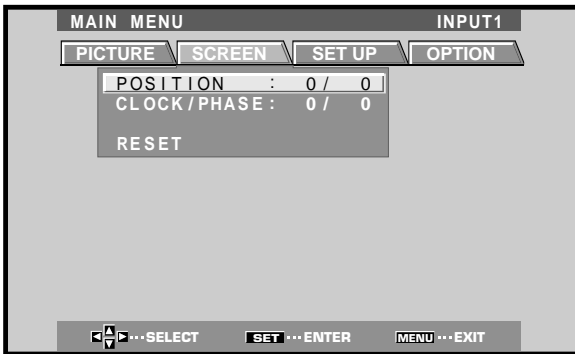
2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von "SCREEN".



Bei Wahl von INPUT5 erscheint das folgende Menü, das nur den Eintrag "POSITION" enthält.



3 Betätigen Sie **▲/▼** zur Wahl des Eintrags, dessen Einstellung geändert werden soll, und drücken Sie dann **SET**.



4 Betätigen Sie **◀/▶**, um die gewünschten Werte einzustellen.



Zur Einstellung der Einträge "V.POSITION" und "PHASE" werden **▲/▼** verwendet.

5 Drücken Sie **SET**.

Nach Drücken von **SET** wird die neue Einstellung gespeichert, wonach das in Schritt 3 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

6 Drücken Sie nach beendeter Einstellung **MENU**, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

Diese Einstellungen müssen für jeden Eingang (INPUT1, INPUT2 oder INPUT5) und jedes Signal separat ausgeführt werden.

Einträge im SCREEN-Modus

Die Optionen, die im SCREEN-Modus eingestellt werden können, sind nachstehend mit einer kurzen Erläuterung aufgelistet.

POSITION

- H.POSITION Dient zur Verschiebung der Bildposition nach links oder rechts.
- V.POSITION Dient zur Verschiebung der Bildposition nach oben oder unten.

CLOCK/PHASE

- CLOCK Dient zur Korrektur von Buchstaben-Zersplitterung oder Bildstörungen. Mit dieser Einstellung wird die Frequenz des internen Taktsignals des Plasma-Displays justiert, die mit dem Video-Eingangssignal übereinstimmen muss.

- PHASE Nehmen Sie diese Einstellung so vor, dass das Bildschirmflimmern auf das Mindestmaß reduziert wird und die Farben korrekt ausgerichtet sind. Mit dieser Einstellung wird die Phase des im Eintrag "CLOCK" eingestellten Taktsignals justiert.

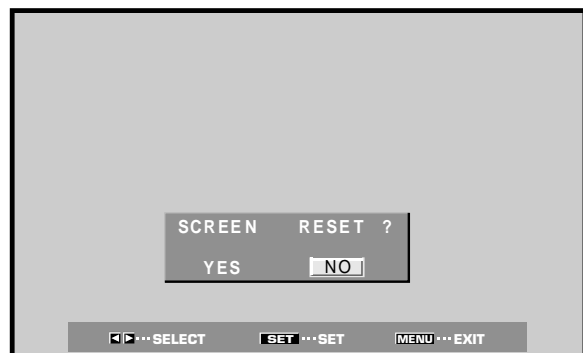
Hinweise

- Nach einer Änderung der Einstellung von "CLOCK" muss u.U. die Einstellung des Eintrags "H.POSITION" ebenfalls geändert werden.
- Wenn die Einstellungen der Einträge des SCREEN-Modus zu stark verändert werden, wird das Bild u.U. nicht einwandfrei angezeigt.

Zurücksetzen der Einträge im SCREEN-Modus auf ihre Standardwerte

Wenn die Einstellungen dieser Einträge stark verändert wurden oder das Bild unnatürlich wirkt, ist es u.U. praktischer, sämtliche Standardwerte des SCREEN-Modus wiederherzustellen, anstatt zu versuchen, die verschiedenen Einstellungen einzeln zu justieren.

1 Betätigen Sie in Schritt 3 des obigen Verfahrens **▲/▼** zur Wahl von "RESET" und drücken Sie dann **SET**.



2 Betätigen Sie **◀/▶** zur Wahl von "YES" und drücken Sie dann **SET**.

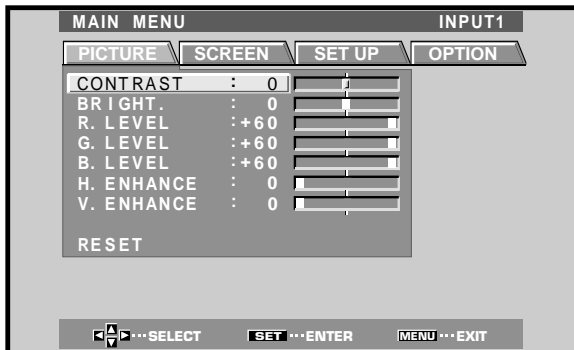
Danach werden alle Einträge des SCREEN-Modus auf ihre Standardwerte zurückgesetzt.

Neuschreiben der Eingangskennzeichnung (INPUT LABEL)

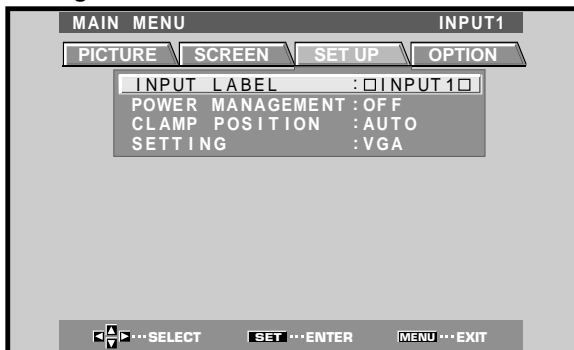
Diese Funktion gestattet es Ihnen, den Inhalt der Anzeigen für die verschiedenen Eingänge neu zu schreiben. Die Standardanzeige "INPUT1" z.B. kann auf "COMPUTER" oder einen anderen Namen (aus maximal 8 Zeichen bestehend) geändert werden, der das jeweils angeschlossene Gerät kennzeichnet.

Beispiel: Ändern der Standardanzeige "INPUT1" auf "COMPUTER"

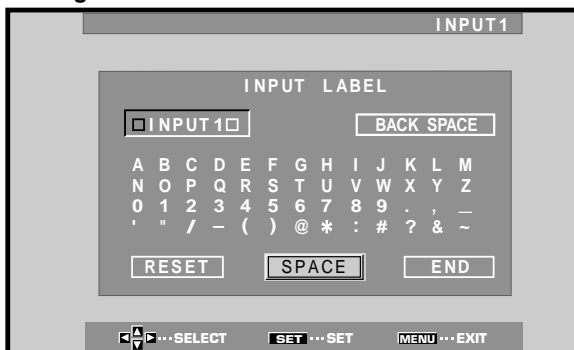
- 1 Drücken Sie INPUT und wählen Sie den Eingang INPUT1.
- 2 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



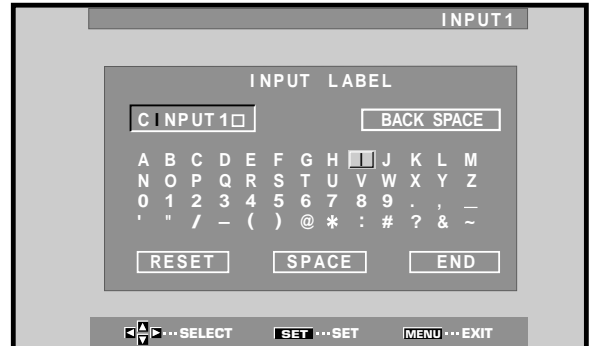
- 3 Betätigen Sie \leftarrow/\rightarrow zur Wahl von "SET UP".



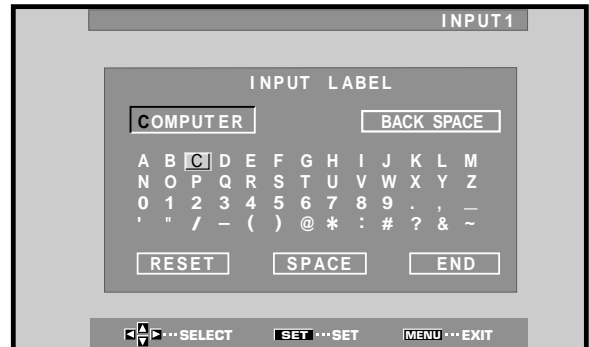
- 4 Betätigen Sie SET zur Wahl von "INPUT LABEL".



- 5 Betätigen Sie $\leftarrow/\rightarrow/\uparrow/\downarrow$ zur Wahl des ersten Zeichens des neuen Namens (in diesem Beispiel "C") und drücken Sie dann SET zur Bestätigung. (Wiederholen Sie diesen Schritt so oft wie erforderlich, um bis zu 8 Zeichen einzugeben.)



- Die 52 verfügbaren Zeichen sind in der Anzeige aufgelistet.
- Nach Wahl eines Zeichens und Drücken von SET bewegt sich der Cursor um eine Stelle nach rechts.
- Wenn Sie versehentlich ein falsches Zeichen eingegeben haben, drücken Sie zunächst **BACK SPACE** und dann SET, um den Cursor um eine Stelle nach links zu bewegen.
- Um den Standardnamen (INPUT1) wiederherzustellen, drücken Sie zunächst **RESET** und dann SET.



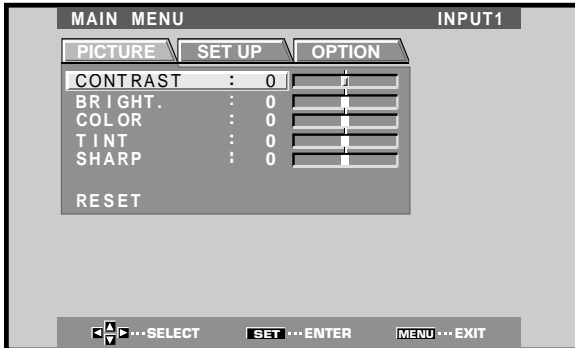
- 6 Nachdem Sie alle gewünschten Zeichen eingegeben haben, betätigen Sie $\leftarrow/\rightarrow/\uparrow/\downarrow$ zur Wahl von **END** und drücken Sie dann SET.



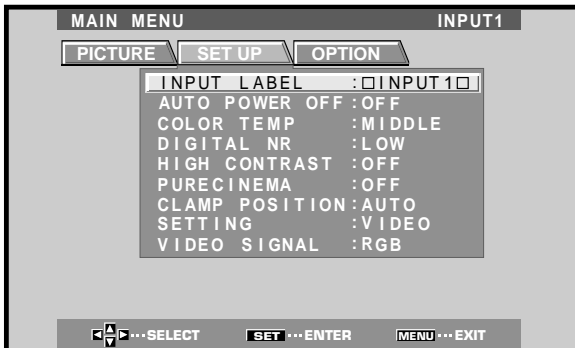
- 7 Drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Ändern der Farbtemperatur (COLOR TEMP)

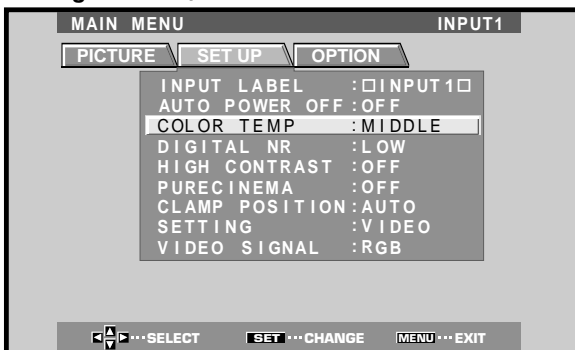
- 1 Drücken Sie **MENU**, um die Menüanzeige aufzurufen.



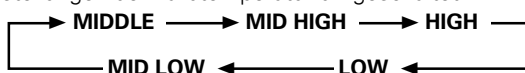
- 2 Betätigen Sie **◀/▶** zur Wahl von "SET UP".



- 3 Betätigen Sie **▲/▼** zur Wahl von "COLOR TEMP".



- 4 Betätigen Sie **SET** zur Wahl der gewünschten Einstellung der Farbtemperatur (COLOR TEMP). Die werkseitige Voreinstellung ist "MIDDLE" (mittlere Farbtemperatur). Bei jeder Betätigung von **SET** wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen der Farbtemperatur umgeschaltet:



- 5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie **MENU**, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

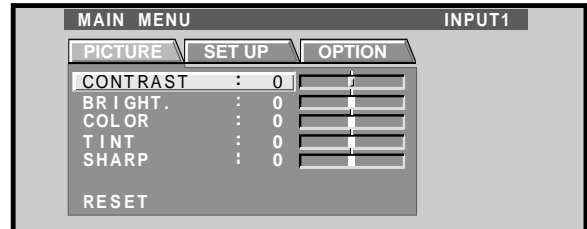
Hinweis

Die Einstellung der Farbtemperatur steht nur bei Signalen zur Verfügung, die von Videogeräten zugeleitet werden. Die Einstellung muss für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT4) separat vorgenommen werden.

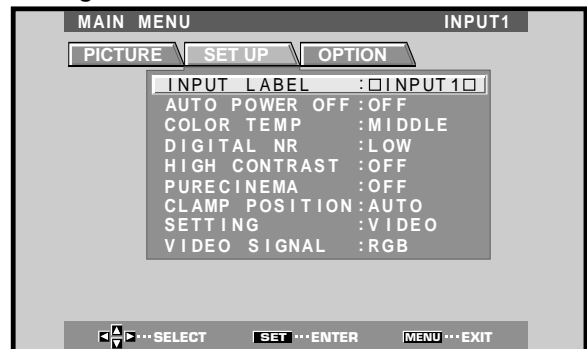
Vermindern des Videorauschens (DIGITAL NR)

Nehmen Sie diese Einstellung vor, wenn das Videobild verrauscht ist.

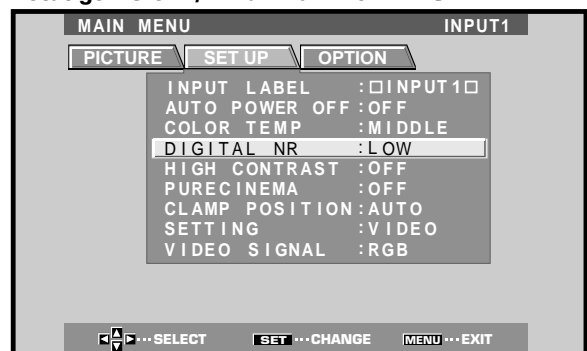
- 1 Drücken Sie **MENU**, um die Menüanzeige aufzurufen.



- 2 Betätigen Sie **◀/▶** zur Wahl von "SET UP".



- 3 Betätigen Sie **▲/▼** zur Wahl von "DIGITAL NR".



- 4 Betätigen Sie **SET** zur Wahl der gewünschten Einstellung der digitalen Rauschminderung (DIGITAL NR).

Die werkseitige Voreinstellung der Rauschminderung ist "LOW" (niedriges Ausmaß). Bei jeder Betätigung von **SET** wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen der Rauschminderung umgeschaltet:



- Das Ausmaß der Rauschminderung nimmt in der Reihenfolge LOW → MIDDLE → HIGH zu.

- 5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie **MENU**, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Hinweis

Die Einstellung der Rauschminderung steht nur bei Signalen zur Verfügung, die von Videogeräten zugeleitet werden. Die Einstellung muss für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT4) separat vorgenommen werden.

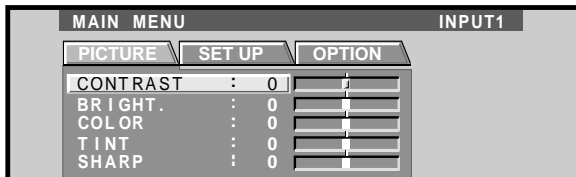
Einstellen des PureCinema-Modus

Bei Wahl des PureCinema-Modus werden Videosignale von Filmen, die mit 24 Vollbildern pro Sekunde aufgezeichnet sind, automatisch erfasst und die Abtasteinstellungen geändert, so dass ein hochwertiges Wiedergabebild erhalten wird. Dies erfolgt durch Umwandlung des Videosignals in ein progressives Abtastsignal. Bei Verwendung der PureCinema-Funktion sollte normalerweise die Einstellung "HQ" verwendet werden. Bitte beachten Sie, dass bei Wahl dieser Einstellung eine geringfügige Verzögerung des Bilds gegenüber dem Ton auftreten kann, da die Verarbeitung des Videosignals eine kurze Zeitdauer beansprucht. Falls diese Verzögerung störend wirkt, wählen Sie die Einstellung "STANDARD". Bei Einstellung auf "OFF" (werkseitige Voreinstellung) erfolgt eine Standard-Progressivumwandlung.

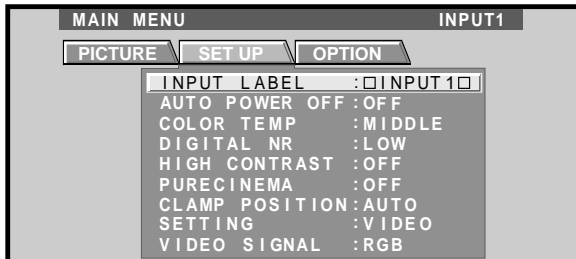
Hinweis

Der PureCinema-Modus ist nur mit Eingangssignalen des Formats 525i (480i) oder NTSC kompatibel. Diese Einstellung muss für jeden verwendeten Eingang (INPUT1 bis INPUT4) separat vorgenommen werden.

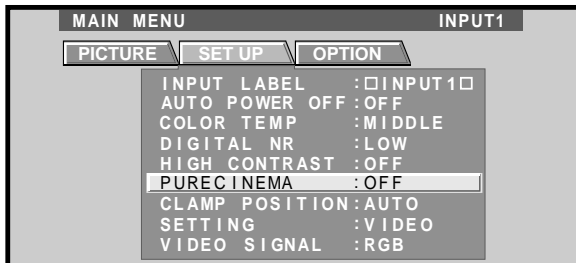
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von "SET UP"



3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von "PURECINEMA"



4 Betätigen Sie SET zur Wahl der gewünschten Einstellung des PureCinema-Modus.

Bei jeder Betätigung von SET wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen der Filmmodus-Funktion umgeschaltet:



5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

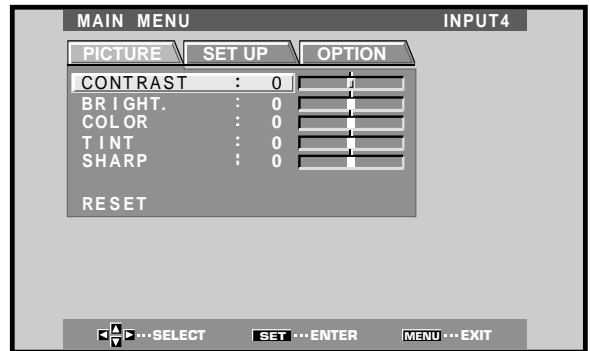
Einstellen auf das örtliche Fernsehsystem

INPUT3 und INPUT4 sind mit einer Reihe von weltweit gebräuchlichen Fernsehnormen kompatibel, die vom Plasma-Display automatisch erkannt werden können. Wählen Sie normalerweise die Einstellung "COLOR SYSTEM: AUTO", um eine automatische Erkennung zu gewährleisten. Bei Wahl dieser Einstellung kann es jedoch vorkommen, dass gewisse Videosignale überspielt wurden oder nicht einwandfrei angezeigt werden (Farbverlust usw.) In einem solchen Fall muss die Einstellung dem Eingangssignal manuell angepasst werden.

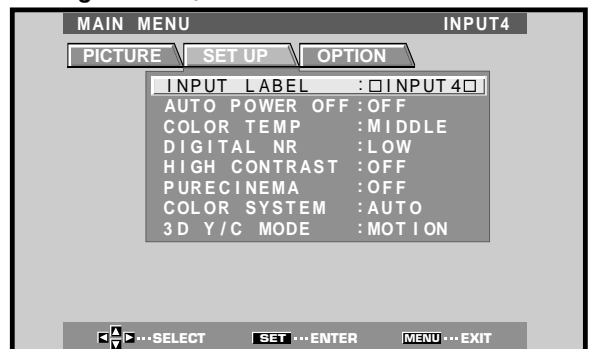
Hinweis

Die Einstellung der Fernsehnorm muss sowohl für INPUT3 als auch für INPUT4 vorgenommen werden. Eine korrekte Zuordnung und ausschließliche Verwendung entsprechend der Fernsehnorm des Eingangssignals ermöglicht eine problemlose Verarbeitung der Signale, reduziert den Zeitaufwand bei der Eingangswahl und beseitigt mögliche Fehlerquellen bei der Erkennung der Signale.

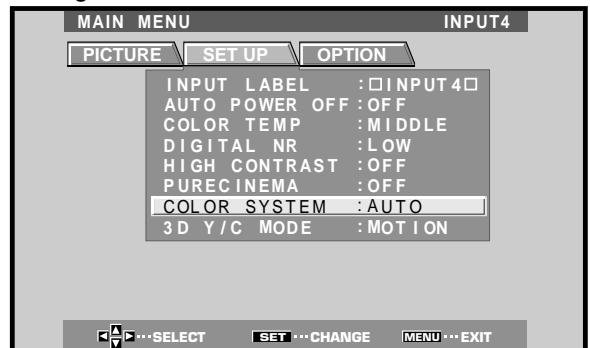
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von "SET UP"

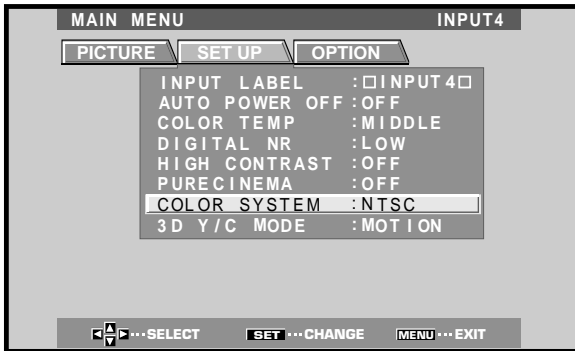
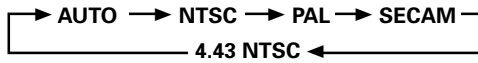


3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von "COLOR SYSTEM"



4 Betätigen Sie SET zur Wahl der gewünschten Fernsehnorm-Einstellung.

Bei jeder Betätigung von **SET** wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen der Fernsehnorm umgeschaltet:



5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Betrachten eines sich schnell bewegenden Bilds (3D Y/C MODE)

Wenn Bilder betrachtet werden, die sich schnell bewegen, z.B. bei Sportprogrammen, kann durch Einstellung dieser Funktion auf "MOTION" ein klares Bild erhalten werden, das nicht verschwommen ist.

- Stellen Sie diesen Eintrag auf "STILL" ein, wenn keine sich schnell bewegenden Bilder betrachtet werden.

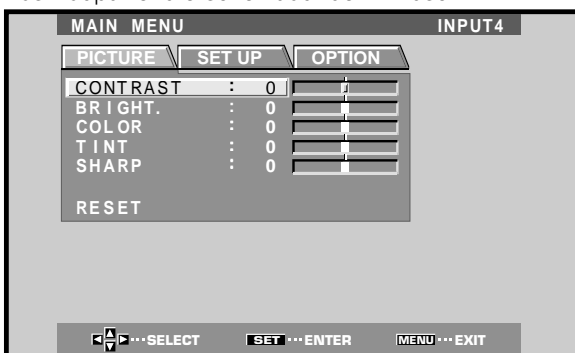
Hinweis

Eine Einstellung des Eintrags "3D Y/C MODE" ist nur dann möglich, wenn die folgenden Bedingungen erfüllt sind:

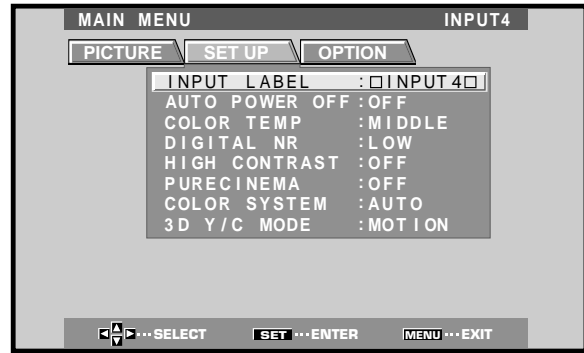
- Bei Wahl von INPUT4
- Bei Einstellung des Eintrags "COLOR SYSTEM" auf "AUTO" und Empfang eines NTSC-Signals, oder bei Einstellung von "COLOR SYSTEM" auf "NTSC"

1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.

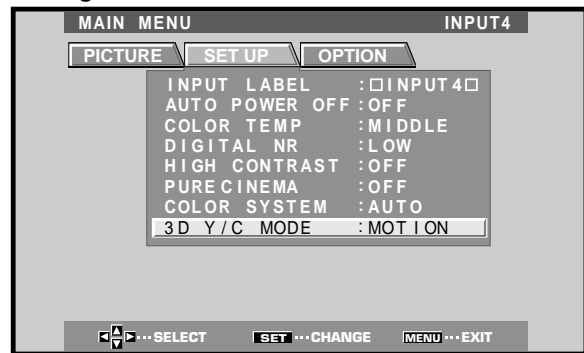
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Betätigen Sie </> zur Wahl von "SET UP".



3 Betätigen Sie <u>/> zur Wahl von "3D Y/C MODE".



4 Betätigen Sie SET zur Wahl von "MOTION".

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist "MOTION".

Bei jeder Betätigung von **SET** wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

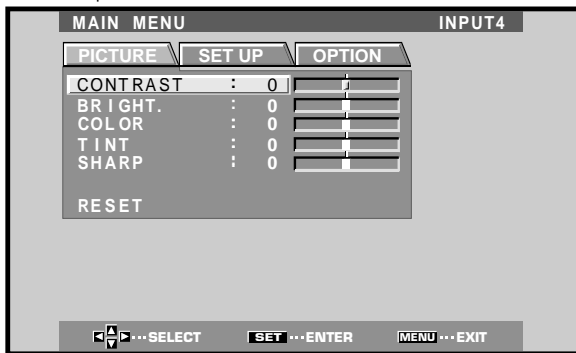
Betrachten in einer hellen Umgebung (HIGH CONTRAST)

Beim Betrachten eines Bilds in einer hellen Umgebung können Sie diese Funktion auf "ON" einstellen, um ein klares Videobild zu erhalten.

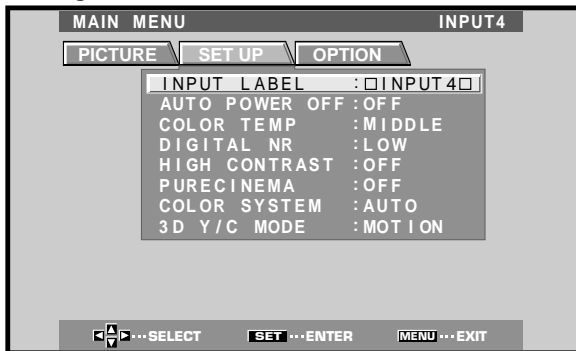
- Beim Betrachten unter normalen Bedingungen wählen Sie die Einstellung "OFF".

1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.

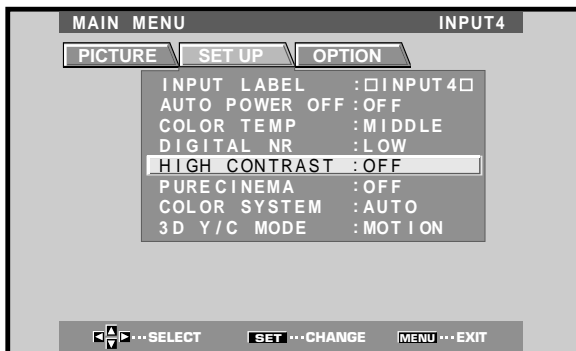
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



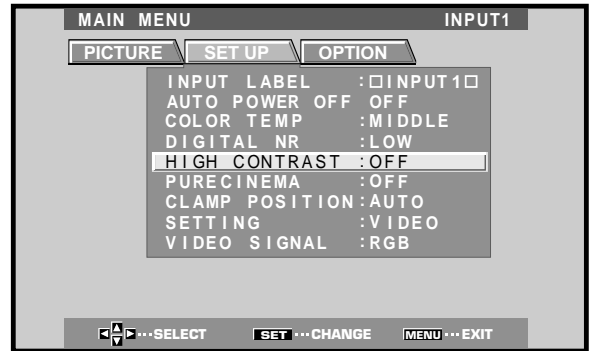
2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von "SET UP".



3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von "HIGH CONTRAST".



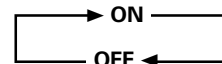
Beim Betrachten eines Bilds über INPUT1 oder INPUT2 erscheint das folgende Menü.



4 Betätigen Sie SET zur Wahl von "ON".

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist "OFF".

Bei jeder Betätigung von SET wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

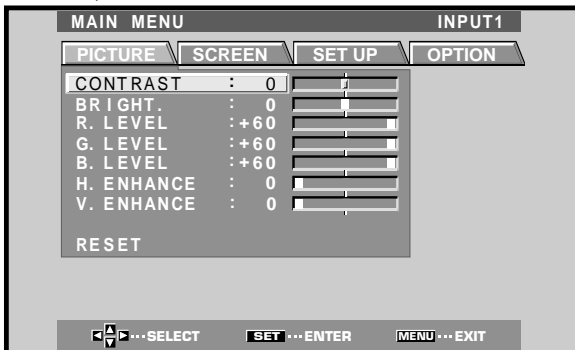
Eine Einstellung des Eintrags "HIGH CONTRAST" ist nur möglich, wenn das Video-Eingangssignal eines angeschlossenen Videogerätes gewählt ist. Diese Einstellung muss für jeden verwendeten Eingang (INPUT1 bis INPUT4) separat vorgenommen werden.

Automatische Eingangswahl (AUTO FUNCTION)

Dieses Plasma-Display ist mit einer Funktion für automatische Erkennung des Signals am momentan gewählten Eingang ausgestattet, die dafür sorgt, dass der Funktionswähler automatisch auf den betreffenden Eingang umschaltet.

1 Drücken Sie MENU.

Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von "OPTION".



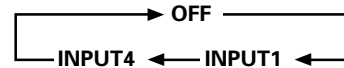
3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von "AUTO FUNCTION".



4 Betätigen Sie SET zur Wahl von "INPUT1" oder "INPUT4".

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist "OFF".

Bei jeder Betätigung von SET wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen dieser Funktion umgeschaltet:



- Bei Wahl der Einstellung "OFF" ist AUTO FUNCTION ausgeschaltet.
- Wenn nach Wahl von INPUT1 oder INPUT4 ein Signal am gewählten Eingang erfasst wird, schaltet der Eingangswähler automatisch auf den gewählten Eingang um. Danach kann der Eingang nicht mehr durch Betätigen von INPUT an der Fernbedienung bzw. am Bedienfeld des Plasma-Displays gewechselt werden.

Nachdem mit Hilfe von AUTO FUNCTION auf den gewählten Eingang umgeschaltet worden ist, wird automatisch auf die vor Aktivierung von AUTO FUNCTION verwendete Eingangssignalquelle zurückgeschaltet, sobald kein Signal mehr am gewählten Eingang erfasst wird.

5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Hinweis

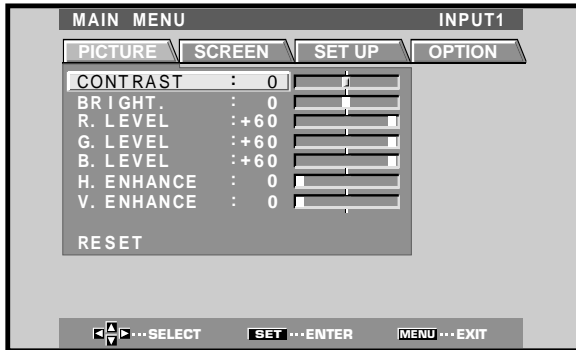
AUTO FUNCTION für INPUT1 wird nur bei Zuleitung eines getrennten Synchronsignals, eines FBAS-Synchronsignals oder eines analogen RGB-Signals aktiviert. (Bei Zuleitung eines G on SYNC- oder Komponenten-Videosignals ist AUTO FUNCTION gesperrt.)

Tonausgabepegel (AUDIO OUT)

Der Ausgangspegel des an der Buchse AUDIO OUT anliegenden Signals kann wahlweise auf "FIXED" oder "VARIABLE" (mit der VOLUME-Einstellung verknüpft) eingestellt werden.

1 Drücken Sie MENU.

Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von "OPTION".



3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von "AUDIO OUT".



4 Betätigen Sie SET zur Wahl der gewünschten Einstellung des Tonausgabepegels.

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist "FIXED".

Bei jeder Betätigung von **SET** wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



- Bei Wahl der Einstellung "FIXED" ändert sich der Tonausgabepegel nicht, auch wenn die VOLUME-Einstellung geändert wird.
- Bei Wahl der Einstellung "VARIABLE" ändert sich der Tonausgabepegel entsprechend der VOLUME-Einstellung.

5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Hinweis

Die Einstellung des Eintrags "AUDIO OUT" ist für alle Eingänge (INPUT1 bis INPUT5) wirksam.

Technische Daten

Allgemeine Daten

Außenabmessungen 243,8 (B) x 23,6 (H) x 144 (T) mm

Gewicht 0,3 kg

Betriebstemperaturbereich 0 °C bis 40 °C

Eingänge/Ausgänge

Video

INPUT3

- Eingang** S-Buchse (4-polige Mini-DIN-Buchse)
- Getrenntes Y/C-Videosignal
- Y ... 1 Vss, 75 Ω , negative Synchronisation
C ... 0,286 Vss, 75 Ω (NTSC)
0,3 Vss, 75 Ω (PAL)

INPUT4

- Eingang** BNC-Buchse
- FBAS-Videosignal
- 1 Vss, 75 Ω , negative Synchronisation

- Ausgang** BNC-Buchse
75 Ω , mit Puffer

INPUT5

- Eingang** 24-polige DVI-D-Buchse
- Digitales RGB-Signal (DVI-kompatibles TMDS-Signal)
- * Der Eingang INPUT5 ist mit der Plug & Play-Funktion von Microsoft (VESA DDC 2B) kompatibel.

Audio

- Eingang** AUDIO INPUT (für INPUT3)
Cinchbuchse x 2
L/R ... 500 mV eff., höher als 10 k Ω

- AUDIO INPUT (für INPUT4)
Cinchbuchse x 2
L/R ... 500 mV eff., höher als 10 k Ω

Zubehör

- Aufkleber für Fernbedienung 1
BNC-/Cinch-Wandlerstecker 1
Aufkleber für Buchsenkennzeichnung 1
Bedienungsanleitung 1

- Änderungen der technischen Daten und äußeren Aufmachung im Sinne der ständigen Produktverbesserung bleiben jederzeit vorbehalten.

Nachtrag 1

Tabelle zur Kompatibilität der Videosignale (INPUT1, INPUT2)

Vertikalfrequenz F _v (Hz)	Horizontalfrequenz F _H (kHz)	Signalformat	Bildschirmformat				Bemerkungen
			4:3	FULL	ZOOM	WIDE	
50	15,625	Komponentensignal	○	○	○	○	625i (575i)/SDTV
		RGB-Signal	○	○	○	○	
	28,1	Komponentensignal		○			1125i (1080i)/HDTV
		RGB-Signal		○			
	31,25	Komponentensignal	○	○	○	○	625p (575p)/SDTV
		RGB-Signal	○	○	○	○	
60	15,734	Komponentensignal	○	○	○	○	525i (480i)/SDTV
		RGB-Signal	○	○	○	○	
	31,5	Komponentensignal	○	○	○	○	525p (480p)/SDTV
		RGB-Signal	○	○	○	○	
	33,75	Komponentensignal		○			1125i (1080i)/HDTV
		RGB-Signal		○			
	45,0	Komponentensignal		○			750p (720p)/HDTV
		RGB-Signal		○			
	67,5	Komponentensignal		○			1125p (1080p)/HDTV
		RGB-Signal		○			

Deutsch

Nachtrag 2

Tabelle zur Kompatibilität der Computersignale (bei Anschluss an PDP-503MXE) (INPUT5)

Auflösung (Punkte x Zeilen)	Vertikal- frequenz	Horizontal- frequenz	Bildschirmformat (Punkte x Zeilen)				Bemerkungen
			DOT BY DOT	4:3	FULL	PARTIAL	
640x480	60 Hz	31,5 kHz	◎ 640x480	○ 1024x768	○ 1280x768		
800 x600	56 Hz	35,1 kHz	◎ 800x600	○ 1024x768	○ 1280x768		
	60 Hz	37,9 kHz	↑	↑	↑		
852x480	60 Hz	31,7 kHz	◎ 852x480		○ 1280x768		
1024x768	60 Hz	48,4 kHz	◎ 1024x768		○ 1280x768		
				△ 1024x768	△ 1280x768		
1280x768	56 Hz	45,1 kHz	◎ 1280x768				
	60 Hz	48,4 kHz	↑				
1280x960	60 Hz	60,0 kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
1280x1024	60 Hz	64,0 kHz		△ 960x768	△ 1280x768	◎ 1280x768	

- ◎ : Optimales Bild. Eine Einstellung von Bildposition, Vertikalfrequenz, Horizontalfrequenz, Phase usw. kann erforderlich sein.
 - : Bild wird vergrößert, doch sind kleine Details schwer zu sehen.
 - △ : Einfache Wiedergabe. Kleinere Details werden nicht reproduziert. Bildschirmformat wird als "~ (TYPE)" angezeigt.
- : Nicht verfügbar

Zusätzliche Informationen

Tabelle zur Kompatibilität der Computersignale (bei Anschluss an PDP-433MXE) (INPUT5)

Auflösung (Punkte x Zeilen)	Vertikal- frequenz	Horizontal- frequenz	Bildschirmformat (Punkte x Zeilen)			Bemerkungen
			DOT BY DOT	4:3	FULL	
640x480	60 Hz	31,5 kHz	◎ 640x480	○ 768x768	○ 1024x768	
800 x600	56 Hz	35,1 kHz	◎ 800x600	△ 768x768	○ 1024x768	
	60 Hz	37,9 kHz	↑	↑	↑	
852x480	60 Hz	31,7 kHz	◎ 852x480		○ 1024x768	
1024x768	60 Hz	48,4 kHz	◎ 1024x768	△ 768x768		
1152x864	60 Hz	53,7 kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
1280x768	56 Hz	45,1 kHz			△ 1024x768	
	60 Hz	48,4 kHz			↑	
1280x960	60 Hz	60,0 kHz		△ 768x768	△ 1024x768	
1280x1024	60 Hz	64,0 kHz		△ 720x768	△ 1024x768	

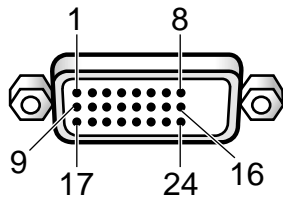
◎ : Eingangssignal und Punkt-Linien-Verhältnis des Bildschirms werden auf Anzeige im Verhältnis 1:1 eingestellt. : Nicht verfügbar

○ : Hinweis: Da das Modell PDP-433MXE mit horizontal länglichen Elementen konstruiert ist, erscheint das Bild im Vergleich zum Original-Eingangssignal in horizontaler Richtung etwas ausgedehnt.

○ : Bild wird vergrößert, doch sind kleine Details schwer zu sehen.

△ : Einfache Wiedergabe. Kleinere Details werden nicht reproduziert. Bildschirmformat wird als "~ (TYPE)" angezeigt.

Nachtrag 3 Stiftbelegung von INPUT5 (DVI-Steckbuchse)



Stift-Nr.	Signalzuordnung
1	T.M.D.S.-Daten 2-
2	T.M.D.S.-Daten 2+
3	T.M.D.S.-Daten 2/4 Abschirmung
4	Ohne Funktion
5	Ohne Funktion
6	DDC-Taktsignal
7	DDC-Daten
8	Ohne Funktion
9	T.M.D.S.-Daten 1-
10	T.M.D.S.-Daten 1+
11	T.M.D.S.-Daten 1/3 Abschirmung
12	Ohne Funktion
13	Ohne Funktion
14	+5 V Spannung
15	Masse
16	Erkennung des stromführenden Pols
17	T.M.D.S.-Daten 0-
18	T.M.D.S.-Daten 0+
19	T.M.D.S.-Daten 0/5 Abschirmung
20	Ohne Funktion
21	Ohne Funktion
22	T.M.D.S.-Taktsignal Abschirmung
23	T.M.D.S.-Taktsignal+
24	T.M.D.S.-Taktsignal-

"Power Management" ist ein eingetragenes Warenzeichen von Sun Microsystems Inc.

"TMDS" ist ein eingetragenes Warenzeichen von Silicon Image Inc.

"Apple" und "Macintosh" sind eingetragene Warenzeichen von Apple Computer, Inc.

"Microsoft" ist ein eingetragenes Warenzeichen von Microsoft Corporation.

"VGA" und "XGA" sind eingetragene Warenzeichen von International Business Machines Co., Inc.

"VESA" und "DDC" sind eingetragene Warenzeichen der Video Electronics Standards Association.

Glossar

Bildseitenverhältnis

Beim Bildseitenverhältnis handelt es sich um das Verhältnis von Breite und Höhe der Bildschirmanzeige. Bei einem herkömmlichen Fernsehgerät beträgt dieses 4:3, bei Breitformat- und HD-Fernsehgeräten (High Definition) beträgt es 16:9.

S-Buchse (S-VIDEO-Buchse)

Diese Buchse trennt das Videosignal und übermittelt es als zwei Signale, ein Helligkeitssignal (Y) und ein Farbsignal (C). Dies führt zu einer Bildqualität, die weit höher ist als die eines herkömmlichen FBAS-Signals.

S-Videosignal

Dieses Videosignal setzt sich aus zwei Signalen zusammen, einem Chromasignal (Farbsignal) und einem Luminanzsignal (Helligkeitssignal). Bei herkömmlichen Videogeräten werden diese beiden Signale zu einem einzigen Signal zusammengesetzt, das als "FBAS-Signal" bezeichnet wird.

Komponenten-Videosignal

Dabei handelt es sich um einen allgemeinen Begriff für ein Videosignal-Format, das sich aus den Farbsignal- und Luminanzsignalkomponenten Y.Cb.Cr, Y.Pb.Pr und Y.B-Y.R-Y zusammensetzt. Das Komponenten-Videosignal wird auch als "Farbdifferenzsignal" bezeichnet.

G ON SYNC

Dieser Ausdruck bezeichnet ein Videosignal, das in Form eines Synchronsignals dem G-Signal (Grün) des RGB-Signals überlagert ist.

VGA

Akronym von "Video Graphics Array", das gewöhnlich eine Auflösung von 640 Punkten x 480 Zeilen kennzeichnet.

XGA

Abkürzung von "eXtended Graphics Array", die gewöhnlich eine Auflösung von 1.024 Punkten x 768 Zeilen kennzeichnet.

DVI

Akronym von "Digital Visual Interface", eine Schnittstellen-Norm, die vom DDWG-Gremium (Digital Display Working Group) für Digitaldisplays entwickelt wurde.



この取扱説明書は再生紙を使用しています。

© 2001 パイオニア株式会社 禁無断転載

Published by Pioneer Corporation.
Copyright © 2001 Pioneer Corporation.
All rights reserved.

パイオニア株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

PIONEER CORPORATION 4-1, Meguro 1-Chome, Meguro-ku, Tokyo 153-8654, Japan

PIONEER ELECTRONICS (USA) INC. P.O.BOX 1540, Long Beach, California 90801-1540, U.S.A., TEL: 1-310-952-2111

PIONEER ELECTRONICS OF CANADA, INC. 300 Allstate Parkway, Markham, Ontario L3R 0P2, Canada TEL: 1-905-479-4411

PIONEER EUROPE NV MULTIMEDIA DIVISION Pioneer House Hollybush Hill, Stoke Poges, Slough SL2 4QP, U.K., TEL: 44-1753-789-789

PIONEER ELECTRONICS AUSTRALIA PTY.LTD. 178-184 Boundary Road, Braeside, Victoria 3195, Australia, TEL: 61-39-586-6300

PIONEER ELECTRONICS ASIACENTRE PTE. LTD. 253 Alexandra Road #04-01, Singapore 159936, TEL: 65-472-1111

PIONEER HIGH FIDELITY TAIWAN CO., LTD. 13FL., No44 Chung Shan North Road, Sec.2. Taipei, Taiwan, TEL: 886-2-2521-3588

PIONEER ELECTRONICS (CHINA) LTD. Room 1704-06, 17/F World Trade Centre, 280 Gloucester Rd. Causeway Bay, Hong Kong, TEL: 852-2848-6488

PIONEER GULF FZE Lob 11-017, Jebel Ali Free Zone P.O. BOX 61226, Jebel Ali, Dubai, United Arab Emirates, TEL: 971- 4-8815756

<TNSZF/01F00000>

Printed in Japan / Imprimé au Japon <ARD1048-A>